

小平市

小平市子ども・子育て支援に関する

ニーズ調査報告書



平成 31 年 3 月

目 次

第 1 章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査の種類	3
3. 調査方法と回収状況	3
4. 調査項目	3
5. 調査結果を見る上での注意事項	6
第 2 章 調査結果の詳細	7
就学前児童	9
1. お住まいの地域	9
(1) お住まいの地域	9
2. お子さんと家族の状況	10
(1) お子さんの年齢	10
(2) 子どもの数、末子の年齢	10
(3) 回答者	11
(4) 回答者の配偶関係	11
(5) 子育て（教育を含む）を主に行っている人	11
3. お子さんの育ちを取りまく環境	12
(1) 子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人	12
(2) 子育て（教育を含む）に大きく影響すると思われる環境	13
(3) お子さんをみてもらえる親族・知人の有無	13
(4) 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況	14
(5) 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況	15
(6) 子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人（施設）の有無	16
(7) 子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる相談先	17
(8) 子育て（教育を含む）をする上で周囲に望むサポート	18
4. 保護者の就労状況	19
(1) 保護者の就労状況	19
(2) 就労日数、就労時間	20
(3) 家を出る時刻、帰宅時刻	21
(4) フルタイムへの転換希望	23
(5) 就労希望	24
(6) 就労の準備に必要な支援	26
5. 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況と利用希望	27
(1) 定期的な教育・保育の事業の利用の有無	27
(2) 定期的に利用している事業	28
(3) 利用日数、利用時間	30
(4) 利用している教育・保育の事業の実施場所	32

(5) 定期的に教育・保育の事業を利用している理由	32
(6) 定期的に教育・保育の事業を利用していない理由	33
(7) 定期的に利用したい教育・保育の事業	34
(8) 利用したい実施場所	36
(9) 幼稚園の強い利用希望の有無	36
6. 地域子育て支援拠点事業の利用状況と利用希望	37
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況	37
(2) 今後の利用希望と利用したい回数	38
(3) 利用しない理由	39
(4) 各種支援事業の認知状況、利用状況、利用希望	40
7. 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育の事業の利用状況と利用希望	43
(1) 土曜日と日曜日・祝日の利用状況と利用時間帯	43
(2) 利用している事業	45
(3) 事業の実施場所	46
(4) 土曜日と日曜日・祝日の利用希望と利用したい時間帯	46
(5) たまに利用したい理由	48
(6) 幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育の事業の利用状況	49
(7) 幼稚園利用者が長期休暇中に利用している教育・保育の事業	50
(8) 幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育の事業の利用希望と利用したい時間帯	51
(9) 幼稚園利用者が長期休暇中に教育・保育の事業をたまに利用したい理由	52
8. お子さんが病気の際の対応	52
(1) この1年間に病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無	52
(2) 病気やケガで通常の事業が利用できなかった際の対処方法と日数	53
(3) 父母が休んで対処した場合の「病児・病後児保育施設等」の利用希望と利用したい日数	55
(4) 望ましい事業形態	56
(5) 利用したいと思わない理由	56
(6) 父母が仕事を休んで看護したいと思ったかどうかと看護したい日数	57
(7) 仕事を休んで看護できなかった理由	58
9. 不定期の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	59
(1) 私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業と日数	59
(2) 利用していない理由	60
(3) 今後の利用希望と利用したい日数	60
(4) 望ましい事業形態	62
(5) 保護者の用事により泊りがけで家族以外に預けたことの有無、対処方法、宿泊日数	62
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方【調査対象が4歳以上】	64
(1) 小学校低学年（1～3年生）の間、放課後を過ごさせたい場所と日数	64
(2) 小学校高学年（4～6年生）の間、放課後を過ごさせたい場所と日数	66
(3) 学童クラブの日曜日・祝日の利用希望と利用したい時間帯	68
(4) 小学校の長期休暇中の過ごし方の希望	69
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	71

(1) 育児休業取得の有無と取得しなかった理由	71
(2) 育児休業取得後の職場復帰	73
(3) 復帰のタイミング	73
(4) 実際の取得期間と希望	74
(5) 3歳まで取得できる休暇制度があった場合の取得希望	75
(6) 希望の時期に職場復帰しなかった理由	76
(7) 短時間勤務制度利用の有無	77
(8) 短時間勤務制度を利用しなかった理由	78
(9) 1歳になった時に必ず利用できる教育・保育の事業がある場合の1歳までの育児休業取得希望	79
(10) 3歳までの育児休業制度がある場合の3歳までの育児休業取得希望	79
(11) 仕事を続けるために希望する職場の環境	80
12. 子育て全般	81
(1) 地域における子育ての環境や支援への満足度	81
(2) 子育て仲間の有無	81
(3) 子育てイベントの参加の有無	82
(4) 子育てグループ活動の定期的参加の有無	82
(5) 子育てグループ活動に参加したい状況	83
(6) 子育てに関する悩み	84
(7) 児童虐待の関心度	85
(8) 児童虐待と感ずる状況	85
(9) 児童虐待を相談・通報する場所	86
(10) 児童虐待が起こる理由	87
(11) 教育・保育の環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見	88
就学児童(小学校1年生～6年生)	90
1. お住まいの地域	90
(1) お住まいの地域	90
2. お子さんと家族の状況	91
(1) お子さんの学年	91
(2) 子どもの数、末子の年齢	91
(3) 回答者	92
(4) 回答者の配偶関係	92
(5) 子育て(教育を含む)を主に行っている人	92
3. お子さんの育ちを取りまく環境	93
(1) 子育て(教育を含む)に大きく影響すると思われる環境	93
(2) お子さんをみてもらえる親族・知人の有無	93
(3) 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況	94
(4) 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況	95
(5) 子育て(教育を含む)をする上で気軽に相談できる人(施設)の有無	95
(6) 子育て(教育を含む)をする上で気軽に相談できる相談先	96

(7) 子育て（教育を含む）をする上で周囲に望むサポート	97
4. 保護者の就労状況	98
(1) 保護者の就労状況	98
(2) 就労日数、就労時間	99
(3) 家を出る時刻、帰宅時刻	100
(4) フルタイムへの転換希望	101
(5) 就労希望	102
(6) 就労の準備に必要な支援	104
5. 地域の子育て支援事業の利用状況と利用希望	105
(1) 子ども広場や児童館の利用状況	105
(2) 今後の利用希望と利用回数	106
(3) 子育て支援事業・子どもの居場所についての意見	107
(4) 各種支援事業の認知状況、利用状況、利用希望	108
6. お子さんが病気の際の対応	110
(1) この1年間に病気やケガで学校を休まなければならなかったことの有無	110
(2) 病気やケガで学校を休んだ際の対処方法と日数	110
(3) 父母が休んで対処した場合の「施設等」の利用希望と利用したい日数	112
(4) 父母が仕事を休んで看護したいと思ったかどうかと看護したい日数	113
(5) 仕事を休んで看護できなかった理由	114
7. 一時預かり等の利用	115
(1) 私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業と日数	115
(2) 利用していない理由	116
(3) 今後の利用希望と利用したい日数	116
(4) 望ましい事業形態	118
(5) 保護者の用事により泊りがけで家族以外に預けたことの有無、対処方法、宿泊日数	119
8. 放課後の過ごし方	121
(1) 放課後を過ごしている場所と日数	121
(2) 放課後の過ごし方の希望	123
(3) 小学校の長期休暇中の過ごし方の希望	128
(4) 放課後子ども教室の利用希望	133
9. 学童クラブの利用	134
(1) 学童クラブを利用している理由	134
(2) 学童クラブ利用者の日曜日・祝日の利用希望	135
(3) 利用していない（していなかった）理由	136
(4) 今後利用したい理由	137
(5) 日曜日・祝日の利用希望と利用したい時間帯	138
10. 子育て全般	139
(1) 「仕事時間」と「家事（育児）の時間」、「プライベートの時間」のバランス	139
(2) 地域における子育ての環境や支援への満足度	140
(3) 子育てサークル等の参加の有無	140

(4) 子育てに関する悩み	141
(5) 児童虐待の関心度	142
(6) 児童虐待と感じる状況	142
(7) 児童虐待を相談・通報する場所	143
(8) 児童虐待が起こる理由	144
(9) 教育・保育の環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見	145

第3章 調査票・調査票記入のてびき	147
1. 就学前児童調査票	149
2. 就学前児童調査票記入のてびき	161
3. 就学児童（小学校1年生～6年生）調査票	163

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

本調査は、子ども・子育て支援法に基づき、平成32年（2020）年度に策定する「（仮称）第二期小平市子ども・子育て支援事業計画」の基礎資料とすることを目的として、実施しました。

2. 調査の種類

調査名	調査対象
就学前児童	市内在住の就学前児童をもつ保護者 2,000 人
就学児童(小学校1年生～6年生)	市内在住の就学児童をもつ保護者 2,000 人

3. 調査方法と回収状況

調査方法：郵送調査法

調査期間：平成30年12月7日（金）～平成31年1月5日（土）

〈回収状況〉

調査名	発送数	回収数	回収率
就学前児童	2,000	1,154	57.7%
就学児童(小学校1年生～6年生)	2,000	1,131	56.6%

4. 調査項目

就学前児童

調査項目	
1. お住まいの地域	・お住まいの地域
2. お子さんと家族の状況	・お子さんの年齢、子どもの数、末子の年齢 ・回答者、回答者の配偶関係 ・子育て(教育を含む)を主に行っている人
3. お子さんの育ちを取りまく環境	・子育て(教育を含む)に日常的に関わっている人 ・子育て(教育を含む)に大きく影響すると思われる環境 ・お子さんをみてもらえる親族・知人の有無 ・祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況 ・友人・知人にお子さんをみてもらっている状況 ・子育て(教育を含む)をする上で気軽に相談できる人(施設)の有無、相談先 ・子育て(教育を含む)をする上で周囲に望むサポート
4. 保護者の就労状況	・保護者の就労状況 ・就労日数、就労時間、家を出る時刻、帰宅時刻 ・フルタイムへの転換希望、就労希望 ・就労の準備に必要な支援
5. 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況と利用希望	・定期的な教育・保育の事業の利用の有無、定期的に利用している事業、利用日数、利用時間 ・利用している教育・保育の事業の実施場所 ・定期的に教育・保育の事業を利用している理由、利用していない理由 ・定期的に利用したい教育・保育の事業、利用したい実施場所 ・幼稚園の強い利用希望の有無

第1章 調査の概要

<p>6. 地域子育て支援拠点事業の利用状況と利用希望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援拠点事業の利用状況、今後の利用希望と利用したい回数 ・利用しない理由 ・各種支援事業の認知状況、利用状況、利用希望
<p>7. 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育の事業の利用状況と利用希望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日と日曜日・祝日の利用状況と利用時間帯 ・利用している事業、事業の実施場所 ・土曜日と日曜日・祝日の利用希望と利用したい時間帯、たまに利用したい理由 ・幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育の事業の利用状況、利用している教育・保育の事業 ・幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育の事業の利用希望と利用したい時間帯、たまに利用したい理由
<p>8. お子さんが病気の際の対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この1年間に病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無、対処方法と日数 ・父母が休んで対処した場合の「病児・病後児保育施設等」の利用希望と利用したい日数、望ましい事業形態 ・利用したいと思わない理由 ・父母が仕事を休んで看護したいと思ったかどうかと看護したい日数 ・仕事を休んで看護できなかった理由
<p>9. 不定期の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業と日数、利用していない理由 ・今後の利用希望と利用したい日数、望ましい事業形態 ・保護者の用事により泊りがけで家族以外に預けたことの有無、対処方法、宿泊日数
<p>10. 小学校就学後の放課後の過ごし方【調査対象が4歳以上】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校低学年(1～3年生)の間、放課後を過ごさせたい場所と日数 ・小学校高学年(4～6年生)の間、放課後を過ごさせたい場所と日数 ・学童クラブの日曜日・祝日の利用希望と利用したい時間帯 ・小学校の長期休暇中の過ごし方の希望
<p>11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休業取得の有無と取得しなかった理由 ・育児休業取得後の職場復帰、復帰のタイミング、実際の取得期間と希望、3歳まで取得できる休暇制度があった場合の取得希望 ・希望の時期に職場復帰しなかった理由 ・短時間勤務制度利用の有無、利用しなかった理由 ・1歳になった時に必ず利用できる教育・保育の事業がある場合の1歳までの育児休業取得希望 ・3歳までの育児休業制度がある場合の3歳までの育児休業取得希望 ・仕事を続けるために希望する職場の環境
<p>12. 子育て全般</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における子育ての環境や支援への満足度 ・子育て仲間の有無、子育てイベントの参加の有無 ・子育てグループ活動の定期的参加の有無、子育てグループ活動に参加したい状況 ・子育てに関する悩み ・児童虐待の関心度、児童虐待と感じる状況、児童虐待を相談・通報する場所、児童虐待が起こる理由 ・教育・保育の環境の充実など子育ての環境や支援についての意見

就学児童（小学校1年生～6年生）

調査項目	
1. お住まいの地域	・ お住まいの地域
2. お子さんと家族の状況	・ お子さんの学年、子どもの数、末子の年齢 ・ 回答者、回答者の配偶関係 ・ 子育て(教育を含む)を主に行っている人
3. お子さんの育ちを取りまく環境	・ 子育て(教育を含む)に大きく影響すると思われる環境 ・ お子さんをみてもらえる親族・知人の有無 ・ 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況 ・ 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況 ・ 子育て(教育を含む)をする上で気軽に相談できる人(施設)の有無、相談先 ・ 子育て(教育を含む)をする上で周囲に望むサポート
4. 保護者の就労状況	・ 保護者の就労状況 ・ 就労日数、就労時間、家を出る時刻、帰宅時刻 ・ フルタイムへの転換希望、就労希望 ・ 就労の準備に必要な支援
5. 地域の子育て支援事業の利用状況と利用希望	・ 子ども広場や児童館の利用状況、今後の利用希望と利用回数 ・ 子育て支援事業・子どもの居場所についての意見 ・ 各種支援事業の認知状況、利用状況、利用希望
6. お子さんが病気の際の対応	・ この1年間に病気やケガで学校を休まなければならなかったことの有無、対処方法と日数 ・ 父母が休んで対処した場合の「施設等」の利用希望と利用したい日数 ・ 父母が仕事を休んで看護したいと思ったかどうかと看護したい日数 ・ 仕事を休んで看護できなかった理由
7. 一時預かり等の利用	・ 私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業と日数、利用していない理由 ・ 今後の利用希望と利用したい日数、望ましい事業形態 ・ 保護者の用事により泊りがけで家族以外に預けたことの有無、対処方法、宿泊日数
8. 放課後の過ごし方	・ 放課後を過ごしている場所と日数、放課後の過ごし方の希望 ・ 小学校の長期休暇中の過ごし方の希望 ・ 放課後子ども教室の利用希望
9. 学童クラブの利用	・ 学童クラブを利用している理由 ・ 学童クラブ利用者の日曜日・祝日の利用希望 ・ 利用していない(いなかった)理由、今後利用したい理由 ・ 日曜日・祝日の利用希望と利用したい時間帯
10. 子育て全般	・ 「仕事時間」と「家事(育児)の時間」、「プライベートの時間」のバランス ・ 地域における子育ての環境や支援への満足度 ・ 子育てサークル等の参加の有無 ・ 子育てに関する悩み ・ 児童虐待の関心度、児童虐待と感じる状況、児童虐待を相談・通報する場所、児童虐待が起こる理由 ・ 教育・保育の環境の充実など子育ての環境や支援に関しての意見

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ設問）においても、四捨五入の影響で、合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい設問）においては、合計が100%を超える場合がある。
- ・クロス集計では分析軸の項目に無回答があるため、全体のnと合計があわない場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が20未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、またクロス集計の結果を出していない場合がある。
- ・就学前児童の調査結果における子どもの年齢は「学齢」で換算し、対象児童の生年月から以下のよう
に区分している。

年齢（学齢）表記	調査時実年齢	生年月
平成30年4月以降生まれ	0歳	平成30年4月～平成30年11月
0歳	0－1歳	平成29年4月～平成30年3月
1歳	1－2歳	平成28年4月～平成29年3月
2歳	2－3歳	平成27年4月～平成28年3月
3歳	3－4歳	平成26年4月～平成27年3月
4歳	4－5歳	平成25年4月～平成26年3月
5歳	5－6歳	平成24年4月～平成25年3月

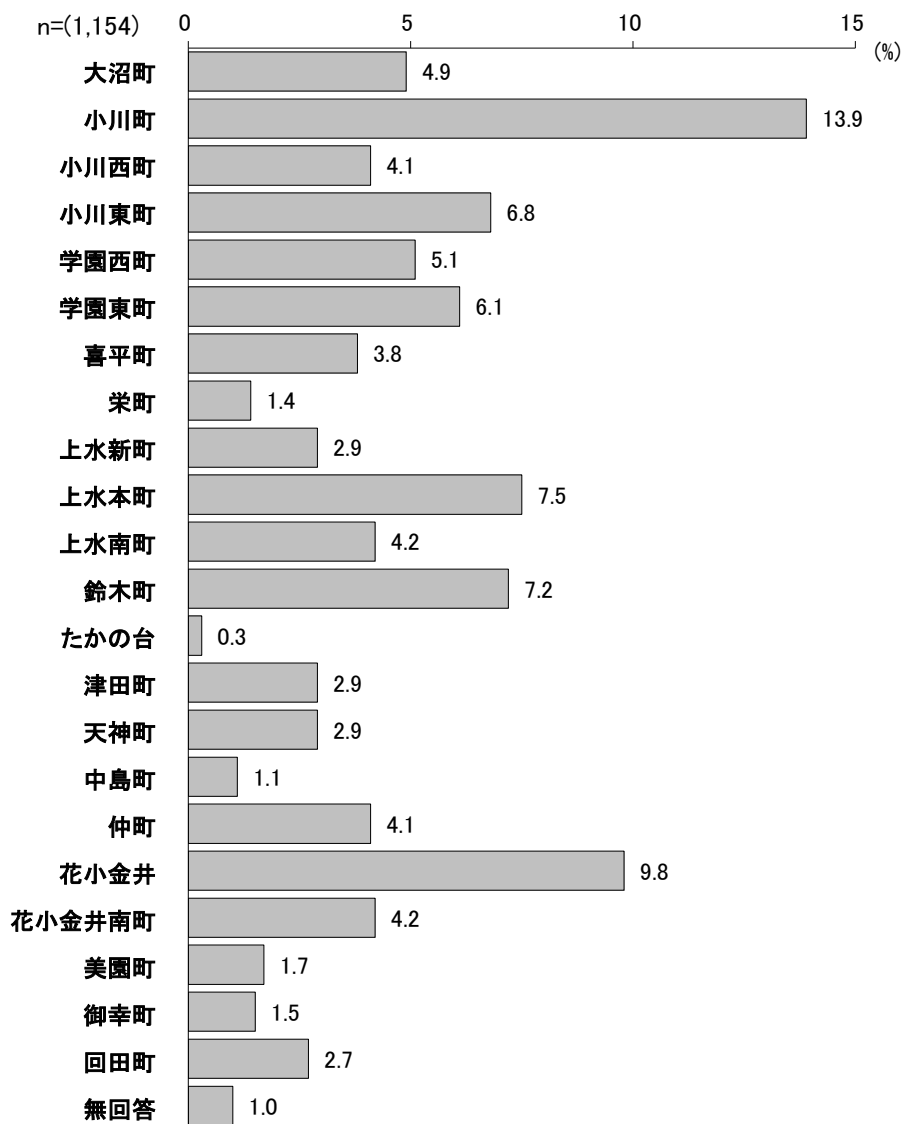
第2章 調査結果の詳細

就学前児童

1. お住まいの地域

（1）お住まいの地域

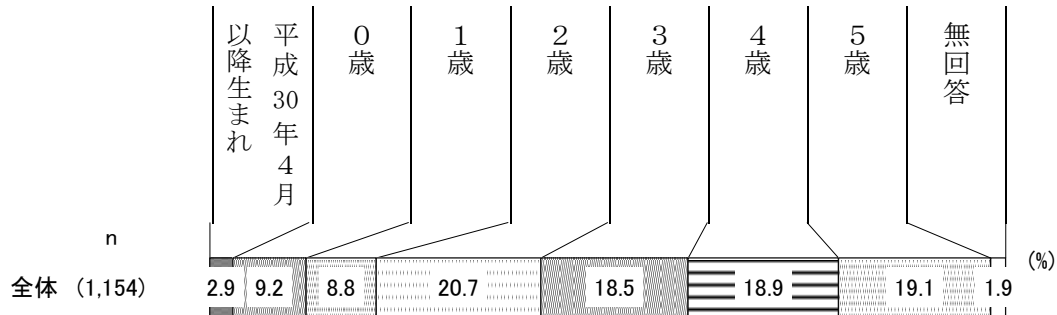
問1 お住まいの地域の番号1つに○をつけ、___丁目に数字でご記入ください。



2. お子さんと家族の状況

（1）お子さんの年齢

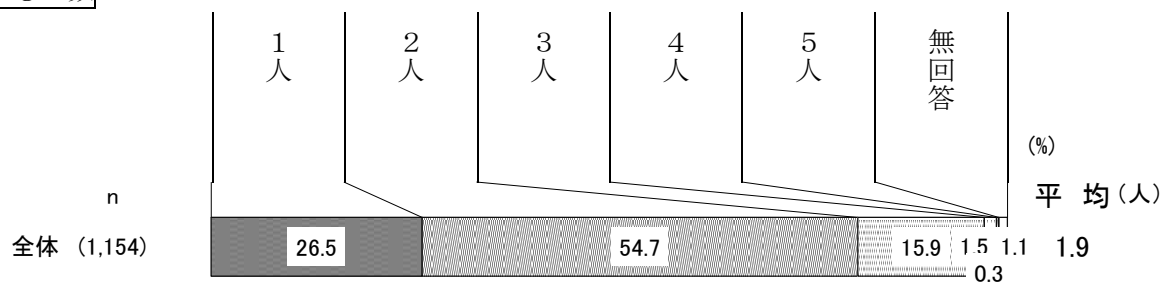
問2 あて名のお子さんの生まれた年と月をご記入ください。



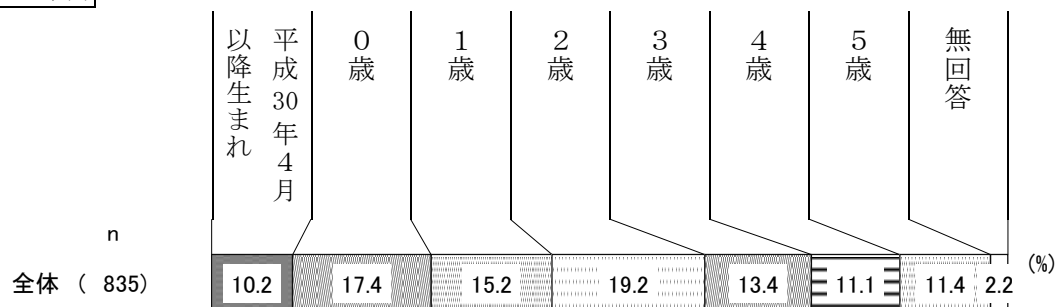
（2）子どもの数、末子の年齢

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生まれた年と月をご記入ください。

子どもの数

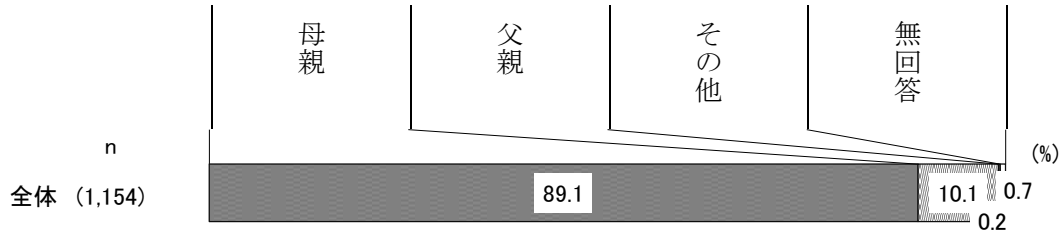


末子の年齢



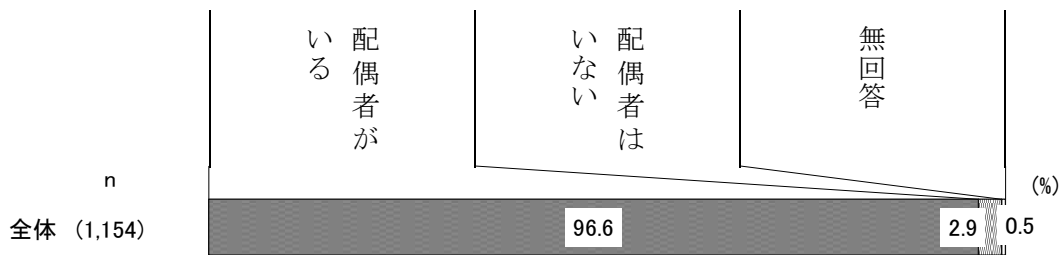
（3）回答者

問4 この調査票をご回答いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



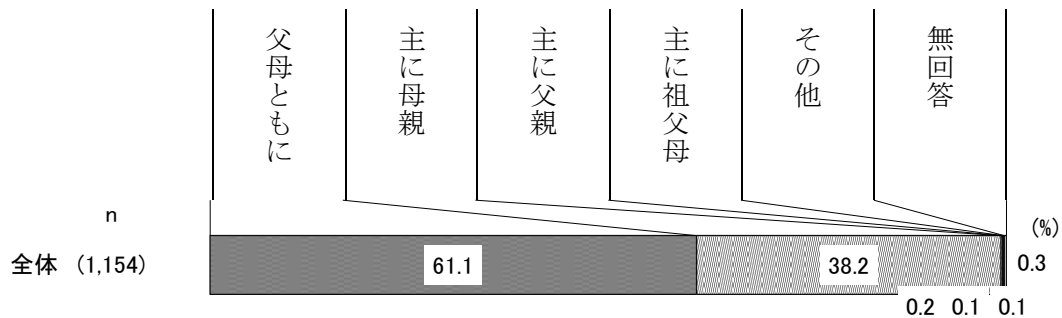
（4）回答者の配偶関係

問5 この調査票をご回答いただいている方の配偶関係について、当てはまる番号1つに○をつけてください。



（5）子育て（教育を含む）を主に行っている人

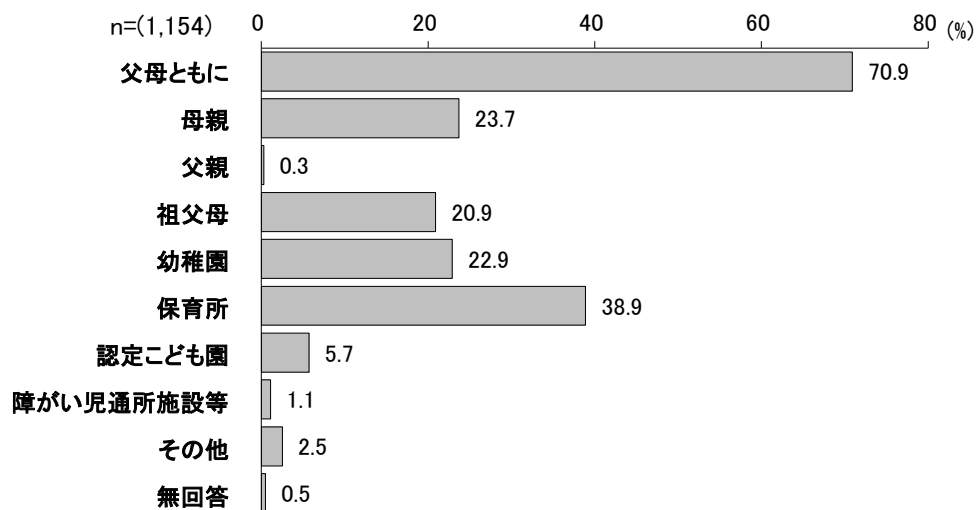
問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。



3. お子さんの育ちを取りまく環境

（1）子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人

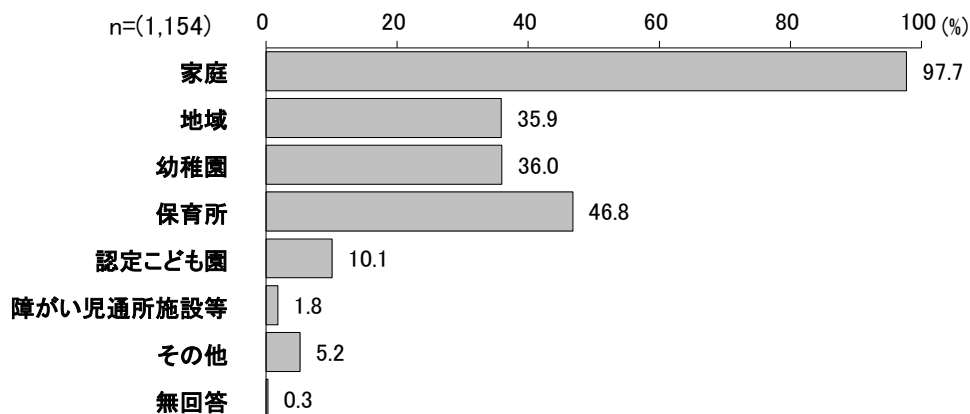
問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】



子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人は、「父母ともに」が70.9%で高く、これに「保育所」が38.9%、「母親」が23.7%、「幼稚園」が22.9%、「祖父母」が20.9%が続いている。

（2）子育て（教育を含む）に大きく影響すると思われる環境

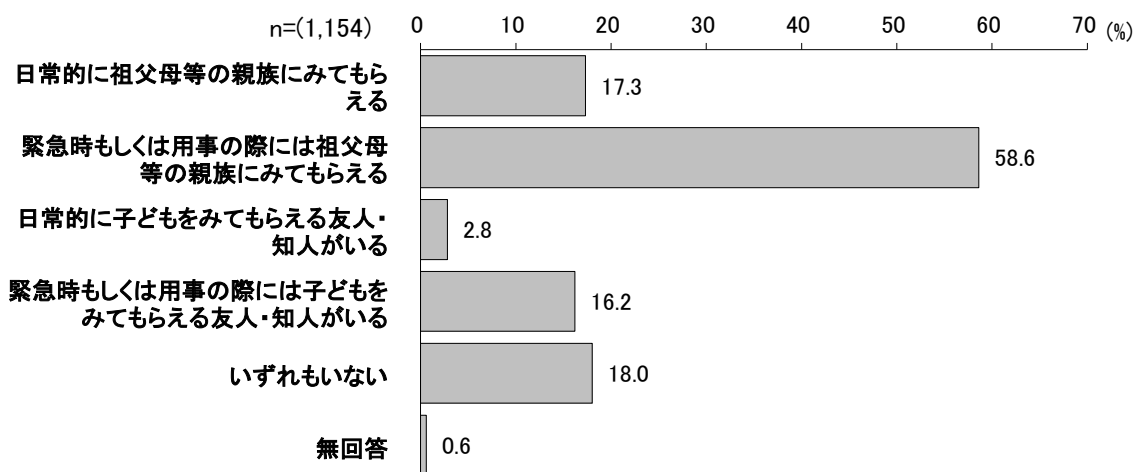
問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、大きく影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。【複数回答】



子育て（教育を含む）に大きく影響すると思われる環境は、「家庭」が97.7%と高く、これに、「保育所」が46.8%、「幼稚園」が36.0%、「地域」が35.9%の順となっている。

（3）お子さんをみてもらえる親族・知人の有無

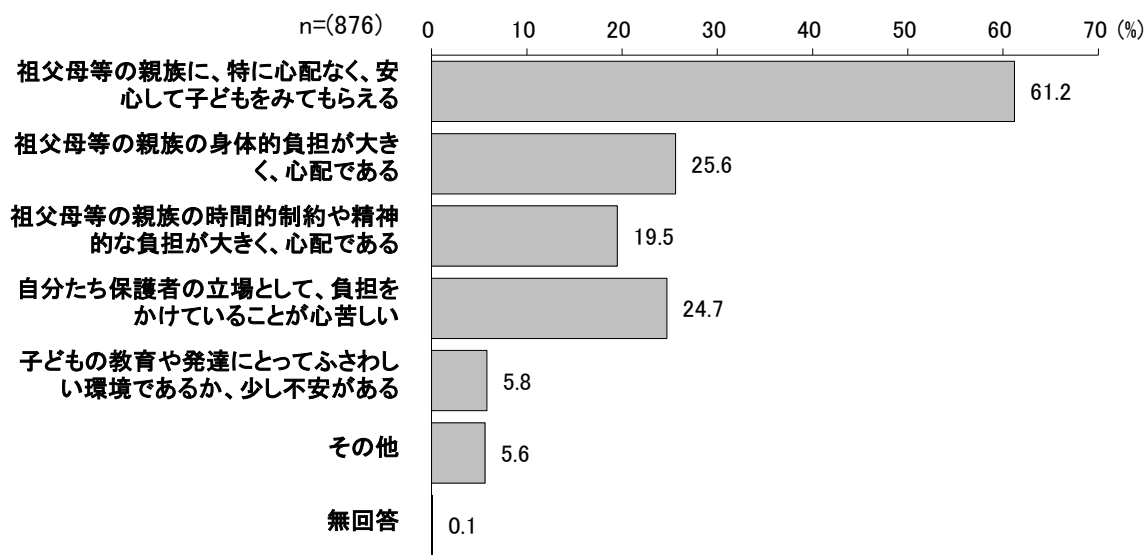
問9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】



お子さんをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が58.6%と高く、これに「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(17.3%)、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」(16.2%)が続く。一方で、「いずれもない」は18.0%となっている。

（4）祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況

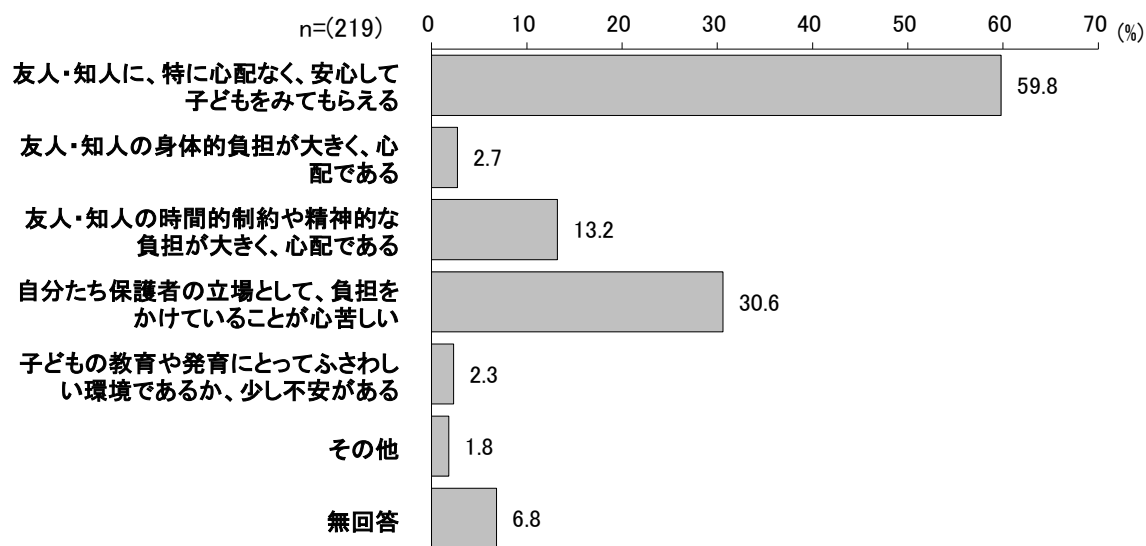
問10 問9で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方におたずねします。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】



祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況は、「祖父母等の親族に、特に心配なく、安心して子どもをみてもらえる」が61.2%と高いが、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である」が25.6%、「自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が24.7%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である」が19.5%となっている。

(5) 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況

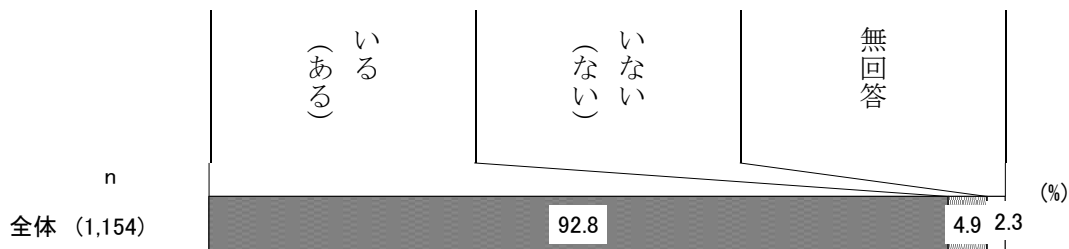
問11 問9で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方におたずねします。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】



友人・知人にお子さんをみてもらっている状況は、「友人・知人に、特に心配なく、安心して子どもをみてもらえる」が59.8%と高いが、「自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」との意識も30.6%となっている。

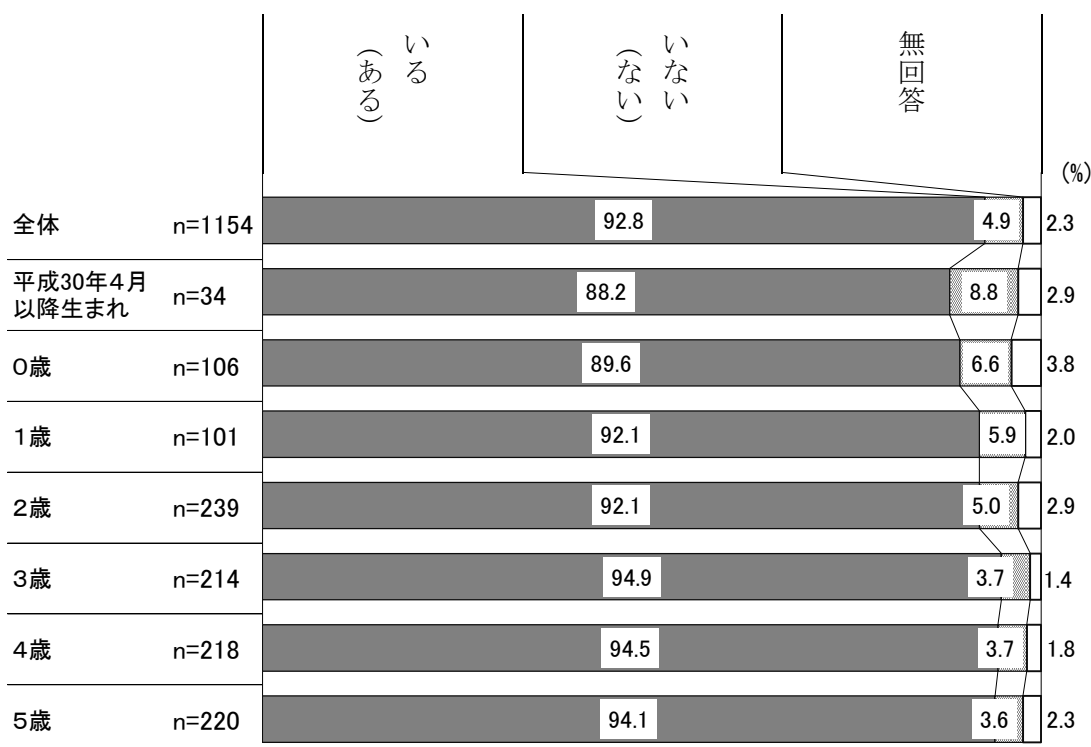
（6）子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人（施設）の有無

問12 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人（施設）の有無は、「いる(ある)」が92.8%、「いない(ない)」が4.9%となっている。

子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人（施設）の有無【年齢別】

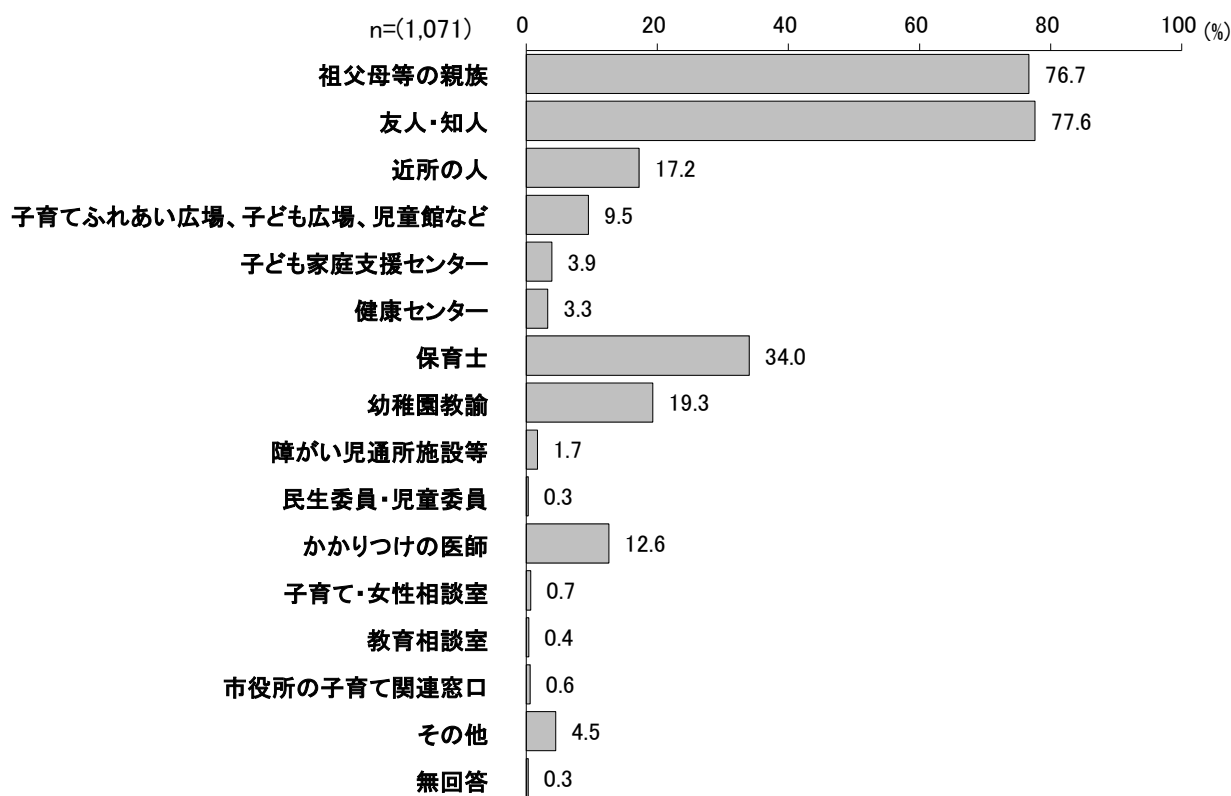


※ 全体数と年齢別の合計が一致しないのは、年齢の無回答の方がいるため。

年齢別にみると、いずれの年齢も「いる(ある)」が90%程度となっている。平成30年4月以降生まれ及び0歳では、「いない(ない)」が3歳以上に比べて3～5ポイント高くなっている。

(7) 子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる相談先

問13 問12であて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人（場所）は「1. いる（ある）」に○をつけた方におたずねします。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】



子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる相談先は、「友人・知人」（77.6%）と「祖父母等の親族」（76.7%）が高く、これらに「保育士」が34.0%で続いている。

（8）子育て（教育を含む）をする上で周囲に望むサポート

問14 子育て（教育を含む）をする上で、周囲からどのようなサポートがあればよいとお考え
 でしょうか。ご自由にお書きください。

子育て（教育を含む）をする上で周囲に望むサポートとして、451人から延べ522件の回答が寄せられた。なお、1人で2つ以上の内容を記入している場合もあるため、件数は延べ件数となる。

教育・保育サービスについて	241
一時預かりの充実・利便性の向上	146
病児・病後児保育の充実・利便性の向上	32
保育所の充実、保育環境の充実	28
訪問型・自宅で子どもの面倒をみるサービス（ベビーシッターなど）	14
延長保育・休日保育の充実・利便性の向上	11
幼稚園・こども園の充実	5
障がい児の教育・保育環境の充実	3
待機児童の解消・保育所への入園のしやすさ	2
交流・遊び場について	63
保護者同士や子どもの交流の機会・場の提供	20
児童館・図書館等施設の充実	13
ふれあい広場・地域センター・子ども広場の充実	11
安心して遊べる場の確保	8
公園・広場・施設等遊び場の充実	7
子ども家庭支援センターの充実について	4
相談窓口について	61
相談窓口の充実・気軽に相談できる体制づくり	34
話を聞いてもらえる（子育て支援施設等）・家庭訪問など	27
その他支援	157
地域や社会の支援・見守り、NPOの活動	35
家事・育児・送迎等のサポート	30
情報提供の充実	19
経済的支援	18
職場の理解・子育て支援の充実	13
医療機関の充実・医療費・予防接種費用の補助	5
交通手段の充実	5
未就学児のためのクラブ・講座・イベントの充実	5
学童クラブの充実について	4
多子世帯への支援	2
その他	21

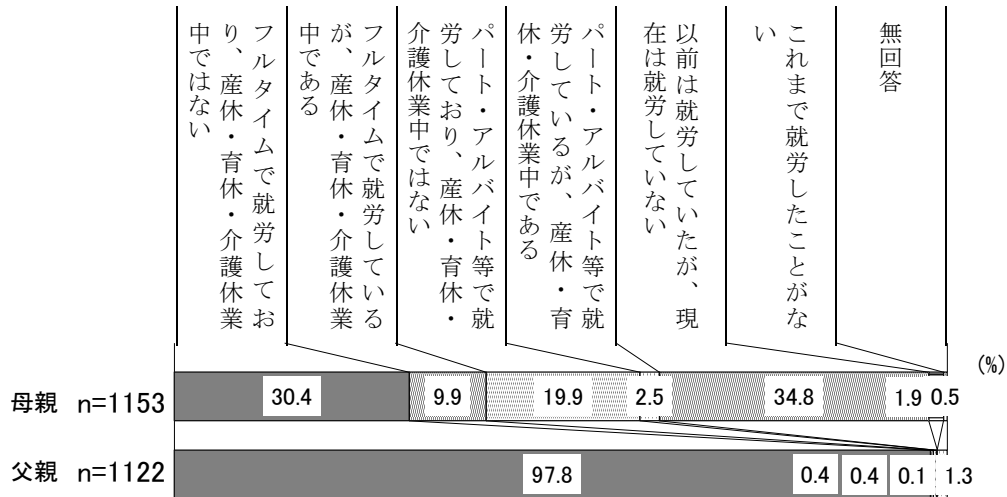
4. 保護者の就労状況

（1）保護者の就労状況

問15 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおたずねします。

（1）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

（2）父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。



母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が34.8%で高く、これに「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(30.4%)、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(19.9%)が続いている。

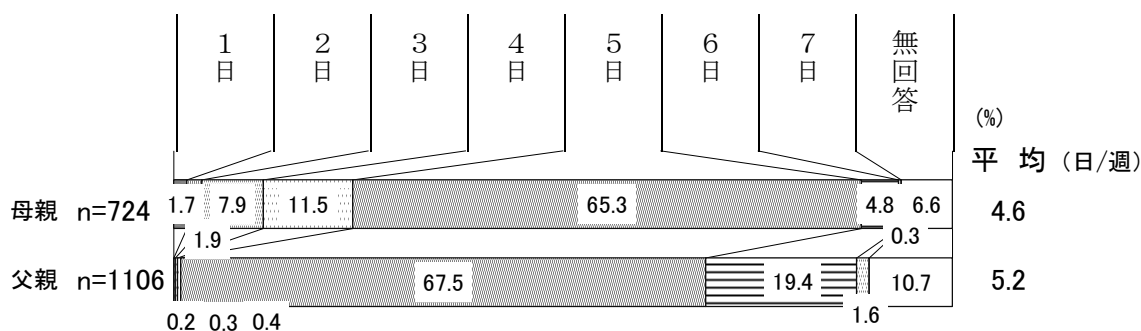
父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が97.8%となっている。

（2）就労日数、就労時間

問16 問15の（1）（2）で「1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（就労している）に○をつけた方におたずねします。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をご記入ください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてご記入ください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてご記入ください。

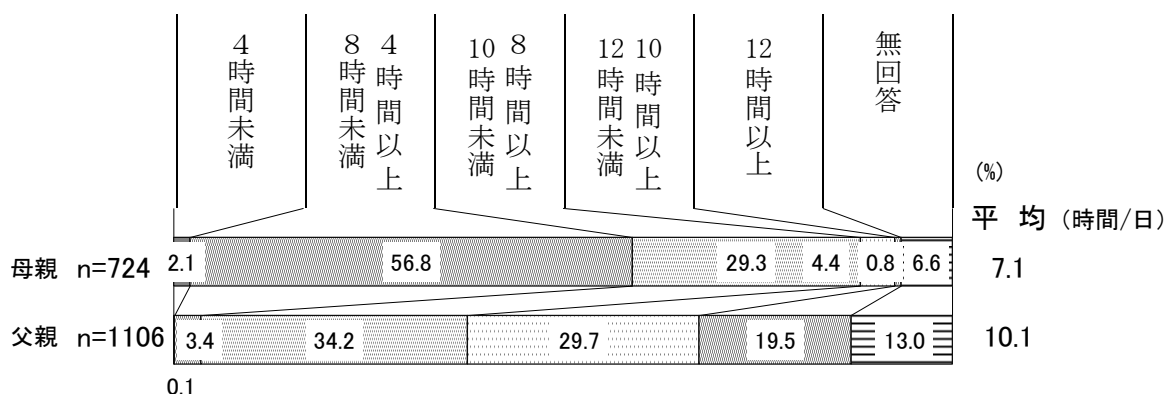
就労日数／1週当たり



母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が65.3%、「4日」が11.5%で、平均4.6日/週となっている。

父親の1週当たりの就労日数は、「5日」が67.5%、「6日」が19.4%で、平均5.2日/週となっている。

就労時間／1日当たり



母親の1日当たりの就労時間は、「4時間以上8時間未満」が56.8%、「8時間以上10時間未満」が29.3%で、平均7.1時間/日となっている。

父親の1日当たりの就労時間は、「8時間以上10時間未満」が34.2%、「10時間以上12時間未満」が29.7%、「12時間以上」が19.5%で、平均10.1時間/日となっている。

（3）家を出る時刻、帰宅時刻

問17 問15の（1）（2）で「1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（就労している）に○をつけた方におたずねします。

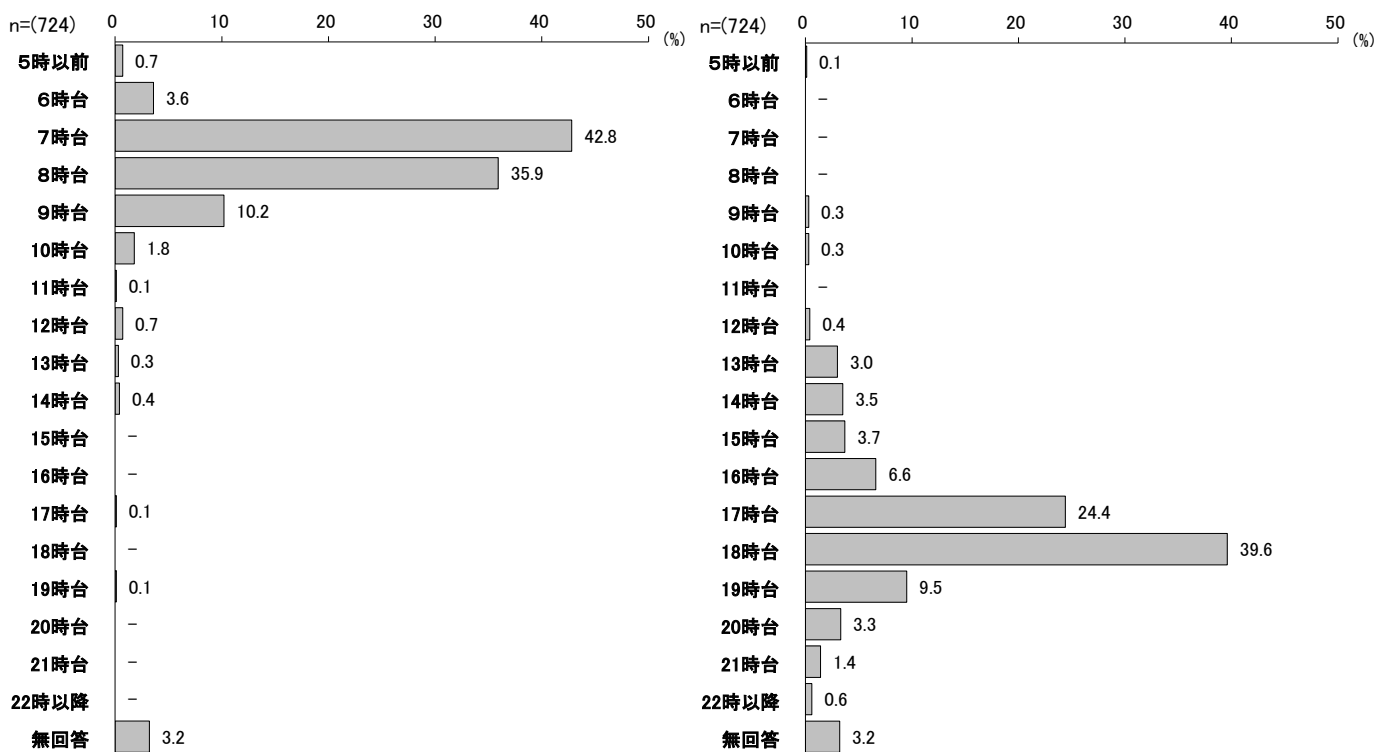
家を出る時刻と帰宅時刻をご記入ください。時刻が一定でない場合は、最も多いパターンについてご記入ください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてご記入ください。

母親

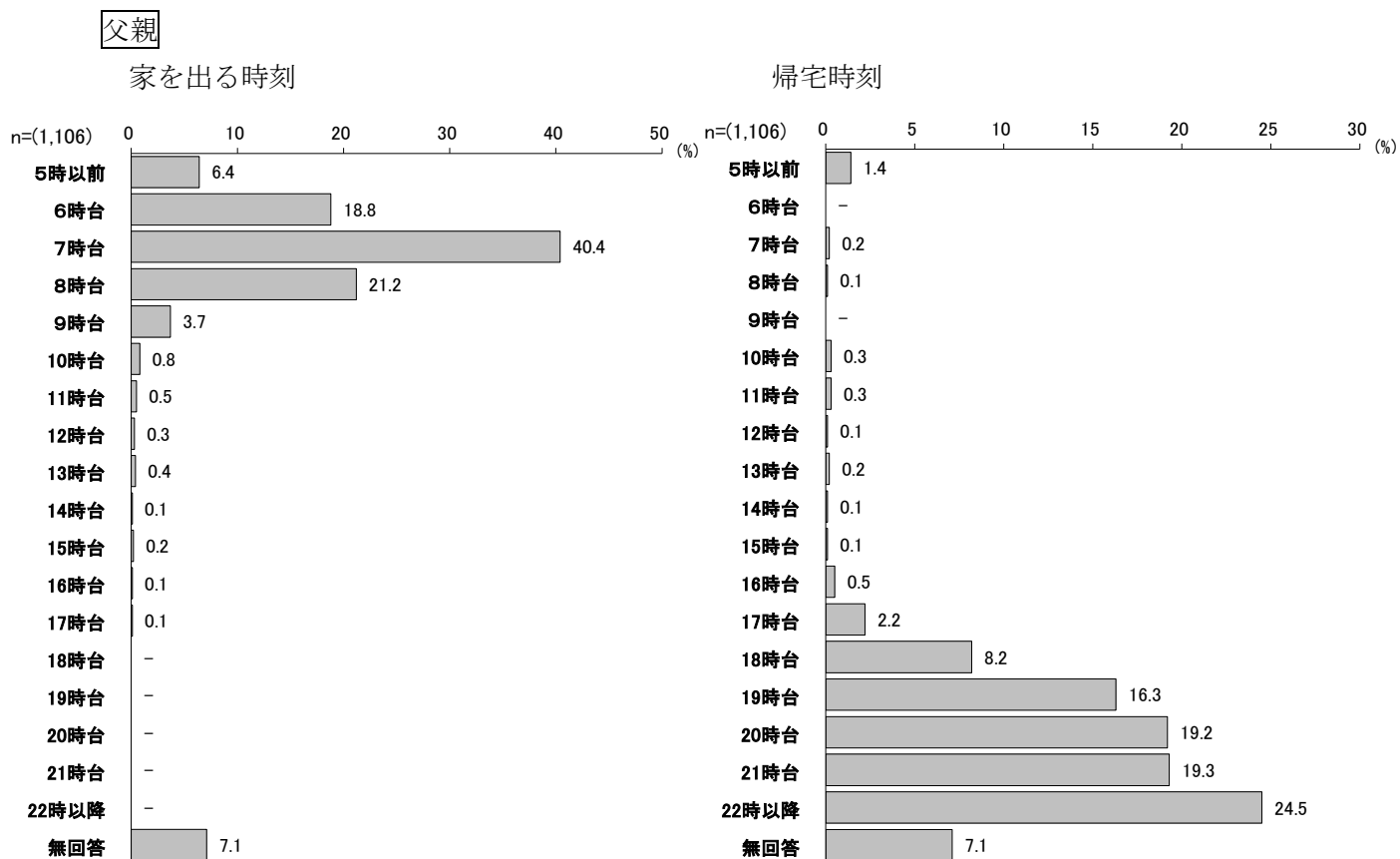
家を出る時刻

帰宅時刻



母親が家を出る時刻は、「7時台」が42.8%、「8時台」が35.9%と高くなっている。帰宅時刻は、「18時台」が39.6%、「17時台」が24.4%と高くなっている。

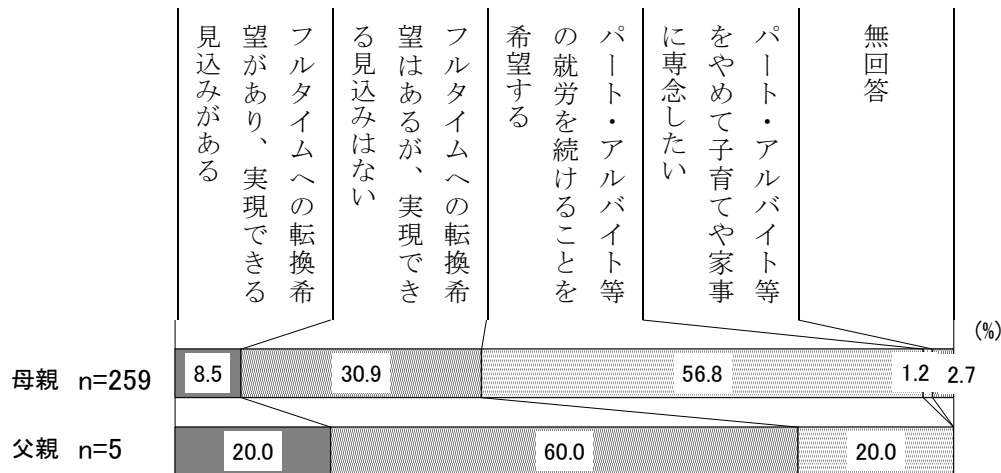
第2章 調査結果の詳細（就学前児童）



父親が家を出る時刻は、「7時台」が40.4%、「8時台」が21.2%、「6時台」が18.8%と高くなっている。帰宅時刻は、「22時以降」が24.5%、「21時台」が19.3%、「20時台」が19.2%、「19時台」が16.3%と高くなっている。

（4）フルタイムへの転換希望

問18 問15の（1）（2）で「3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方におたずねします。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



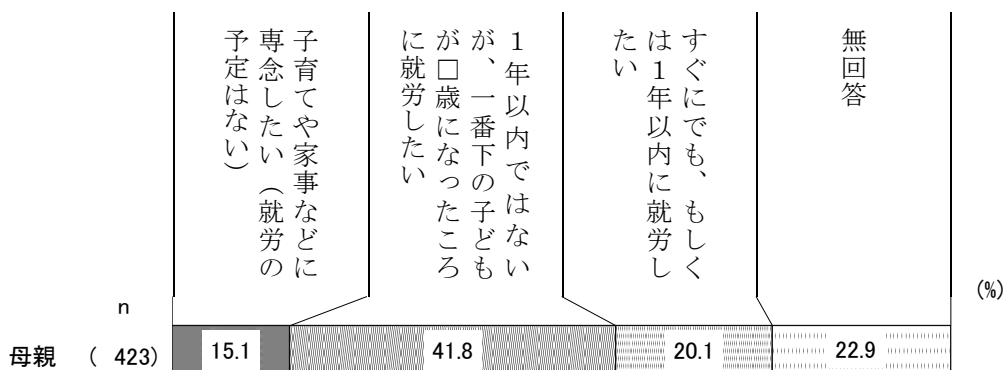
「パート・アルバイト等で就労している」人のフルタイムへの転換希望は、母親は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が56.8%で高く、これに「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が30.9%で続いている。

父親は、5人のうち、3人が「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と回答している。

（5）就労希望

問19 問15の（1）（2）で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」「6. これまで就労したことがない」（就労していない、したことがない）に○をつけた方におたずねします。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内に数字でご記入ください。

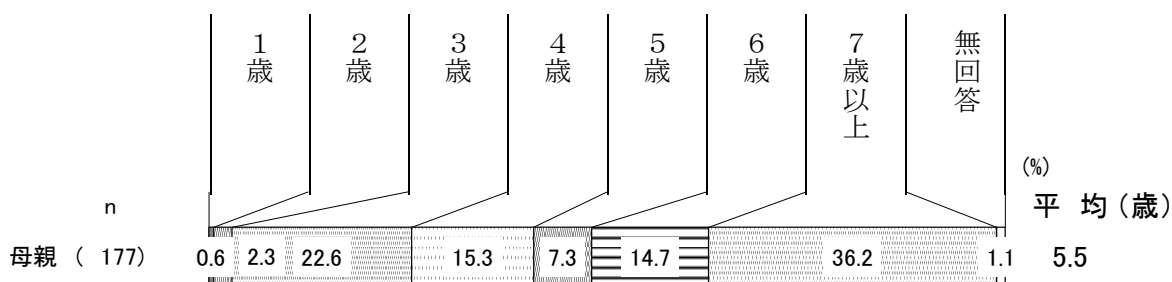
就労希望



「就労していない、したことがない」母親の就労希望は、「1年以内ではないが、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」が41.8%と高くなっている。

※父親は該当者1人で、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答している。

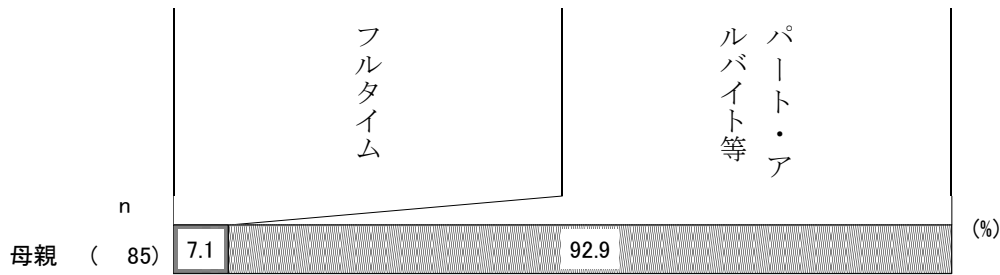
就労を希望する時期（就労したいと思う子どもの年齢）



「1年以内ではないが、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」という母親が就労を希望する時期は、一番下の子どもが「3歳」が22.6%、「4歳」が15.3%、「6歳」が14.7%、「7歳以上」が36.2%で、平均5.5歳となっている。

※父親は該当者がいないため、掲載していない。

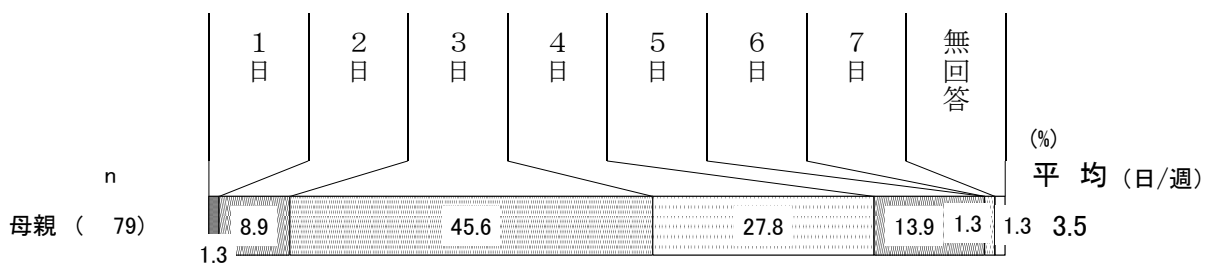
希望する就労形態



「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」という母親が希望する就労形態は、「フルタイム」が7.1%、「パート・アルバイト等」が92.9%となっている。

※父親は該当者1人で、「フルタイム」と回答している。

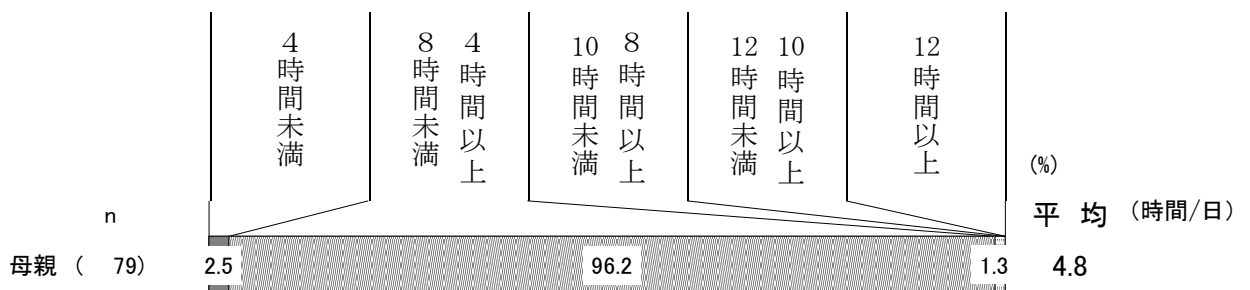
パート・アルバイト等で希望する就労日数／1週当たり



「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」という母親が希望する1週当たりの就労日数は、「3日」が45.6%、「4日」が27.8%で、平均3.5日/週となっている。

※父親は該当者がいないため、掲載していない。

パート・アルバイト等で希望する就労時間／1日当たり

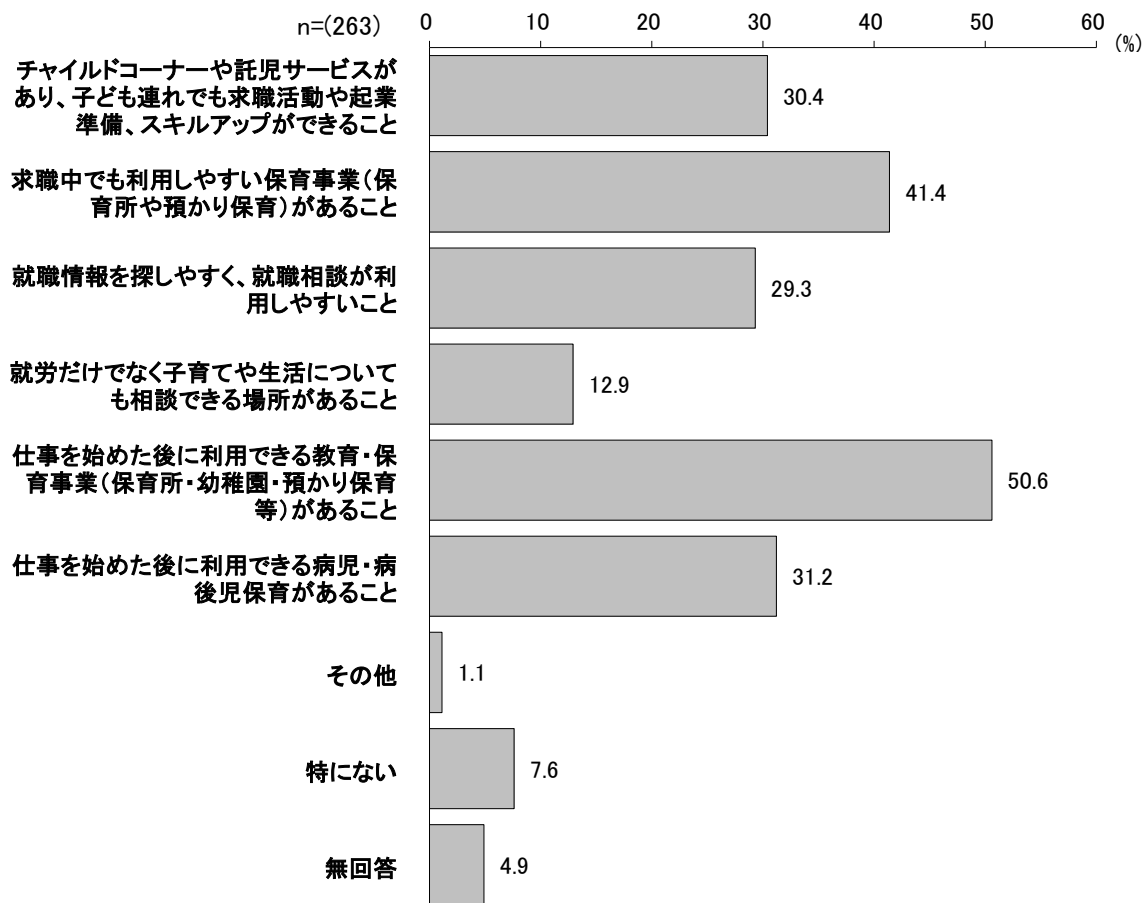


「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」という母親が希望する1日当たりの就労時間は、「4時間以上8時間未満」が96.2%と高く、平均4.8時間/日となっている。

※父親は該当者がいないため、掲載していない。

（6）就労の準備に必要な支援

問19-1 問19（1）（2）で「2. 1年以内ではないが、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（就労を希望する）に○をつけた方におたずねします。今後、就職活動や希望する就労に向けた準備の際に必要な支援はどのようなことがありますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。
【複数回答】



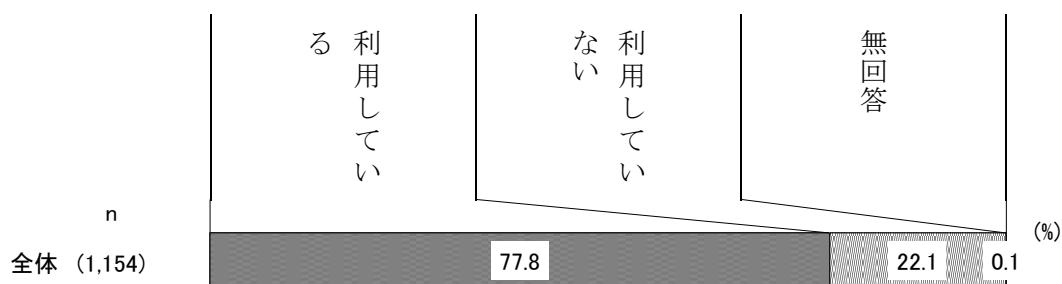
就労を希望している父母が就職活動や希望する就労に向けた準備の際に必要な支援としては、「仕事を始めた後に利用できる教育・保育事業（保育所・幼稚園・預かり保育等）があること」が50.6%で高く、これに「求職中でも利用しやすい保育事業（保育所や預かり保育）があること」（41.4%）、「仕事を始めた後に利用できる病児・病後児保育があること」（31.2%）、「チャイルドコーナーや託児サービスがあり、子ども連れでも就職活動や起業準備、スキルアップができること」（30.4%）、「就職情報を探しやすく、就職相談が利用しやすいこと」（29.3%）が続いている。

5. 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況と利用希望

（1）定期的な教育・保育の事業の利用の有無

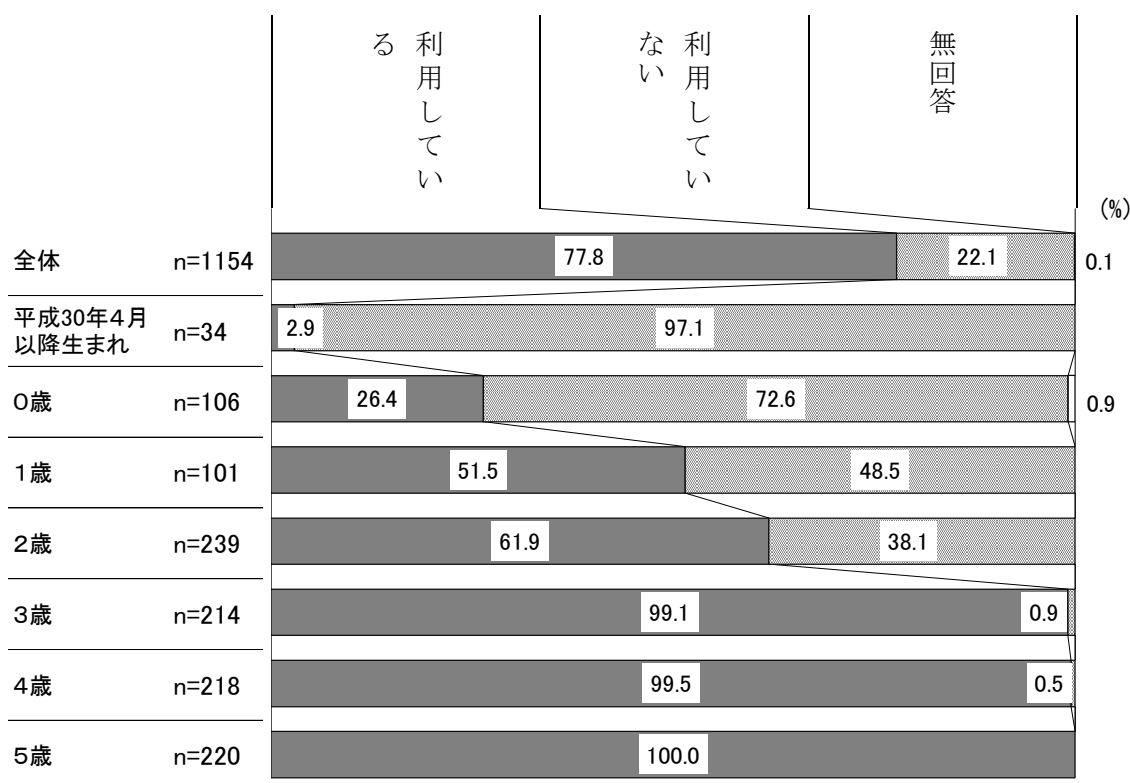
問20 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ここでいう「定期的な教育・保育の事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問21に示している事業が含まれます。



幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育の事業を「利用している」世帯は77.8%となっている。

定期的な教育・保育の事業の利用の有無【年齢別】

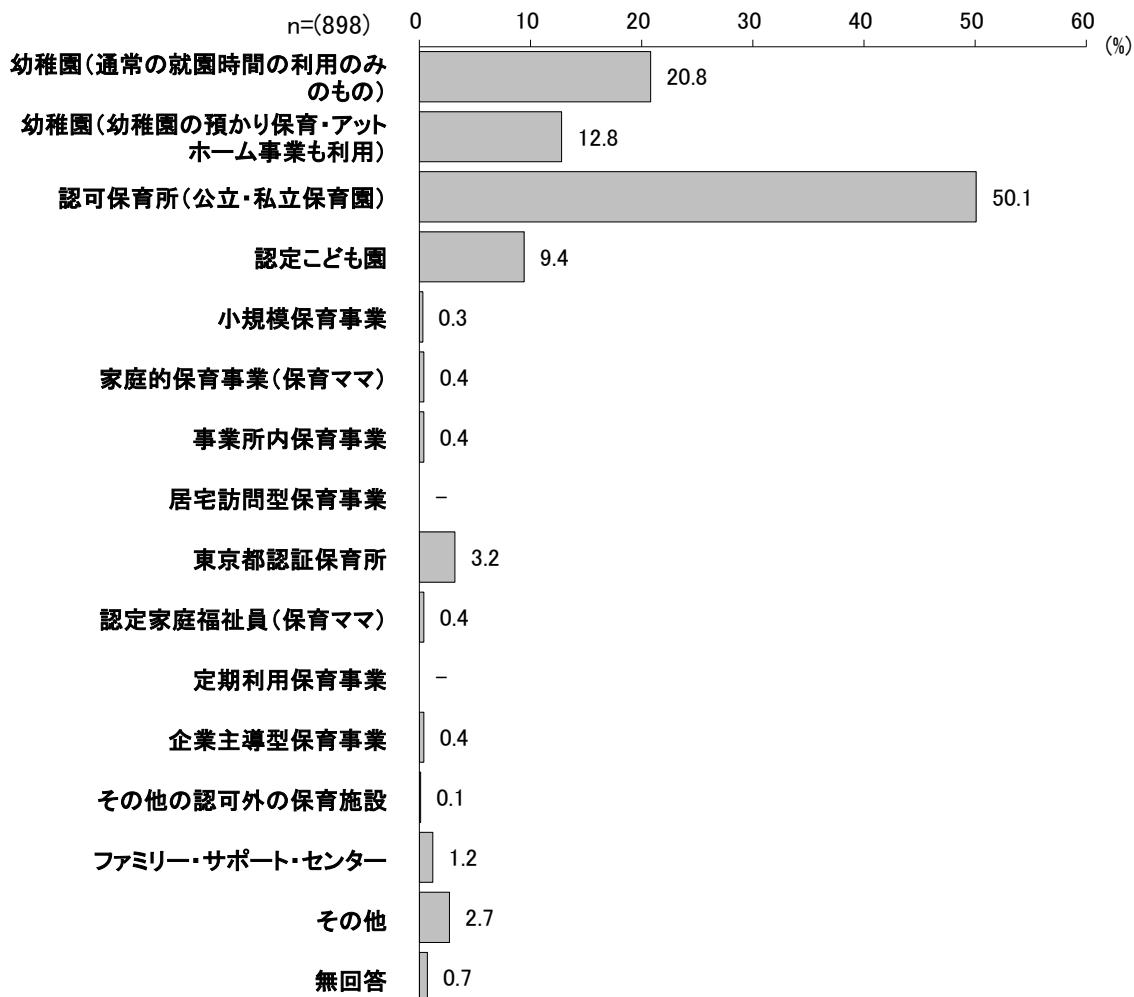


※ 全体数と年齢別の合計が一致しないのは、年齢の無回答の方がいるため。

定期的な教育・保育の事業の利用の有無を年齢別にみると、3歳以上は「利用している」がほぼ全数となっている。2歳では61.9%、1歳では51.5%、0歳では26.4%となっている。

（2）定期的に利用している事業

問21 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。
【複数回答】



定期的に利用している教育・保育の事業は、「認可保育所（公立・私立保育園）」（50.1%）が高く、これに、「幼稚園（通常の就園時間の利用のみのもの）」（20.8%）、「幼稚園（幼稚園の預かり保育・アットホーム事業も利用）」（12.8%）、「認定こども園」（9.4%）が続いている。

定期的に利用している事業【年齢別】

(%)

	n	幼稚園（通常 の就園時間の 利用のもの）	幼稚園（幼稚園 の預かり保育・ アットホーム 事業も利用）	認可保育所（公立・ 私立保育園）	認定こども園	小規模 保育事業	家庭的 保育事業（保育 ママ）	事業所 内保育事業	居宅 訪問型 保育事業	東京都 認証 保育所	認定 家庭 福祉員（保育 ママ）	定期 利用 保育 事業	企業 主導 型保 育事 業	その 他の 認可 外の 保育 施設	ファミ リー・ サポ ート・ セン ター	その 他	無回 答
全体	898	20.8	12.8	50.1	9.4	0.3	0.4	0.4	-	3.2	0.4	-	0.4	0.1	1.2	2.7	0.7
平成30年4月以降生まれ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
0歳	28	-	-	82.1	3.6	3.6	-	-	-	3.6	-	-	3.6	-	-	-	3.6
1歳	52	-	-	80.8	1.9	1.9	-	-	-	11.5	1.9	-	-	-	-	1.9	-
2歳	148	4.7	2.7	68.2	4.7	0.7	2.7	0.7	-	6.8	2.0	-	1.4	-	2.7	6.8	2.0
3歳	212	27.8	15.6	44.8	12.7	-	-	-	-	0.5	-	-	-	-	0.5	0.5	-
4歳	217	24.4	14.7	43.3	12.0	-	-	0.9	-	1.4	-	-	-	0.5	0.5	2.3	0.5
5歳	220	29.5	19.5	37.7	10.0	-	-	0.5	-	2.3	-	-	0.5	-	1.8	2.7	0.5

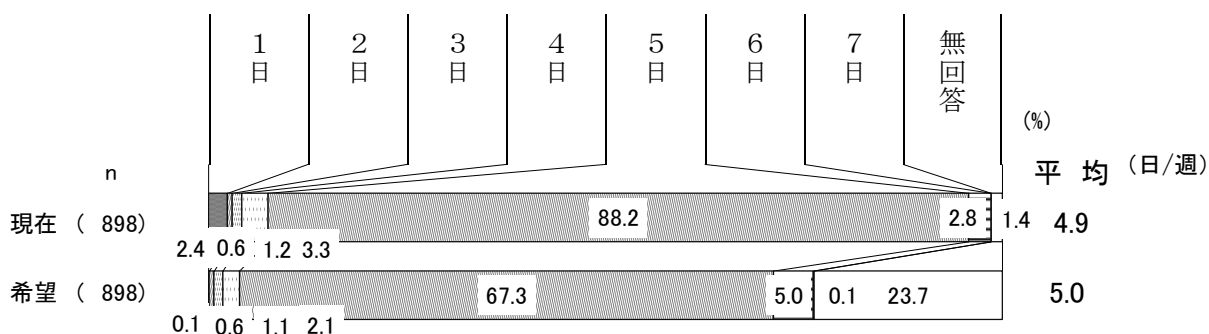
※ 全体数と年齢別の合計が一致しないのは、年齢の無回答の方がいるため。

定期的に利用している教育・保育の事業を年齢別にみると、0歳から5歳のいずれの年齢でも「認可保育所（公立・私立保育園）」が高くなっているが、年齢が上がるとともに割合は減少している。また、3歳以上は「幼稚園（通常就園時間の利用のもの）」、「幼稚園（幼稚園の預かり保育・アットホーム事業も利用）」及び「認定こども園」を加えた割合が「認可保育所（公立・私立保育園）」を上回っている。

（3）利用日数、利用時間

問22 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください。
 ※複数利用している方は、合計した時間をご記入ください。

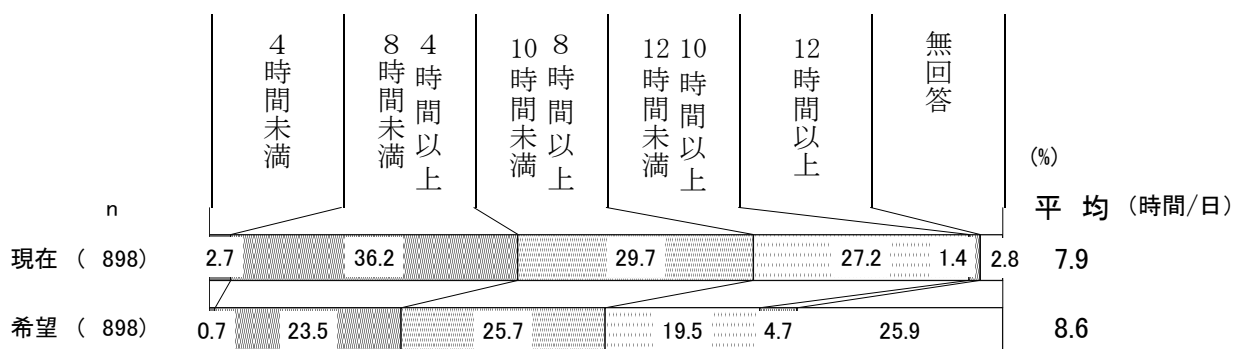
利用日数／1週当たり



平日に定期的に利用している教育・保育の事業の1週当たりの利用日数は、「5日」が88.2%を占め、平均4.9日/週となっている。

利用希望日数も「5日」が67.3%を占め、平均5.0日/週となっている。

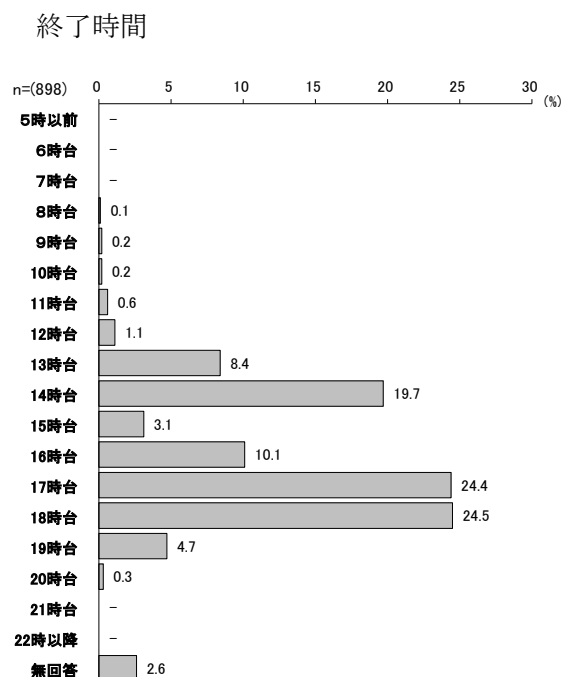
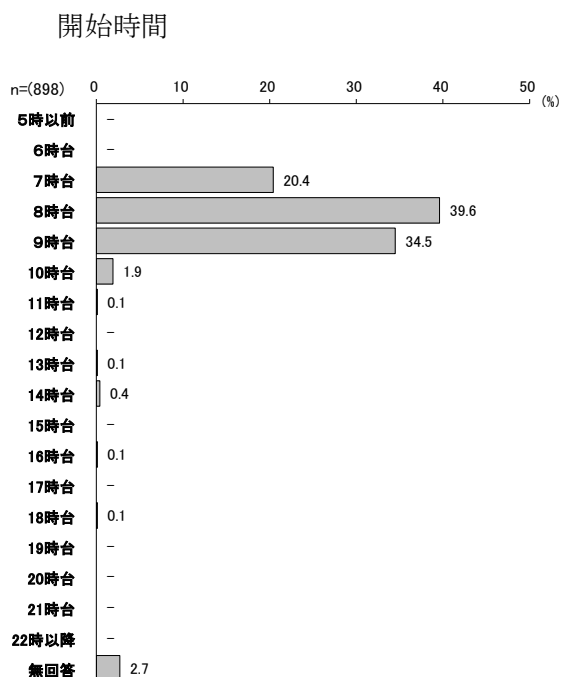
利用時間／1日当たり



平日に定期的に利用している教育・保育の事業の1日当たりの利用時間は、「4時間以上8時間未満」が36.2%、「8時間以上10時間未満」が29.7%、「10時間以上12時間未満」が27.2%で、平均7.9時間/日となっている。

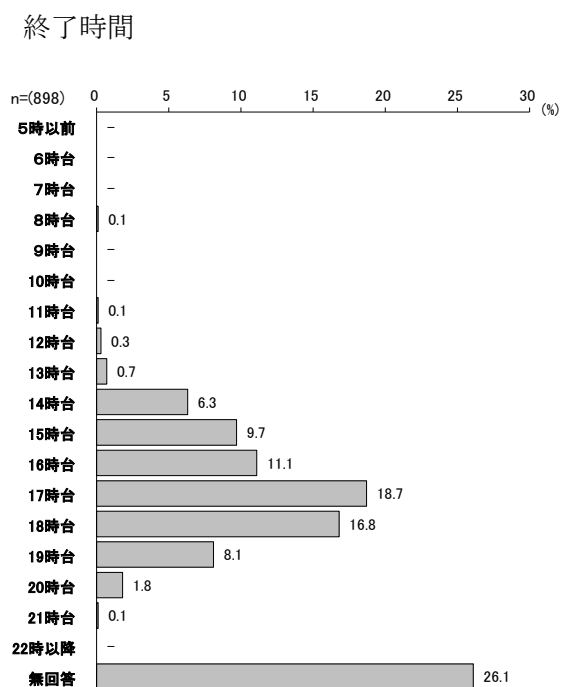
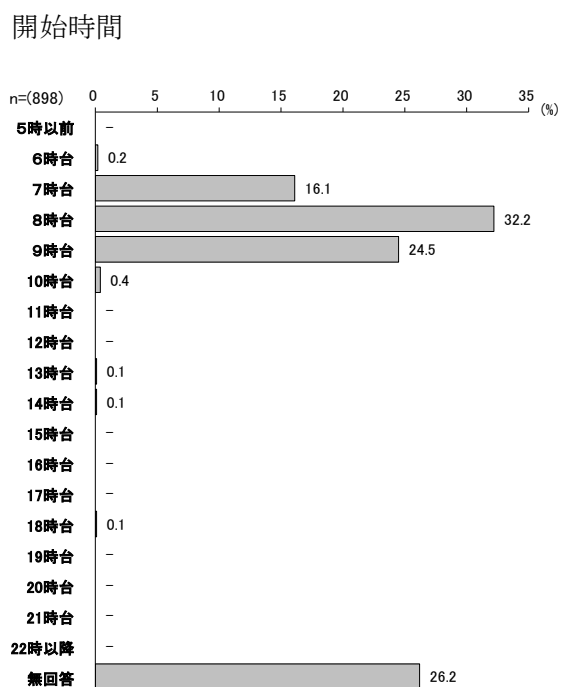
利用希望時間は、「4時間以上8時間未満」が23.5%、「8時間以上10時間未満」が25.7%、「10時間以上12時間未満」が19.5%で、平均8.6時間/日となっている。

利用している時間帯【現在】



平日に利用している教育・保育の事業の利用開始時間は「8時台」が39.6%、「9時台」が34.5%、「7時台」が20.4%と高く、終了時間は「18時台」が24.5%、「17時台」が24.4%、「14時台」が19.7%と高くなっている。

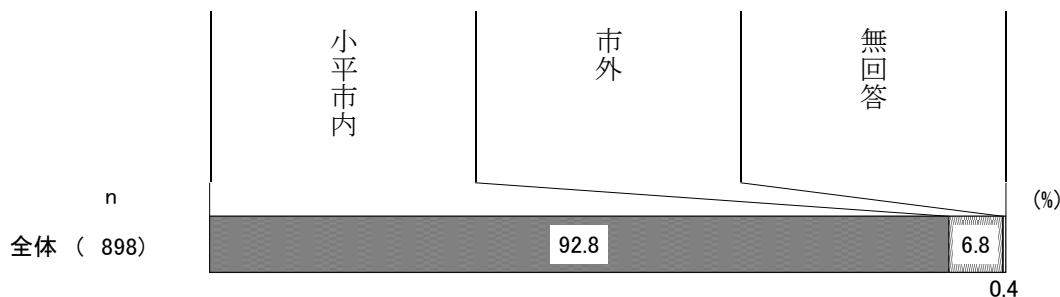
利用している時間帯【希望】



希望開始時間は「8時台」が32.2%、「9時台」が24.5%、「7時台」が16.1%と高く、終了時間は、「17時台」が18.7%、「18時台」が16.8%、「16時台」が11.1%と高くなっている。

（4）利用している教育・保育の事業の実施場所

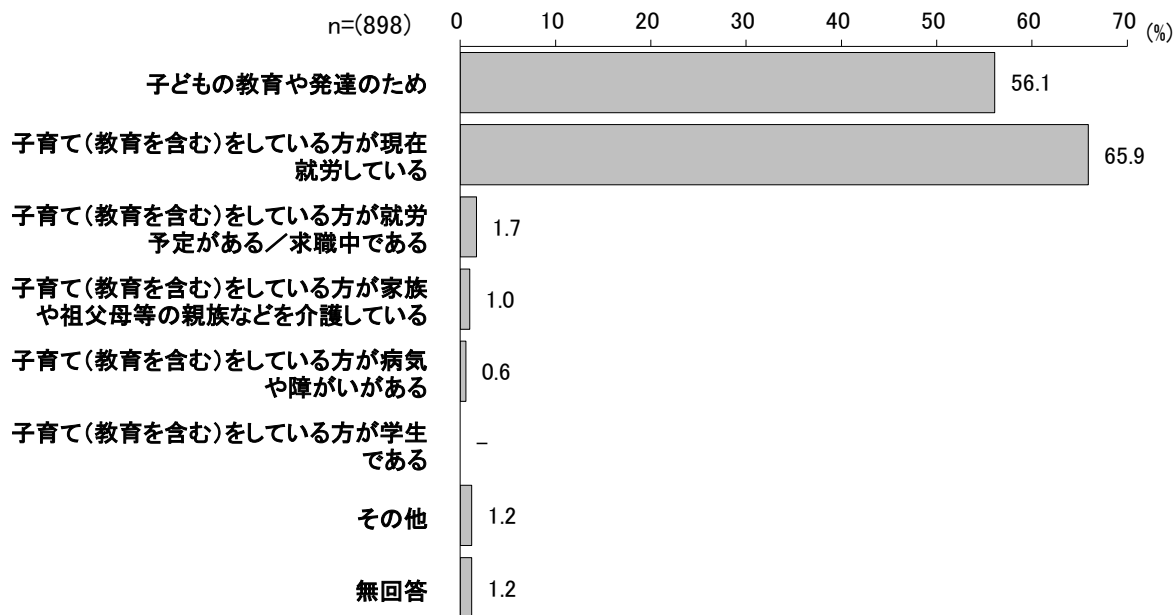
問23 現在利用している教育・保育の事業の実施場所について、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。



現在利用している教育・保育の事業の実施場所は、「小平市内」が92.8%、「市外」が6.8%となっている。

（5）定期的に教育・保育の事業を利用している理由

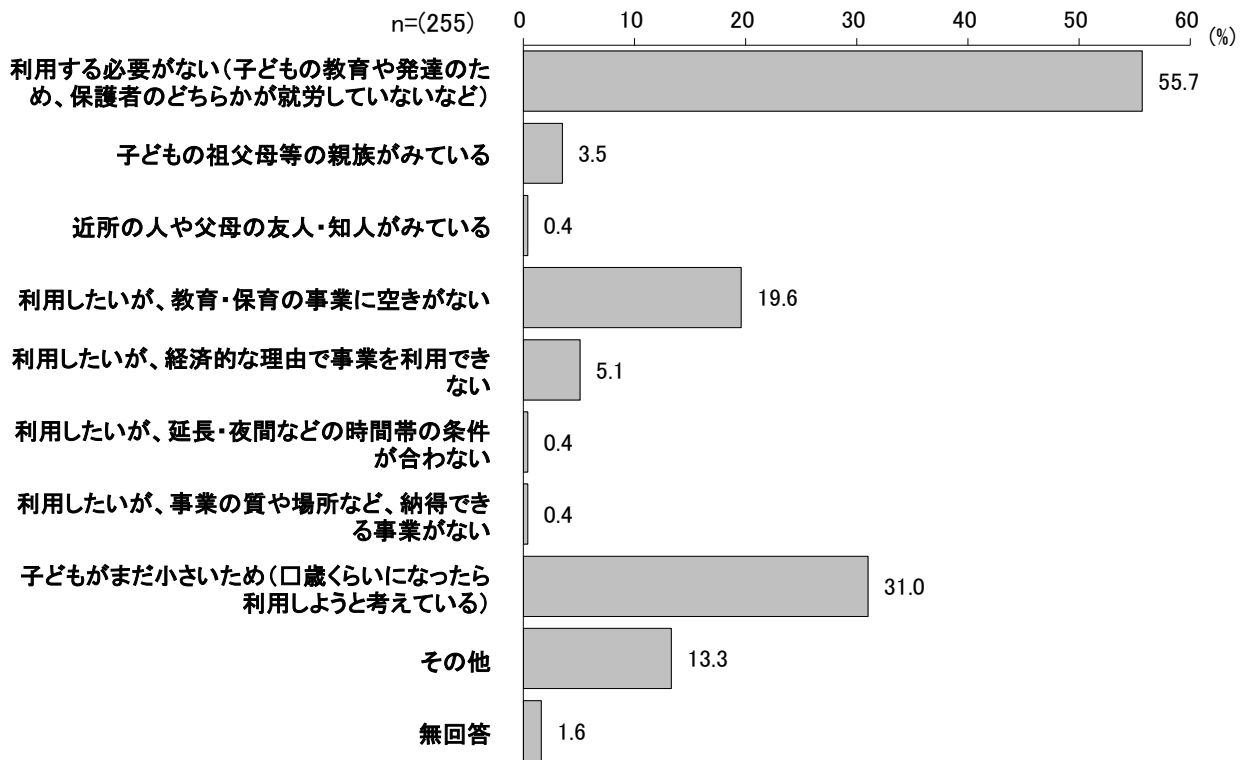
問24 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由についておたずねします。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】



平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」が65.9%で高く、これに「子どもの教育や発達のため」が56.1%で続いている。

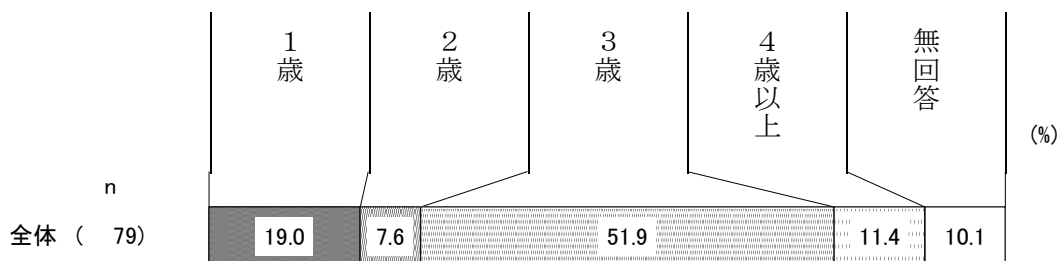
（6）定期的に教育・保育の事業を利用していない理由

問25 問20で定期的な教育・保育の事業を「2. 利用していない」に○をつけた方におたずねします。利用していない理由は何ですか。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】



定期的な教育・保育の事業を利用していない理由は、「利用する必要がない(子どもの教育や発達のため、保護者のどちらかが就労していないなど)」が55.7%と高く、これに「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」が31.0%で続く。

利用しようと考えている子どもの年齢

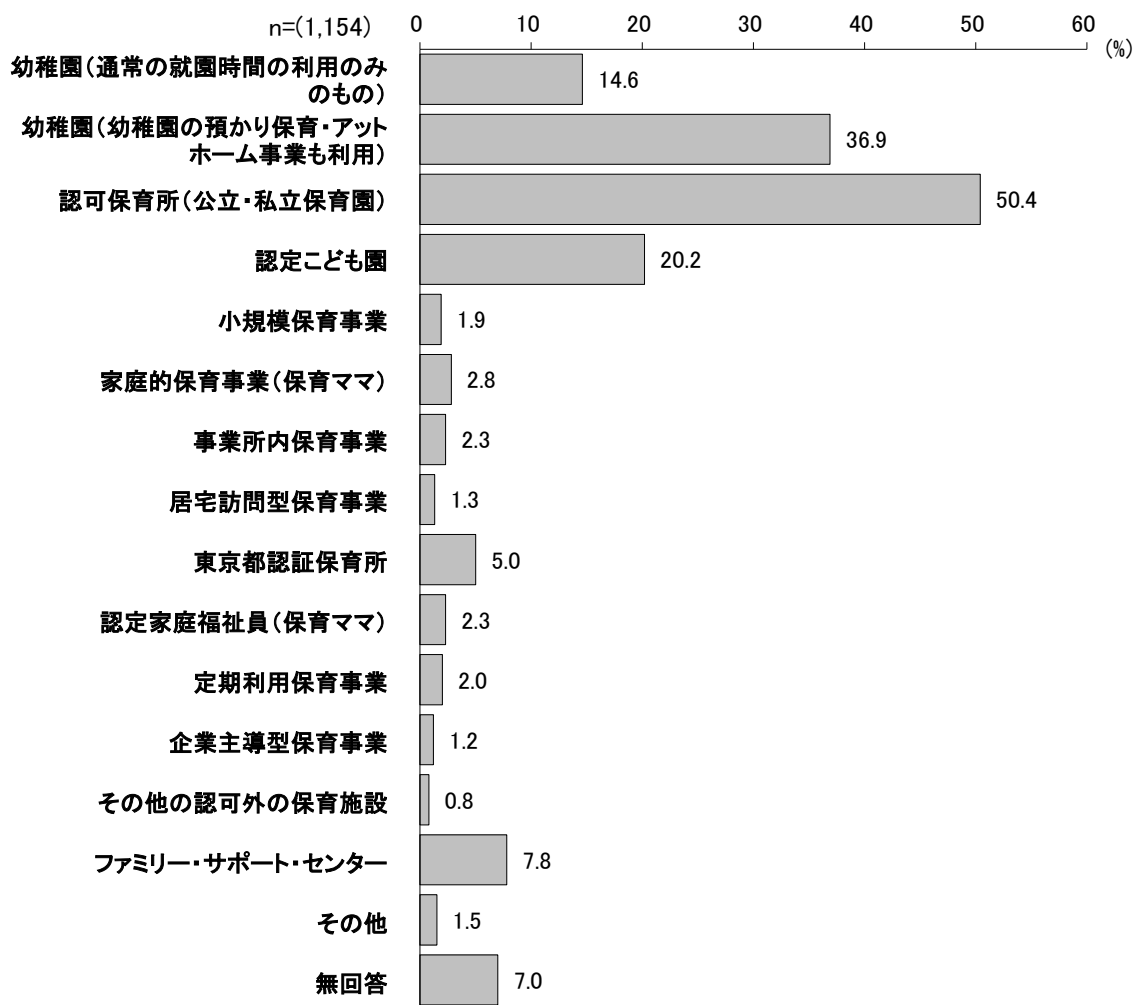


定期的な教育・保育の事業を利用していない理由として「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」と回答した人が教育・保育の事業を利用しようと考えている子どもの年齢は、「3歳」が51.9%、「1歳」が19.0%となっている。

（7）定期的に利用したい教育・保育の事業

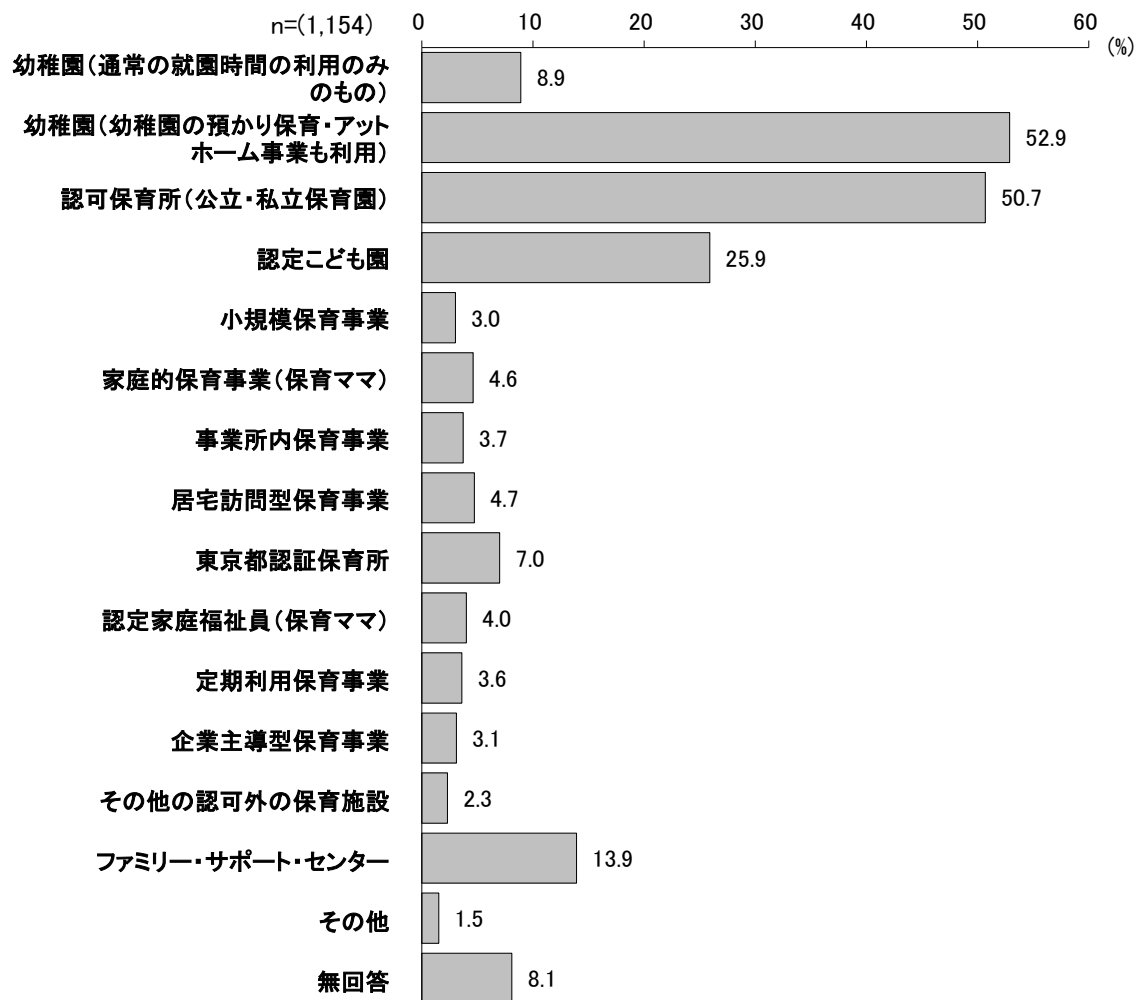
問 26 すべての方におたずねします。現在利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、定期的に利用したいと考える事業について、現在の希望と、3歳から5歳までの教育・保育の無償化が実現した場合、それぞれに当てはまる事業すべてに○をつけてください。【複数回答】

現在の希望



平日の教育・保育の事業として定期的に利用したい事業は、「認可保育所（公立・私立保育園）」が 50.4%で高く、これに「幼稚園(幼稚園の預かり保育・アットホーム事業も利用)」が 36.9%、「認定こども園」が 20.2%、「幼稚園(通常の就園時間の利用のみのもの)」が 14.6%で続いている。

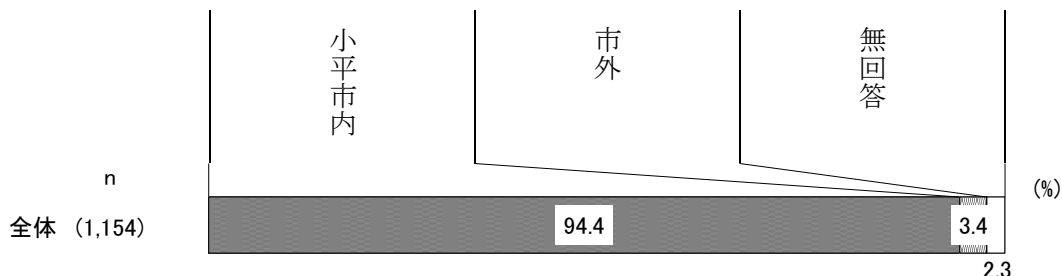
3歳から5歳までの無償化が実現した場合



3歳から5歳までの教育・保育の事業の無償化が実現した場合に利用したい事業は、「幼稚園(幼稚園の預かり保育・アットホーム事業も利用)」(52.9%)、「認可保育所(公立・私立保育園)」(50.7%)が高く、これらに「認定こども園」(25.9%)が続いている。

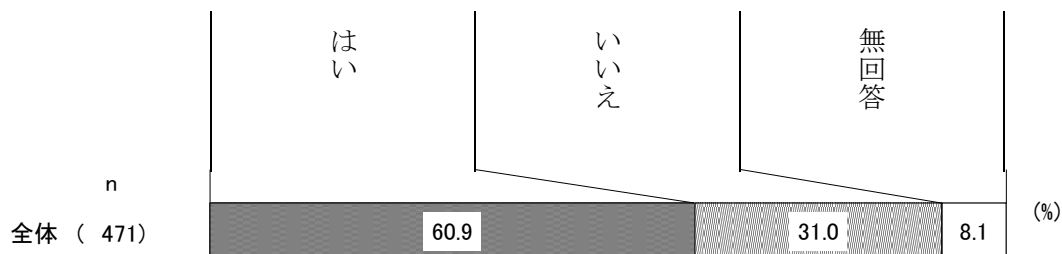
（8）利用したい実施場所

問27 教育・保育の事業を利用したい場所について、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。



（9）幼稚園の強い利用希望の有無

問28 問26で「1. 幼稚園（幼稚園（通常の就園時間の利用のみ）」または「2. 幼稚園の預かり保育・アットホーム事業も利用」に○をつけ、かつ「3. 認可保育所（公立・私立保育園）」～「15. その他」にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。



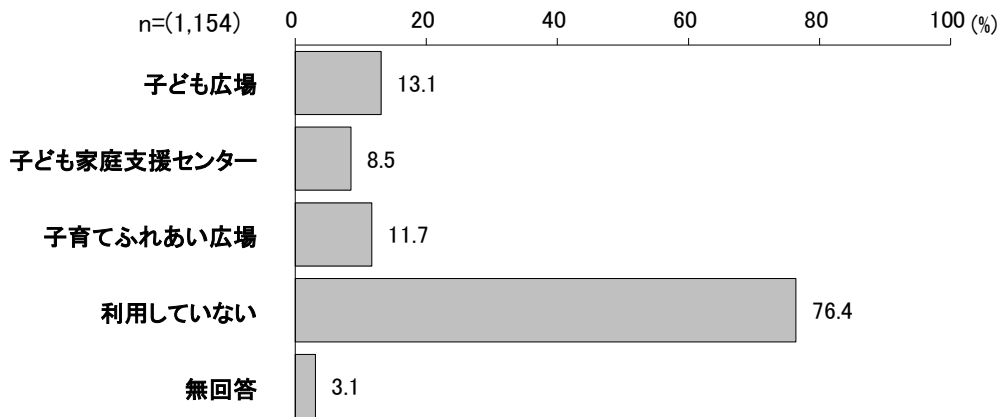
平日の教育・保育の事業の利用希望者のうち、「特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を希望する」という人は、60.9%となっている。

6. 地域子育て支援拠点事業の利用状況と利用希望

（1）地域子育て支援拠点事業の利用状況

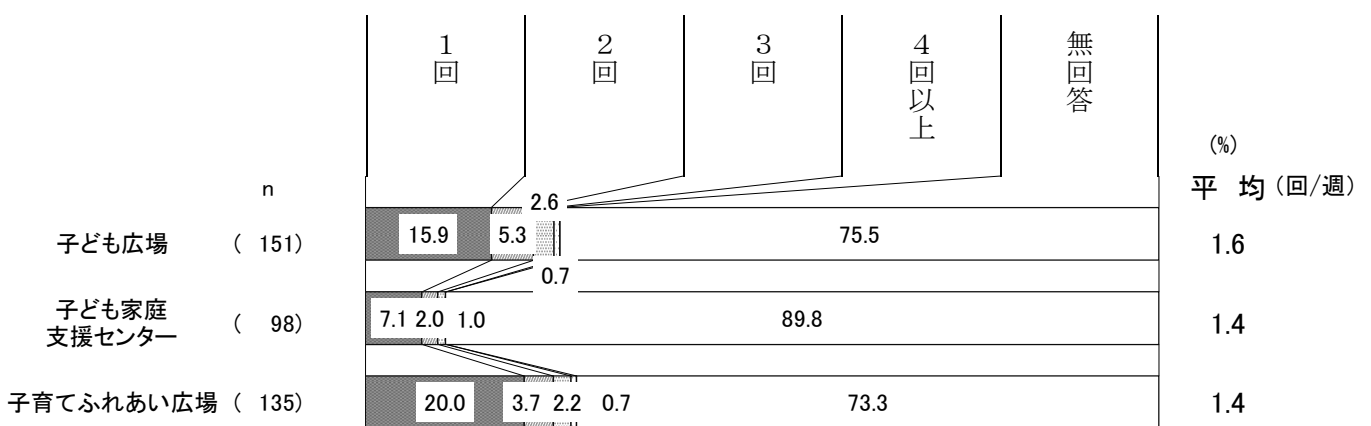
問29 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（子ども広場、子ども家庭支援センター、子育てふれあい広場）を利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。



地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用していない」が76.4%と高く、「子ども広場」が13.1%、「子育てふれあい広場」が11.7%、「子ども家庭支援センター」が8.5%となっている。

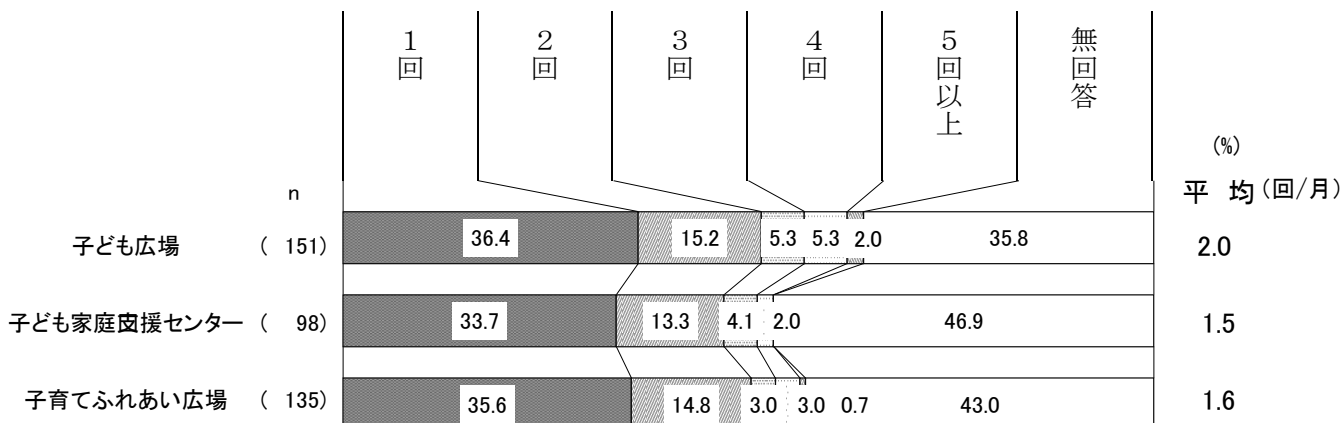
利用回数（1週当たり）



地域子育て支援拠点事業の1週当たり平均利用回数は、「子ども広場」が1.6回/週、「子ども家庭支援センター」と「子育てふれあい広場」が1.4回/週となっている。

第2章 調査結果の詳細（就学前児童）

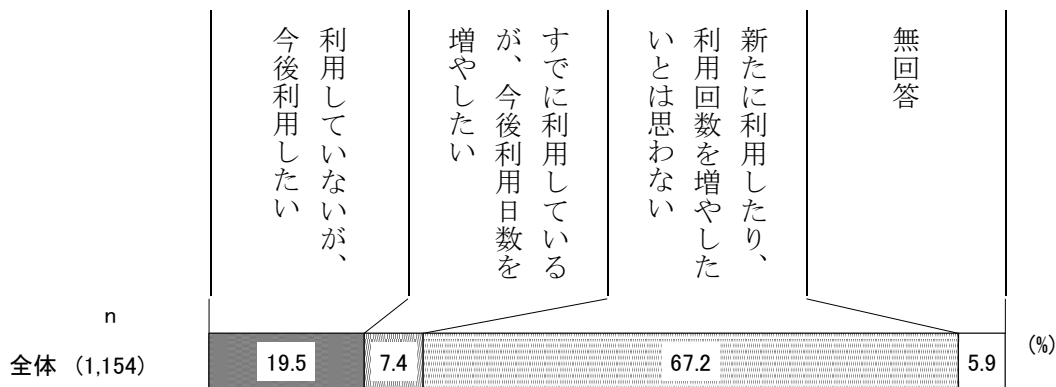
利用回数（1ヶ月当たり）



地域子育て支援拠点事業の1ヶ月当たり平均利用回数は、「子ども広場」が2.0回/月、「子育てふれあい広場」が1.6回/月、「子ども家庭支援センター」が1.5回/月となっている。

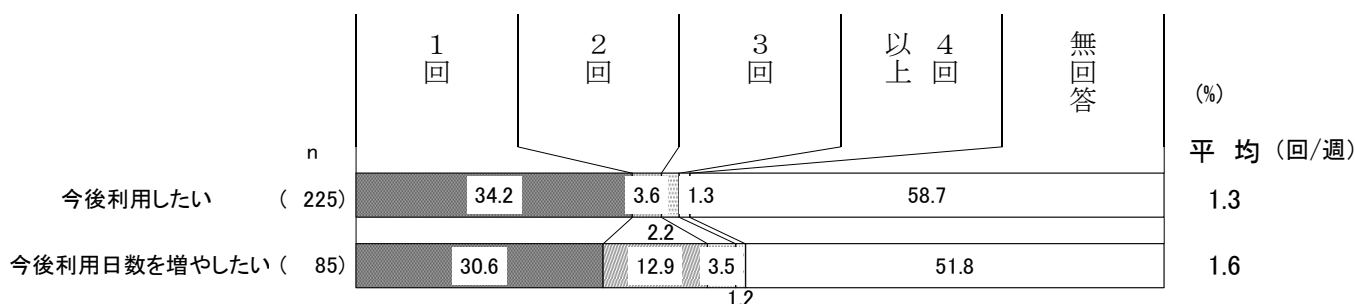
(2) 今後の利用希望と利用したい回数

問30 問29のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用回数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけ、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。



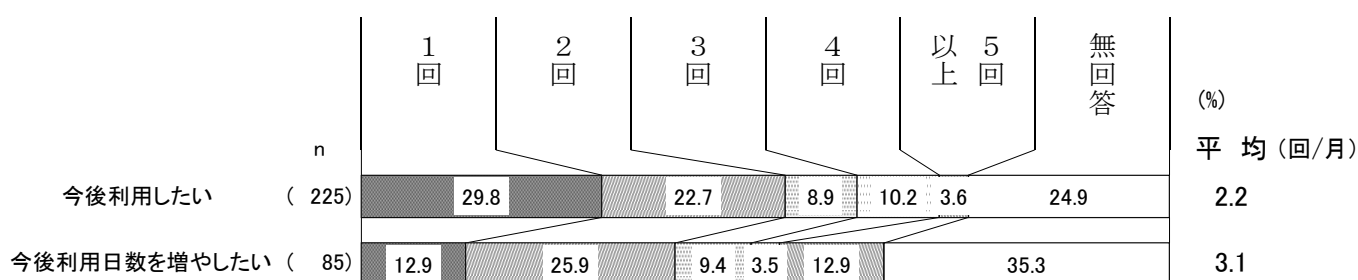
地域子育て支援拠点事業の利用希望は、「利用していないが、今後利用したい」(19.5%)と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(7.4%)合計で26.9%となっている。

利用したい回数／1週当たり



1週当たりの平均希望利用回数は、「今後利用したい」という人で1.3回/週、「今後利用日数を増やしたい」人の更に増やしたい回数は、1.6回/週となっている。

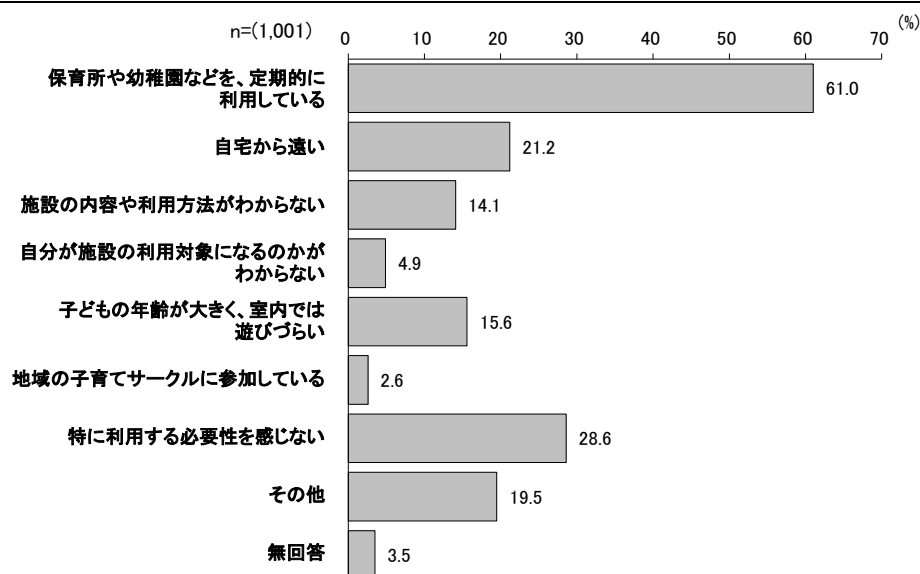
利用したい回数／1ヶ月当たり



1ヶ月当たりの平均希望利用回数は、「今後利用したい」という人で2.2回/月、「今後利用日数を増やしたい」人の更に増やしたい回数は、3.1回/月となっている。

(3) 利用しない理由

問30-1 問30で「1. 利用していないが、今後利用したい」または「3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。現在、地域子育て支援拠点事業を利用していない、または今後利用回数を増やしたいとは思わない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

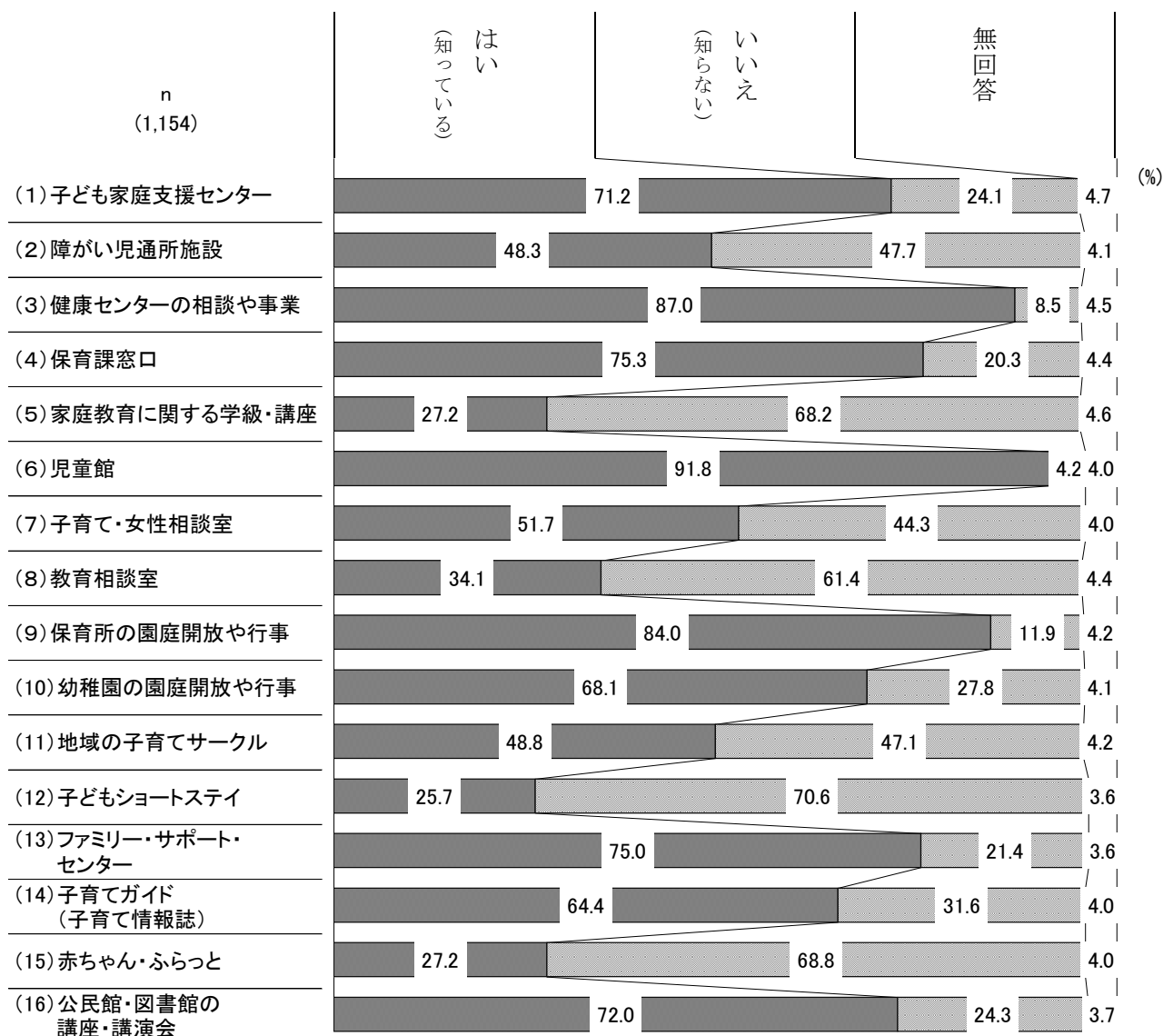


地域子育て支援拠点事業を利用していない、または今後利用回数を増やしたいとは思わない理由は、「保育所や幼稚園などを、定期的に利用している」が61.0%で高く、これに「特に利用する必要性を感じない」が28.6%、「自宅から遠い」が21.2%、「子どもの年齢が大きく、室内では遊びづらい」が15.6%、「施設の内容や利用方法がわからない」が14.1%で続いている。

（4）各種支援事業の認知状況、利用状況、利用希望

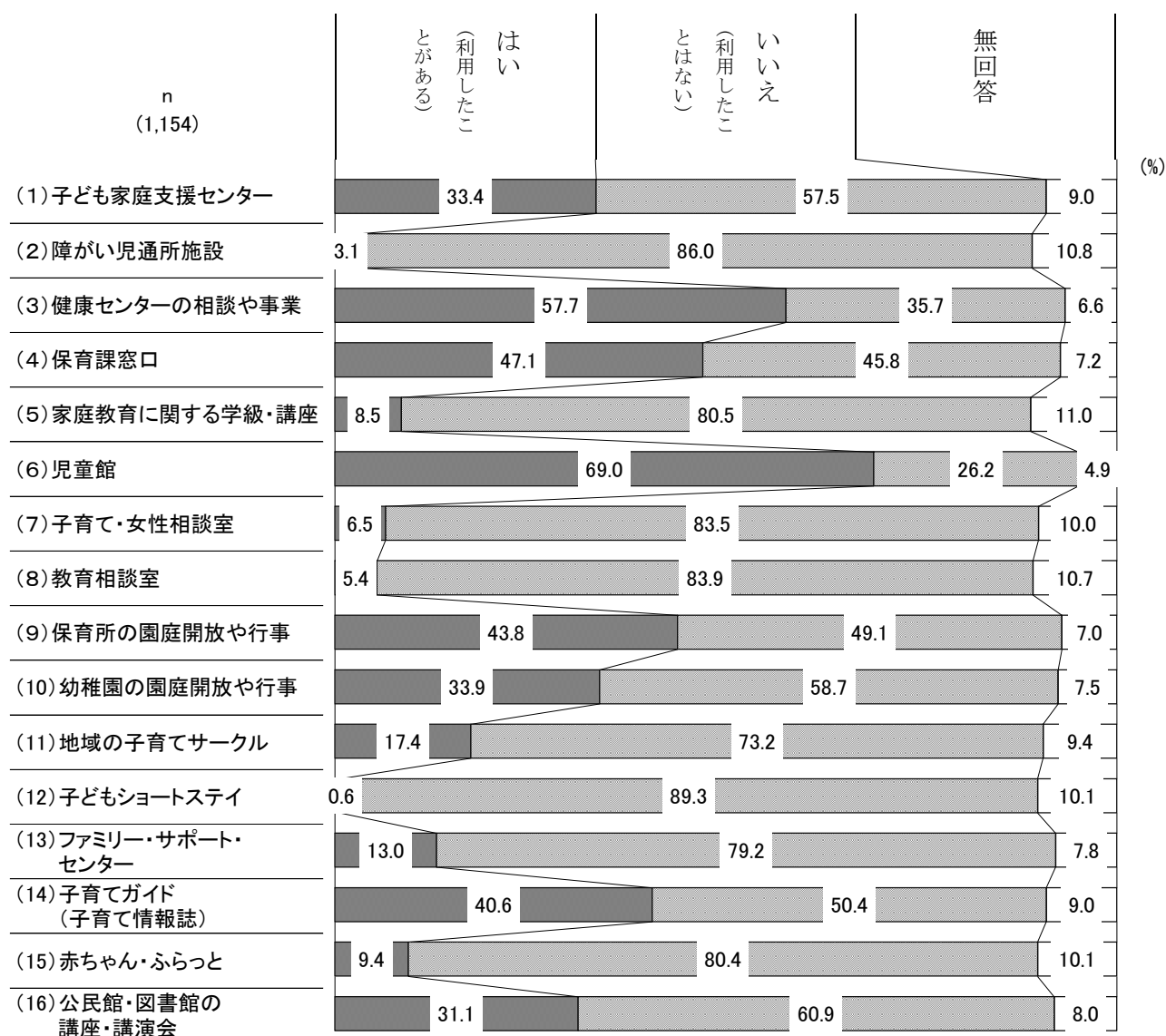
問31 下記の事業で知っているもの、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものについておたずねします。(1)～(16)の事業ごとのA～Cの項目について、「はい」「いいえ」どちらかに○をつけてください。

A 各種支援事業の認知状況



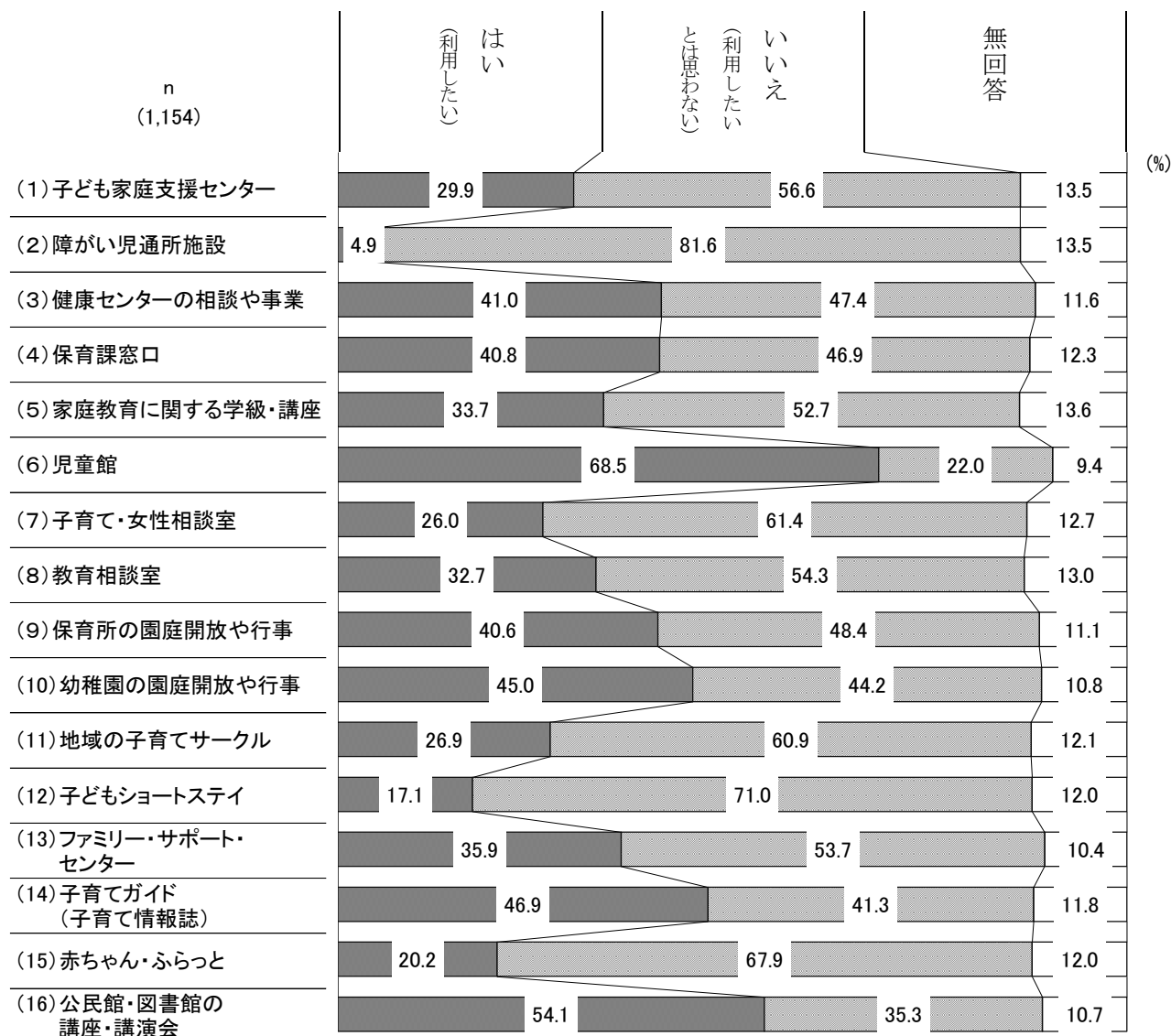
各種支援事業の認知状況（知っている）は、「児童館」（91.8%）と「健康センターの相談や事業」（87.0%）が高く、これらに「保育所の園庭開放や行事」（84.0%）、「保育課窓口」（75.3%）、「ファミリー・サポート・センター」（75.0%）、「公民館・図書館の講座・講演会」（72.0%）、「子ども家庭支援センター」（71.2%）が続いている。

B 各種支援事業のこれまでの利用状況



各種支援事業の利用経験は、「児童館」(69.0%)が高く、「健康センターの相談や事業」(57.7%)、「保育課窓口」(47.1%)、「保育所の園庭開放や行事」(43.8%)、「子育てガイド」(40.6%)、「幼稚園の園庭開放や行事」(33.9%)、「子ども家庭支援センター」(33.4%)、「公民館・図書館の講座・講演会」(31.1%)の順となっている。

C 各種支援事業の今後の利用希望

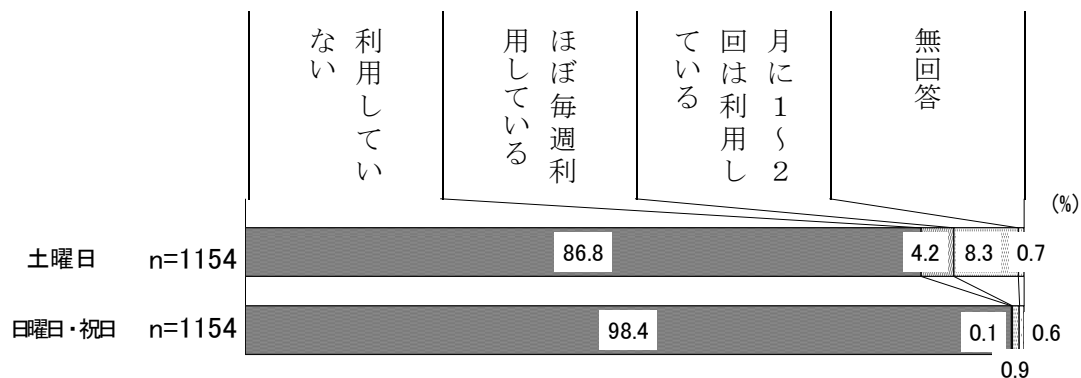


各種支援事業の利用希望（利用したい）は、「児童館」（68.5%）が高く、これに、「公民館・図書館の講座・講演会」（54.1%）、「子育てガイド」（46.9%）、「幼稚園の園庭開放や行事」（45.0%）、「健康センターの相談や事業」（41.0%）、「保育課窓口」（40.8%）、「保育所の園庭開放や行事」（40.6%）が続いている。

7. 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育の事業の利用状況と利用希望

（1）土曜日と日曜日・祝日の利用状況と利用時間帯

問32 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、年間を通じて定期的な教育・保育の事業を利用していますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけ、利用している場合は、その時間帯を口内に数字でご記入ください。



土曜日の教育・保育の事業の利用状況は、「利用していない」が86.8%と高く、これに、「月に1～2回利用している」が8.3%、「ほぼ毎週利用している」が4.2%となっている。

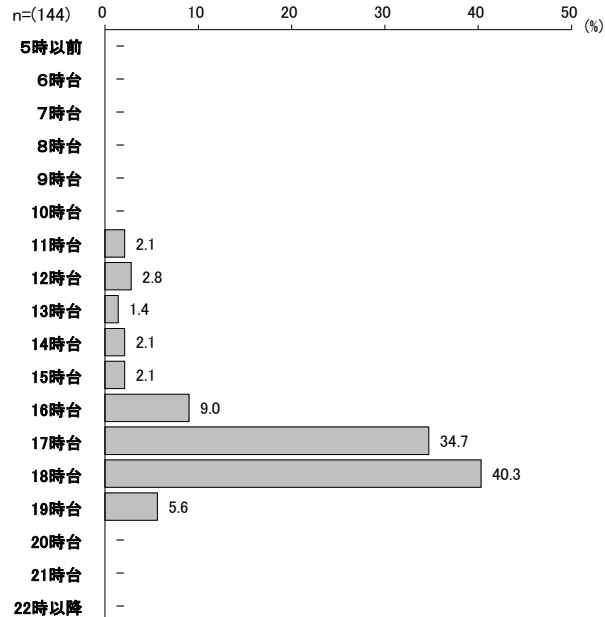
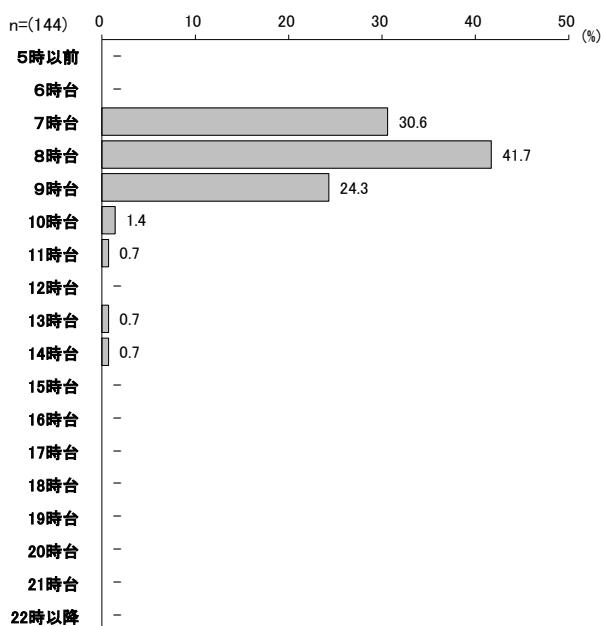
日曜日・祝日は、「利用していない」が98.4%と高く、「月に1～2回利用している」が0.9%、「ほぼ毎週利用している」が0.1%となっている。

第2章 調査結果の詳細（就学前児童）

利用している時間帯 土曜日

開始時間

終了時間

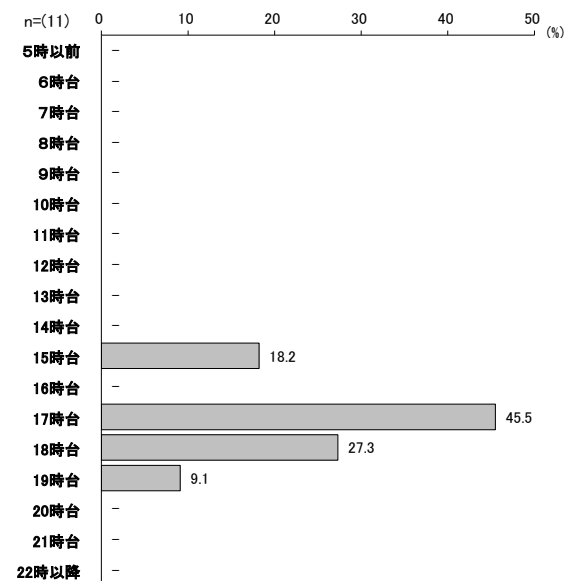
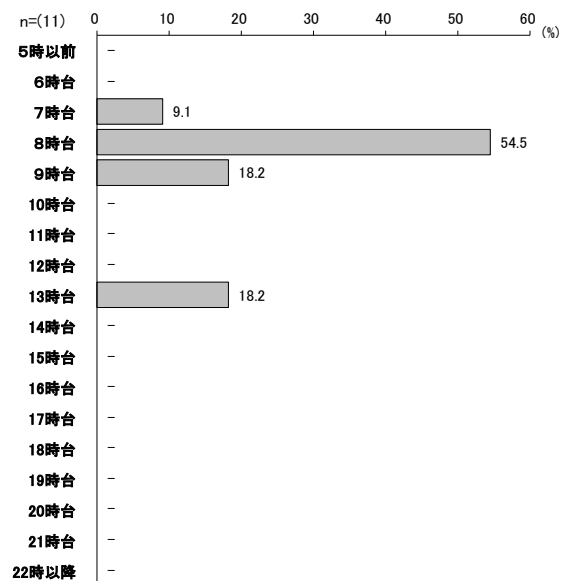


土曜日の利用開始時間は、「8時台」が41.7%、「7時台」が30.6%、「9時台」が24.3%。終了時間は、「18時台」が40.3%、「17時台」が34.7%となっている。

利用している時間帯 日曜日・祝日

開始時間

終了時間

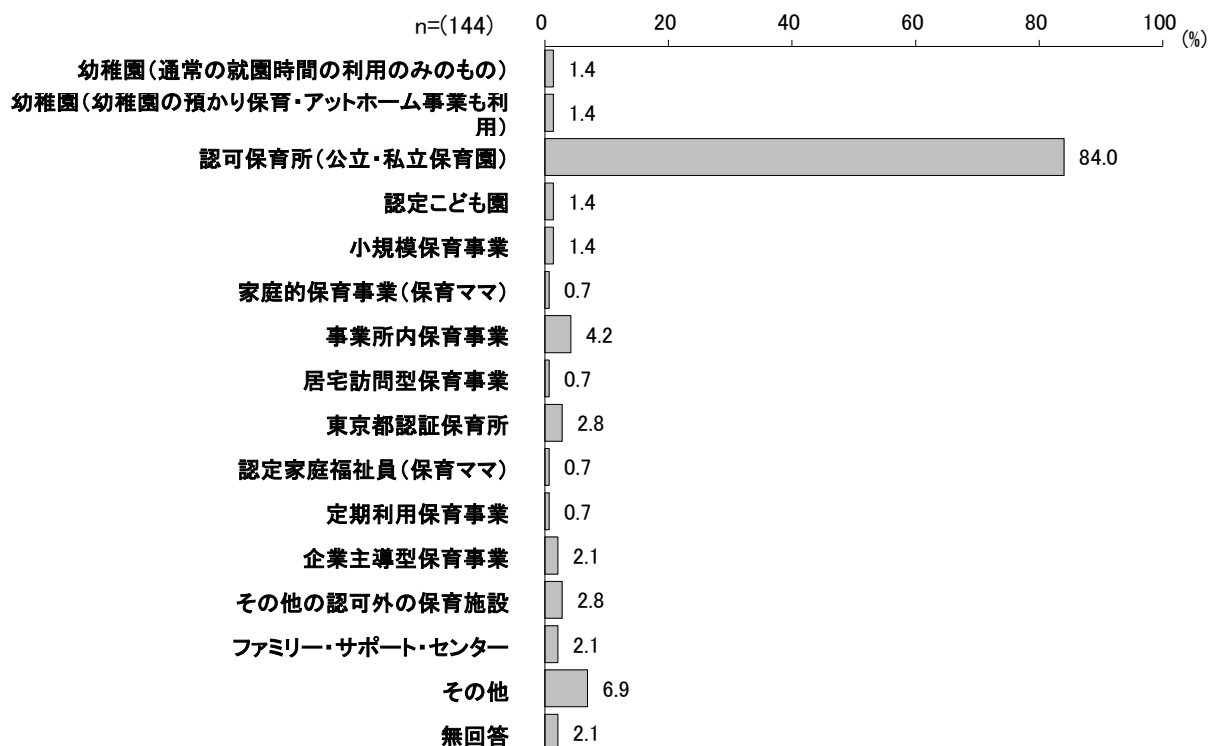


日曜日・祝日の利用開始時間は、「8時台」が54.5%、「9時台」と「13時台」が18.2%。終了時間は、「17時台」が45.5%、「18時台」が27.3%、「15時台」が18.2%となっている。

（2）利用している事業

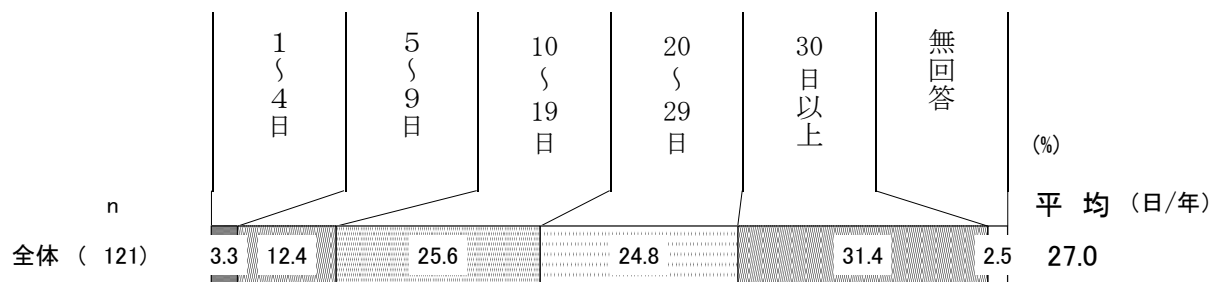
問33 問32の（1）（2）で「2. ほぼ毎週利用している」「3. 月に1～2回は利用している」（利用している）に○をつけた方におたずねします。土曜日と日曜日・祝日にどのような教育・保育の事業を利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間で利用する日数を口内に数字でご記入ください。【複数回答】

利用している事業



土曜日と日曜日・祝日に利用している事業は、「認可保育所（公立・私立保育園）」が 84.0%と高い。

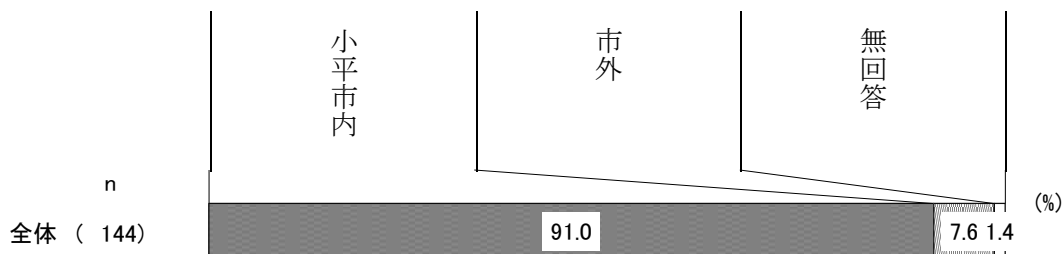
認可保育所利用日数／年



土曜日と日曜日・祝日に利用している「認可保育所（公立・私立保育園）」の年間平均利用日数は 27.0 日／年となっている。

（3）事業の実施場所

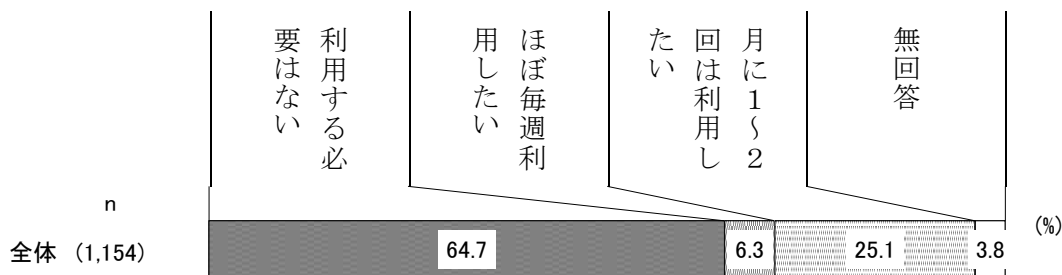
問34 問32の（1）（2）で「2. ほぼ毎週利用している」「3. 月に1～2回は利用している」（利用している）に○をつけた方におたずねします。土曜日と日曜日・祝日の教育・保育の事業の実施場所について、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。



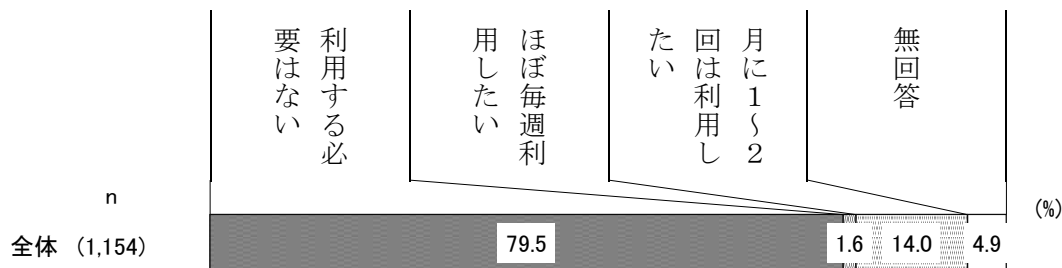
土曜日と日曜日・祝日に利用している事業の実施場所は、「小平市内」が91.0%、「市外」が7.6%となっている。

（4）土曜日と日曜日・祝日の利用希望と利用したい時間帯

問35 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用を希望しますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。



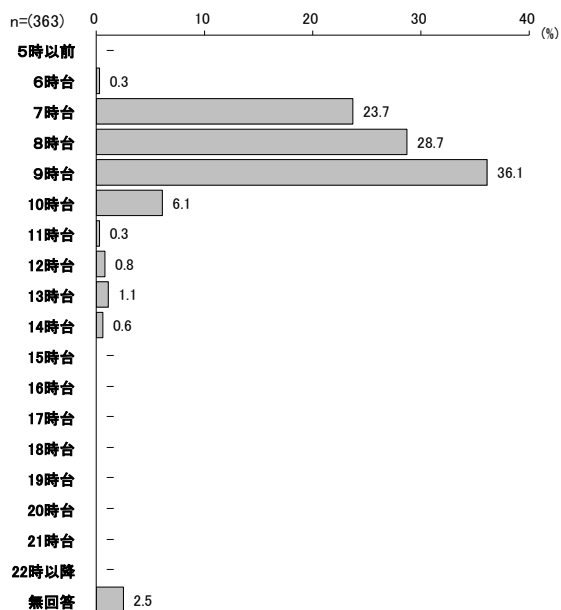
土曜日の教育・保育の事業の利用希望については、「利用する必要はない」が64.7%、「月に1～2回利用したい」が25.1%、「ほぼ毎週利用したい」が6.3%となっている。



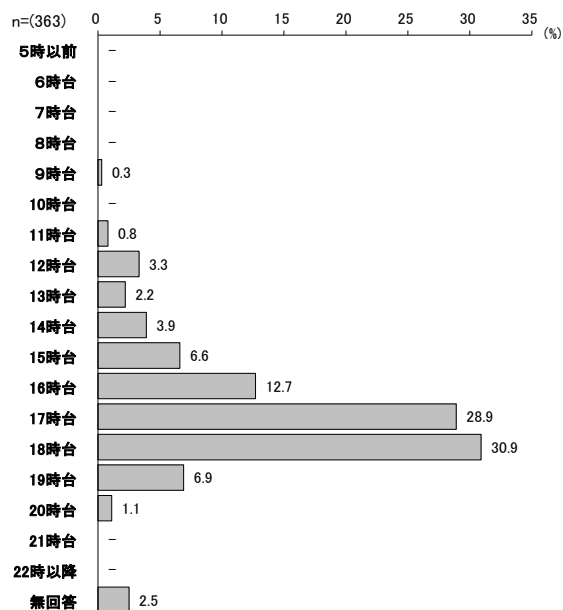
日曜日・祝日については、「利用する必要はない」が79.5%、「月に1～2回利用したい」が14.0%、「ほぼ毎週利用したい」が1.6%となっている。

利用したい時間帯 土曜日

開始時間



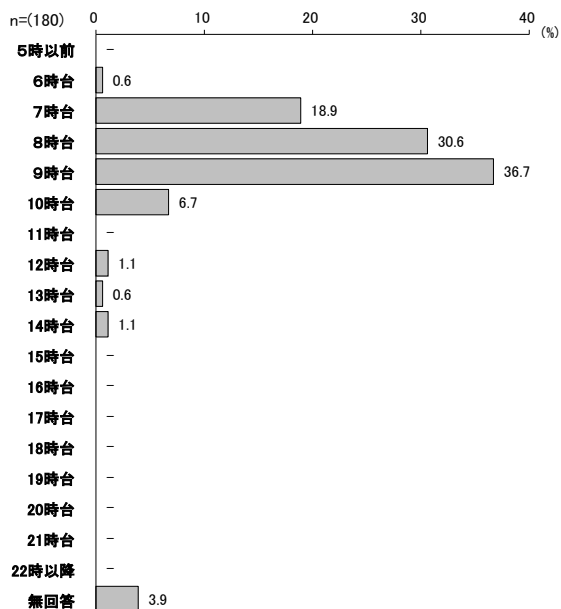
終了時間



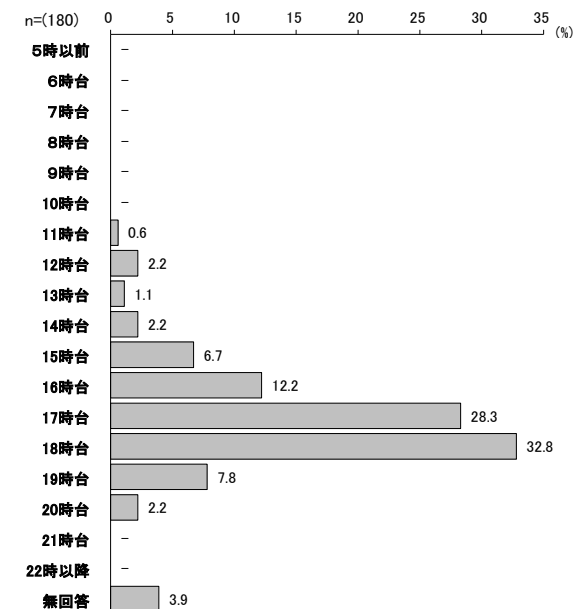
土曜日の利用開始希望時間は「9時台」が36.1%、「8時台」が28.7%、「7時台」が23.7%。終了希望時間は「18時台」が30.9%、「17時台」が28.9%、「16時台」が12.7%となっている。

利用したい時間帯 日曜日・祝日

開始時間



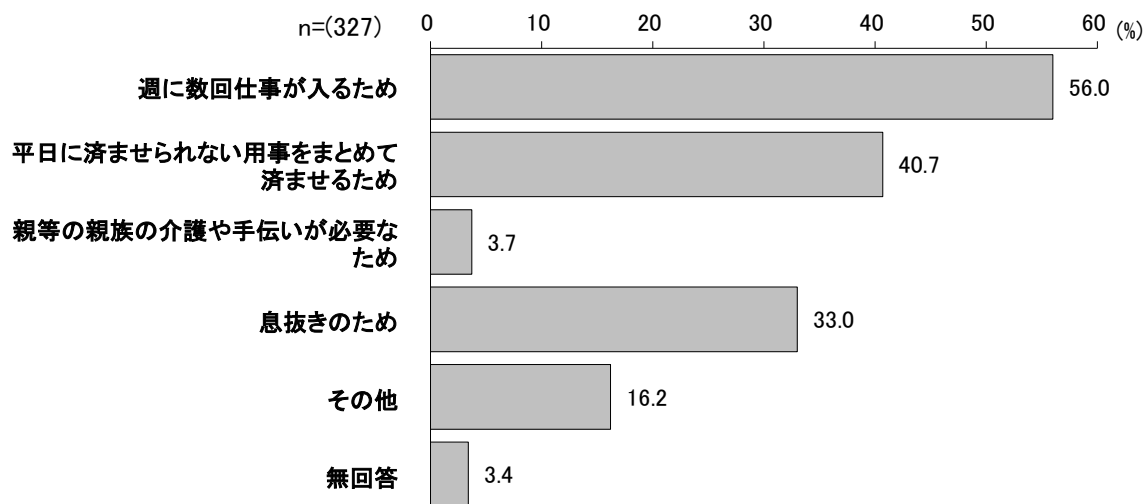
終了時間



日曜日・祝日の利用開始希望時間は「9時台」が36.7%、「8時台」が30.6%、「7時台」が18.9%。終了希望時間は「18時台」が32.8%、「17時台」が28.3%、「16時台」が12.2%となっている。

（5）たまに利用したい理由

問36 問35の土曜日または日曜日・祝日で「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方におたずねします。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください 【複数回答】

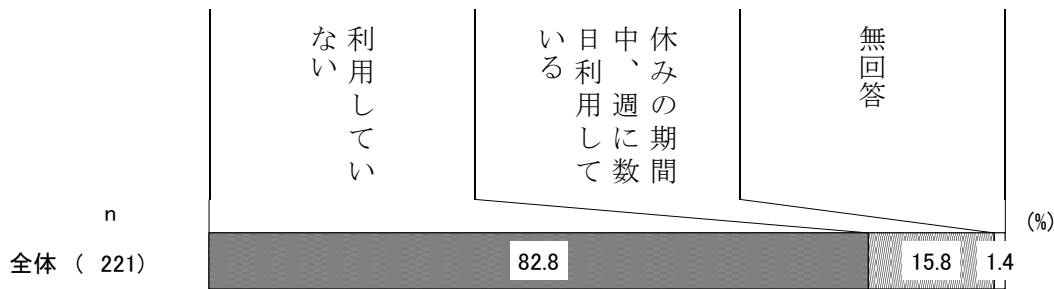


土曜日または日曜日・祝日の教育・保育の事業を月に1～2回は利用したいという理由は、「週に数回仕事が入るため」が56.0%で高く、これに「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が40.7%、「息抜きのため」が33.0%で続いている。

（6）幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育の事業の利用状況

問37 あて名のお子さんについて、現在、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に教育・保育の事業を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけ、利用している場合は、その時間帯を□内に数字でご記入ください。

利用状況

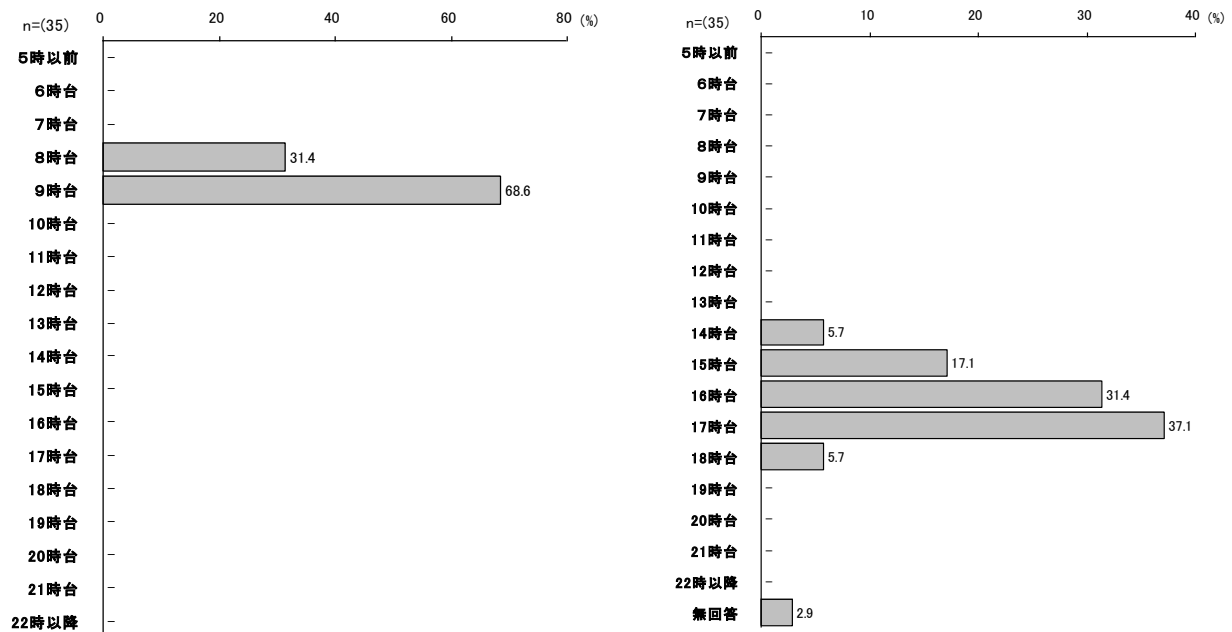


幼稚園利用者の長期休暇中における教育・保育の事業利用状況は、「利用していない」が82.8%、「休みの期間中、週に数日利用している」が15.8%となっている。

利用している時間帯

開始時間

終了時間

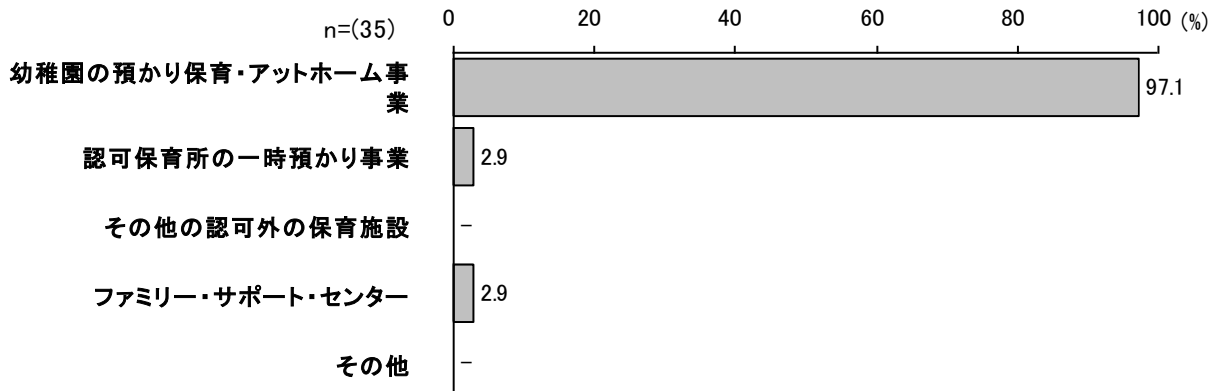


長期休暇中の教育・保育の事業の利用開始時間は「9時台」が68.6%、「8時台」が31.4%。終了時間は「17時台」が37.1%、「16時台」が31.4%、「15時台」が17.1%となっている。

（7）幼稚園利用者が長期休暇中に利用している教育・保育の事業

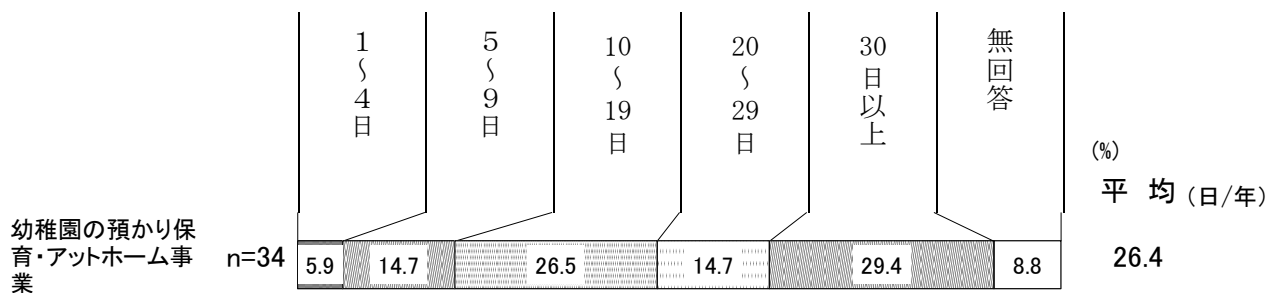
問38 問37で「2. 利用している」に○をつけた方におたずねします。夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中にどのような教育・保育の事業を利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間で利用する日数を口内に数字でご記入ください。【複数回答】

利用している教育・保育の事業



幼稚園利用者が長期休暇中に利用している教育・保育の事業は、「幼稚園の預かり保育・アットホーム事業」が97.1%と高く、「認可保育所の一時預かり事業」と「ファミリー・サポート・センター」が2.9%となっている。

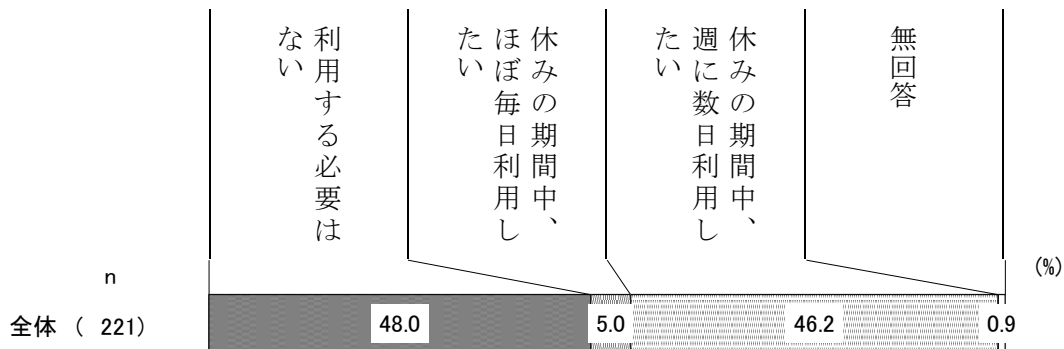
利用日数/年



幼稚園利用者が長期休暇中に利用している「幼稚園の預かり保育・アットホーム事業」の年間平均利用日数は26.4日/年となっている。

（8）幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育の事業の利用希望と利用したい時間帯

問39 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を□内に数字でご記入ください。

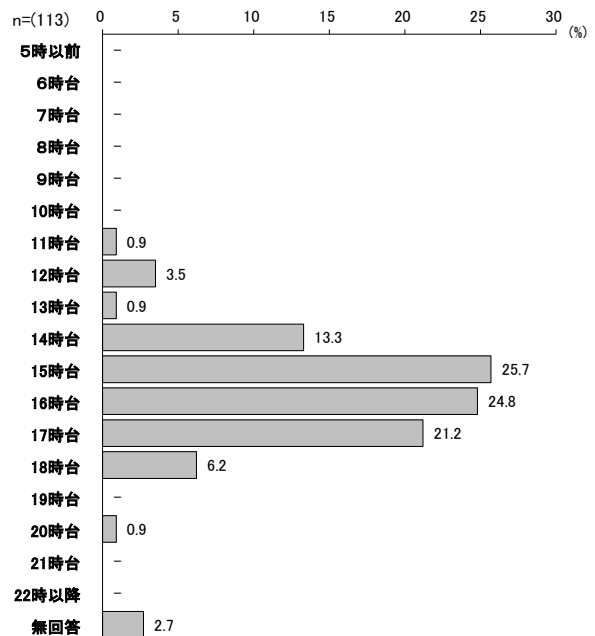
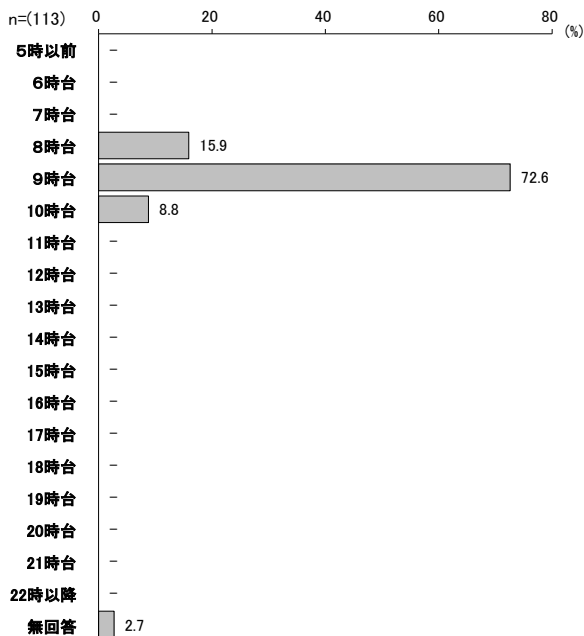


幼稚園利用者の長期休暇中における教育・保育の事業の利用意向は、「利用する必要はない」が48.0%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が46.2%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が5.0%となっている。

利用したい時間帯

開始時間

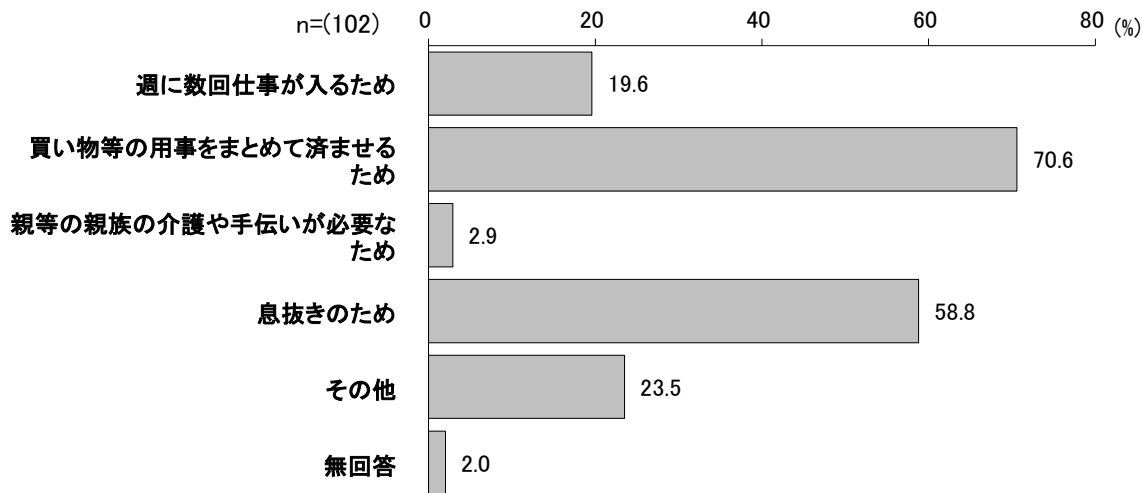
終了時間



利用開始希望時間は「9時台」が72.6%と高くなっている。終了希望時間は「15時台」が25.7%、「16時台」が24.8%、「17時台」が21.2%となっている。

（9）幼稚園利用者が長期休暇中に教育・保育の事業をたまに利用したい理由

問40 問39で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方におたずねします。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】



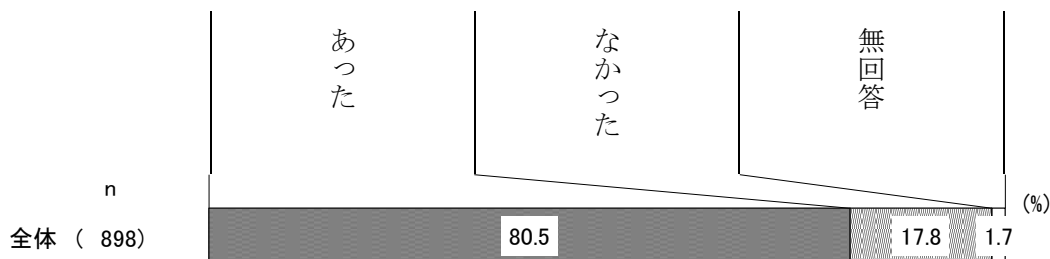
幼稚園利用者が長期休暇中に教育・保育の事業をたまに利用したい理由は、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が70.6%で高く、これに「息抜きのため」が58.8%で続いている。

8. お子さんが病気の際の対応

（1）この1年間に病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無

問41～問47は、問20で幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を平日利用していると答えた方（「1. 利用している」に○をつけた方）におたずねします。

問41 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

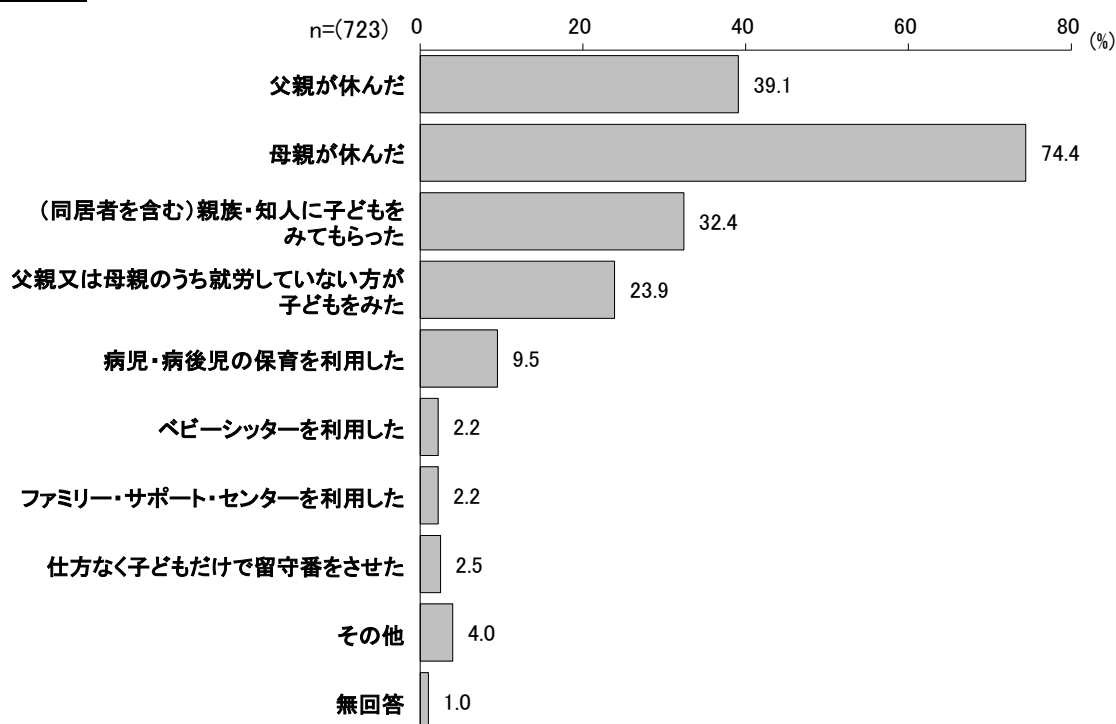


（2）病気やケガで通常の事業が利用できなかった際の対処方法と日数

問42 問41でこの1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことが「1. あった」に○をつけた方におたずねします。あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日と計算してください）。

【複数回答】

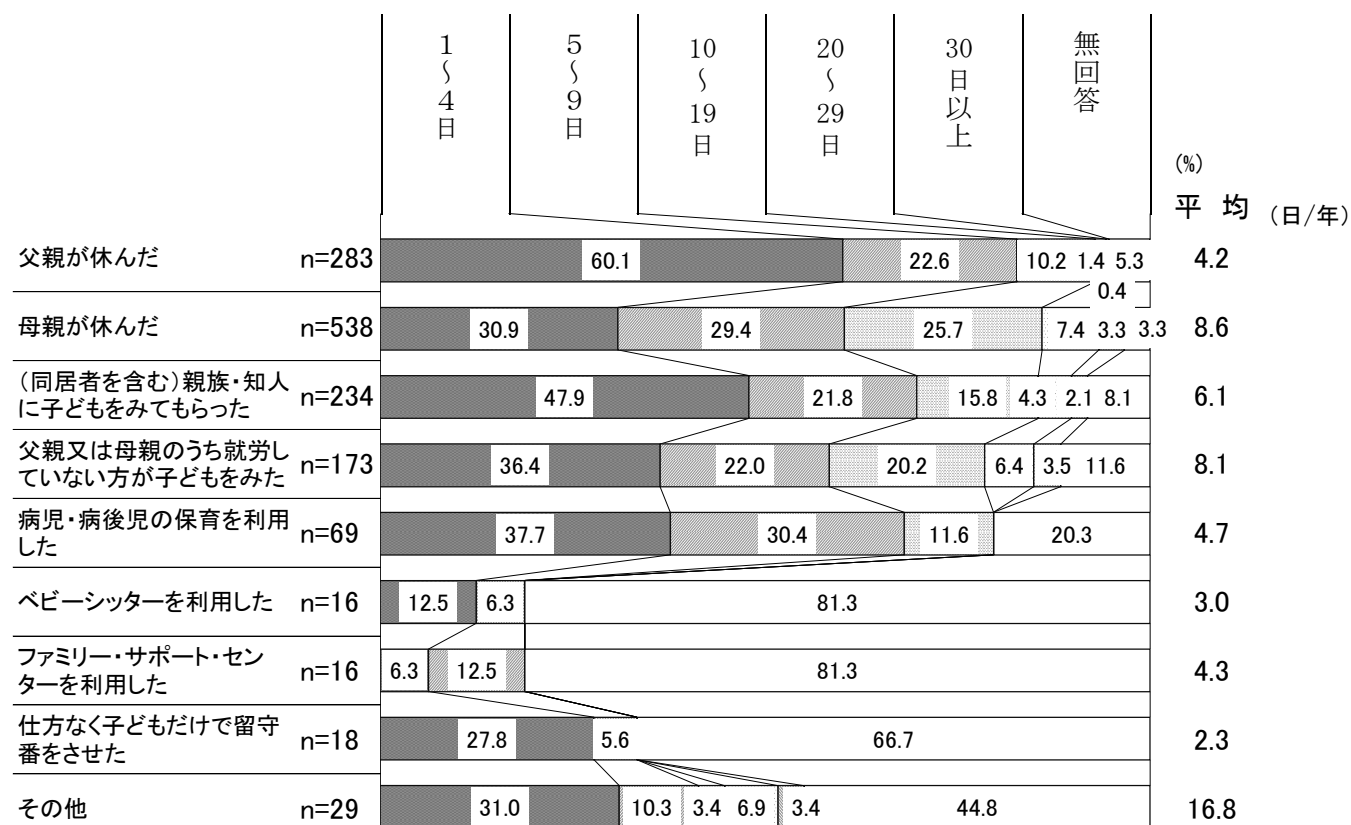
対処方法



病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法としては、「母親が休んだ」が74.4%と高く、これに「父親が休んだ」が39.1%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が32.4%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が23.9%が続いている。

第2章 調査結果の詳細（就学前児童）

日数



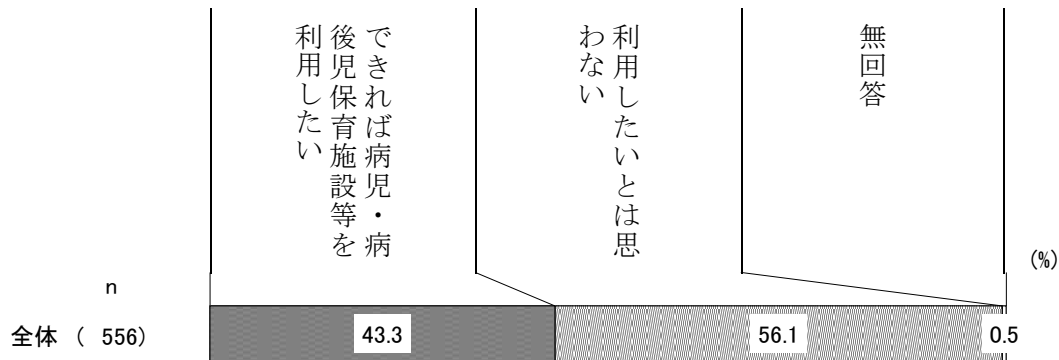
主な対処方法の年間平均日数は、「母親が休んだ」が8.6日／年、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が8.1日／年、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が6.1日／年、「父親が休んだ」が4.2日／年となっている。

（3）父母が休んで対処した場合の「病児・病後児保育施設等」の利用希望と利用したい日数

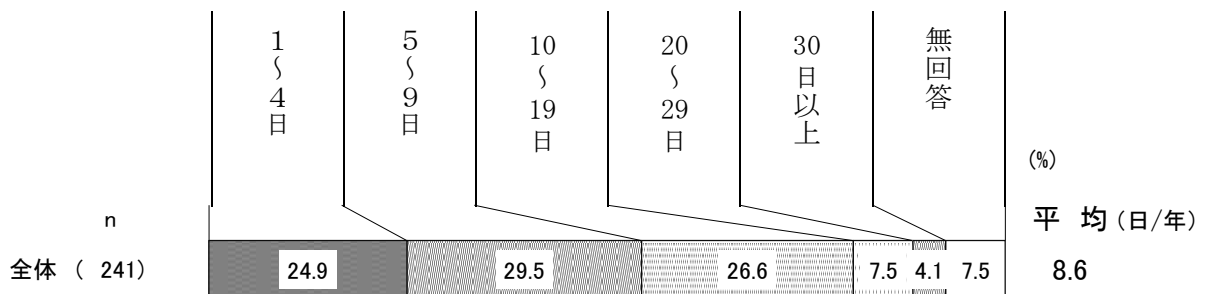
問42で「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方におたずねします。

問43 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。

利用希望



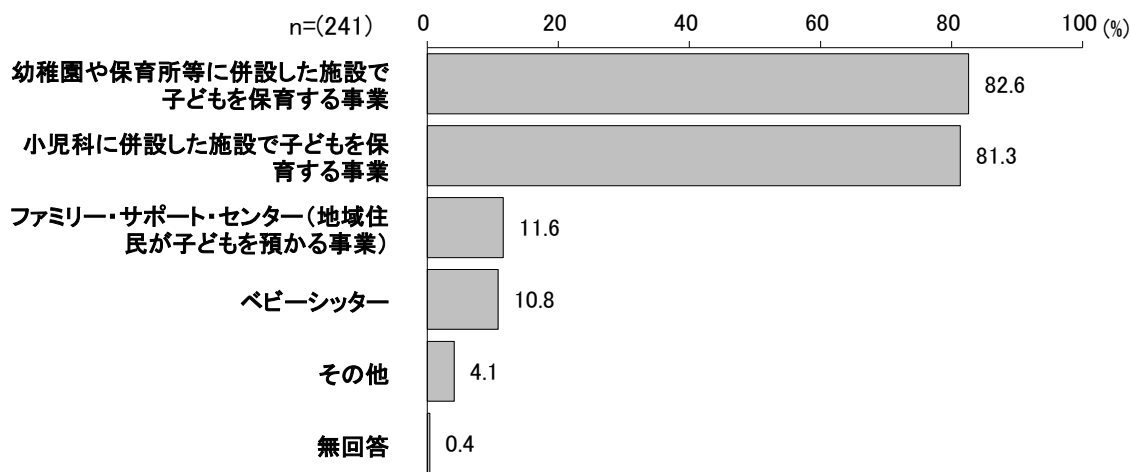
利用したい日数



病児・病後児のための保育施設等の年間利用希望日数は、「5～9日」が29.5%、「10～19日」が26.6%、「1～4日」が24.9%で、平均8.6日／年となっている。

（4）望ましい事業形態

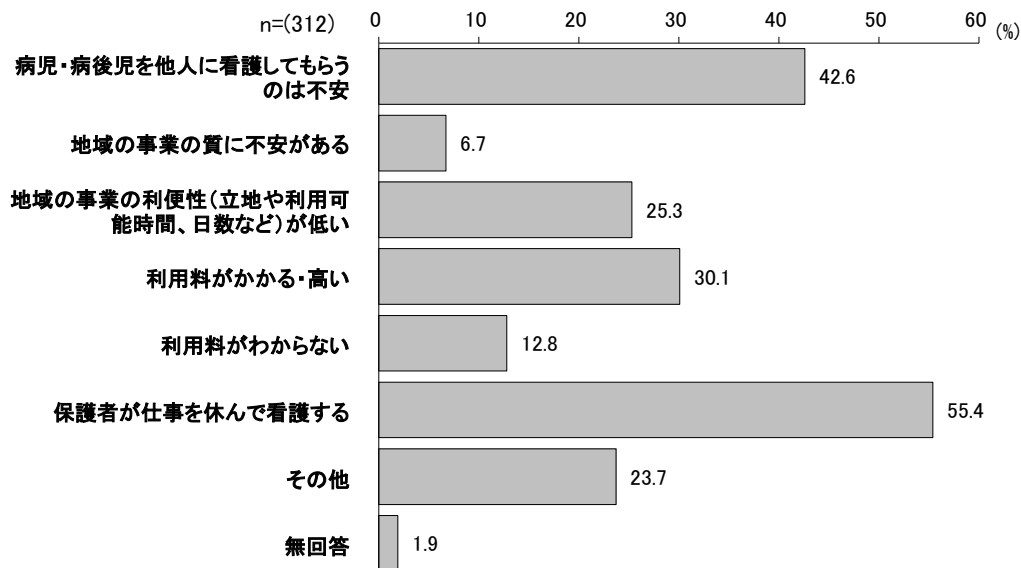
問44 問43で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方におたずねします。上記の目的で子どもを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】



できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと回答した人が希望する事業形態は、「幼稚園や保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が 82.6%、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 81.3%と高くなっている。

（5）利用したいと思わない理由

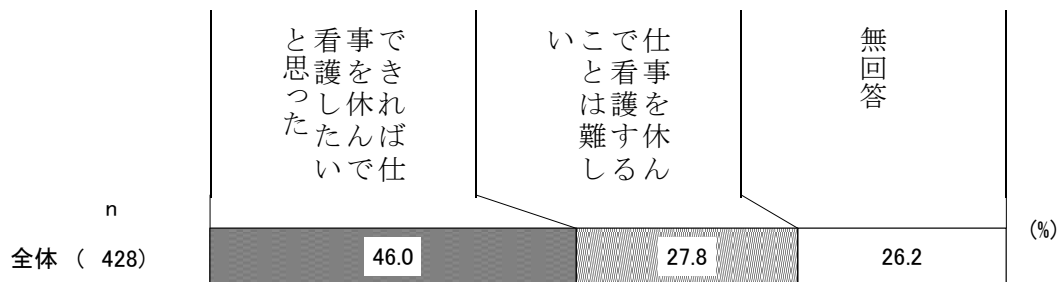
問45 問43で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方におたずねします。利用したいと思わない理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】



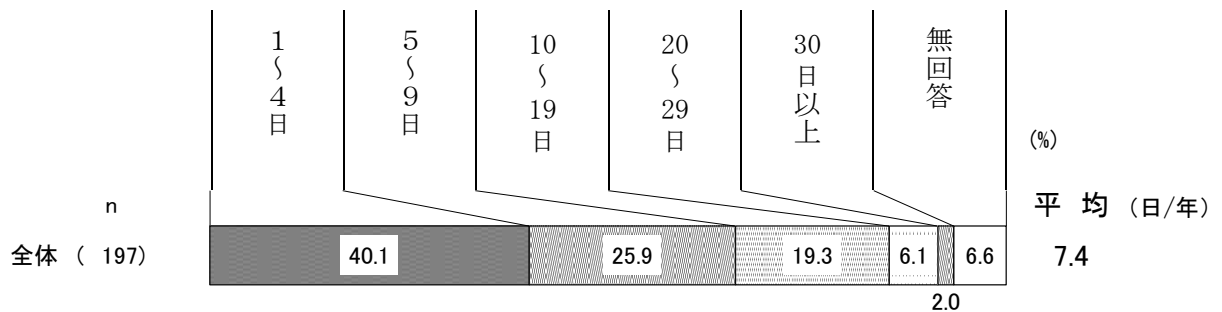
病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由は、「保護者が仕事を休んで看護する」が 55.4%で高く、これに「病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安」が 42.6%、「利用料がかかる・高い」が 30.1%が続いている。

（6）父母が仕事を休んで看護したいと思ったかどうかと看護したい日数

問46 問46は、問42で「ウ.（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」～「ケ. その他」のいずれかに○をつけた方におたずねします。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思いましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ.（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」～「ケ. その他」の日数のうち仕事を休んで看護したかった日数についても数字でご記入ください。



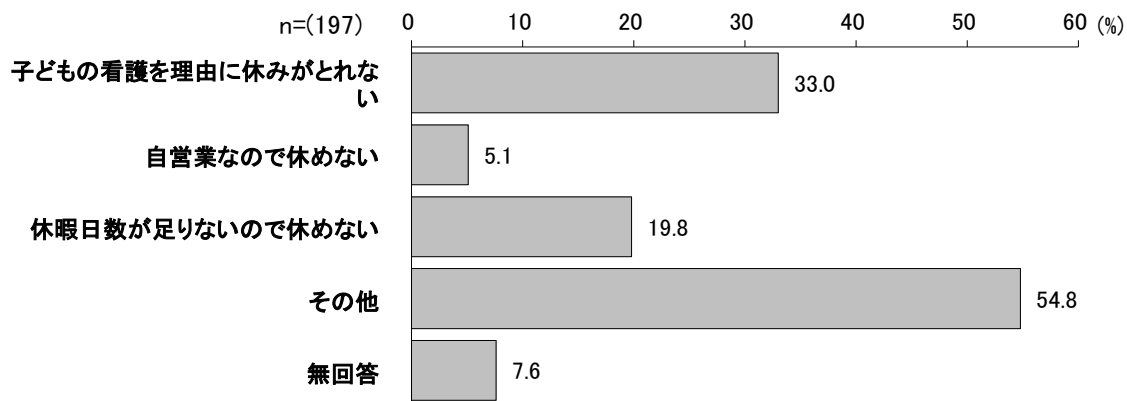
看護したい日数（年間）



「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したいと思った」人が希望する年間日数は、「1～4日」が40.1%、「5～9日」が25.9%、「10～19日」が19.3%で、平均7.4日/年となっている。

（7）仕事を休んで看護できなかった理由

問47 問46で「1. できれば仕事を休んで看護したいと思った」に○をつけた方におたずねします。父母のいずれかが仕事を休んで看護できなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

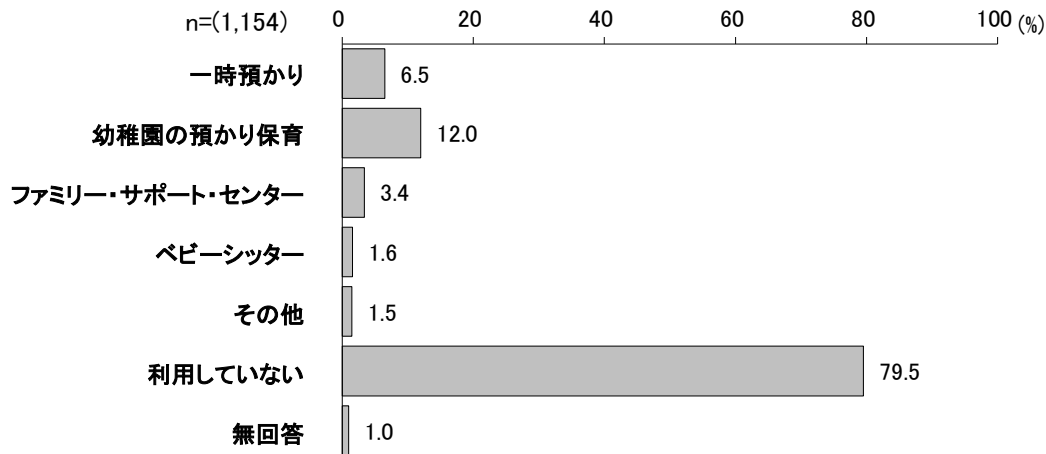


病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかった場合に、仕事を休んで看護することは難しいという人の理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が33.0%、「休暇日数が足りないので休めない」が19.8%となっている。

9. 不特定の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

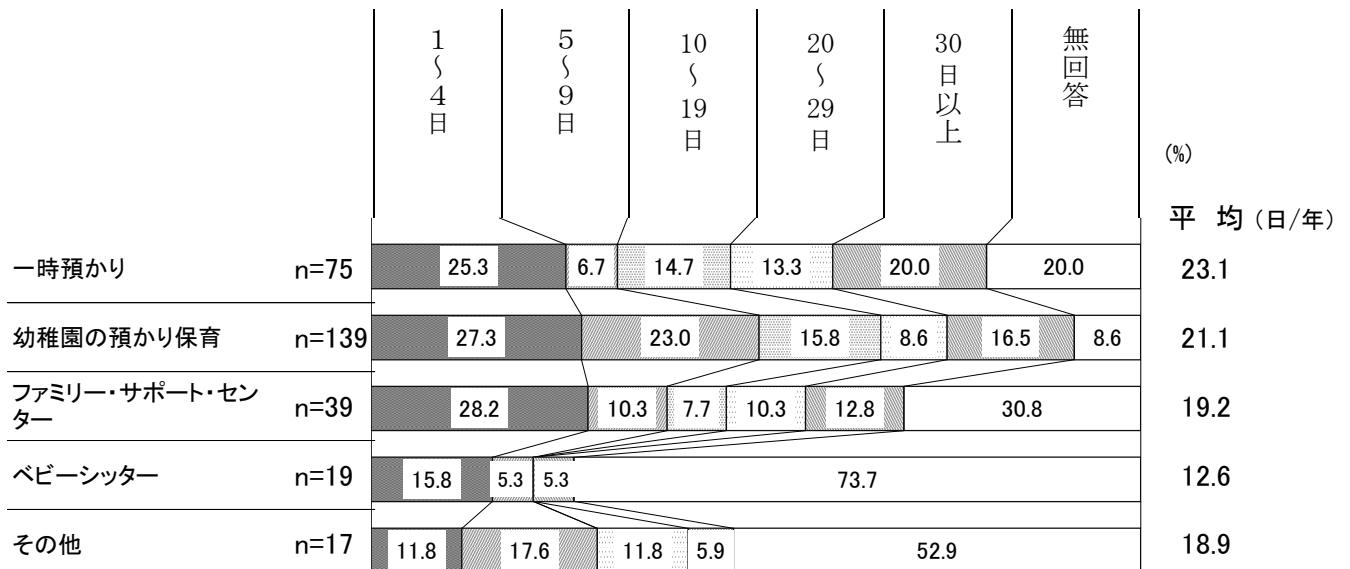
（1）私用、保護者の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している事業と日数

問48 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、保護者の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。【複数回答】



不特定の教育・保育の事業の利用状況は、「幼稚園の預かり保育」が12.0%、「一時預かり」が6.5%、「ファミリー・サポート・センター」が3.4%の順となっている。

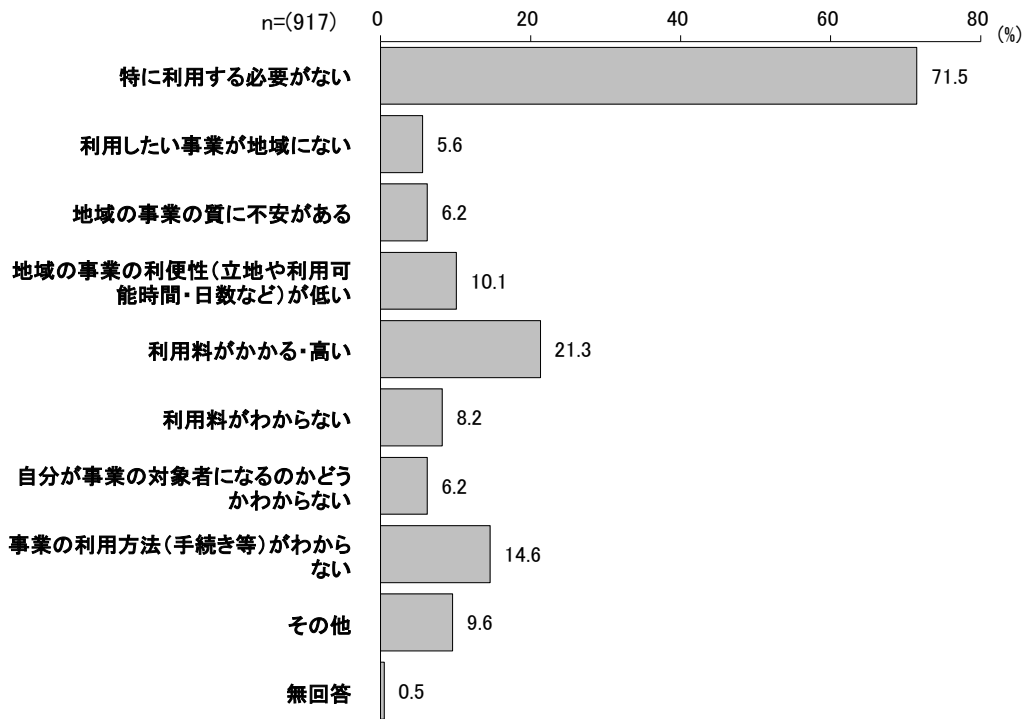
利用日数



不特定の教育・保育の事業の年間平均利用日数は、「一時預かり」が23.1日/年、「幼稚園の預かり保育」が21.1日/年、「ファミリー・サポート・センター」が19.2日/年となっている。

（2）利用していない理由

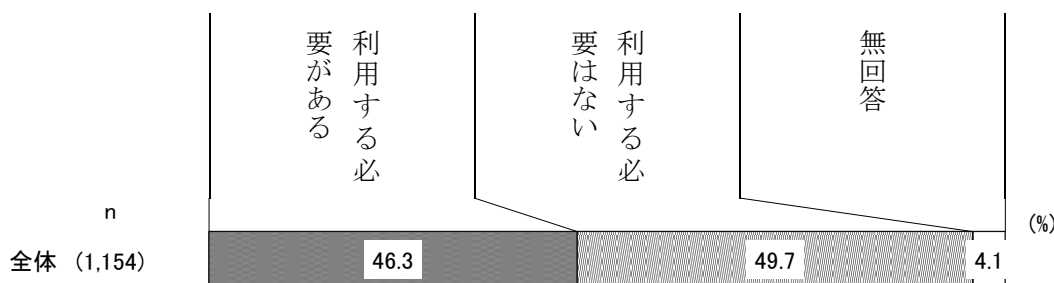
問49 問48で「6. 利用していない」に○をつけた方におたずねします。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】



不定期の教育・保育の事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が71.5%で高く、これに「利用料がかかる・高い」が21.3%で続いている。

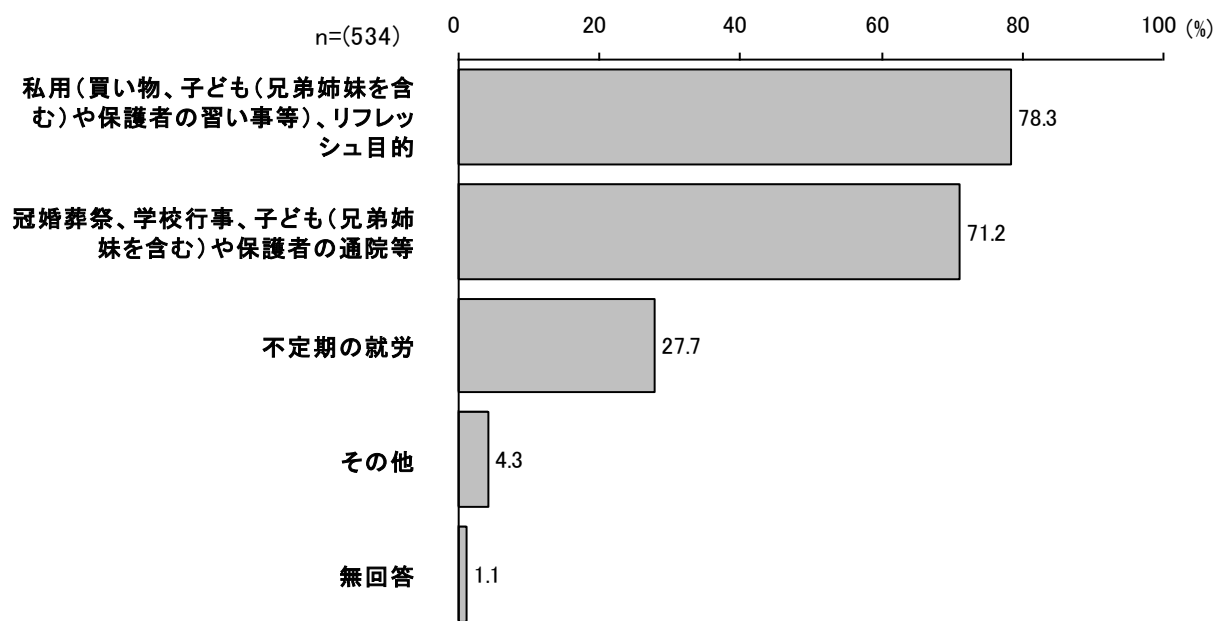
（3）今後の利用希望と利用したい日数

問50 あて名のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、問48であげたような一時預かりの事業を年間何日くらい利用する必要があると思いますか。利用する必要がある場合は、当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。【複数回答】



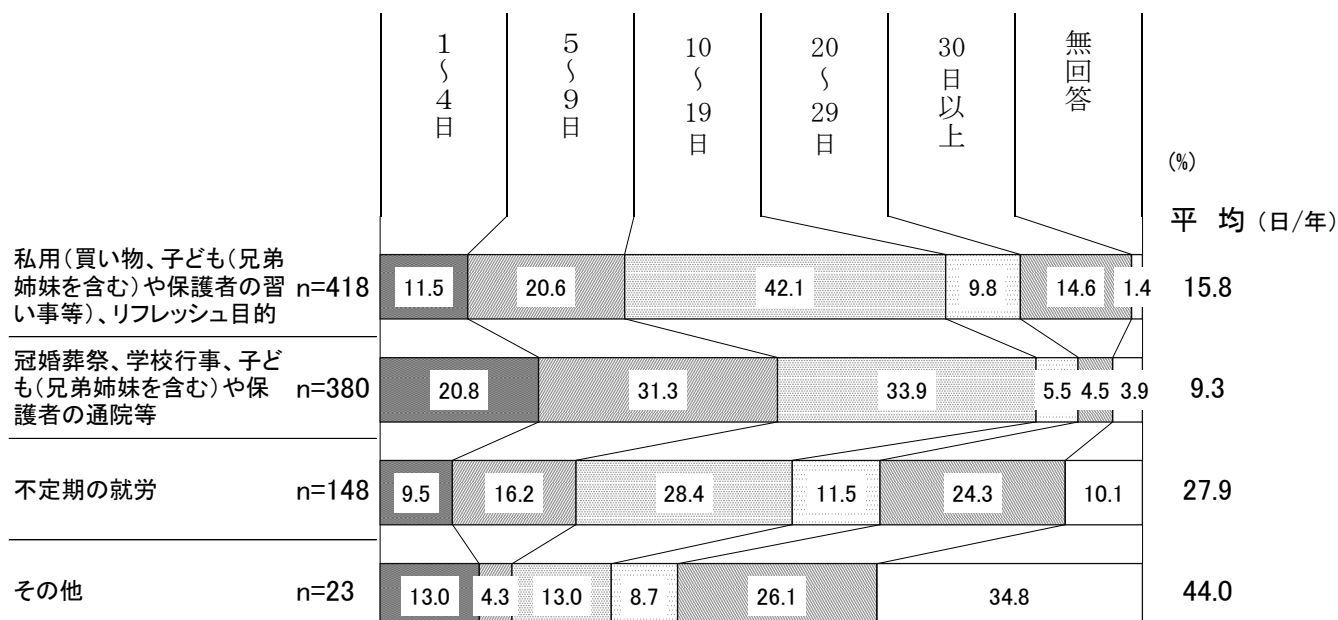
不定期の教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要がない」が49.7%、「利用する必要がある」が46.3%となっている。

不定期の教育・保育の事業の利用目的



不定期の教育・保育の事業の利用目的は、「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の習い事等)、リフレッシュ目的」が78.3%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の通院等」が71.2%と高くなっている。

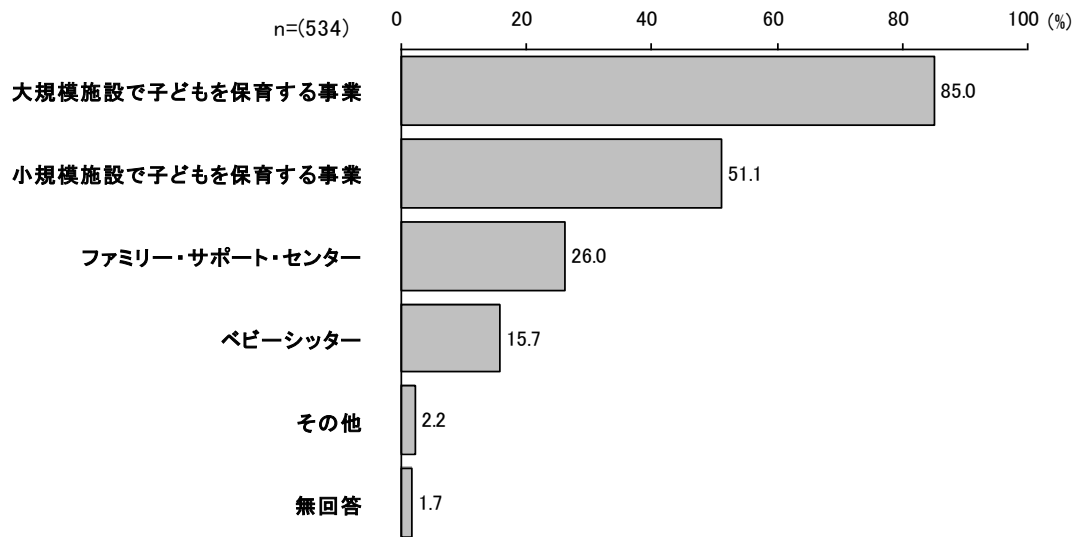
不定期の教育・保育の事業の利用希望日数



不定期の教育・保育の事業の平均利用希望日数は、「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の習い事等)、リフレッシュ目的」が15.8日/年、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の通院等」が9.3日/年となっている。

（4）望ましい事業形態

問51 問50で「1. 利用する必要がある」に○をつけた方におたずねします。問50の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

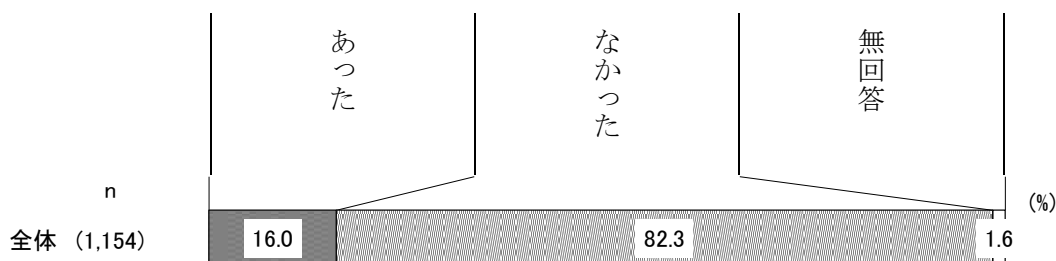


不定期の教育・保育の事業の望ましい事業形態としては、「大規模施設で子どもを保育する事業」が85.0%と高く、これに「小規模施設で子どもを保育する事業」が51.1%、「ファミリー・サポート・センター」が26.0%で続いている。

（5）保護者の用事により泊りがけで家族以外に預けたことの有無、対処方法、宿泊日数

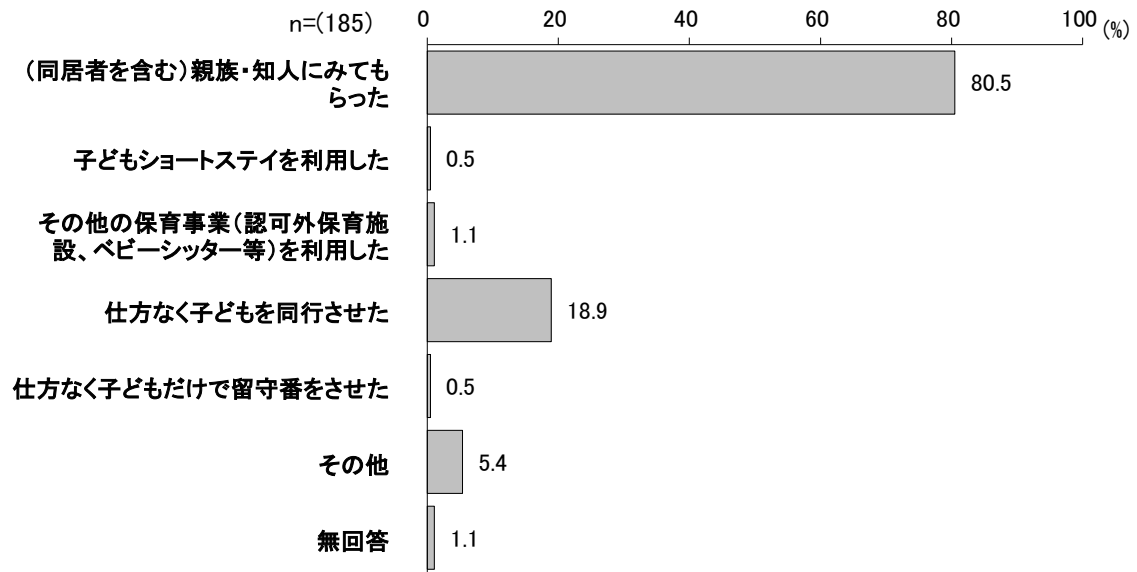
問52 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。この1年間の対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。【複数回答】

預けたことの有無



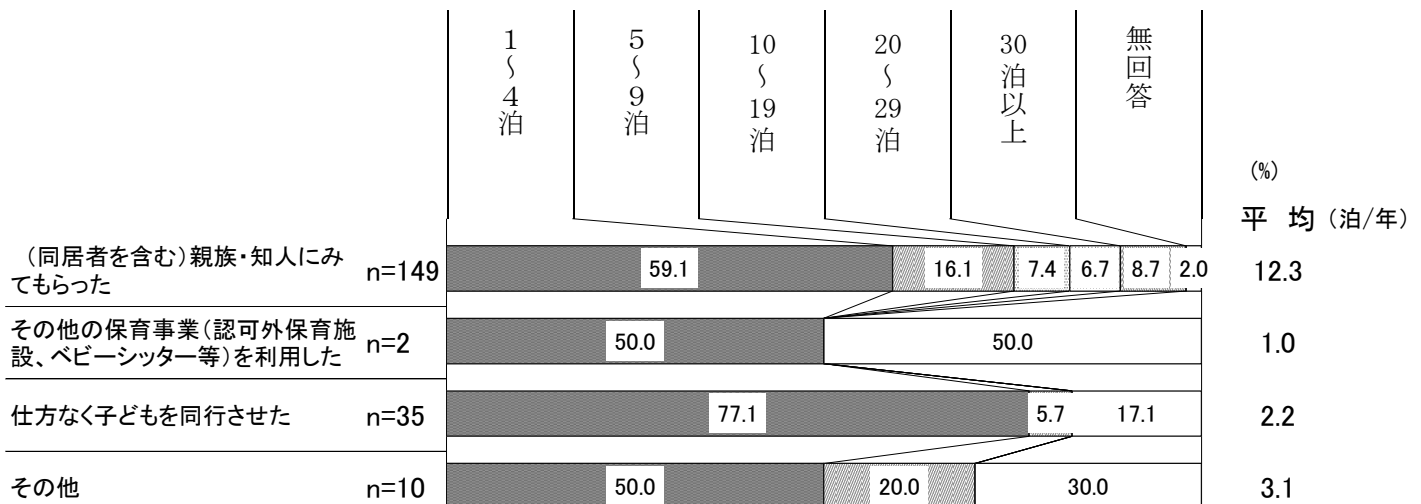
この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、子どもを泊りがけで家族以外に預けたことが「なかった」が82.3%、「あった」が16.0%となっている。

対処方法



保護者の用事により泊りがけで家族以外に預けた際の対処方法としては、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が 80.5%と高く、これに「仕方なく子どもを同行させた」が 18.9%で続いている。

宿泊数



保護者の用事により泊りがけで家族以外に預けた際の平均宿泊数は、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が 12.3 泊/年、「仕方なく子どもを同行させた」が 2.2 泊/年となっている。

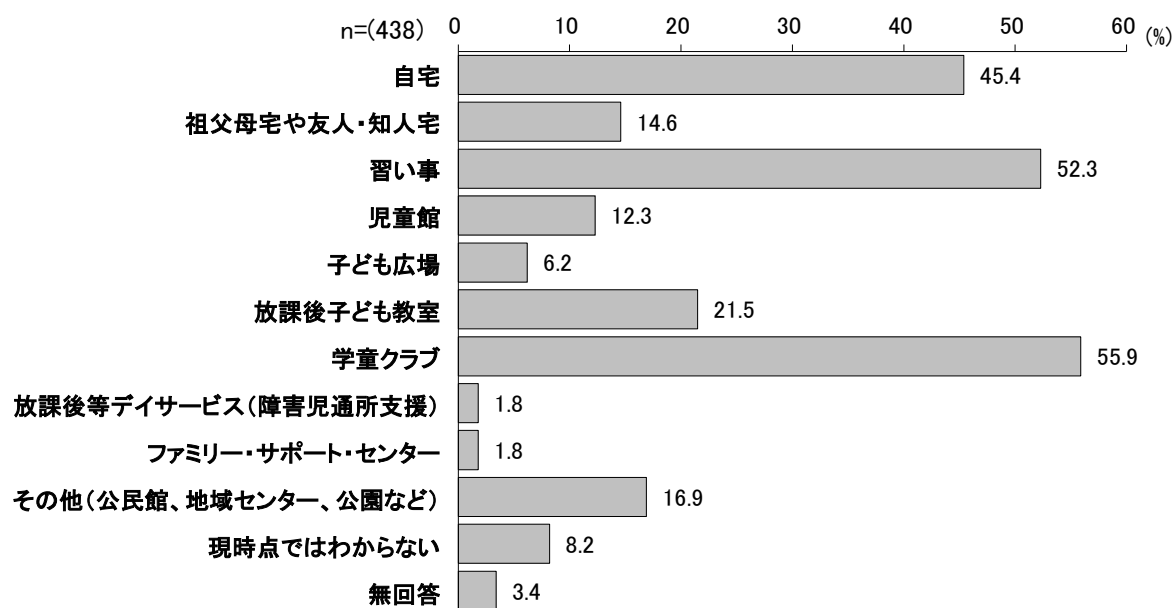
※「子どもショートステイを利用した」と「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」は該当者各 1 名ずつで、宿泊数は無回答だった。

10. 小学校就学後の放課後の過ごし方【調査対象が4歳以上】

(1) 小学校低学年（1～3年生）の間、放課後を過ごさせたい場所と日数

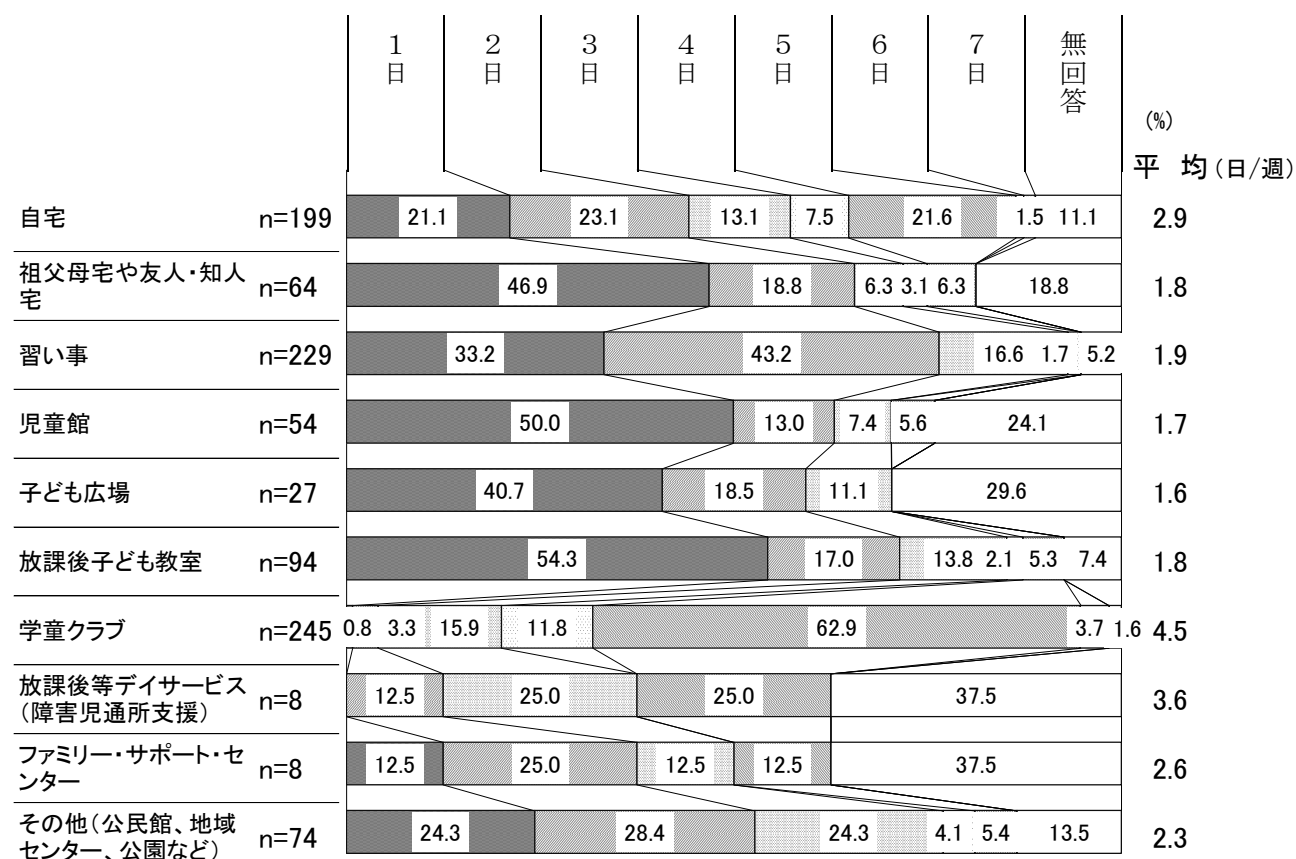
問53 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を口内に数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時刻も口内に数字でご記入ください。
【複数回答】

放課後を過ごさせたい場所



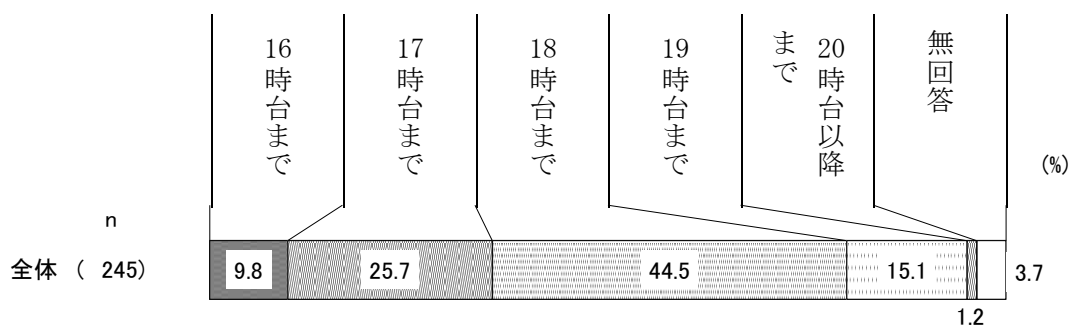
小学校低学年（1～3年生）の間、放課後を過ごさせたい場所は、「学童クラブ」（55.9%）、「習い事」（52.3%）、「自宅」（45.4%）が高く、これらに「放課後子ども教室」（21.5%）が続いている。

小学校低学年の間、放課後を過ごさせたい場所の日数（1週当たり）



過ごさせたい主な場所の1週当たりの平均日数は、「学童クラブ」が4.5日/週、「自宅」が2.9日/週、「習い事」が1.9日/週、「祖父母宅や友人・知人宅」と「放課後子ども教室」が1.8日/週となっている。

学童クラブの利用希望時刻（下校時から）

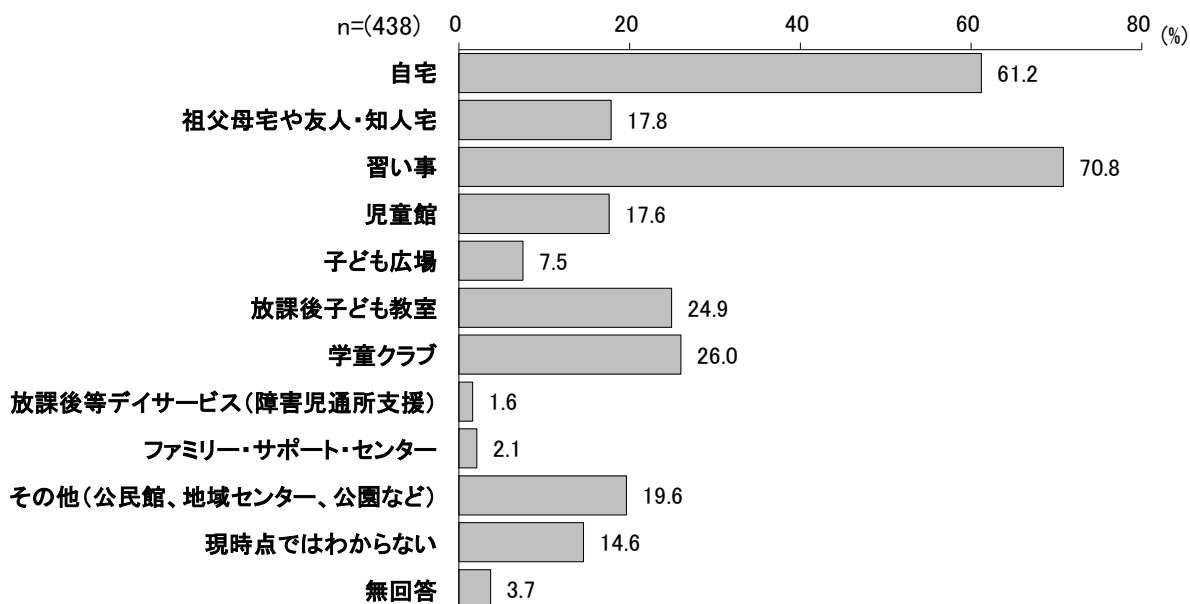


学童クラブの利用希望時刻は、「18時台まで」が44.5%、「17時台まで」が25.7%、「19時台まで」が15.1%となっている。

（2）小学校高学年（4～6年生）の間、放課後を過ごさせたい場所と日数

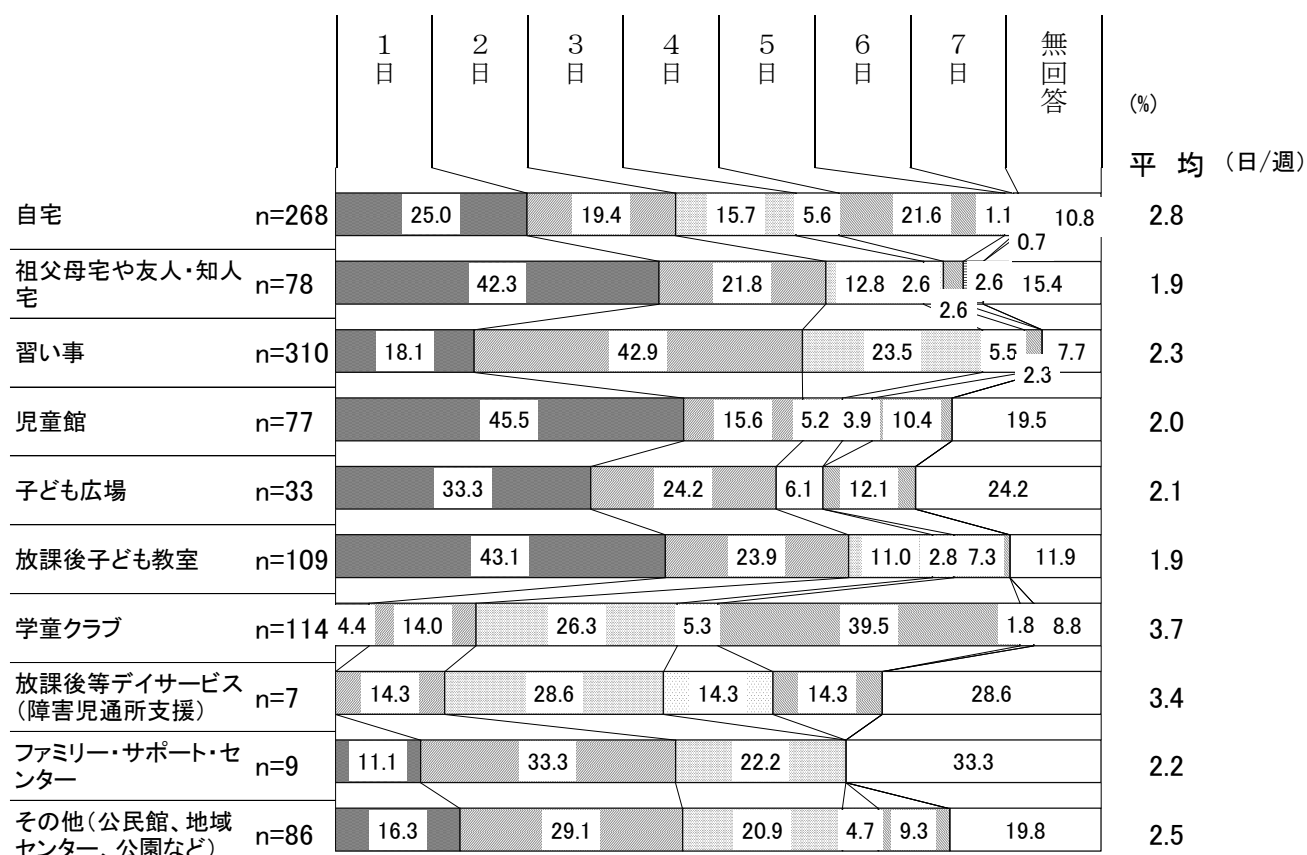
問54 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を口内に数字でご記入ください。【複数回答】また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

放課後を過ごさせたい場所



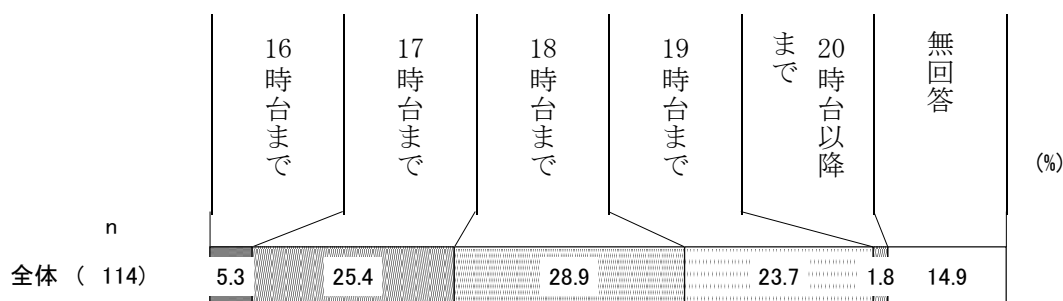
小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後に過ごさせたい場所は、「習い事」（70.8%）、「自宅」（61.2%）が高く、これらに「学童クラブ」（26.0%）、「放課後子ども教室」（24.9%）が続いている。

小学校高学年の間、放課後を過ごさせたい場所の日数（1週当たり）



主に過ごさせたい場所の1週当たりの平均日数は、「学童クラブ」が3.7日/週、「自宅」が2.8日/週、「習い事」が2.3日/週、「放課後子ども教室」1.9日/週となっている。

学童クラブの利用希望時刻（下校時から）

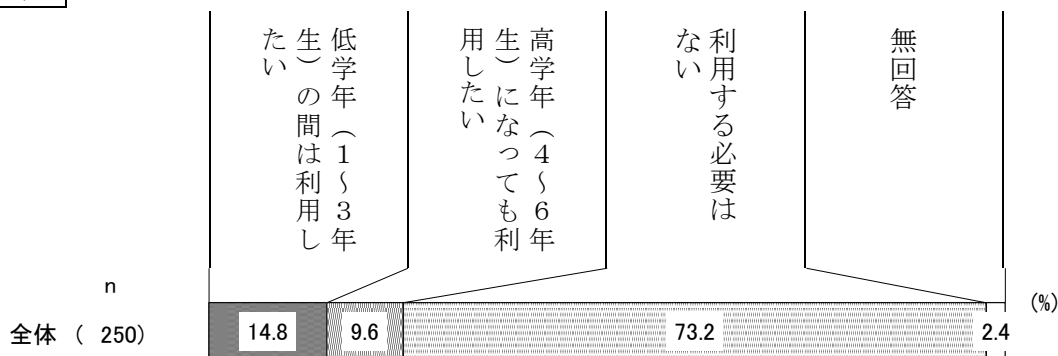


学童クラブの利用希望時刻は、「18時台まで」が28.9%、「17時台まで」が25.4%、「19時台まで」が23.7%となっている。

（3）学童クラブの日曜日・祝日の利用希望と利用したい時間帯

問55 あて名のお子さんについて、日曜日・祝日に学童クラブの利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい場合は、その時間帯を口内に数字でご記入ください。

利用希望

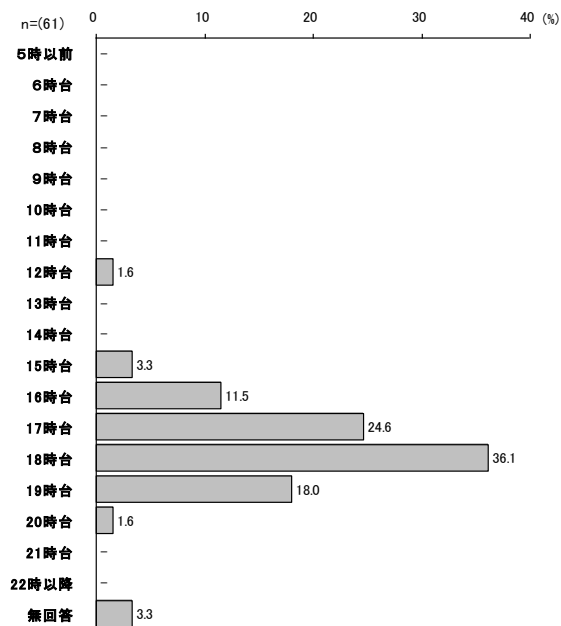
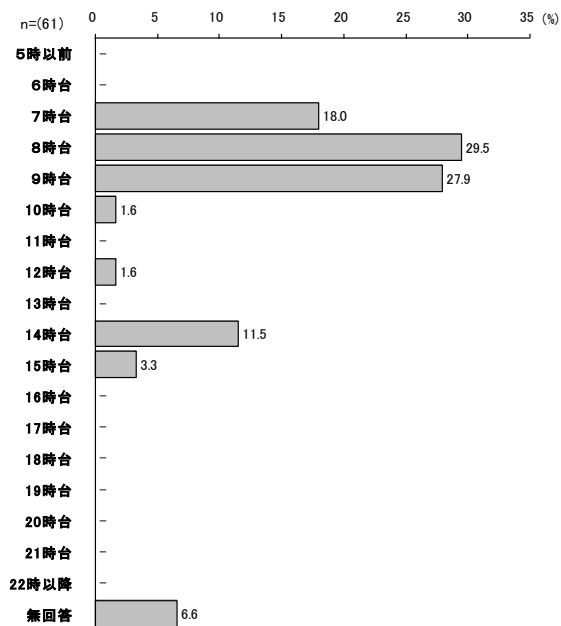


学童クラブの日曜日・祝日の利用希望は、「利用する必要はない」が73.2%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が14.8%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が9.6%となっている。

利用したい時間帯

開始時間

終了時間

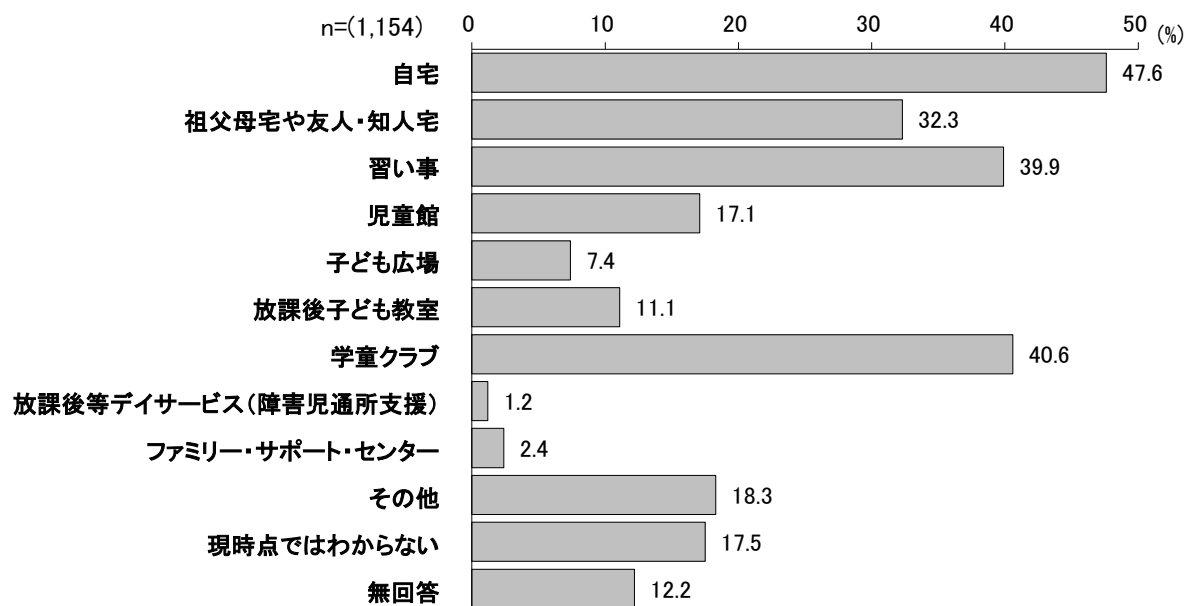


日曜日・祝日の学童クラブ利用希望開始時間は「8時台」が29.5%、「9時台」が27.9%、「7時台」が18.0%。利用希望終了時間は「18時台」が36.1%、「17時台」が24.6%、「19時台」が18.0%となっている。

（4）小学校の長期休暇中の過ごし方の希望

問56 あて名のお子さんについて、お子さんの小学校の夏休み・冬休み期間中はどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たりに数を口内に数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時刻も口内に数字でご記入ください。【複数回答】

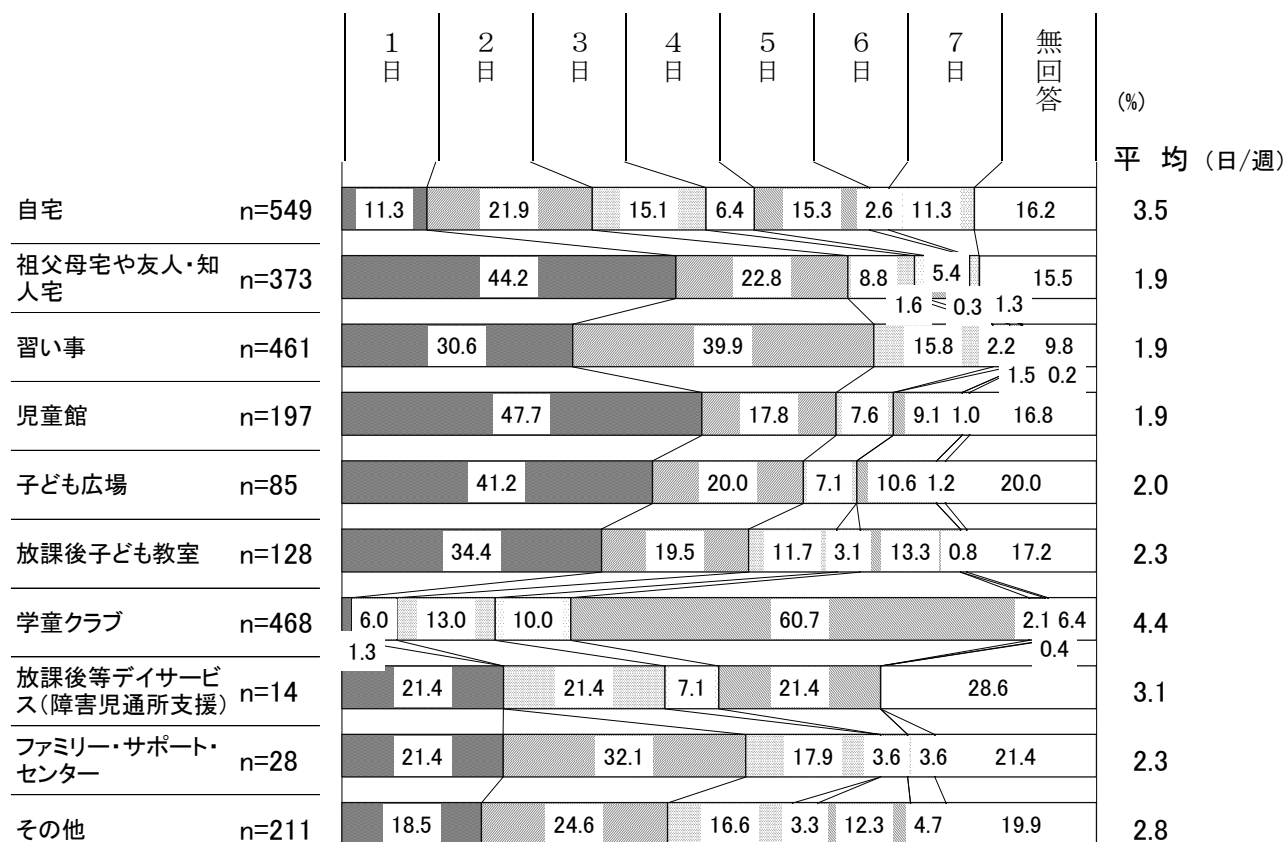
長期休暇中に過ごさせたい場所



小学校の長期休暇中に過ごさせたい場所は、「自宅」（47.6%）、「学童クラブ」（40.6%）、「習い事」（39.9%）が高く、これらに「祖父母宅や友人・知人宅」（32.3%）が続いている。

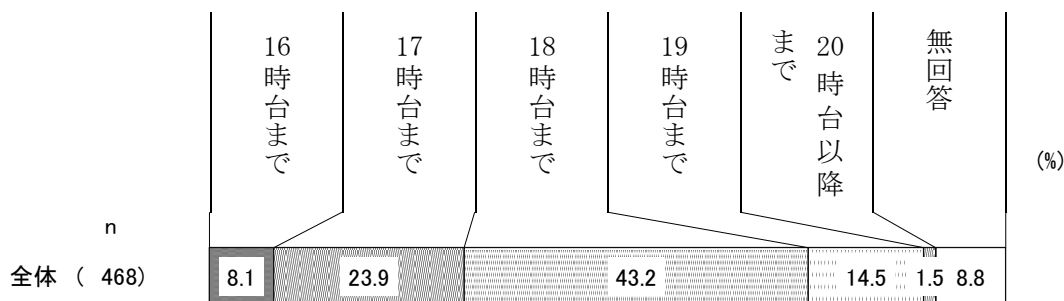
第2章 調査結果の詳細（就学前児童）

小学校の夏休み・冬休み期間中、過ごさせたい場所の日数（1週当たり）



主な場所の過ごさせたい日数は、「学童クラブ」が4.4日/週、「自宅」が3.5日/週、「習い事」と「祖母宅や友人・知人宅」が1.9日/週となっている。

学童クラブの利用希望時刻



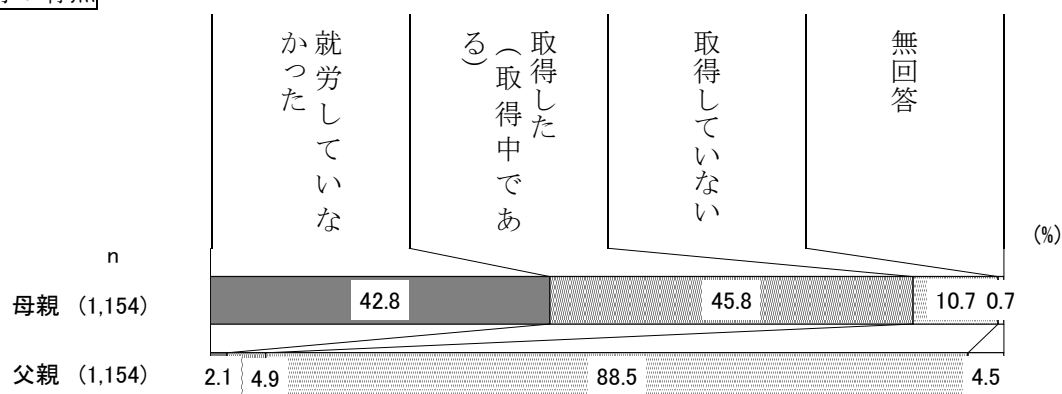
学童クラブの利用希望時刻は、「18時台まで」が43.2%、「17時台まで」が23.9%、「19時台まで」が14.5%となっている。

1.1. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(1) 育児休業取得の有無と取得しなかった理由

問57 あて名のお子さんが生まれた時、母親、父親のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方は該当する理由の番号をご記入ください。

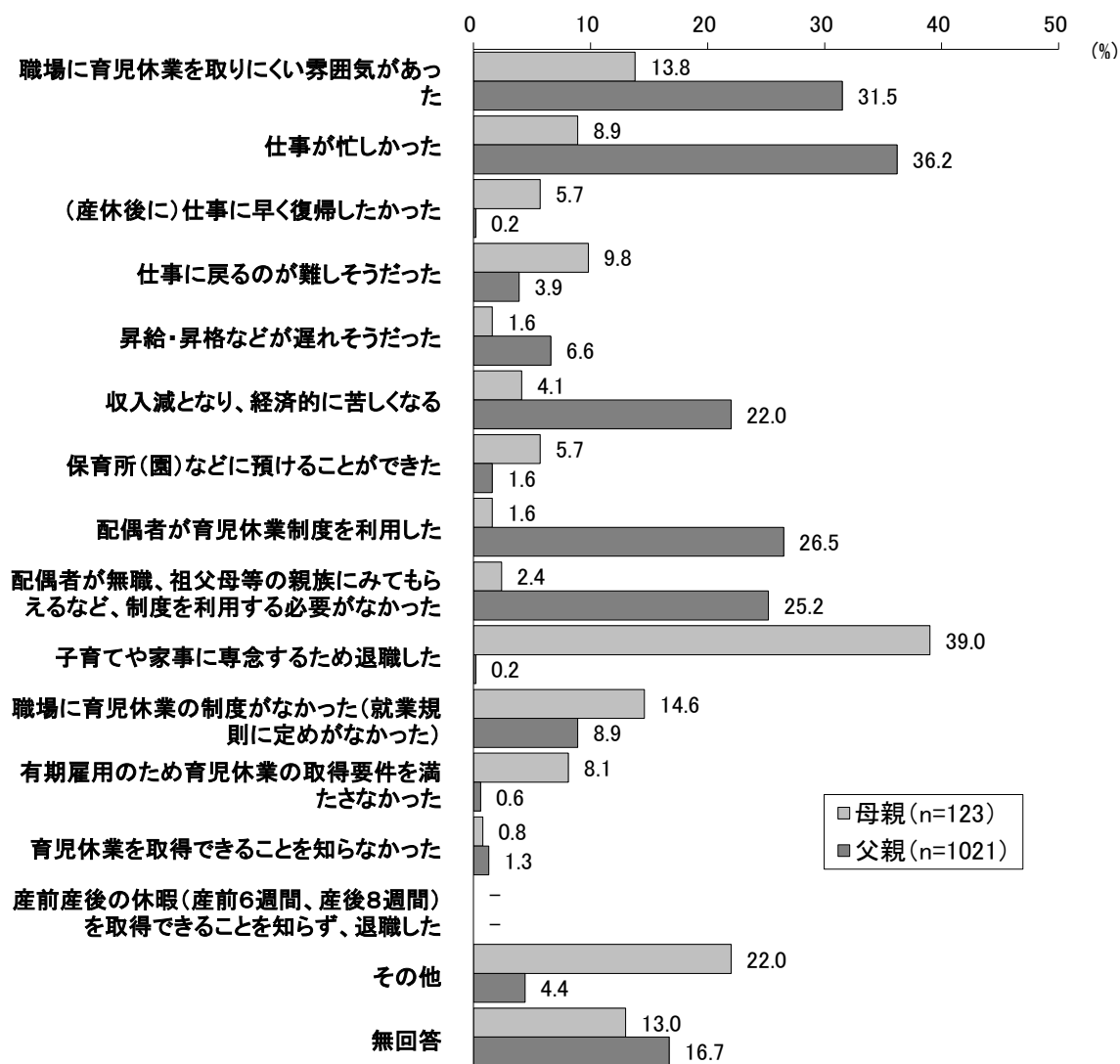
取得の有無



母親の育児休業取得状況は、「取得した（取得中である）」が45.8%、「就労していません」が42.8%、「取得していない」が10.7%となっている。

父親は、「取得していない」が88.5%と高くなっている。

育児休業を取得していない理由

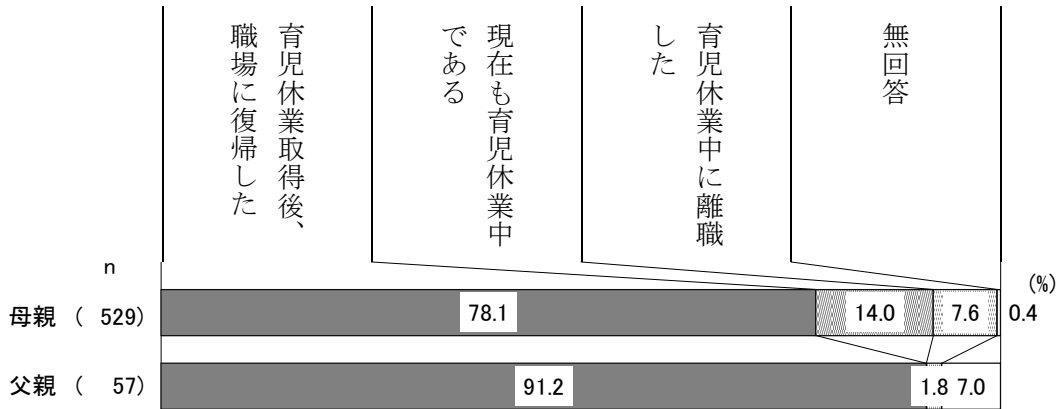


母親が育児休業を取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が 39.0%で高く、これに、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 14.6%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 13.8%で続いている。

父親が育児休業を取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が 36.2%で高く、これに、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 31.5%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が 26.5%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が 25.2%で続いている。

（2）育児休業取得後の職場復帰

問58 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。母親・父親の状況を、それぞれの太枠内の当てはまる番号1つに○をつけてください。

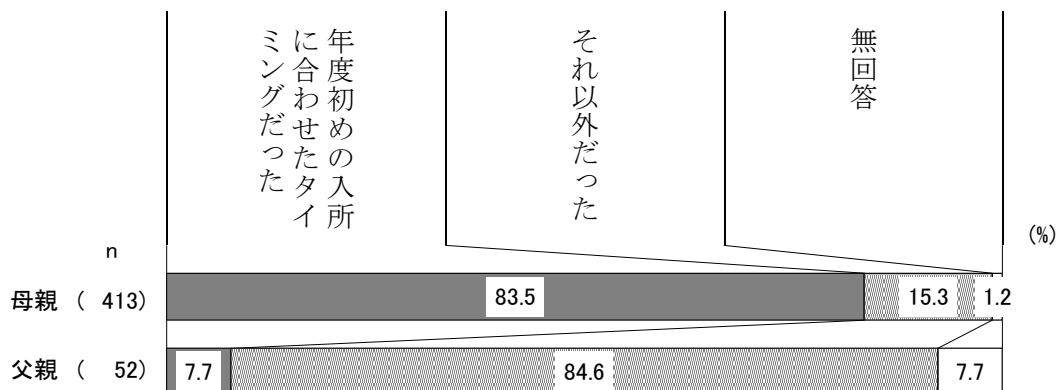


母親の育児休業取得後の職場復帰は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が78.1%、「現在も育児休業中である」が14.0%、「育児休業中に離職した」が7.6%となっている。

父親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が91.2%と高くなっている。

（3）復帰のタイミング

問59 問58で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方におたずねします。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。母親・父親の状況を、それぞれの太枠内の当てはまる番号どちらか1つに○をつけてください。

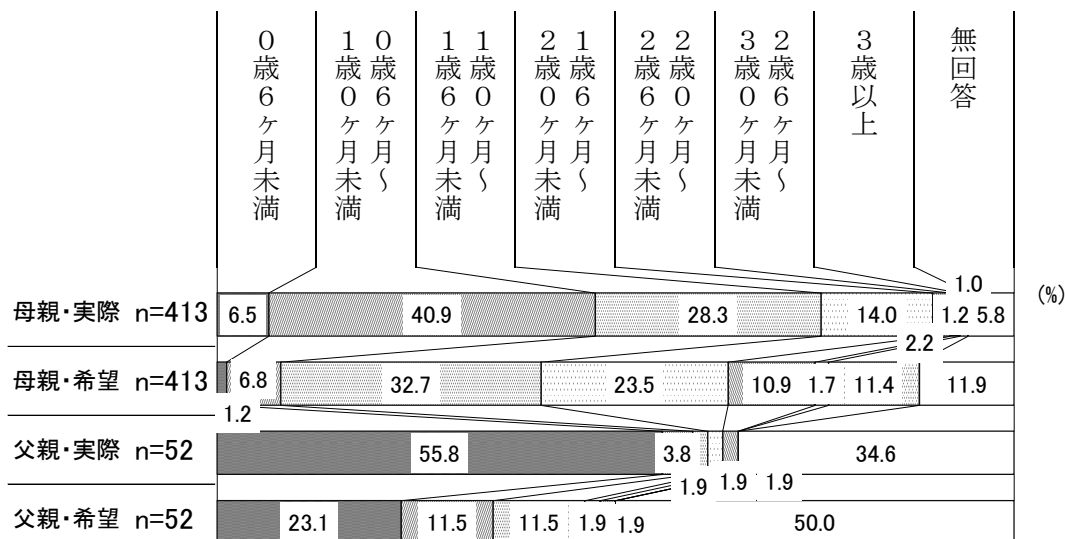


母親が育児休業取得後、職場に復帰したタイミングは、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が83.5%、「それ以外だった」が15.3%となっている。

父親は、「それ以外だった」が84.6%と高くなっている。

（4）実際の取得期間と希望

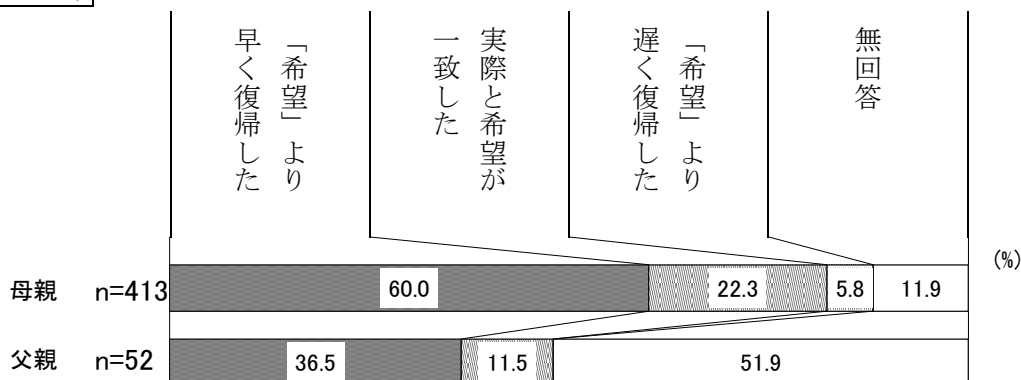
問 60 問 58 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方におたずねします。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。



母親が実際に職場復帰した時期の子どもの年齢は、「0歳6ヶ月～1歳0ヶ月未満」が40.9%、「1歳0ヶ月～1歳6ヶ月未満」が28.3%と高い。これに対し、希望の時期は「1歳0ヶ月～1歳6ヶ月」が32.7%、「1歳6ヶ月～2歳0ヶ月未満」が23.5%と高い。

父親が実際に職場復帰した時期の子どもの年齢は、「0歳6ヶ月未満」が55.8%と高い。希望の時期も「0歳6ヶ月未満」が23.1%で高くなっている。

職場復帰の時期

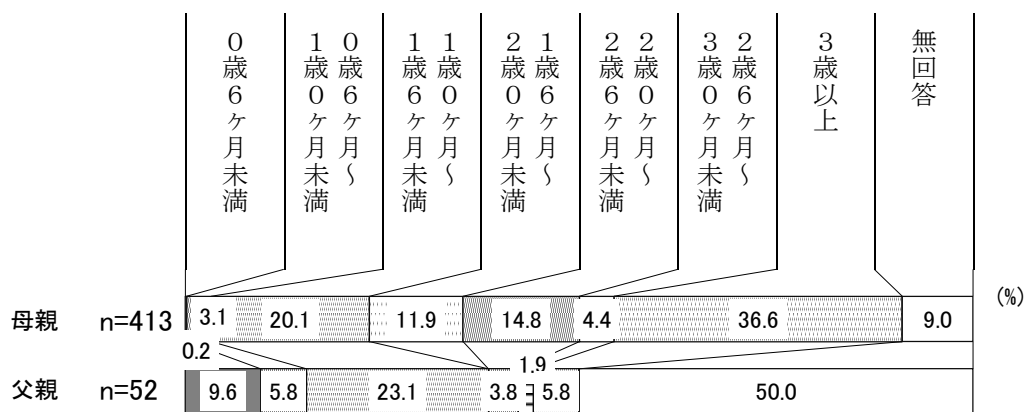


職場復帰の時期について、母親は「『希望』より早く復帰した」が60.0%、「実際と希望が一致した」が22.3%、「『希望』より遅く復帰した」が5.8%となっている。

父親は、「『希望』より早く復帰した」が36.5%、「実際と希望が一致した」が11.5%となっている。

（5）3歳まで取得できる休暇制度があった場合の取得希望

問 61 問 58 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方におたずねします。
勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては
お子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

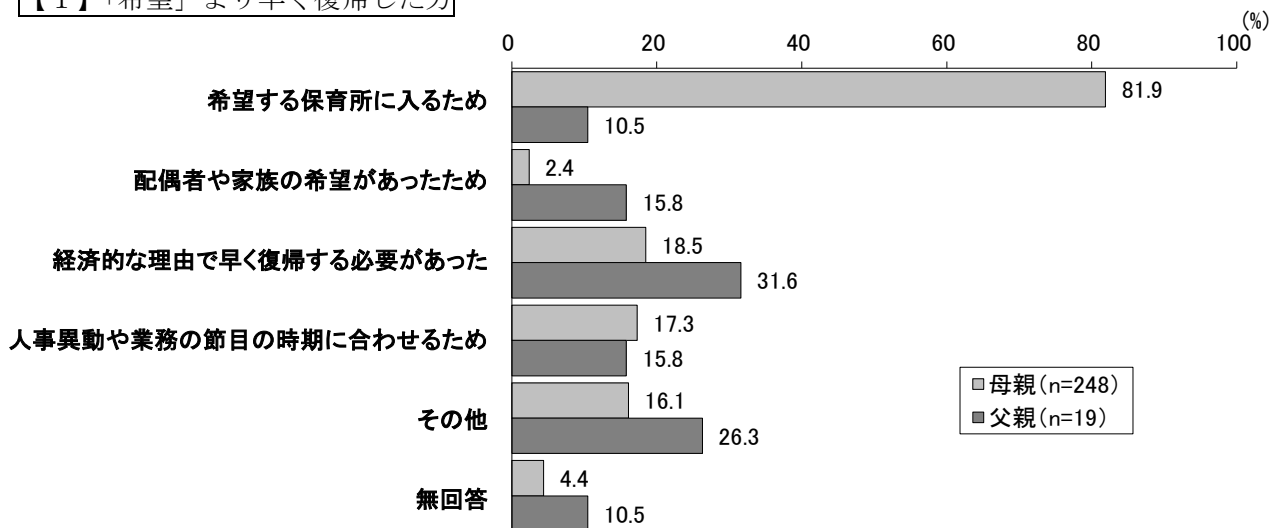


3歳まで取得できる休暇制度があった場合の取得希望期間をみると、母親は「3歳以上」が36.6%で高く、これに「1歳0ヶ月～1歳6ヶ月未満」が20.1%、「2歳0ヶ月～2歳6ヶ月未満」が14.8%、「1歳6ヶ月～2歳0ヶ月未満」が11.9%で続いている。
父親は、「1歳0ヶ月～1歳6ヶ月未満」が23.1%で高くなっている。

（6）希望の時期に職場復帰しなかった理由

問 62 希望の時期に職場復帰しなかった理由についておたずねします。【複数回答】

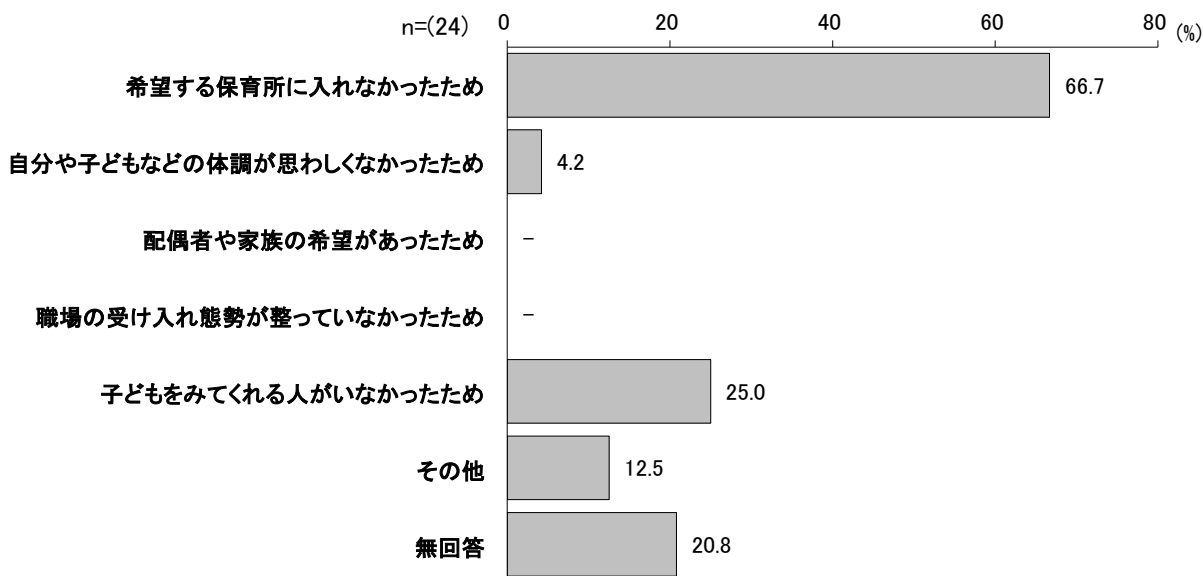
【1】「希望」より早く復帰した方



希望よりも早く職場復帰した母親の理由は、「希望する保育所に入るため」が81.9%と高い。父親の理由は、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が31.6%で高くなっている。

【2】「希望」より遅く復帰した方

母親

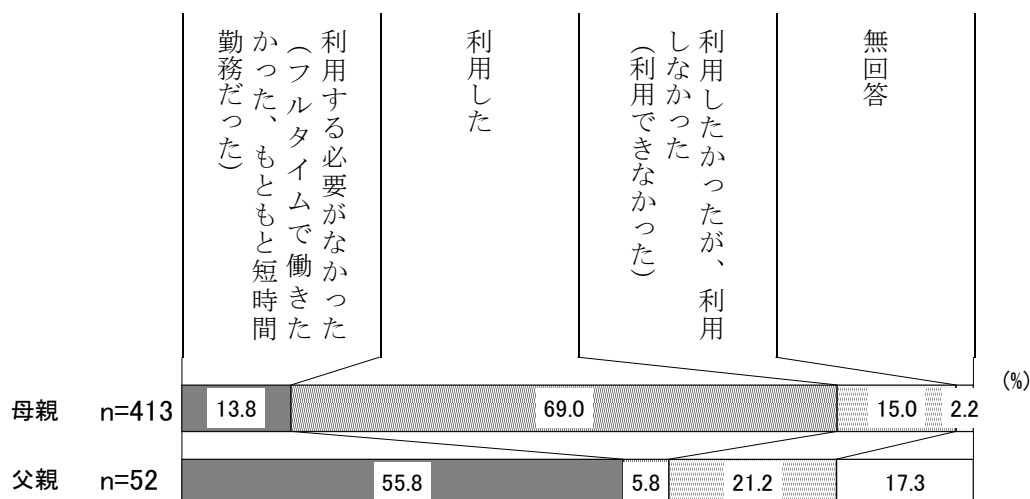


希望よりも遅く職場復帰した母親の理由は、「希望する保育所に入れなかったため」が66.7%で高く、次いで「子どもをみってくれる人がいなかったため」が25.0%となっている。

※父親は該当者がいないため、掲載していない。

（7）短時間勤務制度利用の有無

問 63 問 58 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方におたずねします。
 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。
 母親・父親の状況を、それぞれの太枠内の当てはまる番号1つに○をつけてください。

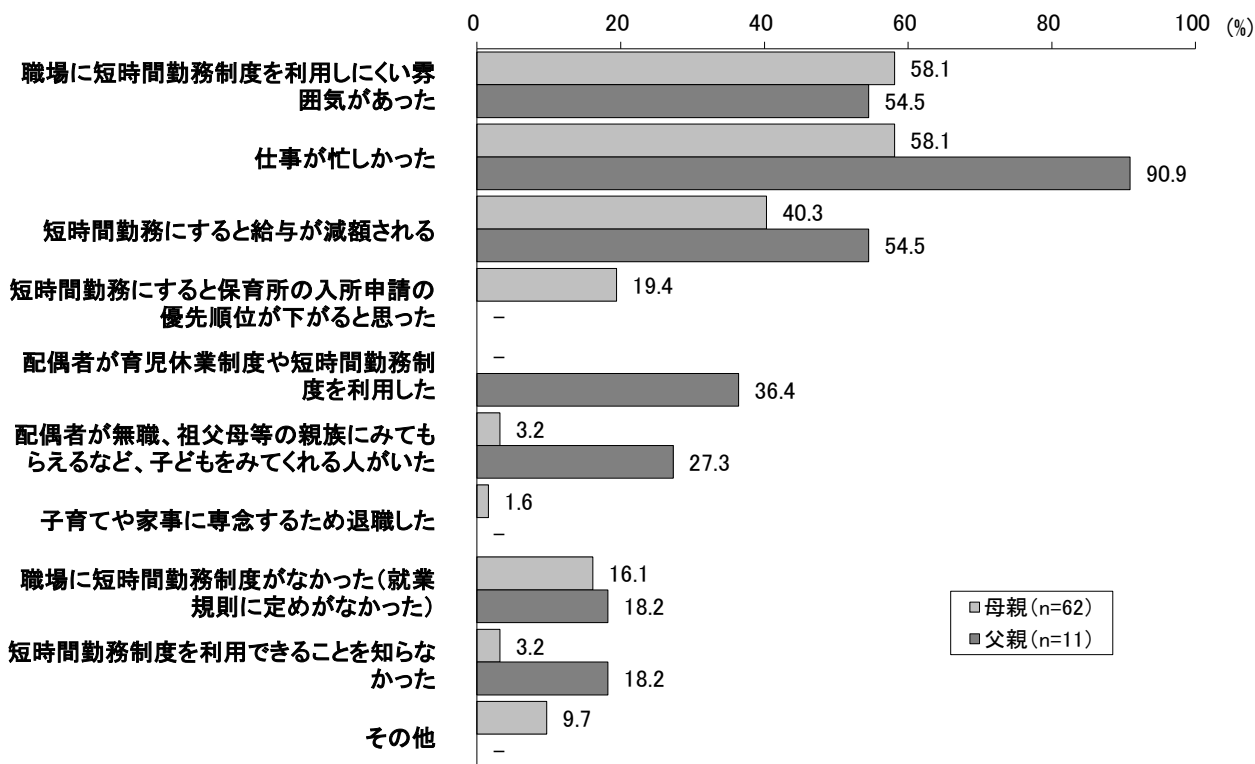


育児休業取得後、職場に復帰した母親の短時間勤務制度の利用状況は、「利用した」が69.0%、「利用したかったが、利用できなかった（利用できなかった）」が15.0%、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が13.8%となっている。

父親は、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が55.8%、「利用したかったが、利用できなかった（利用できなかった）」が21.2%、「利用した」が5.8%となっている。

（8）短時間勤務制度を利用しなかった理由

問64 問63で「3. 利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方におたずねします。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由はなんですか。母親・父親の状況を、それぞれの太枠内の当てはまる理由すべてに○をつけてください。【複数回答】



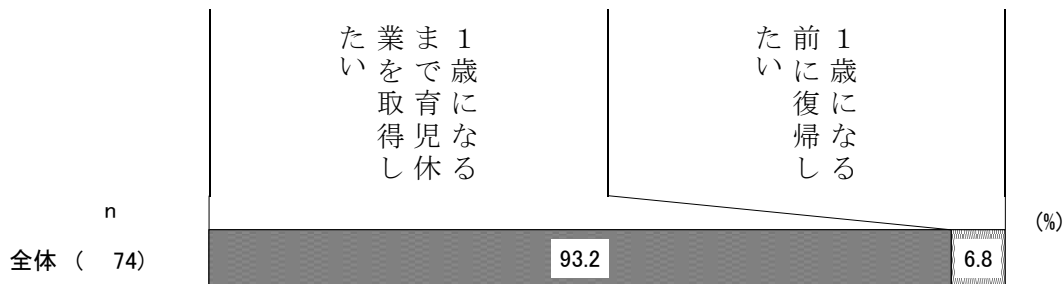
育児休業取得後、職場に復帰した際、短時間勤務制度を利用しなかった母親の理由は、「職場に短時間勤務制度を利用しにくい雰囲気があった」と「仕事が忙しかった」がともに58.1%と高い。

父親の理由は、「仕事が忙しかった」が90.9%で高く、これに「職場に短時間勤務制度を利用しにくい雰囲気があった」と「短時間勤務にすると給与が減額される」がともに54.5%で続いている。

(9) 1歳になった時に必ず利用できる教育・保育の事業がある場合の1歳までの育児休業取得希望

問65は、問58で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方におたずねします。

問65 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる教育・保育の事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。
母親・父親の状況を、それぞれの太枠内の当てはまる番号1つに○をつけてください。

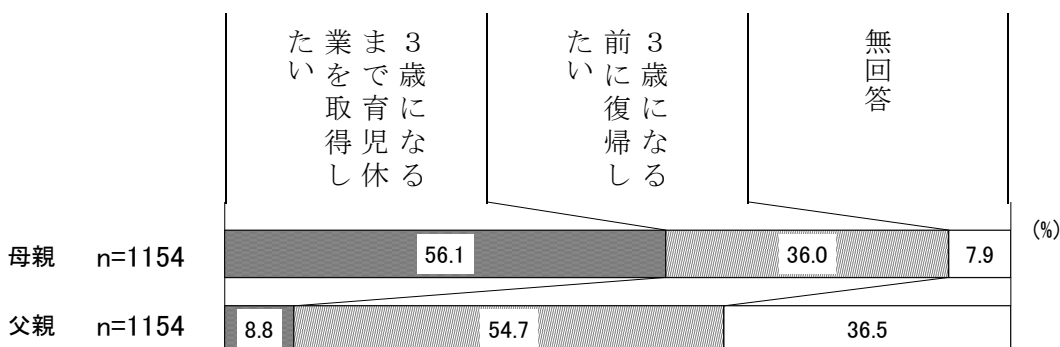


育児休業中の母親について、1歳になった時に必ず利用できる教育・保育の事業がある場合の育児休業取得希望をみると、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が93.2%と高くなっている。

※父親は該当者がいないため、掲載していない。

(10) 3歳までの育児休業制度がある場合の3歳までの育児休業取得希望

問66 職場に3歳までの育児休業の制度があれば、3歳になるまで育児休業を取得しますか。または、そのような制度があっても3歳になる前に復帰しますか。
母親・父親の状況を、それぞれの太枠内の当てはまる番号1つに○をつけてください。

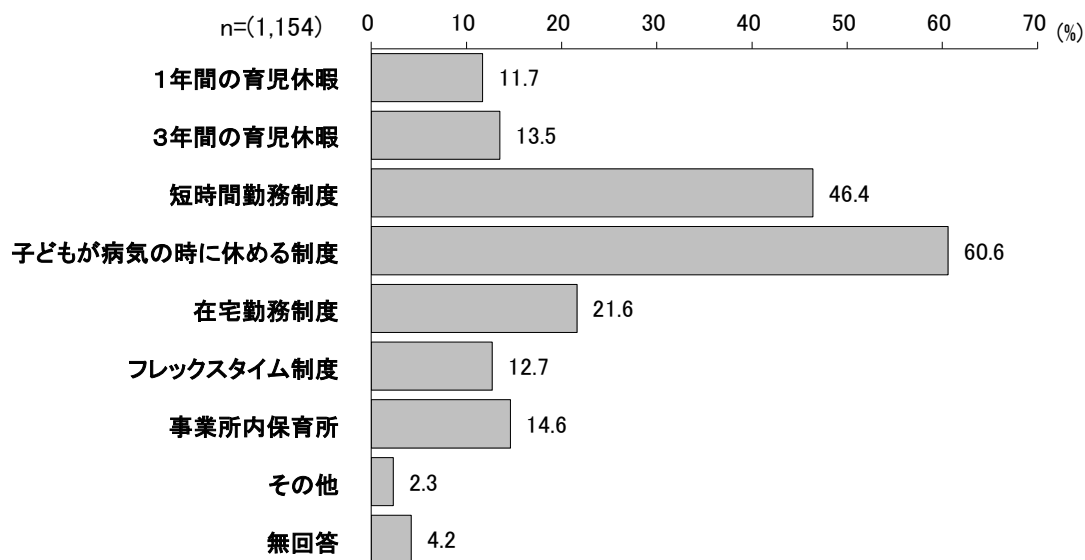


3歳までの育児休業制度がある場合の母親の育児休業取得希望は、「3歳になるまで育児休業を取得したい」が56.1%、「3歳になる前に復帰したい」が36.0%となっている。

父親の育児休業取得希望は、「3歳になる前に復帰したい」が54.7%、「3歳になるまで育児休業を取得したい」が8.8%となっている。

（11）仕事を続けるために希望する職場の環境

問67 仕事を続けるために特に希望する職場の環境は何ですか。当てはまる番号に2つまで○をつけてください。【複数回答】

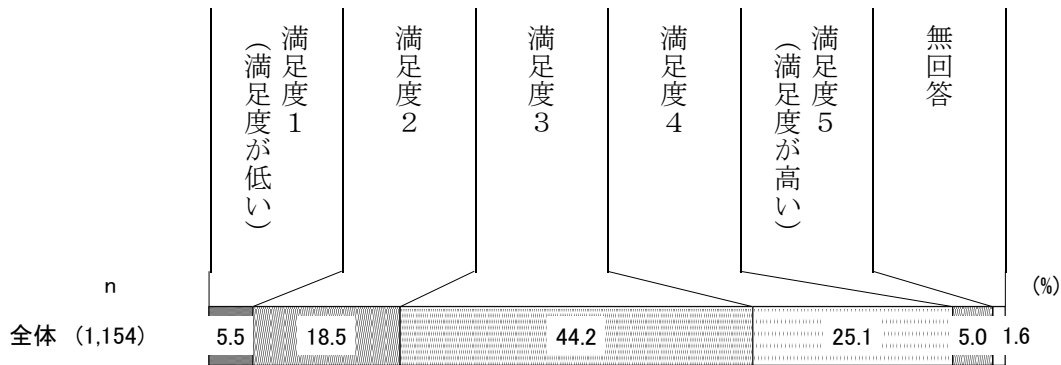


仕事を続けるために希望する職場の環境としては、「子どもが病気の時に休める制度」が60.6%で高く、これに「短時間勤務制度」が46.4%が続いている。

12. 子育て全般

（1）地域における子育ての環境や支援への満足度

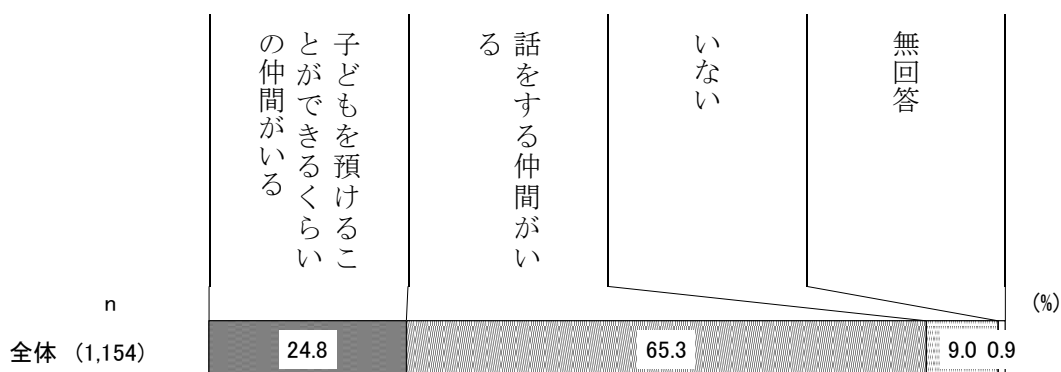
問68 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。



住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度は、「満足度3」が44.2%で高く、これに「満足度4」が25.1%、「満足度2」が18.5%が続いている。

（2）子育て仲間の有無

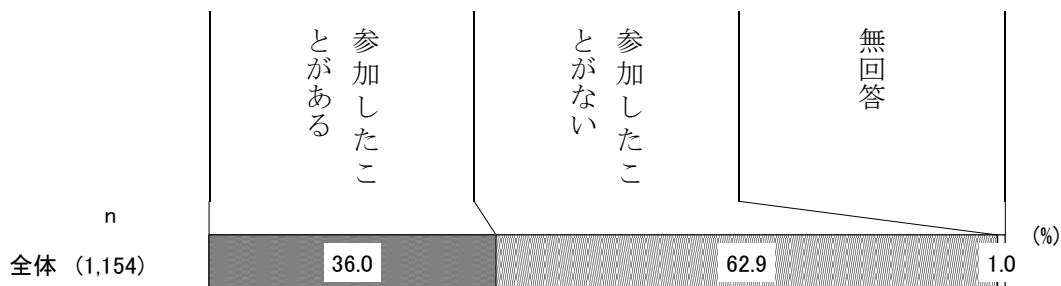
問69 あなたの周りには子育ての仲間がいますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。



子育ての仲間については、「話をする仲間がいる」が65.3%、「子どもを預けることができるくらいの仲間がいる」が24.8%、「いない」が9.0%となっている。

（3）子育てイベントの参加の有無

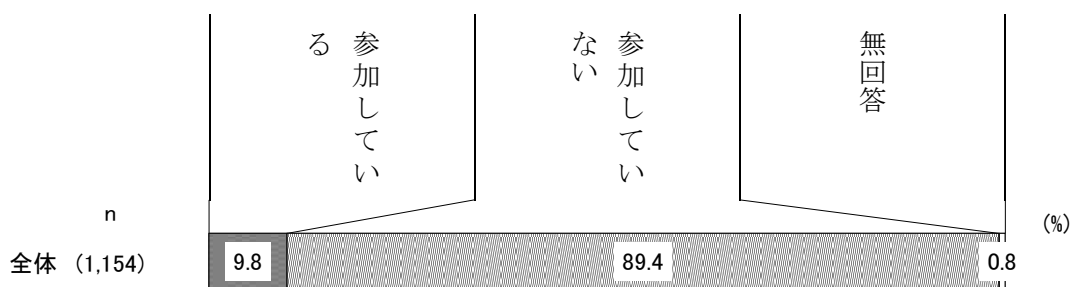
問70 あなたは子育てサークルやNPO団体等が行う子育てイベントに参加したことがありますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。



子育てサークルやNPO団体等が行う子育てイベントについては、「参加したことがない」が 62.9%、「参加したことがある」が 36.0%となっている。

（4）子育てグループ活動の定期的参加の有無

問71 あなたは子育てサークルなどのグループ活動に定期的に参加していますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

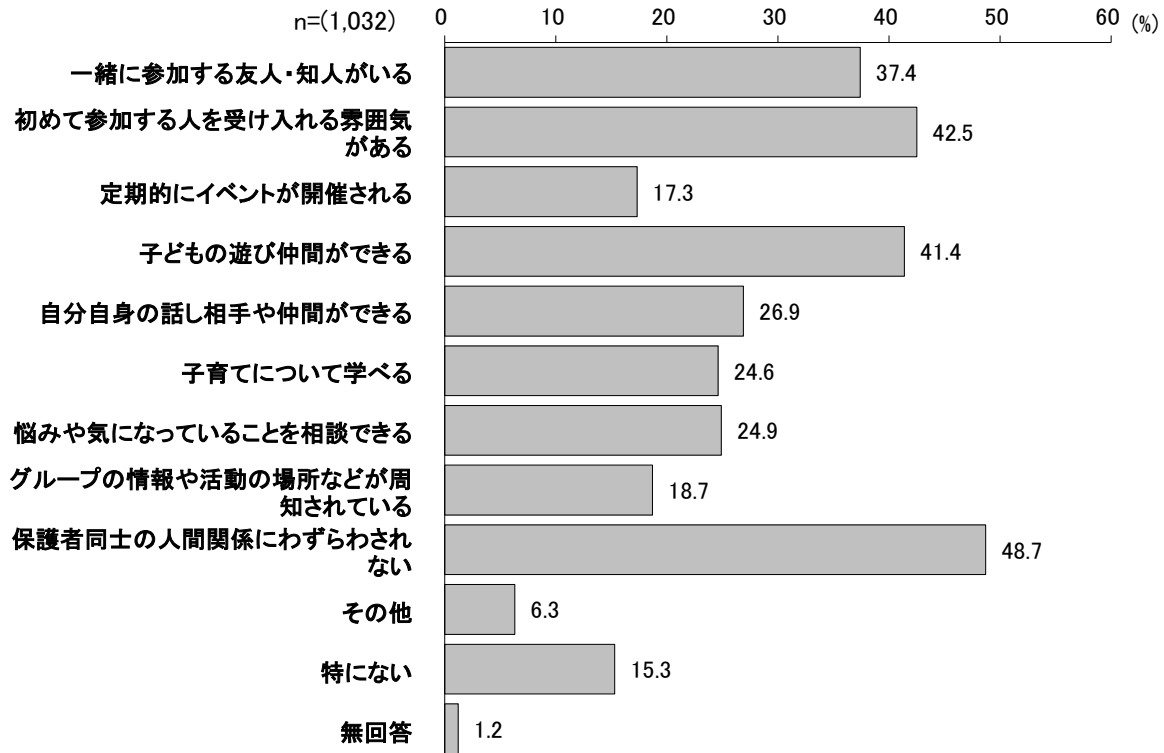


子育てサークルなどのグループ活動への定期的参加については、「参加していない」が 89.4%、「参加している」が 9.8%となっている。

(5) 子育てグループ活動に参加したい状況

問71-1 問71で「2. 参加していない」に○をつけた方におたずねします。どのような場合であれば、参加してみたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

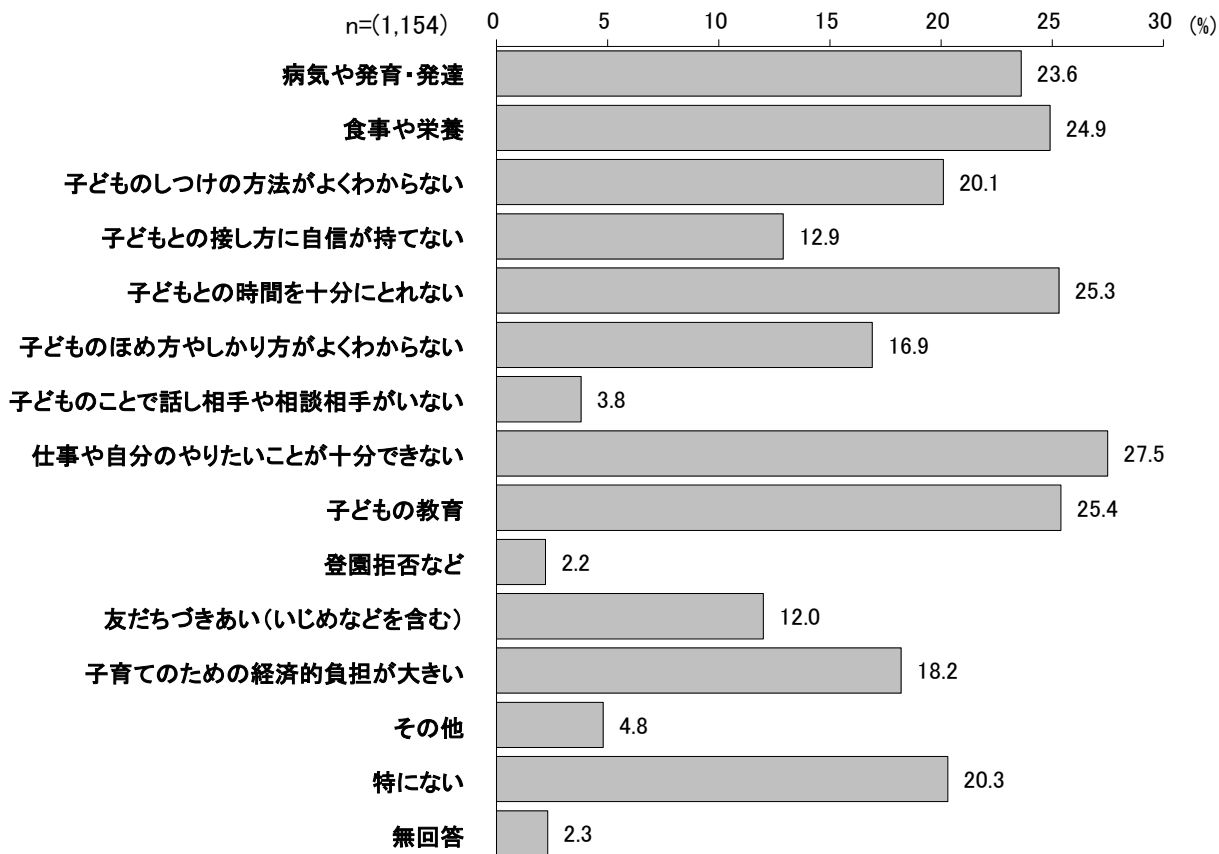
【複数回答】



子育てサークルなどのグループ活動へ定期的に参加していない人がどのような場合であれば、参加してみたいと思うかをみると、「保護者同士の人間関係にわずらわされない」が 48.7%で高く、これに、「初めて参加する人を受け入れる雰囲気がある」が 42.5%、「子どもの遊び仲間ができる」が 41.4%、「一緒に参加する友人・知人がいる」が 37.4%で続いている。

（6）子育てに関する悩み

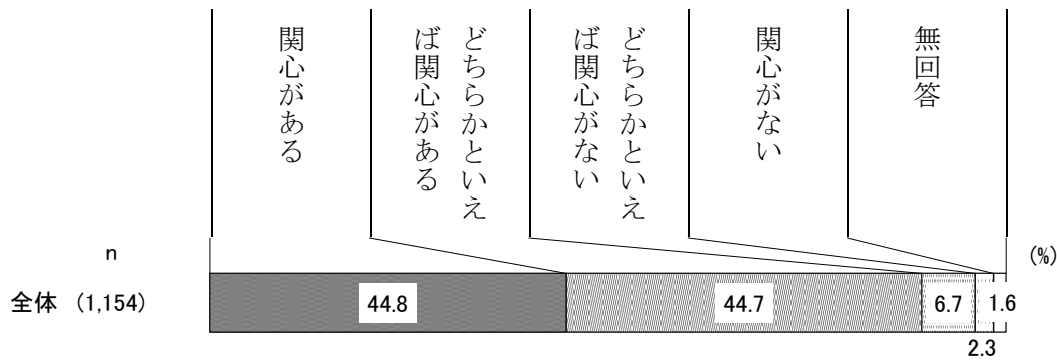
問72 子育てに関して悩んでいること、または気になることがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】



子育てに関して悩んでいること、気になることは、「仕事や自分のやりたいことが十分できない」が27.5%、「子どもの教育」が25.4%、「子どもとの時間を十分にとれない」が25.3%、「食事や栄養」が24.9%、「病気や発育・発達」が23.6%の順となっている。

（7）児童虐待の関心度

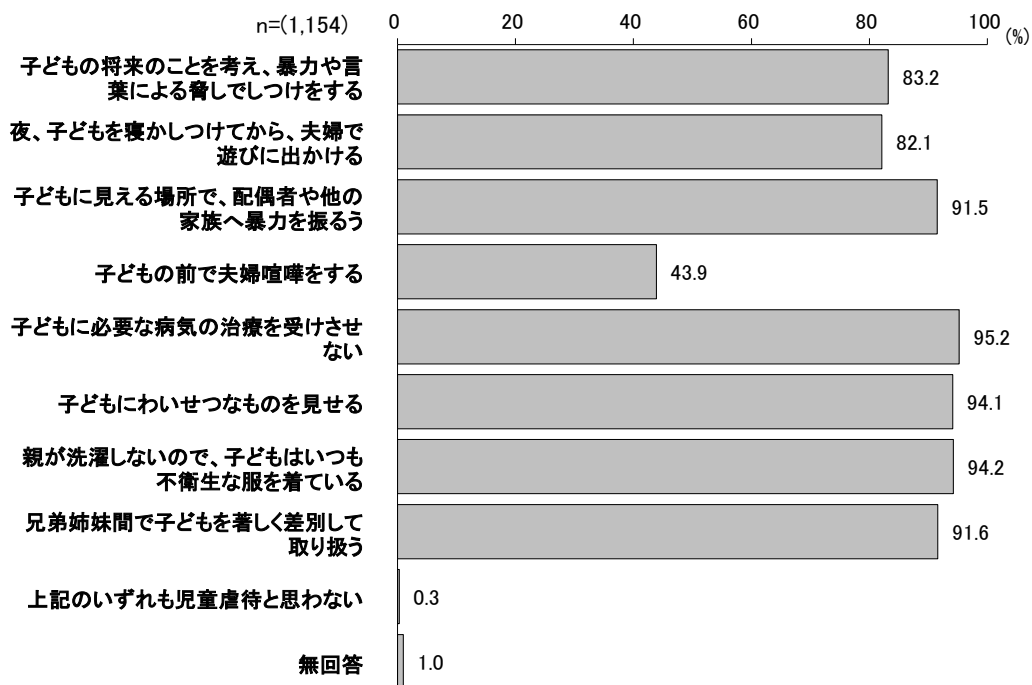
問73 あなたは、児童虐待について、どの程度関心がありますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。



児童虐待の関心度は、「関心がある」（44.8%）と「どちらかといえば関心がある」（44.7%）を合計すると89.5%となる。

（8）児童虐待と感ずる状況

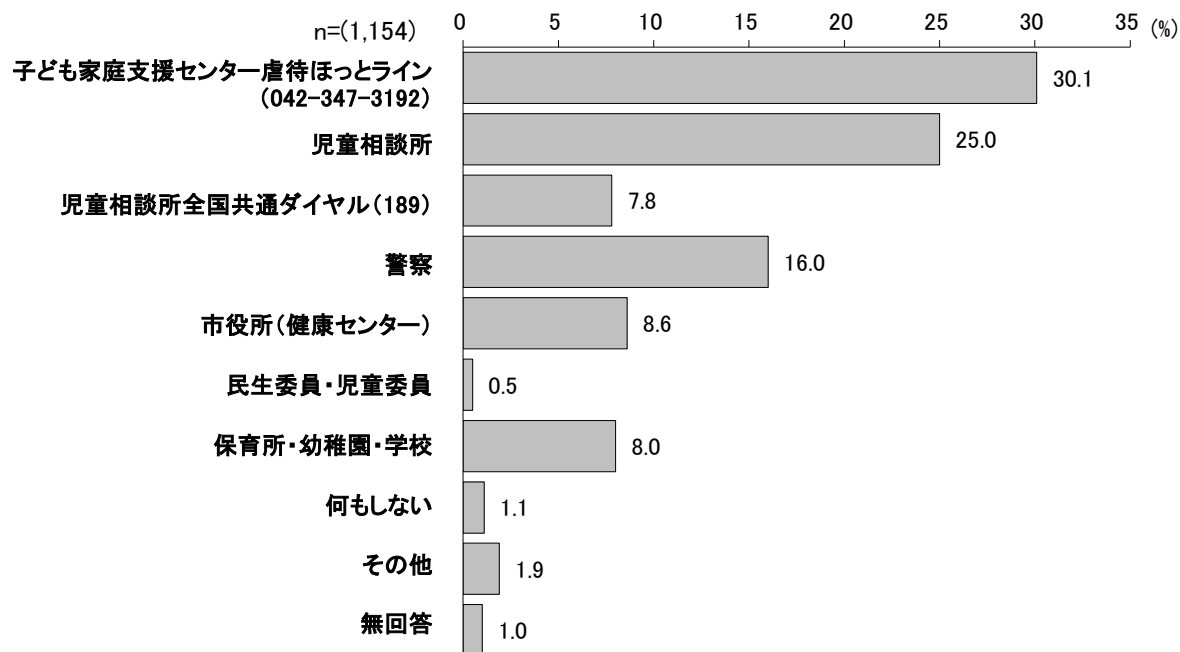
問74 あなたが児童虐待と感ずるものは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】



児童虐待と感ずることは、「子どもに必要な病気の治療を受けさせない」（95.2%）、「親が洗濯しないので、子どもはいつも不衛生な服を着ている」（94.2%）、「子どもにわいせつなものを見せる」（94.1%）、「兄弟姉妹間で子どもを著しく差別して取り扱う」（91.6%）、「子どもに見える場所で、配偶者や他の家族へ暴力を振るう」（91.5%）の5項目が90%を超えている。

（9）児童虐待を相談・通報する場所

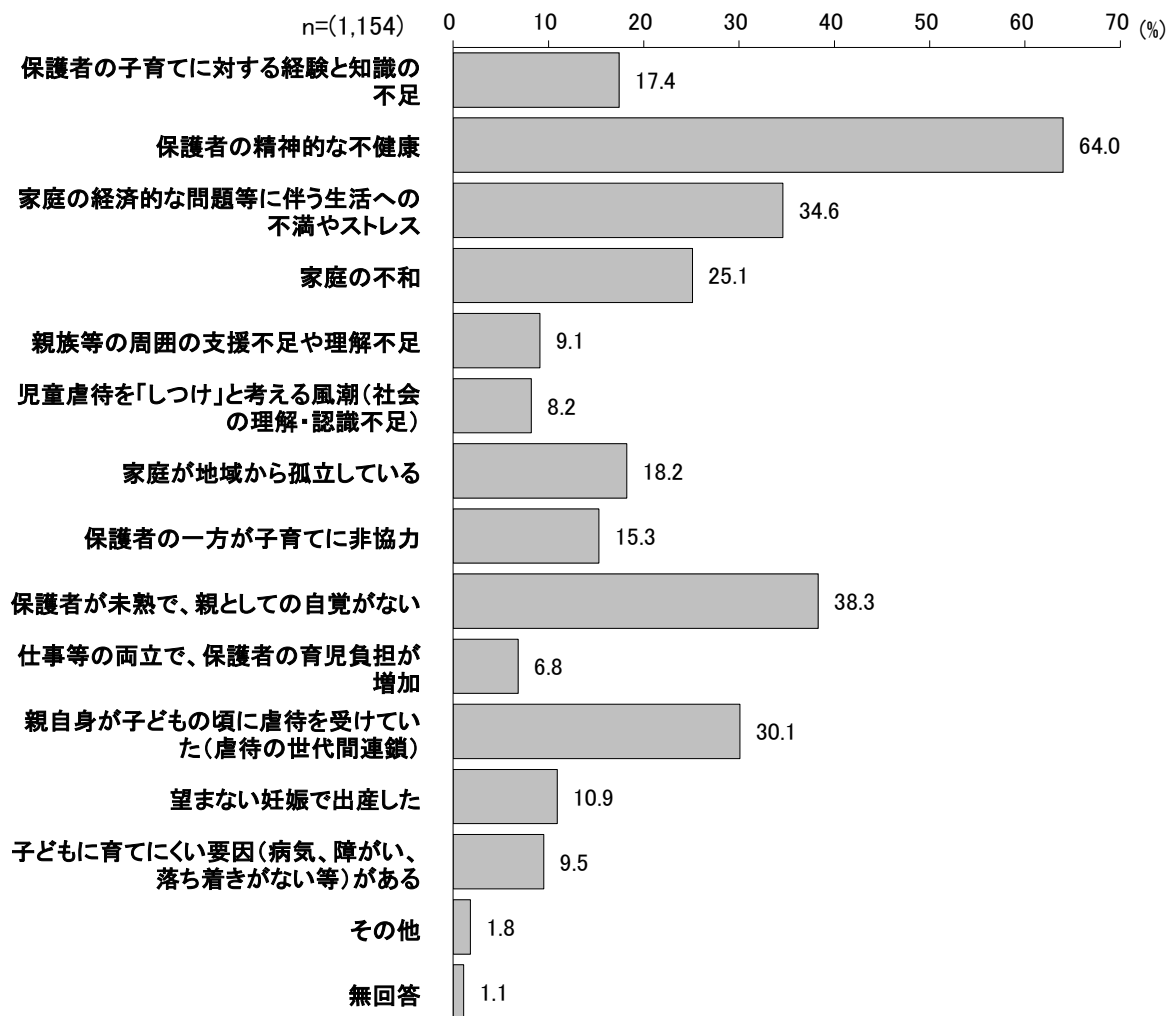
問75 児童虐待を発見した場合には、まず最初にどこに相談・通報しようと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



児童虐待を発見した場合、最初に相談・通報しようと思う場所は、「子ども家庭支援センター虐待ほっとライン(042-347-3192)」が30.1%で高く、これに「児童相談所」が25.0%が続いている。

(10) 児童虐待が起こる理由

問76 あなたは、なぜ児童虐待が起こると思いますか。当てはまる番号3つに○をつけてください。【複数回答】



児童虐待が起こる理由については、「保護者の精神的な不健康」が64.0%で高く、これに「保護者が未熟で、親としての自覚がない」(38.3%)、「家庭の経済的な問題等に伴う生活への不満やストレス」(34.6%)、「親自身が子どもの頃に虐待を受けていた」(30.1%)が続いている。

（11）教育・保育の環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見

最後に、教育・保育の環境の充実など子育ての環境や支援に関するご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

子育ての環境や支援に関するご意見として、452人から延べ502件の回答が寄せられた。なお、1人で2つ以上の内容を記入している場合もあるため、件数は延べ件数となる。

教育・保育サービス	173
待機児童の解消・保育所への入園のしやすさ	54
一時預かりの充実・利便性の向上	43
保育所の充実・質の向上	21
病児・病後児保育の充実・利便性の向上	19
障がい児・発達障がいへの支援・サポート	11
夜間、延長保育、休日保育の充実・利便性の向上	10
幼稚園・預かり保育の充実	9
訪問型・自宅で子どもの面倒をみるサービス	5
認定こども園の充実・拡大	1
交流・遊び場について	89
公園・広場・施設の充実	31
児童館・公民館の充実	18
ふれあい広場の充実・地域センター・子ども広場への要望	13
安全に遊べる場の確保	13
保護者同士や子どもの交流の機会・場の提供	7
市域全体で利用しやすい施設配置・近隣市と連携したサービスの提供	5
子ども家庭支援センターの充実	2
学校・放課後の過ごし方について	55
学童保育の充実	39
朝・放課後・長期休暇中の過ごし方について	10
学校の充実	6
相談窓口について	10
子育てのアドバイスが受けられる存在・訪問など	5
相談窓口の充実・質の向上	5
就労・ワーク・ライフ・バランス実現への支援	10
職場の理解・企業の子育て支援の充実	5
仕事と子育ての両立支援	4
再就職支援	1
その他支援	165
経済的支援・教育・保育無償化について	29
医療体制の充実・医療費の補助拡大	16

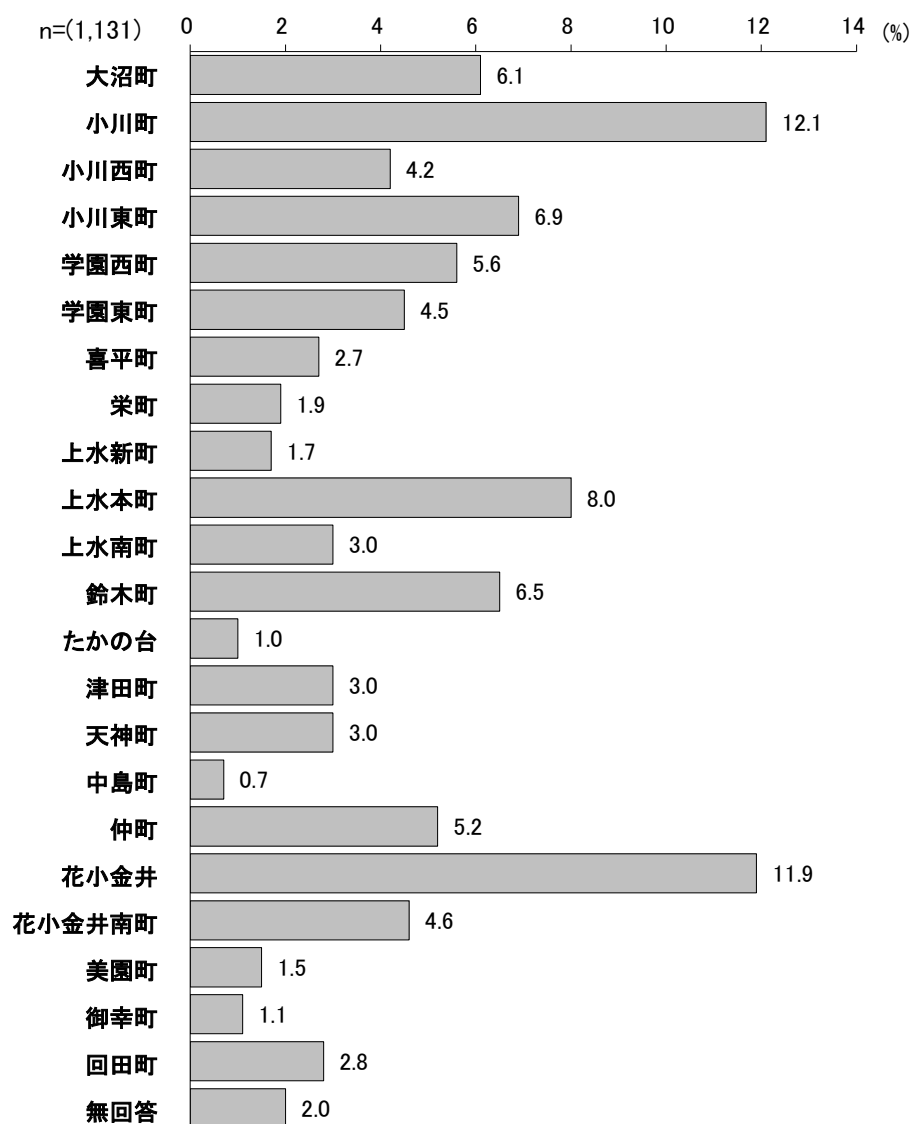
情報提供の充実	12
保育園、幼稚園、学校での保護者の負担の軽減	12
安心・安全な地域づくり	9
保育人材の処遇改善・確保・充実	8
児童虐待防止対策の充実	7
地域や社会の支援・見守り	5
多子世帯への支援	4
未就学児のためのクラブ・講座・イベントの充実	3
公共交通の充実	3
習い事の情報・補助	2
家事・育児・送迎等のサポート	2
今回のニーズ調査について（結果を生かしてほしい等）	6
子育て支援全般	23
その他	24

就学児童(小学校1年生～6年生)

1. お住まいの地域

(1) お住まいの地域

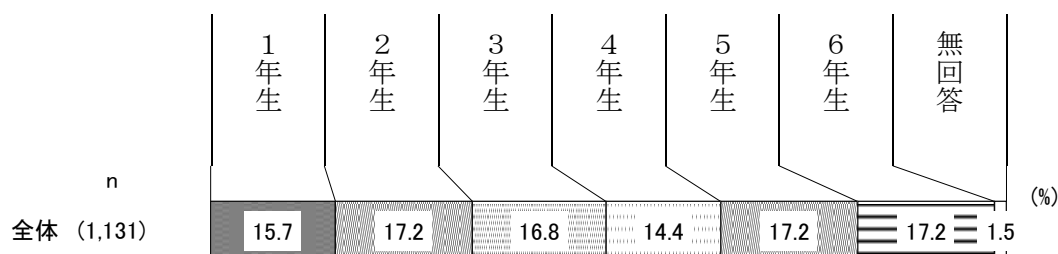
問1 お住まいの地域として当てはまる番号1つに○をつけ、___丁目に数字でご記入ください。



2. お子さんと家族の状況

(1) お子さんの学年

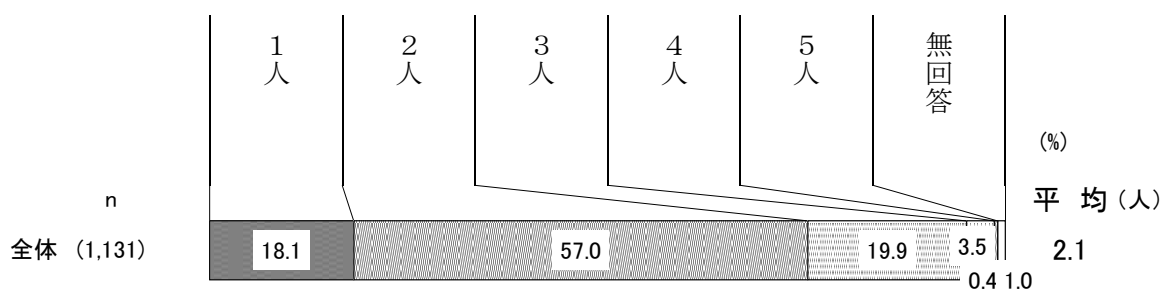
問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。



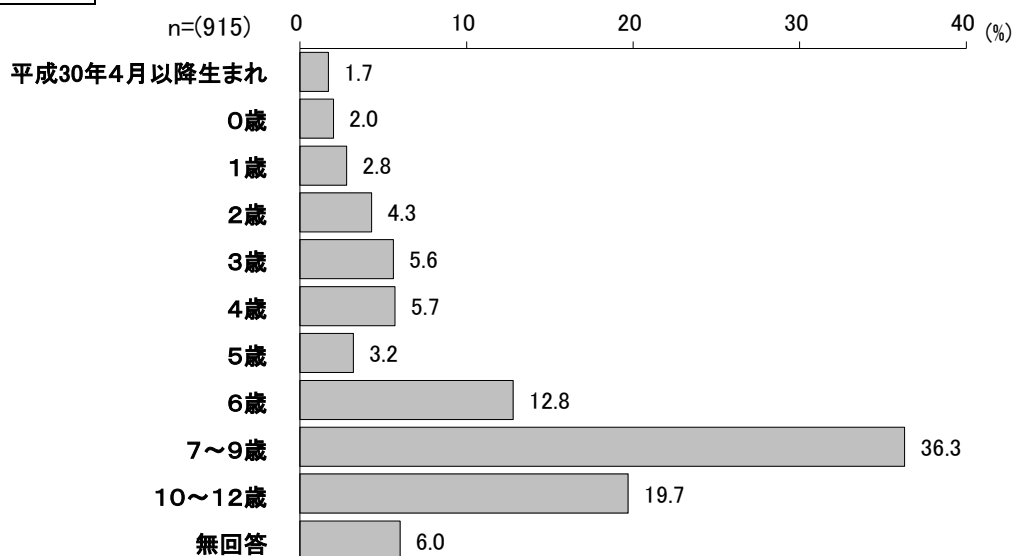
(2) 子どもの数、末子の年齢

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。
お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

子どもの数

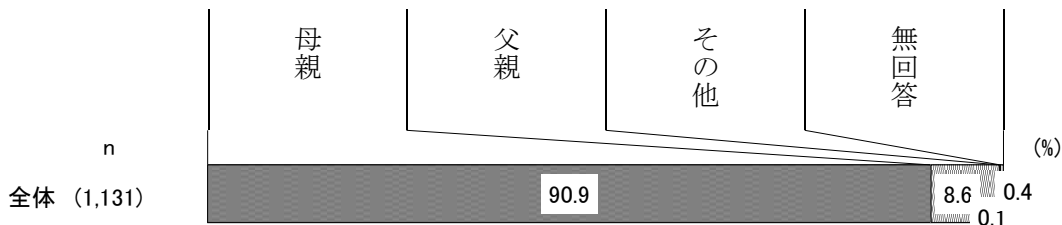


末子の年齢



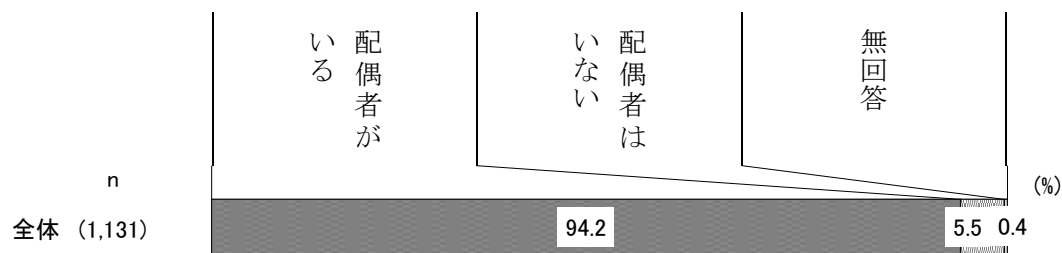
（3）回答者

問4 この調査票をご回答いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



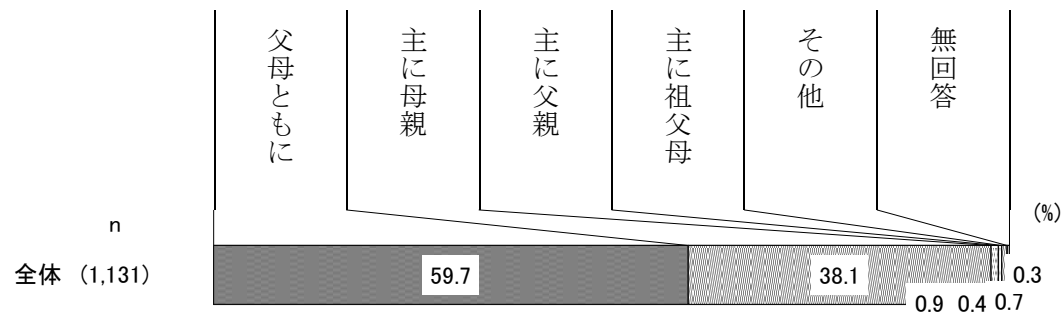
（4）回答者の配偶関係

問5 この調査票をご回答いただいている方の配偶関係について、当てはまる番号1つに○をつけてください。



（5）子育て（教育を含む）を主に行っている人

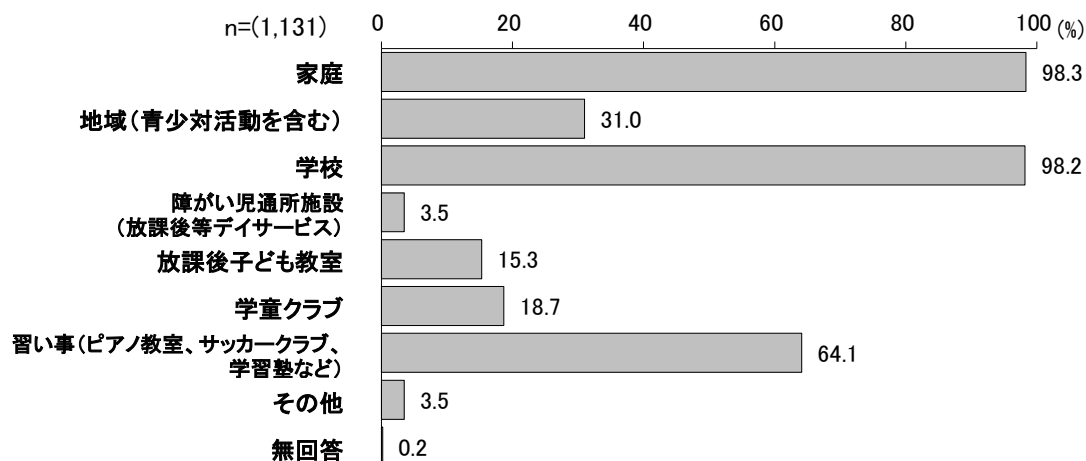
問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。



3. お子さんの育ちを取りまく環境

(1) 子育て（教育を含む）に大きく影響すると思われる環境

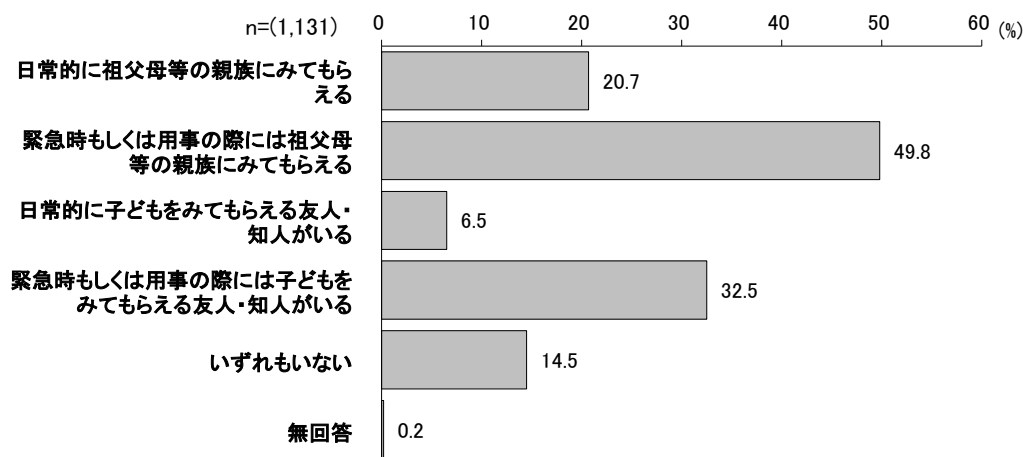
問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、大きく影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。【複数回答】



子育て（教育を含む）に大きく影響すると思われる環境は、「家庭」（98.3%）、「学校」（98.2%）が高く、これらに「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（64.1%）が続いている。

(2) お子さんをみてもらえる親族・知人の有無

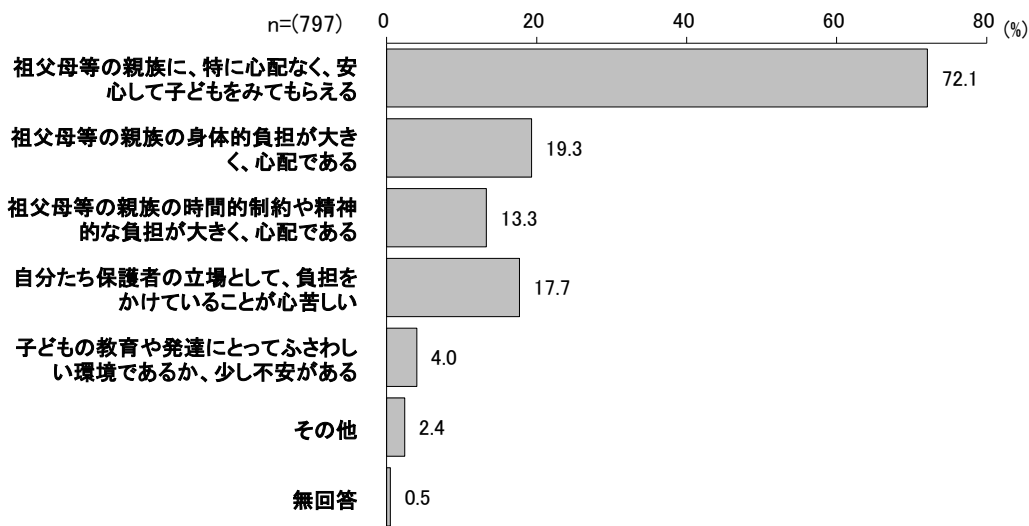
問8 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】



お子さんをみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が49.8%と高く、これに「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」（32.5%）、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」（20.7%）が続く。

（3）祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況

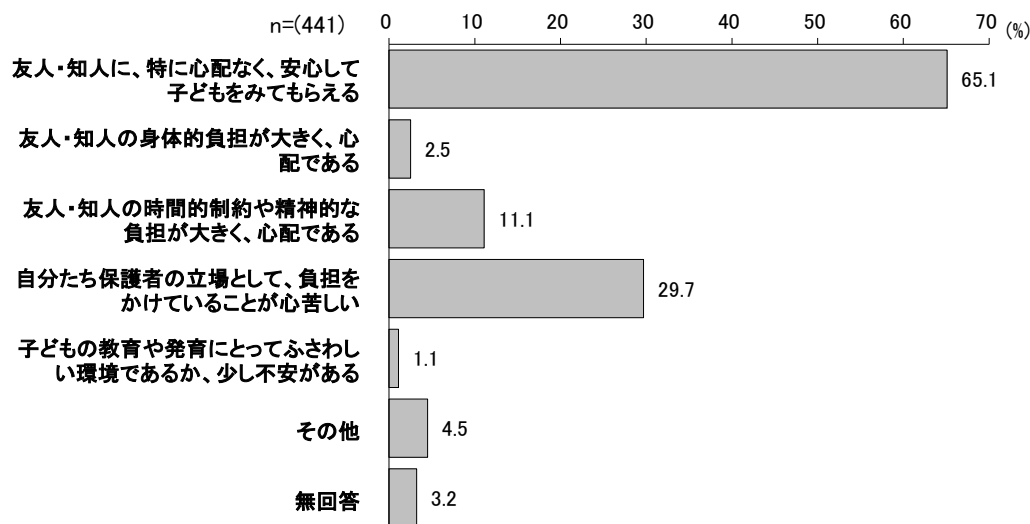
問9 問8で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方におたずねします。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】



祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況は、「祖父母等の親族に、特に心配なく、安心して子どもをみてもらえる」が72.1%と高いが、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である」が19.3%、「自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が17.7%となっている。

（4）友人・知人にお子さんをみてもらっている状況

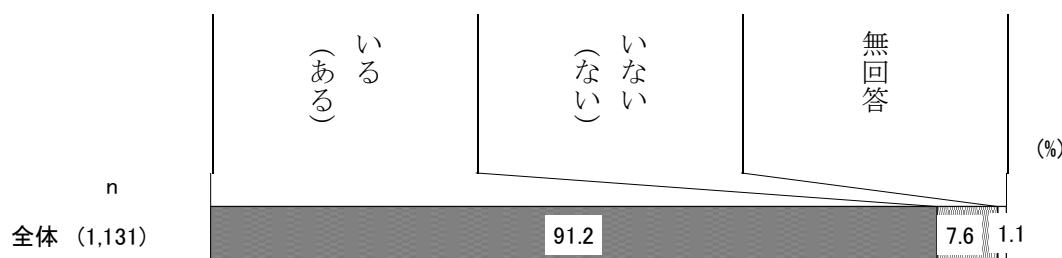
問10 問8で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方におたずねします。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】



友人・知人にお子さんをみてもらっている状況は、「友人・知人に、特に心配なく、安心して子どもをみてもらえる」が65.1%と高いが、「自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」との意識も29.7%となっている。

（5）子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人（施設）の有無

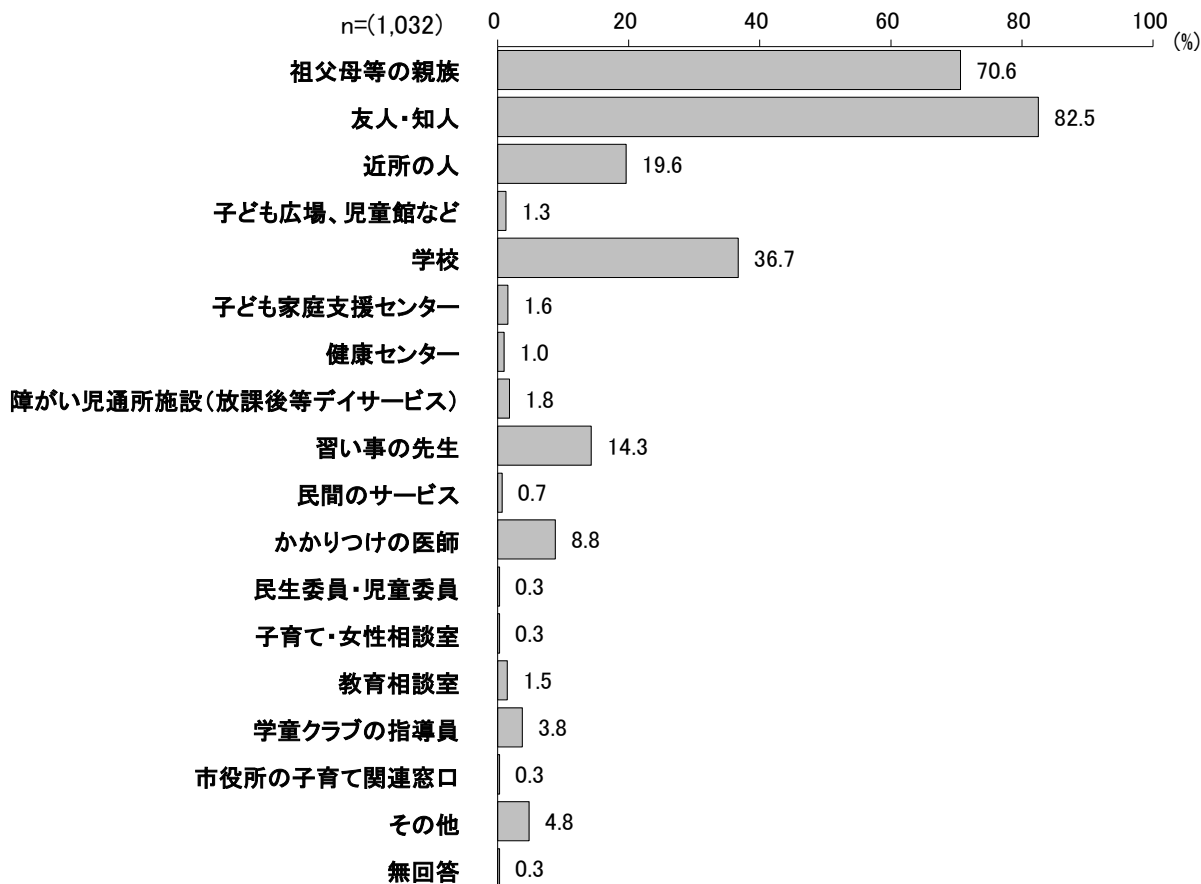
問11 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人（施設）の有無は、「いる(ある)」が91.2%、「いない(ない)」が7.6%となっている。

（6）子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる相談先

問12 問11であて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人（場所）は「1. いる（ある）」に○をつけた方におたずねします。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】



子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる相談先は、「友人・知人」（82.5%）、「祖父母等の親族」（70.6%）が高く、これらに「学校」（36.7%）が続いている。

（7）子育て（教育を含む）をする上で周囲に望むサポート

問13 子育て（教育を含む）をする上で、周囲からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

子育て（教育を含む）をする上で周囲に望むサポートとして、384人から延べ406件の回答が寄せられた。なお、1人で2つ以上の内容を記入している場合もあるため、件数は延べ件数となる。

学校・放課後	84
学童保育の充実・高学年の受入れ	36
放課後・長期休暇中の居場所	30
学校の充実について	10
学校での保護者の役割等	6
放課後こども教室	2
教育・保育サービス	80
一時預かりの充実・利便性の向上	59
病児・病後児保育の充実・利便性の向上	17
自宅で子どもの面倒をみるサービス	3
待機児童の解消・保育所への入園のしやすさ	1
相談窓口	62
相談窓口	49
子育てのアドバイスが受けられる・話を聞いてくれる存在・訪問など	9
スクールカウンセラーの充実・拡充	4
交流・遊び場	40
安全に遊べる場の拡大	20
児童館・公民館の充実	7
公園・広場・施設の充実	5
保護者同士や子どもの交流の機会・場の提供	4
ふれあい広場の充実・開催場所・開催回数、地域センターへの要望	4
その他支援	140
地域や社会の支援・見守り	44
経済的支援	17
学習支援	11
障がい児・発達障がいへの支援・サポート	9
職場の理解・子育て支援の充実	7
情報提供の充実	6
父親の子育て参加の促進・講座の充実	5
家事・育児・送迎等のサポート	4
安心・安全な地域づくり	4
習い事の情報・補助	3
その他	30

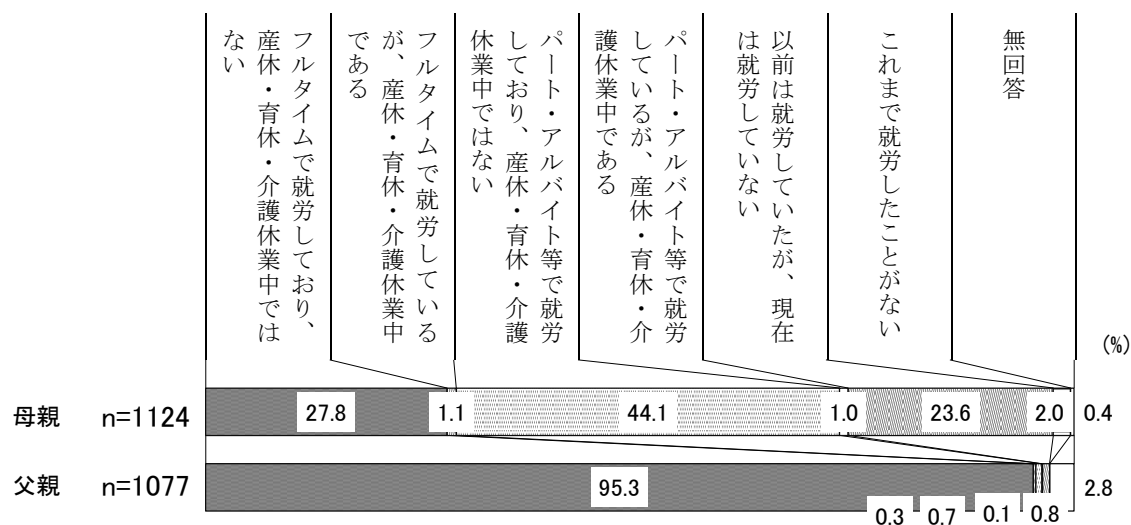
4. 保護者の就労状況

(1) 保護者の就労状況

問14 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）をおたずねします。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。



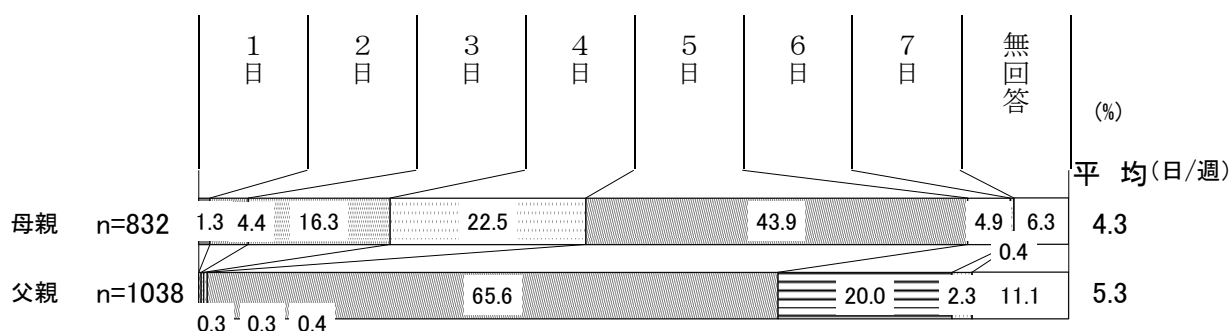
母親の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が44.1%で高く、これに「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(27.8%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(23.6%)が続いている。

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が95.3%と高くなっている。

（2）就労日数、就労時間

問15 問14の（1）（2）で「1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（就労している）に○をつけた方におたずねします。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を口内にご記入ください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてご記入ください。

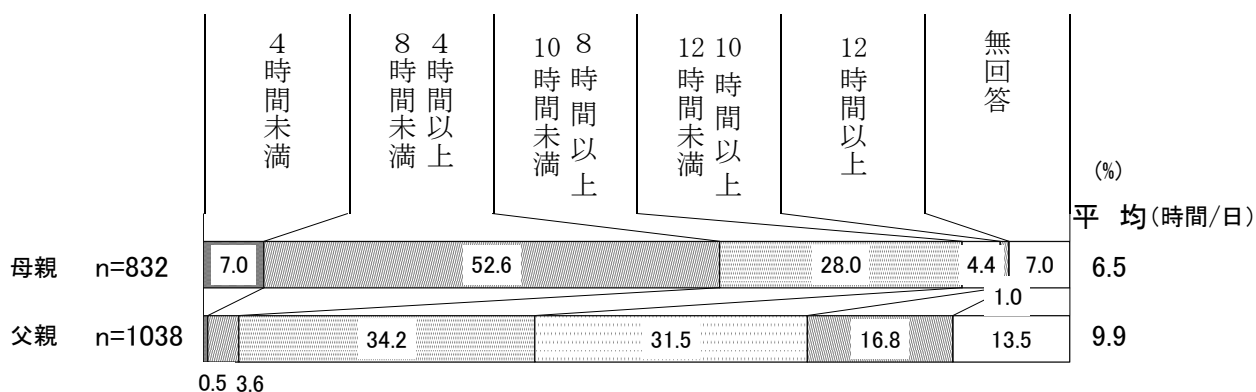
就労日数／1週当たり



母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が43.9%、「4日」が22.5%、「3日」が16.3%で、平均4.3日／週。

父親の1週当たりの就労日数は、「5日」が65.6%、「6日」が20.0%で、平均5.3日／週。なお、「1日」の該当者はいなかった。

就労時間／1日当たり



母親の1日当たりの就労時間は、「4時間以上8時間未満」が52.6%、「8時間以上10時間未満」が28.0%で、平均6.5時間／日。

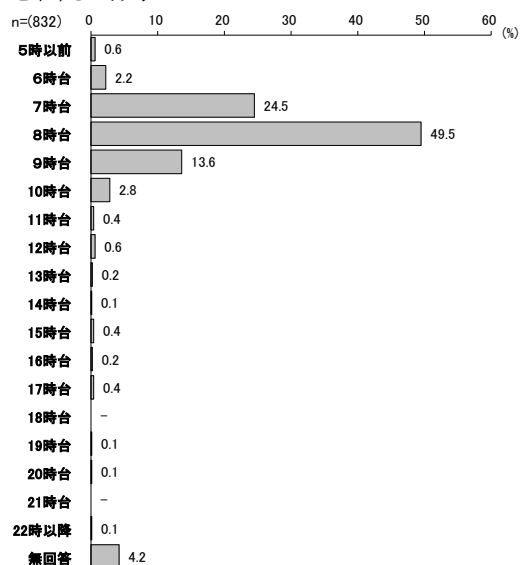
父親の1日当たりの就労時間は、「8時間以上10時間未満」が34.2%、「10時間以上12時間未満」が31.5%、「12時間以上」が16.8%で、平均9.9時間／日。

（3）家を出る時刻、帰宅時刻

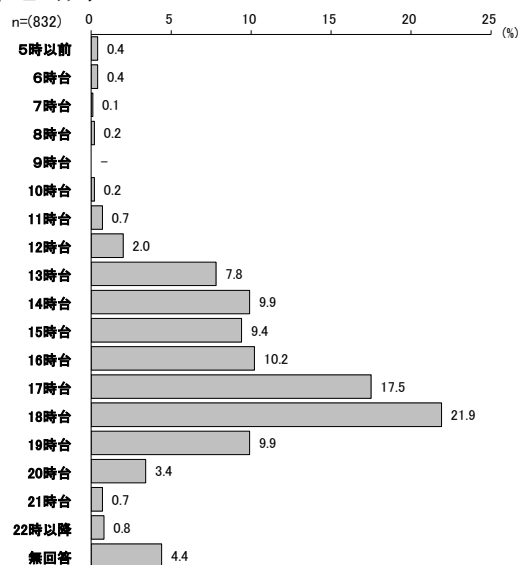
問16 問14の（1）（2）で「1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（就労している）に○をつけた方におたずねします。家を出る時刻と帰宅時刻を口内に数字でご記入ください。時刻が一定でない場合は、最も多いパターンについてご記入ください。

母親

家を出る時刻



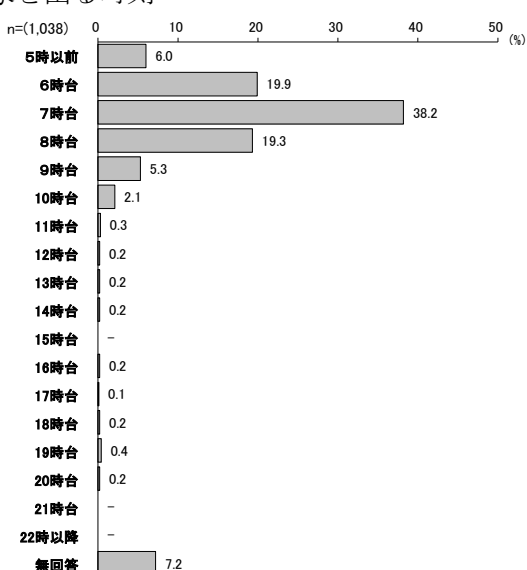
帰宅時刻



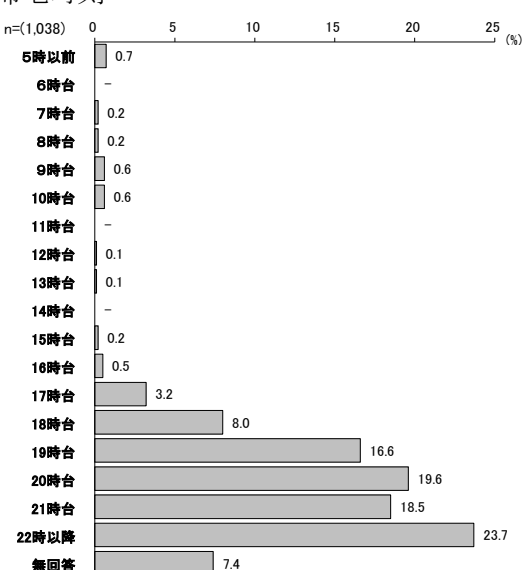
母親が家を出る時刻は、「8時台」が49.5%、「7時台」が24.5%と高い。帰宅時刻は、「18時台」が21.9%、「17時台」が17.5%と高い。

父親

家を出る時刻



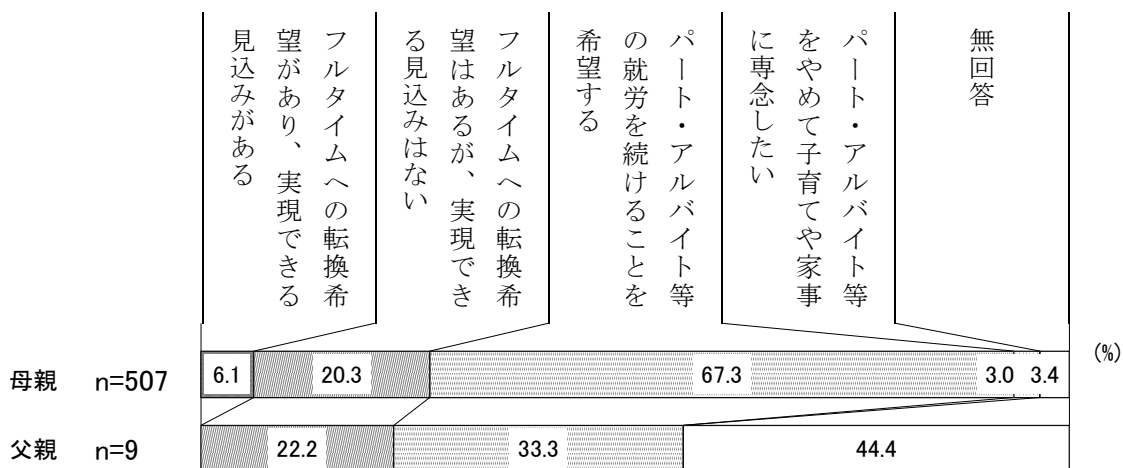
帰宅時刻



父親が家を出る時刻は、「7時台」が38.2%、「6時台」が19.9%、「8時台」が19.3%と高い。帰宅時刻は、「22時以降」が23.7%、「20時台」が19.6%、「21時台」が18.5%、「19時台」が16.6%と高い。

（4）フルタイムへの転換希望

問17 問14の（1）（2）で「3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方におたずねします。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



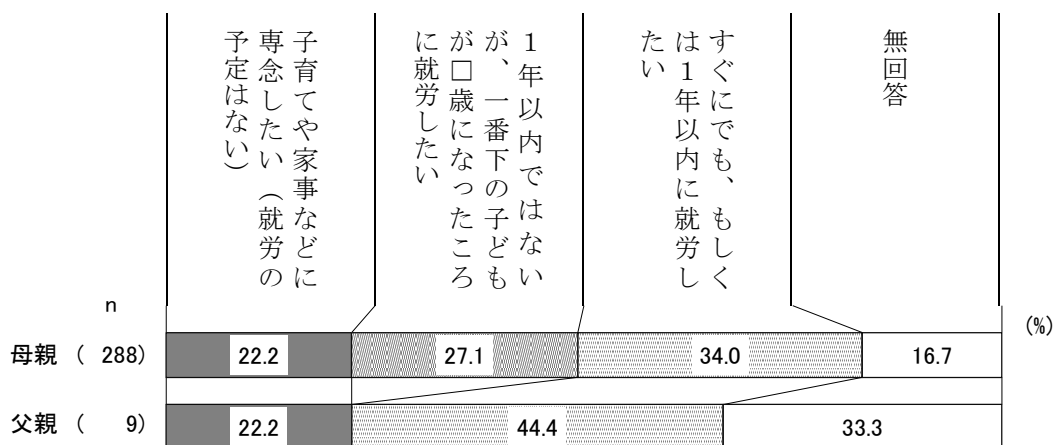
「パート・アルバイト等で就労している」人のフルタイムへの転換希望は、母親は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が67.3%で高く、これに「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が20.3%で続く。

父親は、9人のうち、3人が「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」と回答し、2人が「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と回答している。

(5) 就労希望

問18 問14で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」「6. これまで就労したことがない」（就労していない、したことがない）に○をつけた方におたずねします。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内に数字でご記入ください。

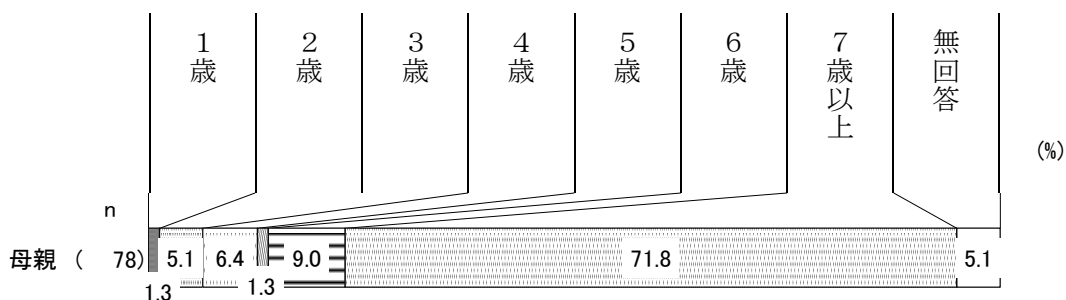
就労希望



「就労していない、したことがない」母親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が34.0%で高く、これに「1年以内ではないが、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」が27.1%、「子育てや家事などに専念したい」が22.2%で続いている。

「就労していない、したことがない」父親は、9人のうち4人が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答している。

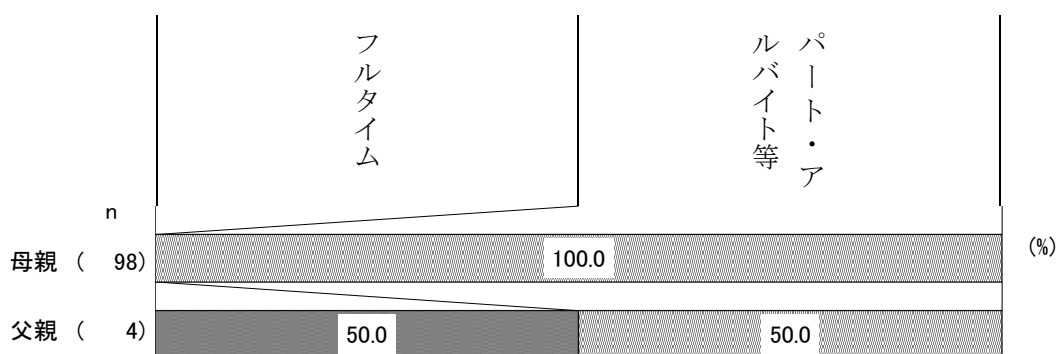
就労の時期（就労したいと思う末子の子ども年齢）



「1年以内ではないが、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」という母親が就労を希望する時期は、末子が「7歳以上」が71.8%と高くなっている。

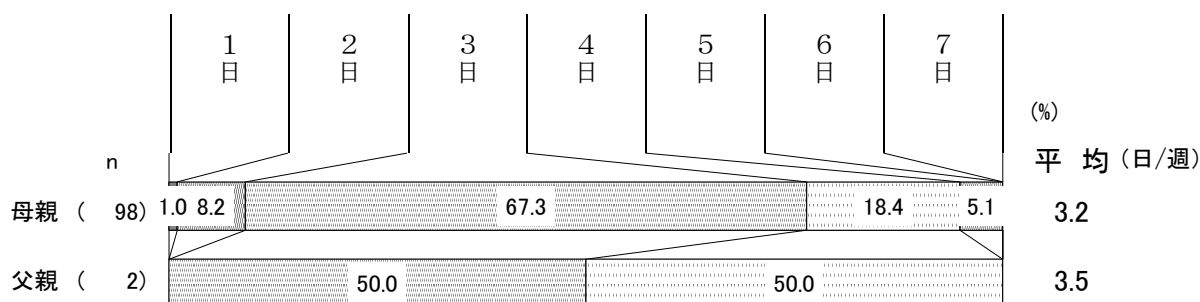
※父親は該当者がいないため、掲載していない。

希望する就労形態



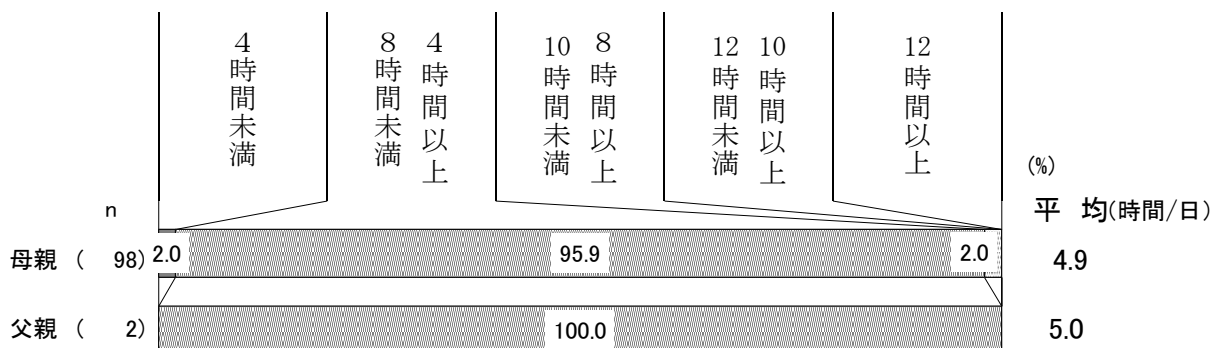
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」という母親は、全員が「パート・アルバイト等」を希望している。

希望する就労日数／1週当たり



「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」という母親が希望する1週当たりの就労日数は、「3日」が67.3%、「4日」が18.4%で、平均3.2日/週となっている。

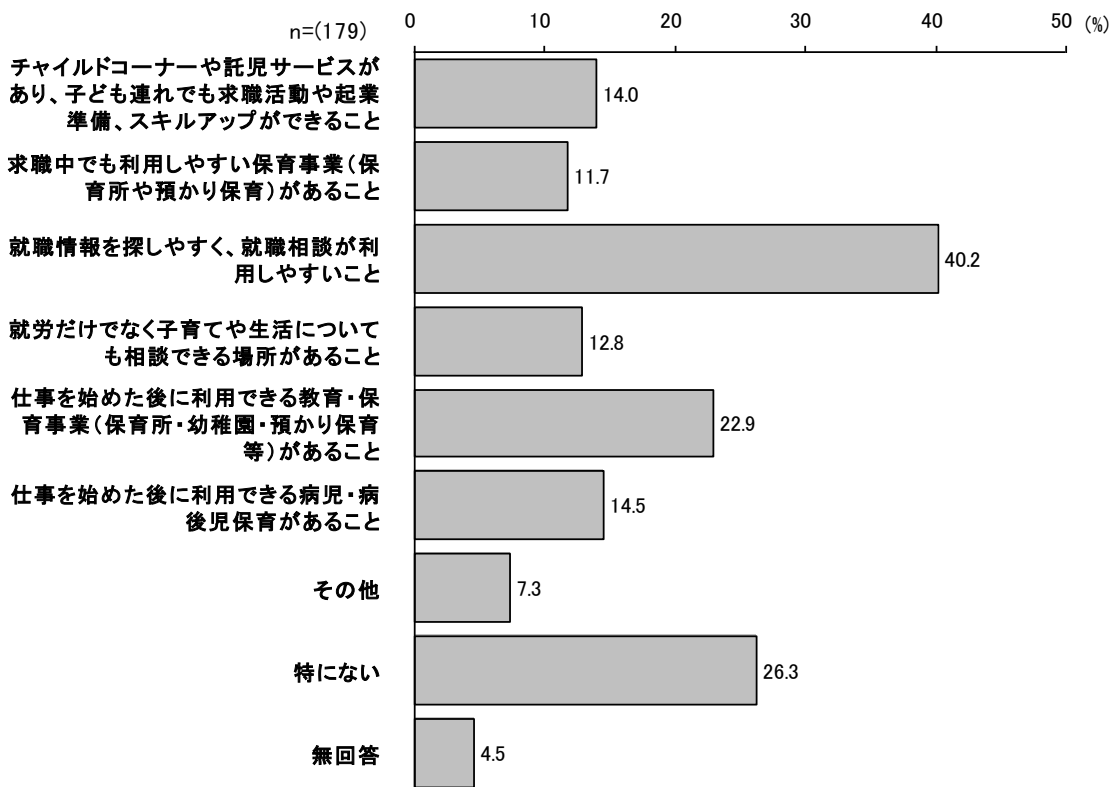
希望する就労時間／1日当たり



「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」という母親が希望する1日当たりの就労時間は、「4時間以上8時間未満」が95.9%と高く、平均4.9時間/日となっている。

（6）就労の準備に必要な支援

問19 問18の（1）（2）で「2. 1年以内ではないが、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（就労を希望する）に○をつけた方におたずねします。今後、就職活動や希望する就労に向けた準備の際に必要な支援はどのようなことがありますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。
【複数回答】

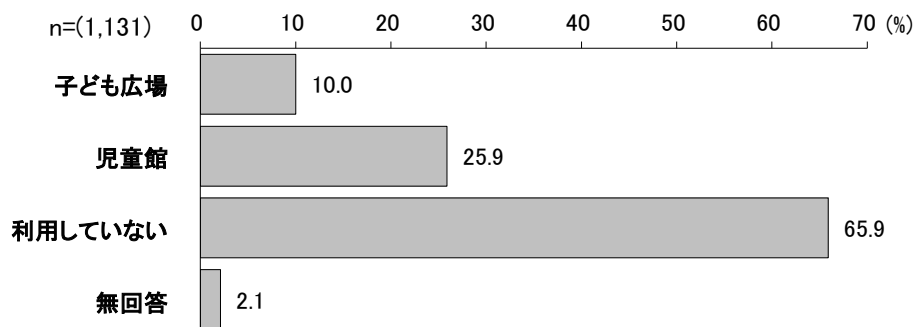


就労を希望している保護者が就職活動や希望する就労に向けた準備の際に必要な支援としては、「就業情報を探しやすく、就職相談が利用しやすいこと」が40.2%で高く、これに「仕事を始めた後に利用できる教育・保育事業（保育所・幼稚園・預かり保育等）があること」が22.9%が続いている。

5. 地域の子育て支援事業の利用状況と利用希望

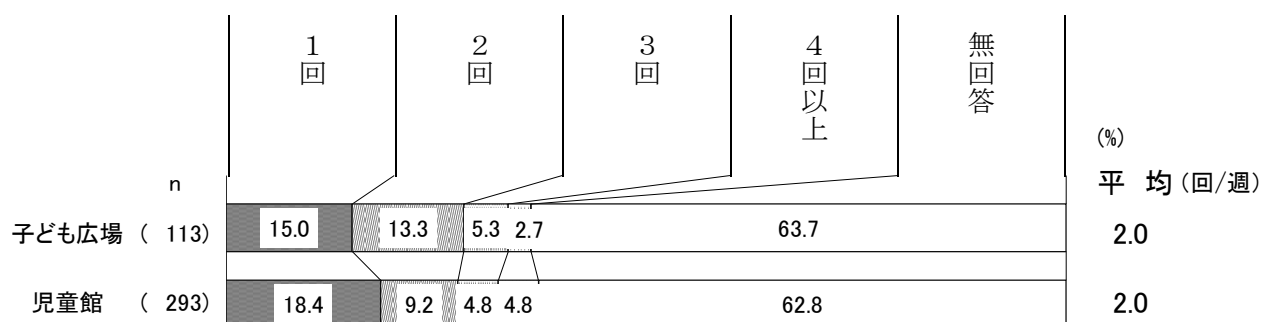
（1）子ども広場や児童館の利用状況

問20 あて名のお子さんは、現在、子ども広場や児童館を利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用している場合には、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。



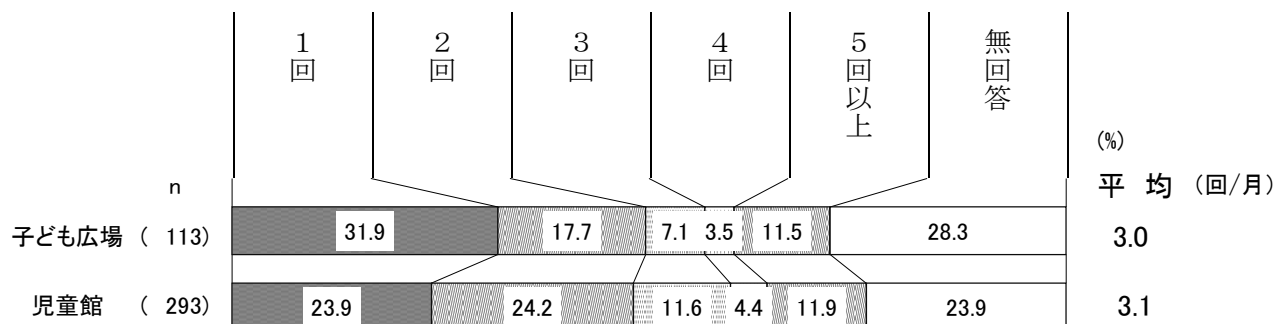
子ども広場や児童館の利用状況は、「児童館」が25.9%、「子ども広場」が10.0%となっている。

利用回数／1週当たり



1週当たりの平均利用回数は、「子ども広場」「児童館」とも2.0回/週となっている。

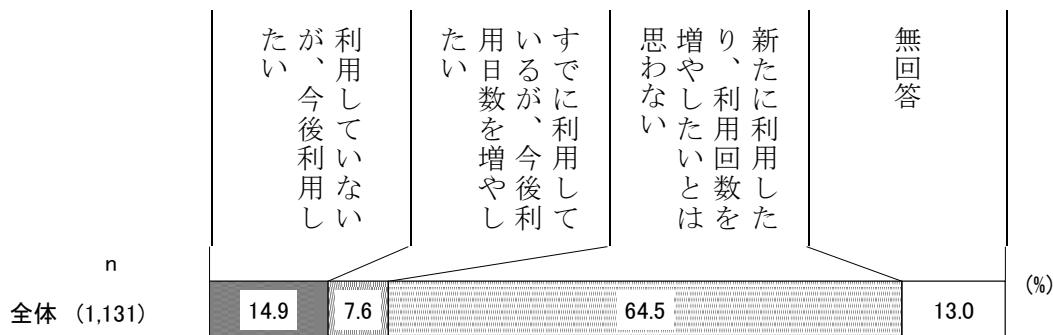
利用回数／1ヶ月当たり



1ヶ月当たりの平均利用回数は、「児童館」が3.1回/月、「子ども広場」が3.0回/月となっている。

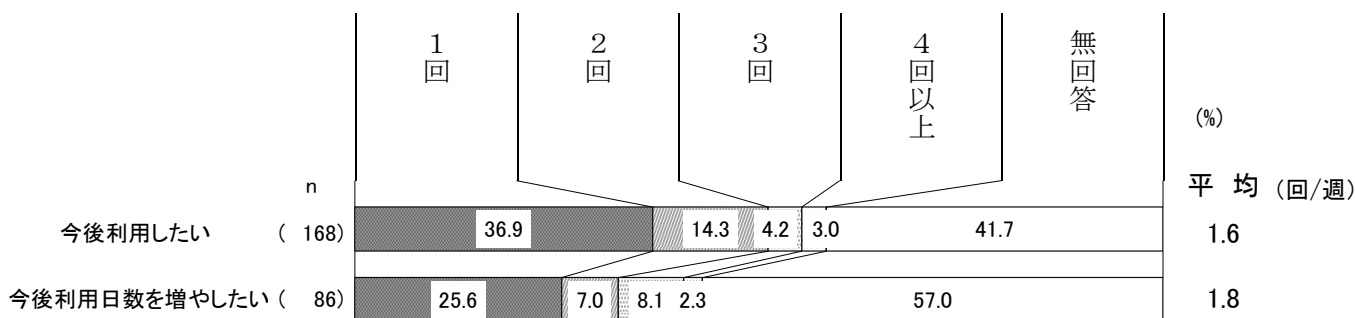
（2）今後の利用希望と利用回数

問21 子ども広場や児童館について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用回数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけ、おおよその利用希望回数を口内に数字でご記入ください。



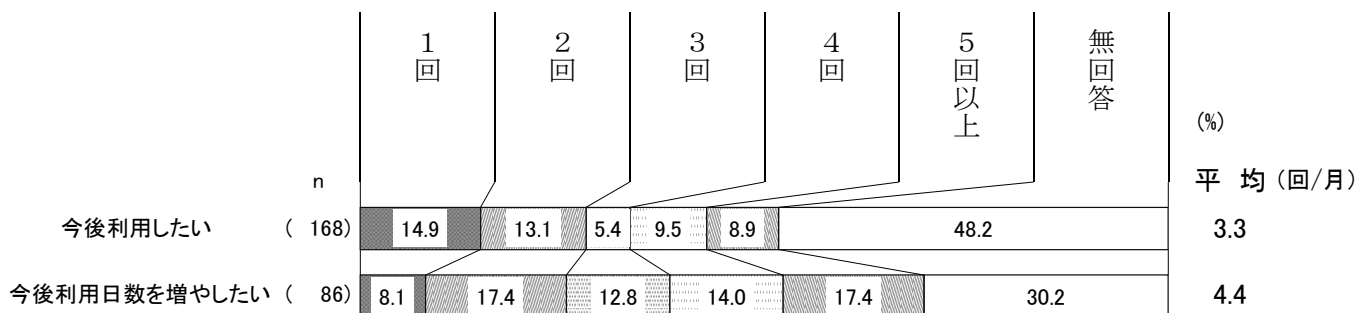
子ども広場や児童館の利用希望は、「利用していないが、今後利用したい」(14.9%)と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(7.6%)合計で22.5%となっている。

利用したい回数／1週当たり



1週当たりの平均希望利用回数は、「今後利用したい」という人で1.6回/週、「今後利用日数を増やしたい」人の更に増やしたい回数は、1.8回/週となっている。

利用したい回数／1ヶ月当たり



1ヶ月当たりの平均希望利用回数は、「今後利用したい」という人で3.3回/月、「今後利用日数を増やしたい」人の更に増やしたい回数は、4.4回/月となっている。

（3）子育て支援事業・子どもの居場所についての意見

問22 子ども広場や児童館など、地域の子育て支援事業や子どもの居場所についてどのように感じられていますか。ご自由にお書きください。

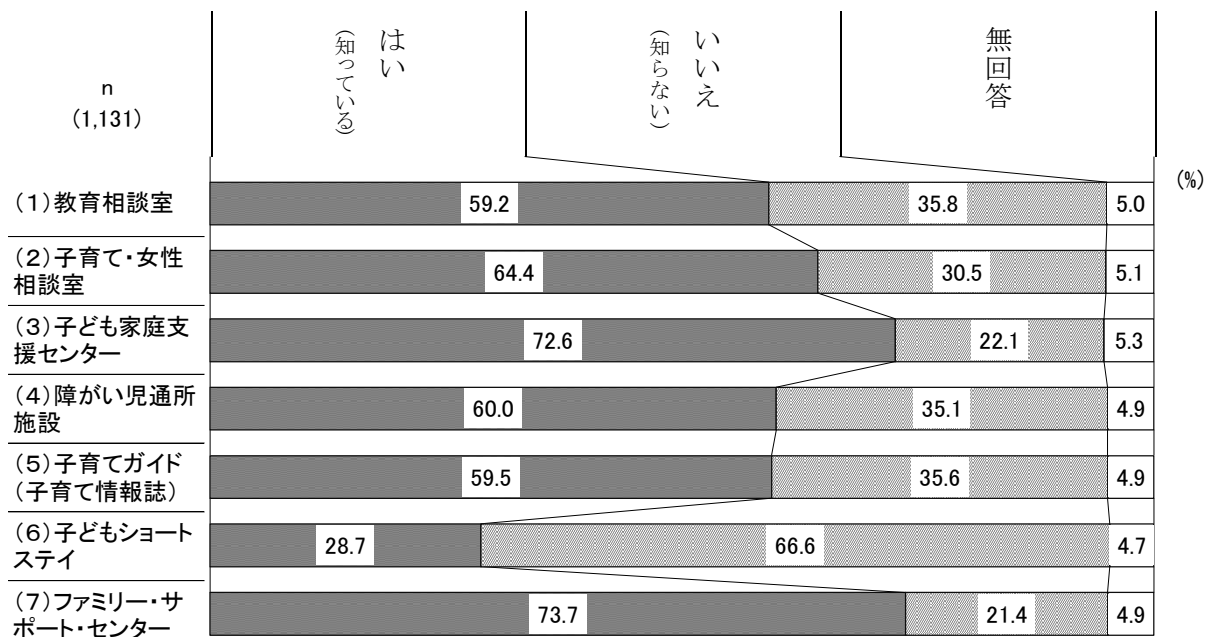
子ども広場や児童館など、地域の子育て支援事業や子どもの居場所に関するご意見として、582人から延べ588件の回答が寄せられた。なお、1人で2つ以上の内容を記入している場合もあるため、件数は延べ件数となる。

利用している・満足している	204
安心して遊ぶことができる・子どもが楽しんでいる	150
居場所は必要	18
居場所をもっと増やしてほしい	16
情報発信に工夫が必要	12
満足している	5
開館時間を長く・曜日を増やしてほしい	3
利用していない・利用しにくい	272
居住地域に利用できる施設がない	160
年齢的に利用しなくなった	46
ボール遊びができると良い	22
利用しにくい	21
利用したことがない	12
常連の利用者がいて利用しにくい	8
時間がなく利用できない	3
その他	112

（4）各種支援事業の認知状況、利用状況、利用希望

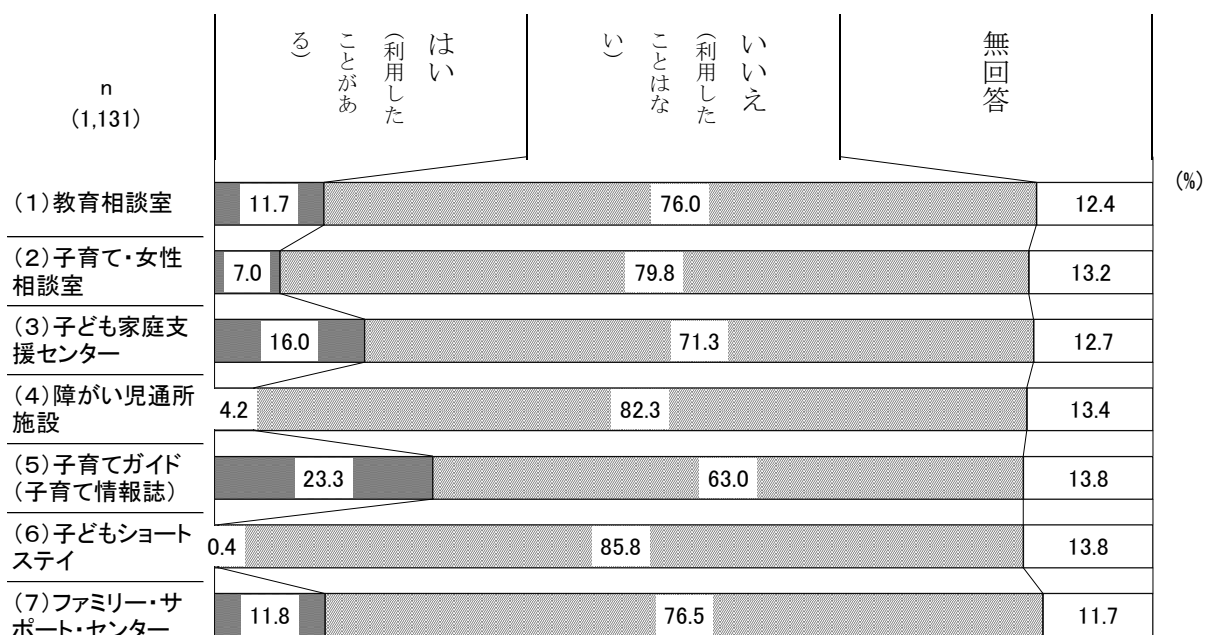
問23 下記で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものについておたずねします。（1）～（7）のA～Cの項目について、「はい」「いいえ」どちらかに○をつけてください。

A 各種支援事業の認知状況



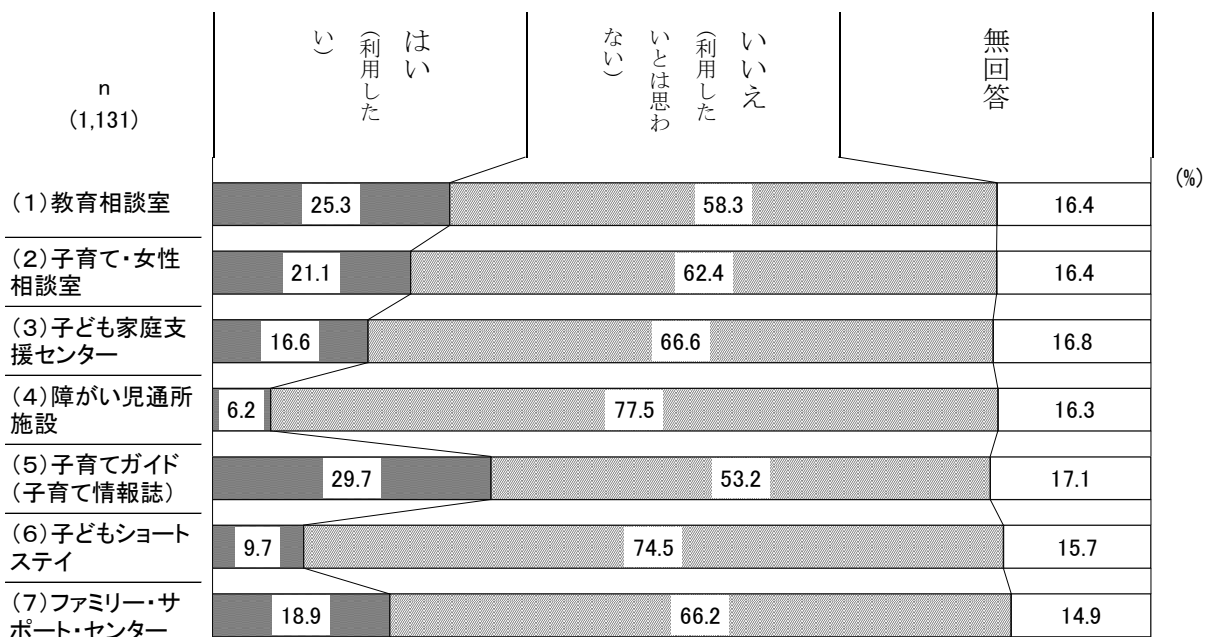
各種支援事業の認知は、「ファミリー・サポート・センター」(73.7%)、「子ども家庭支援センター」(72.6%)が高く、これらに「子育て・女性相談室」(64.4%)、「障がい児通所施設」(60.0%)、「子育てガイド (子育て情報誌)」(59.5%)、「教育相談室」(59.2%)が続いている。

B 各種支援事業のこれまでの利用状況



各種支援事業のこれまでの利用状況は、「子育てガイド（子育て情報誌）」(23.3%)がが高く、これに「子ども家庭支援センター」(16.0%)、「ファミリー・サポート・センター」(11.8%)、「教育相談室」(11.7%)が続いている。

C 各種支援事業の今後の利用希望

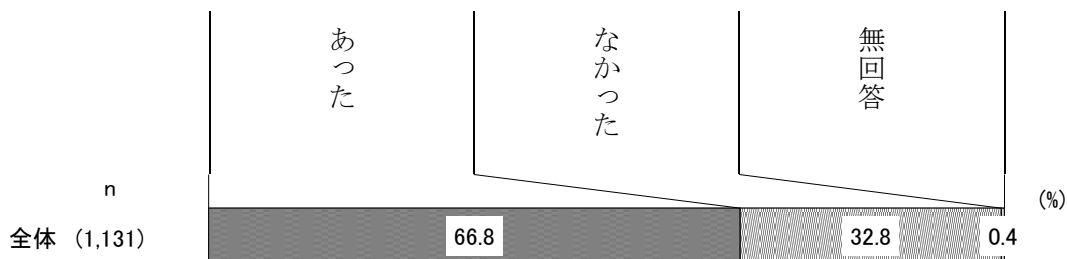


各種支援事業の今後の利用希望は、「子育てガイド（子育て情報誌）」(29.7%)が高く、これに「教育相談室」(25.3%)、「子育て・女性相談室」(21.1%)、「ファミリー・サポート・センター」(18.9%)が続いている。

6. お子さんが病気の際の対応

（1）この1年間に病気やケガで学校を休まなければならなかったことの有無

問24 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

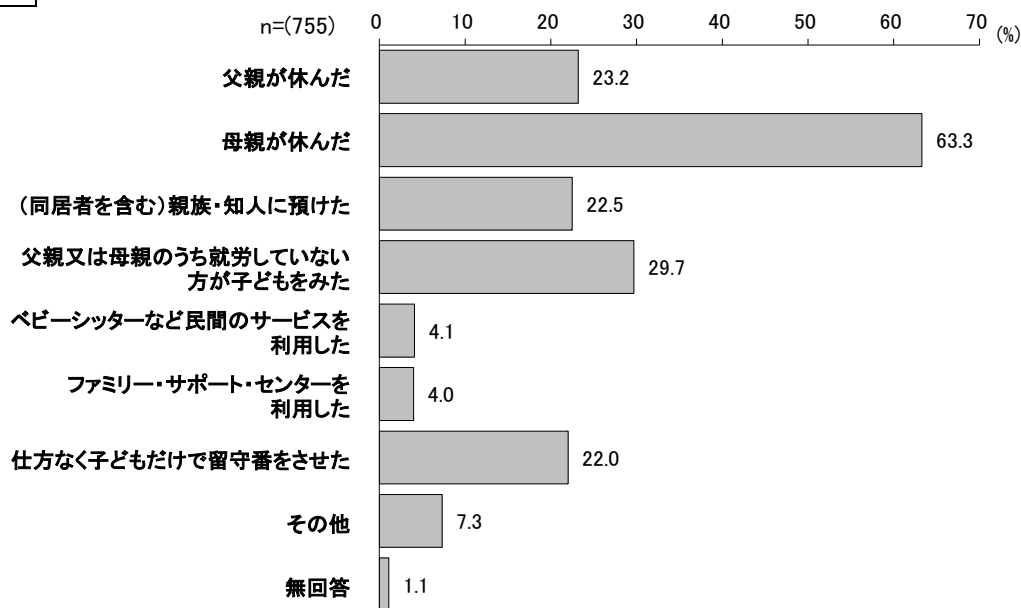


この1年間に病気やケガで学校を休まなければならなかったことが「あった」は66.8%、「なかった」は32.8%となっている。

（2）病気やケガで学校を休んだ際の対処方法と日数

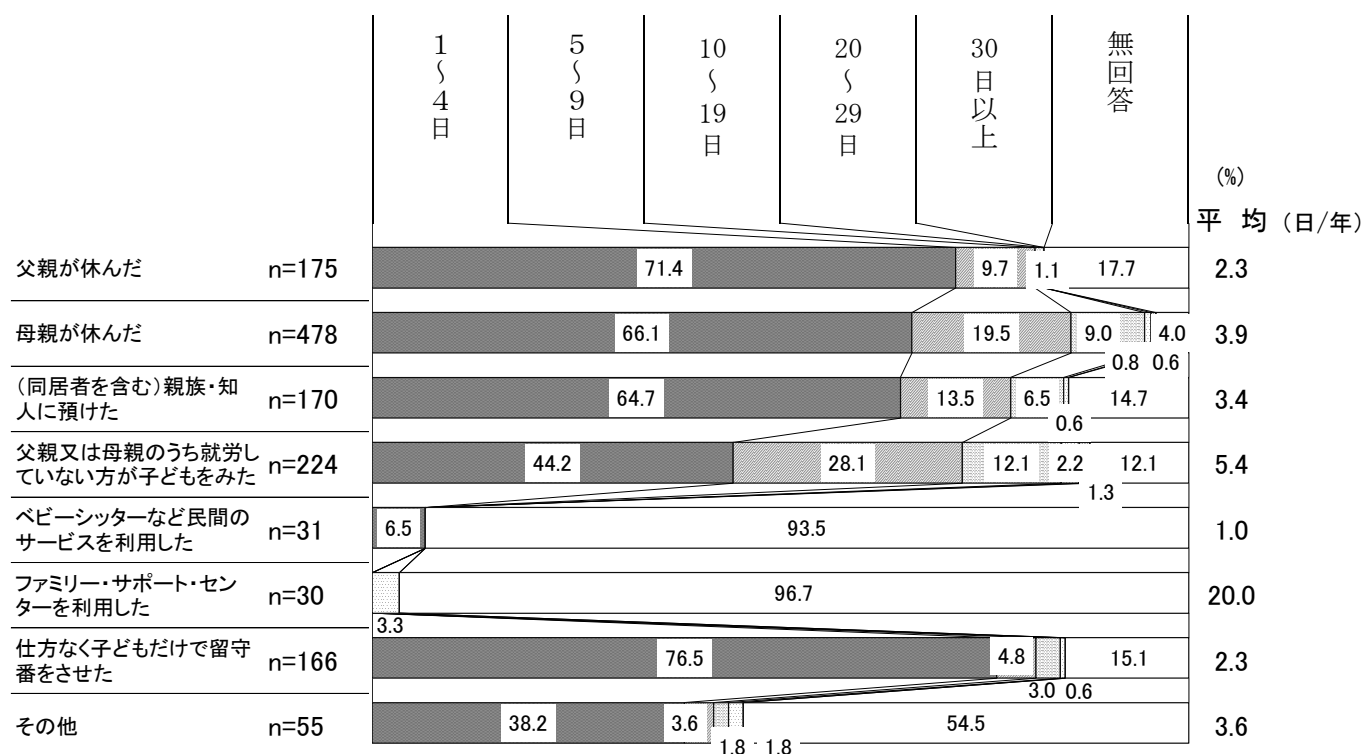
問25 問24で「1. あった」に○をつけた方におたずねします。あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数を口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日と計算してください）。【複数回答】

対処方法



病気やケガで学校を休まなければならなかった際の対応としては、「母親が休んだ」が63.3%と高く、これに「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」(29.7%)が続いている。

日数

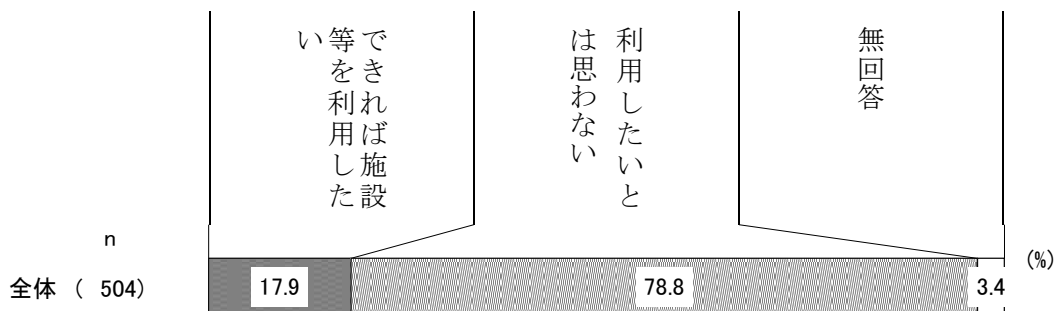


主な対応方法の年間平均日数は、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が5.4日／年、「母親が休んだ」が3.9日／年、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」が3.4日／年、「父親が休んだ」と「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が2.3日／年となっている。

（3）父母が休んで対処した場合の「施設等」の利用希望と利用したい日数

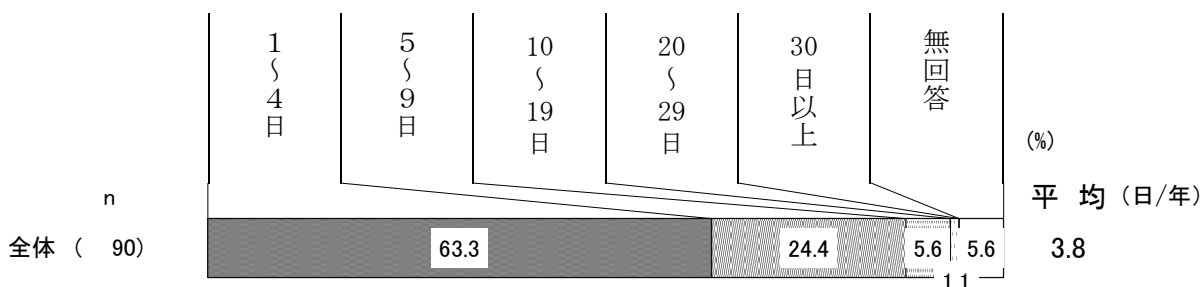
問26 問25で「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方におたずねします。その際、「できれば施設等を利用したい」と思いましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」の日数のうち施設等を利用しなかった日数を口内に数字でご記入ください。

利用希望



父母が休んで対処した場合に、施設等を「利用したいとは思わない」は78.8%、「できれば施設等を利用したい」は17.9%となっている。

利用したい日数

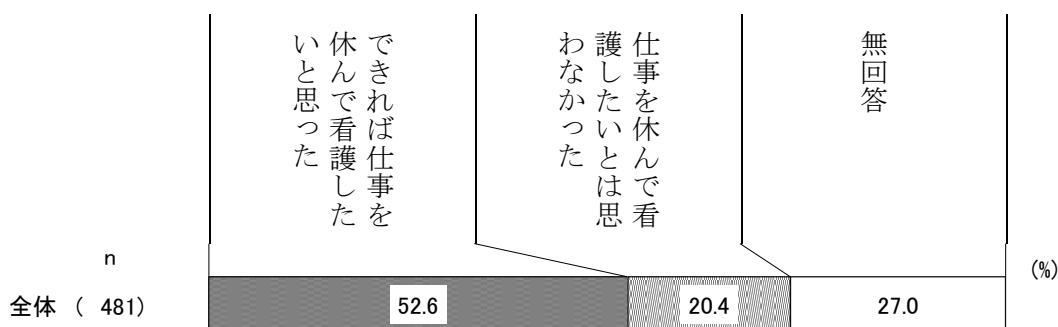


施設等の年間利用希望日数は、「1～4日」が63.3%、「5～9日」が24.4%で、平均3.8日/年となっている。

（4）父母が仕事を休んで看護したいと思ったかどうかと看護したい日数

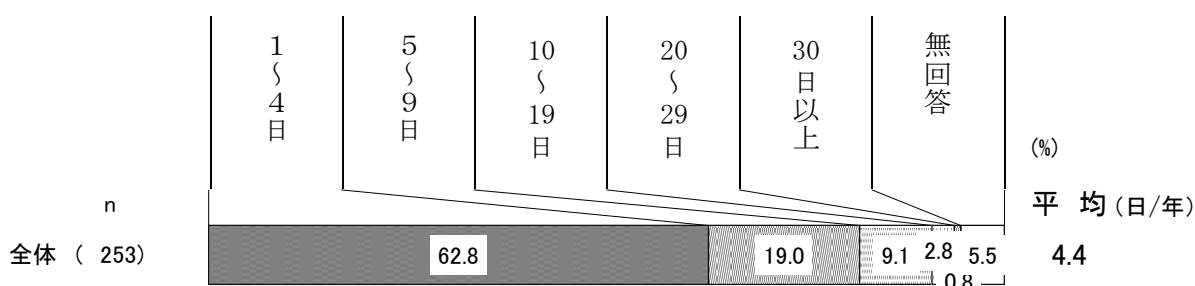
問25で「ウ.（同居者を含む）親族・知人に預けた」～「ク. その他」のいずれかに○をつけた方におたずねします。

問27 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思いましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ.（同居者を含む）親族・知人に預けた」～「ク. その他」の日数のうち仕事を休んで看護したかった日数についても口内に数字でご記入ください。



病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかった場合に、「母親が休んだ」「父親が休んだ」以外の方法で対応した際、「できれば仕事を休んで看護したいと思った」は52.6%。これに対し、「仕事を休んで看護したいとは思わなかった」は20.4%となっている。

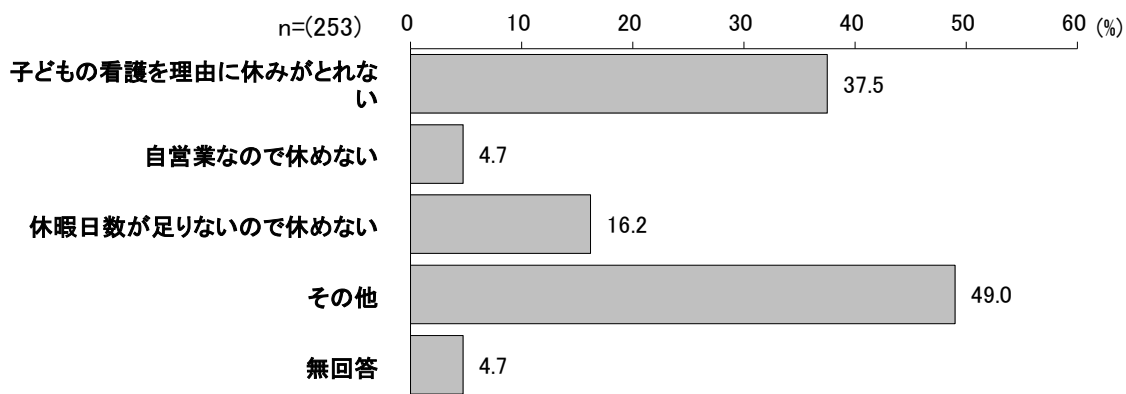
看護したい日数（年間）



できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したいと思った人が希望する年間日数は、「1～4日」が62.8%、「5～9日」が19.0%で、平均4.4日/年となっている。

（5）仕事を休んで看護できなかった理由

問28 問27で「1. できれば仕事を休んで看護したいと思った」に○をつけた方におたずねします。父母のいずれかが仕事を休んで看護できなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】



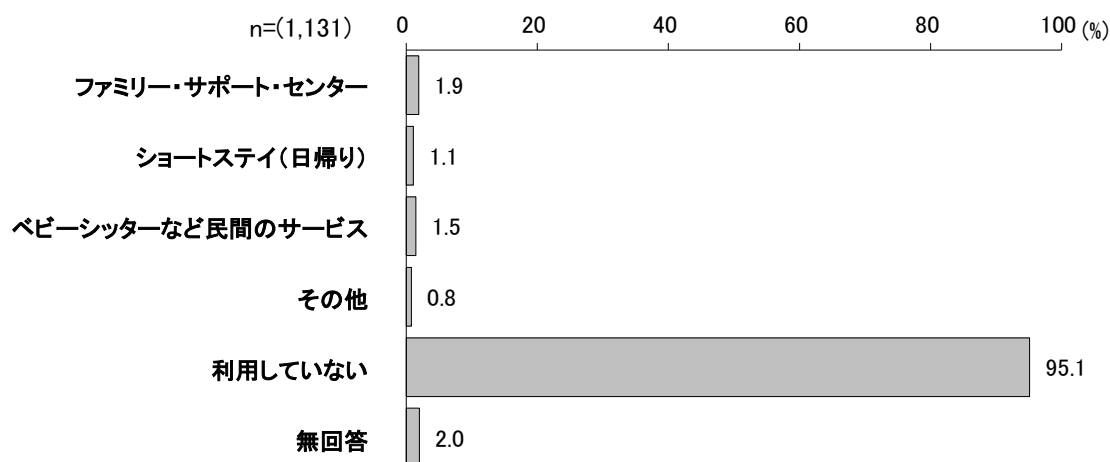
病気やけがで学校を休まなければならなかった場合、父母のいずれかが仕事を休んで看護できなかった理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が37.5%、「休暇日数が足りないので休めない」が16.2%などとなっている。

また、「その他」（49.0%）の具体的な内容は、「職場の人手不足」、「職場に迷惑がかかる」、「仕事が忙しいため」、「仕事の内容上休めない」、「休みづらい」などとなっている。

7. 一時預かり等の利用

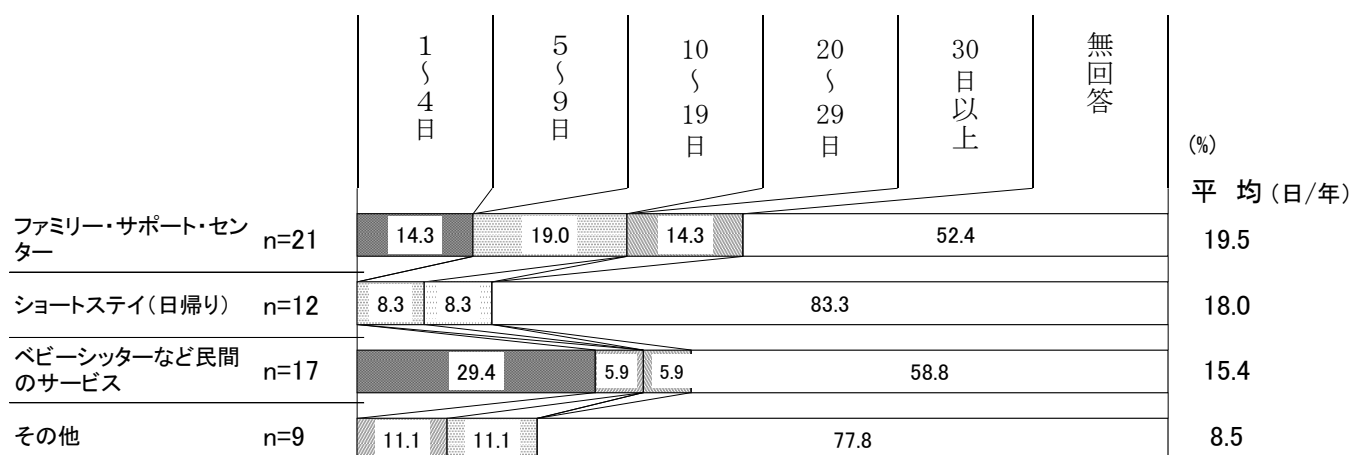
（1）私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業と日数

問29 あて名のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を口内に数字でご記入ください。【複数回答】



不定期の一時預かり等の事業の利用状況は、「ファミリー・サポート・センター」が1.9%、「ベビーシッターなど民間のサービス」が1.5%、「ショートステイ」が1.1%などとなっている。

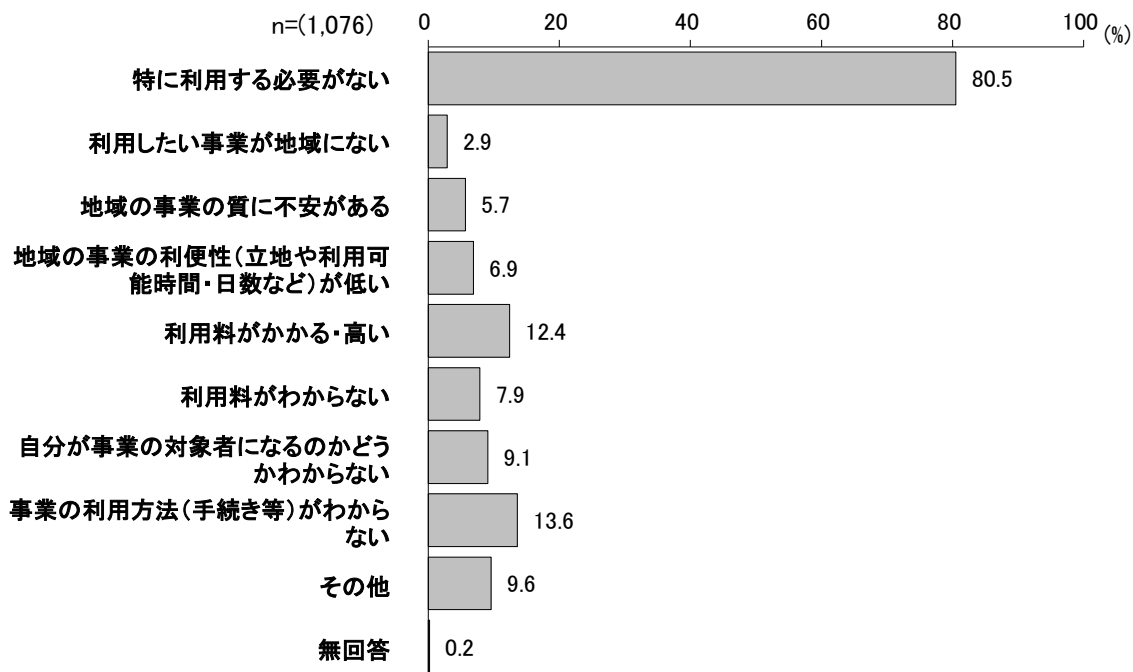
利用日数



不定期の一時預かり等の事業の年間平均利用日数は、「ファミリー・サポート・センター」が19.5日/年、「ショートステイ」が18.0日/年、「ベビーシッターなど民間のサービス」が15.4日/年となっている。

（2）利用していない理由

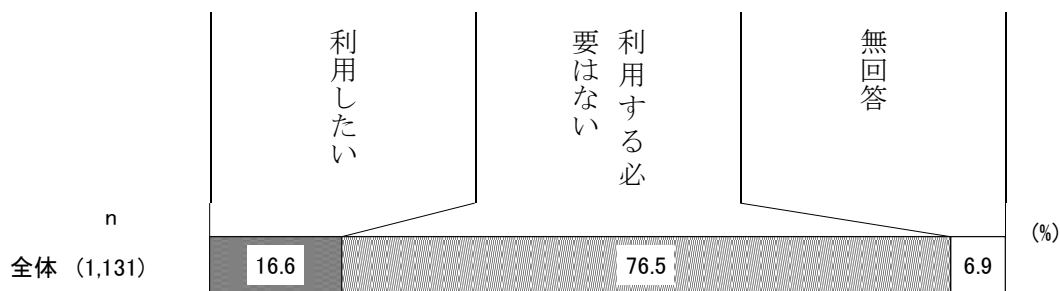
問30 問29で「5. 利用していない」に○をつけた方におたずねします。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】



不定期の一時預かり等の事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 80.5%と高く、これに「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 13.6%、「利用料がかかる・高い」が 12.4%で続いている。

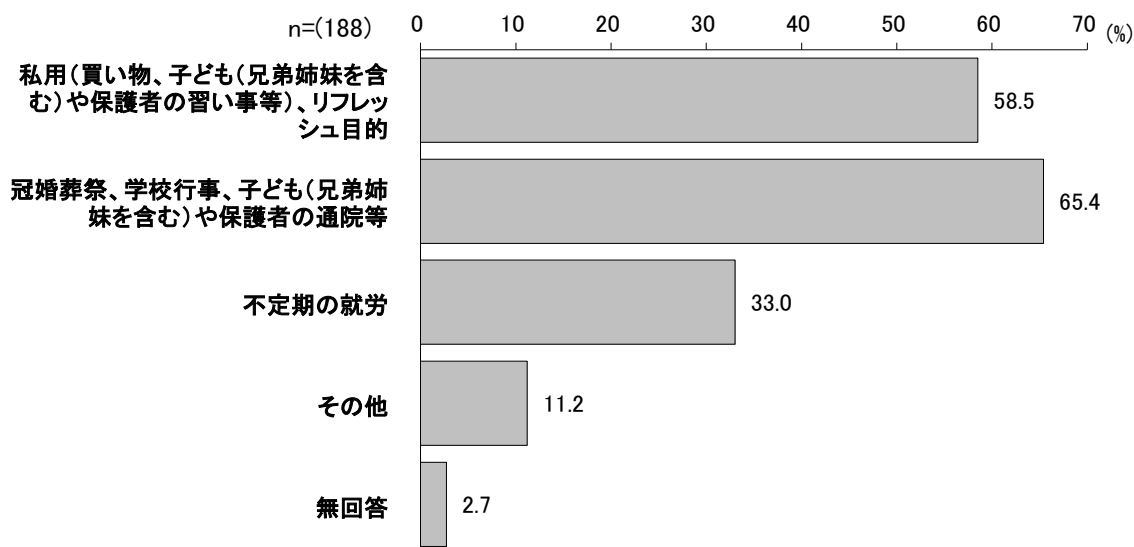
（3）今後の利用希望と利用したい日数

問31 あて名のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、問29にあげた事業を年間何日くらい利用する必要があると思いますか。当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、利用する必要がある場合は、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。



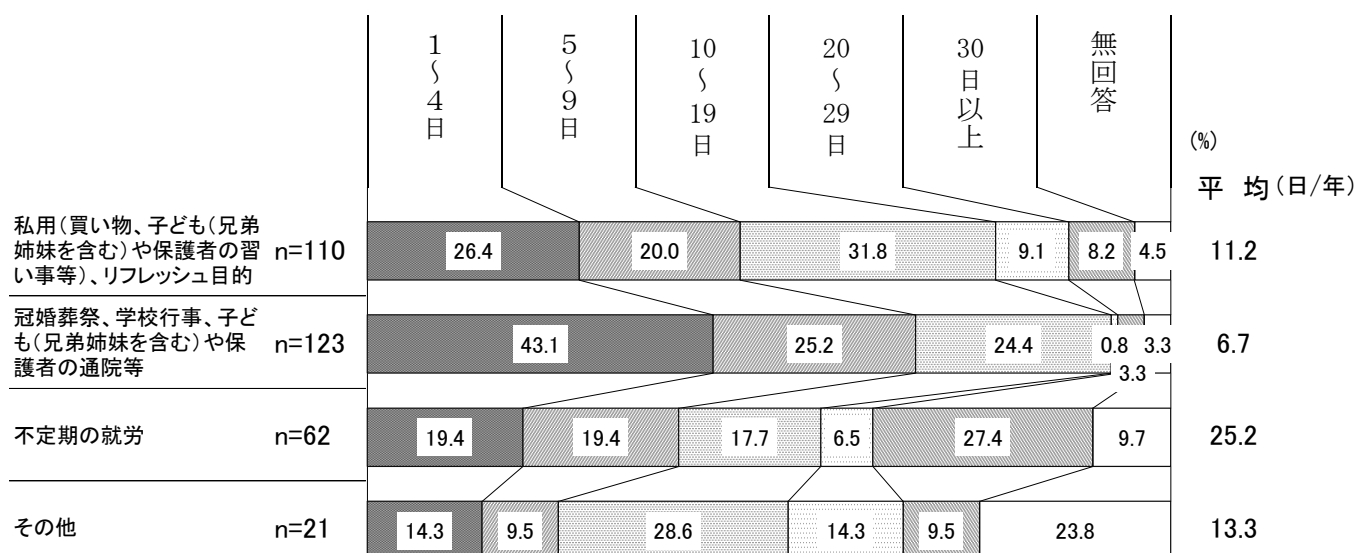
不定期の一時預かり等の事業の利用希望は、「利用する必要はない」が 76.5%、「利用したい」が 16.6%となっている。

一時預かり等の利用目的



不定期の一時預かり等の利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の通院等」が65.4%、「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の習い事等)、リフレッシュ目的」が58.5%、と高く、これらに「不定期の就労」が33.0%が続いている。

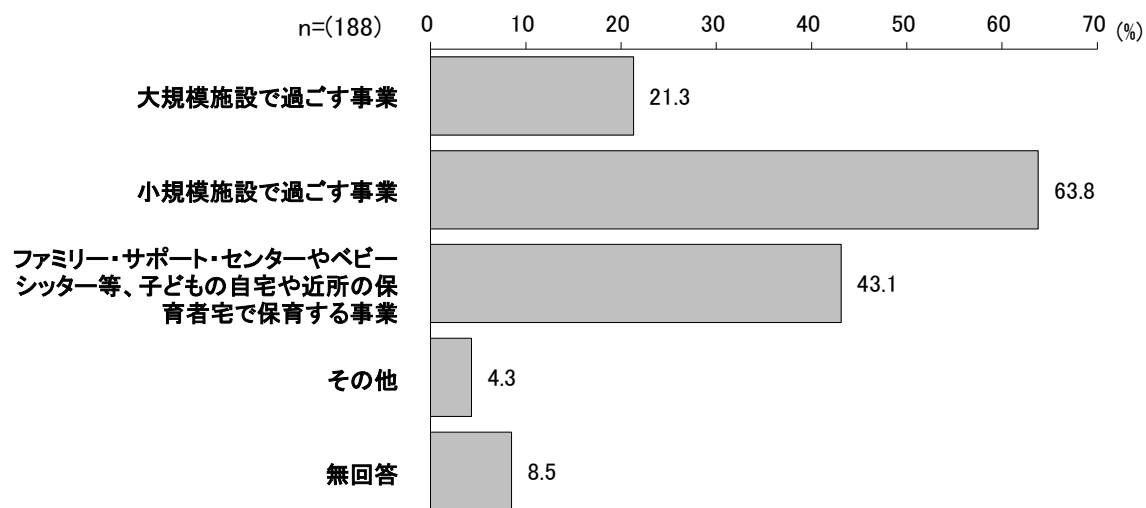
一時預かり等を利用したい日数(年間)



不定期の一時預かり等の年間平均利用希望日数は、「不定期の就労」が25.2日/年、「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の習い事等)、リフレッシュ目的」が11.2日/年、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや保護者の通院等」が6.7日/年となっている。

（4）望ましい事業形態

問32 問31で「1. 利用したい」に○をつけた方におたずねします。問29の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

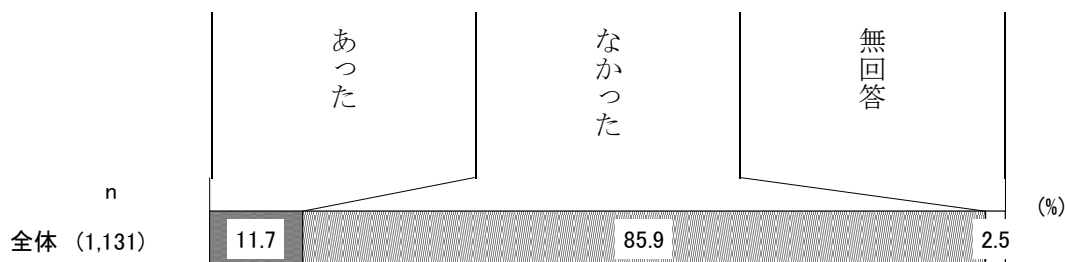


不定期の一時預かり等の事業の望ましい事業形態としては、「小規模施設で過ごす事業」が63.8%、「ファミリー・サポート・センターやベビーシッター等、子どもの自宅や近所の保育者宅で保育する事業」が43.1%、「大規模施設で過ごす事業」が21.3%となっている。

（5）保護者の用事により泊りがけで家族以外に預けたことの有無、対処方法、宿泊日数

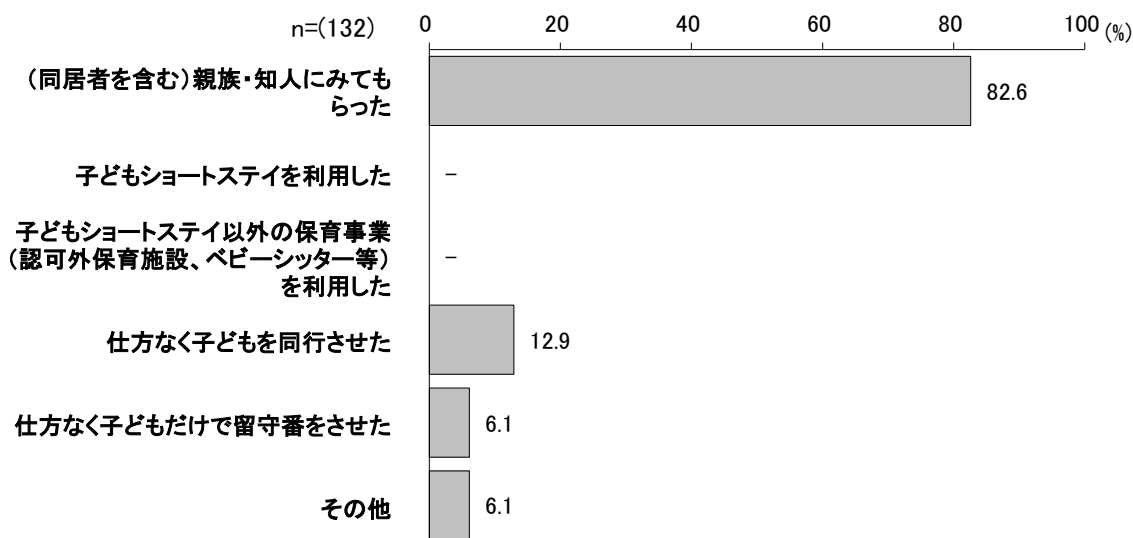
問33 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。この1年間の対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数を口内に数字でご記入ください。【複数回答】

預けたことの有無



この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、子どもを泊りがけで家族以外に預けたことが「なかった」が85.9%、「あった」が11.7%となっている。

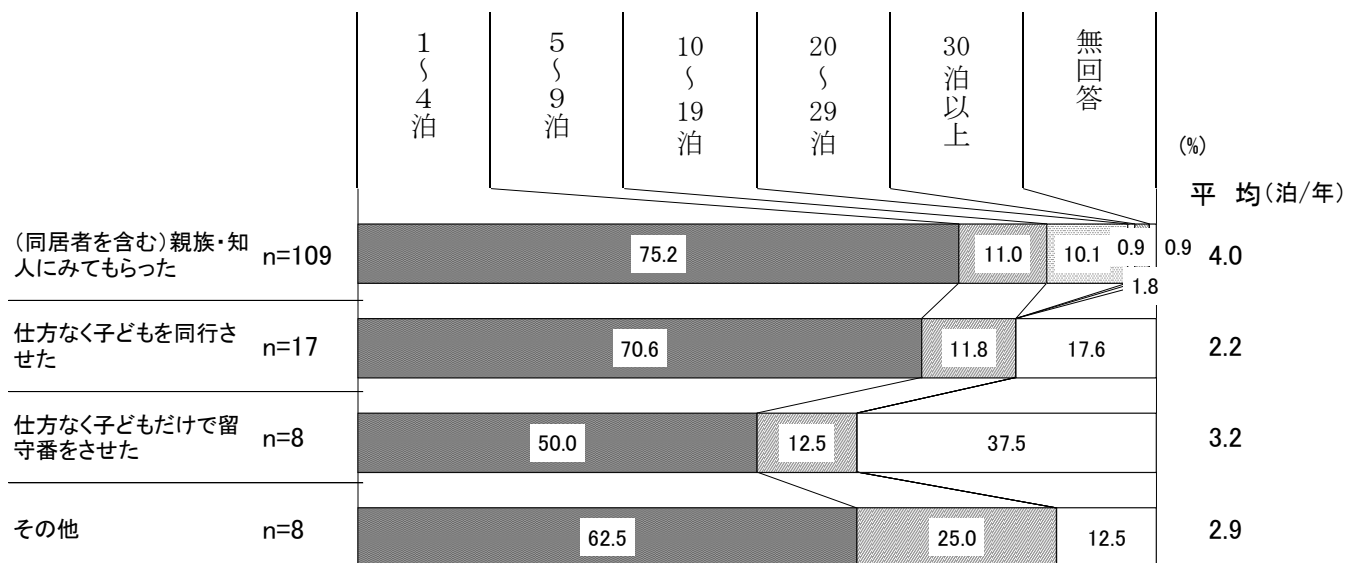
対処方法



保護者の用事により泊りがけで家族以外に預けた際の対処方法としては、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が82.6%と高く、これに「仕方なく子どもを同行させた」が12.9%が続いている。

第2章 調査結果の詳細（就学児童1年生～6年生）

宿泊数



保護者の用事にて泊りがけで家族以外に預けた際の平均宿泊数は、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が4.0泊/年、「仕方なく子どもを同行させた」が2.2泊/年となっている。

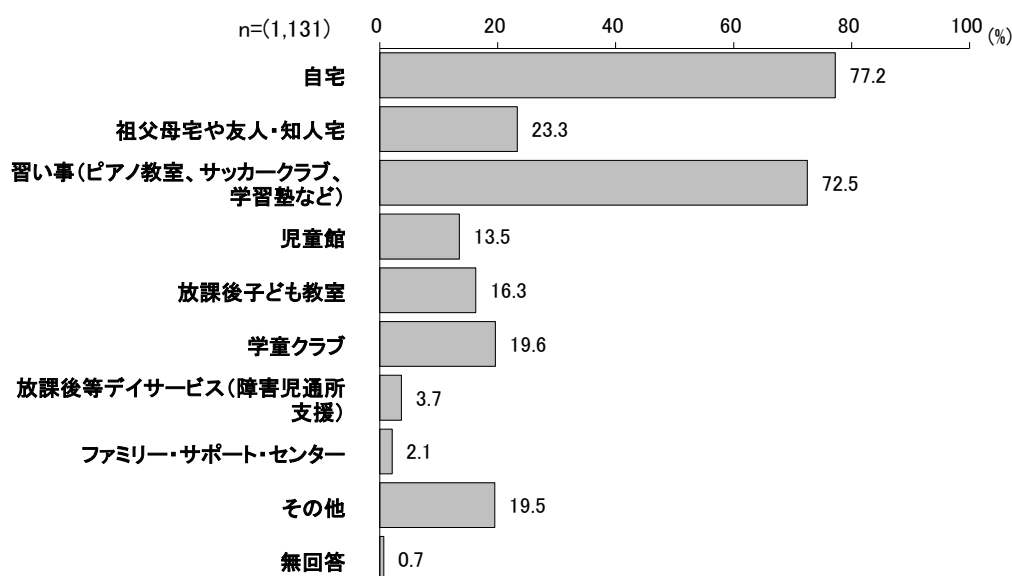
※「子どもショートステイを利用した」、「子どもショートステイ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した」は該当者がいないため、掲載していない。

8. 放課後の過ごし方

（1）放課後を過ごしている場所と日数

問34 あて名のお子さんは放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たりの日数を口内に数字でご記入ください。また、「6. 学童クラブ」の場合には、利用する時刻も口内に数字でご記入ください。【複数回答】

放課後を過ごしている場所

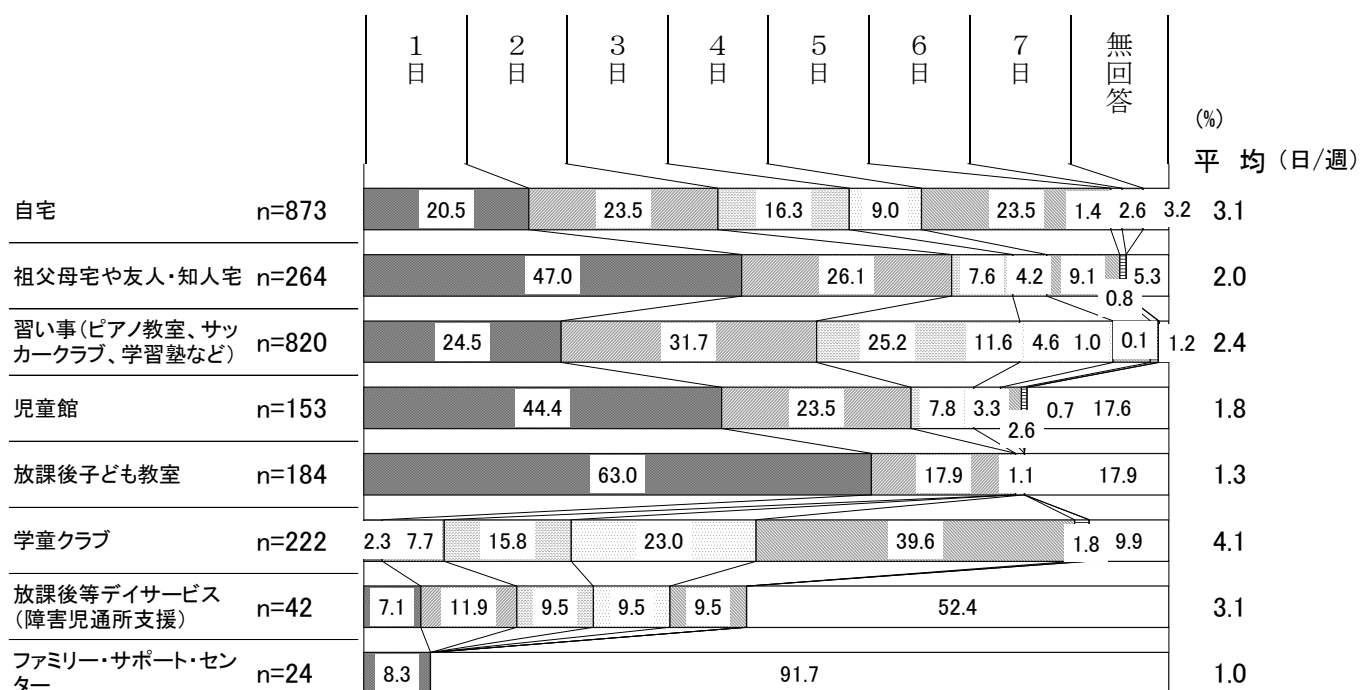


子どもの放課後の過ごし方は、「自宅」（77.2%）と「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（72.5%）が高く、これらに「祖父母宅や友人・知人宅」（23.3%）、「学童クラブ」（19.6%）、「放課後子ども教室」（16.3%）が続いている。

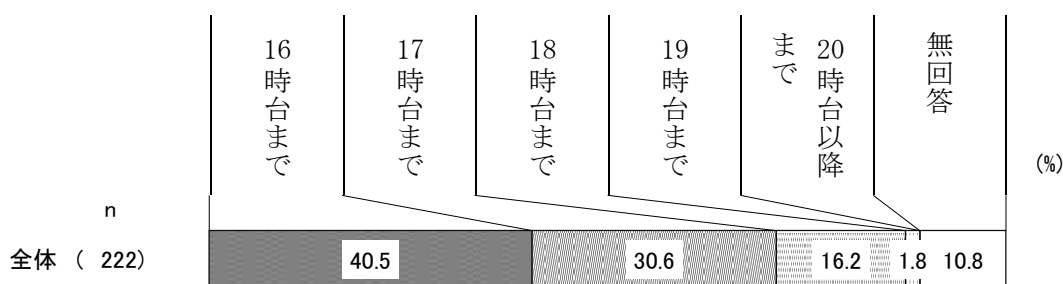
また、「その他」（19.5%）の具体的な内容は、「公園」、「学校・校庭」、「地域センター」、「図書館」などとなっている。

第2章 調査結果の詳細（就学児童1年生～6年生）

放課後過ごしている場所の日数／1週当たり

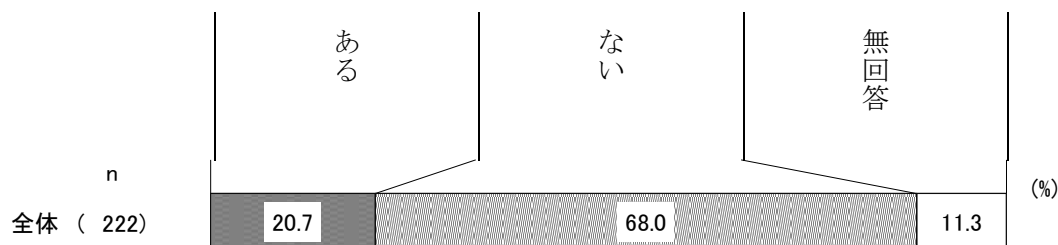


学童クラブの利用時刻（下校時から）



学童クラブの利用時刻は、「16時台まで」が40.5%、「17時台まで」が30.6%、「18時台まで」が16.2%となっている。

土曜日の学童クラブの利用の有無



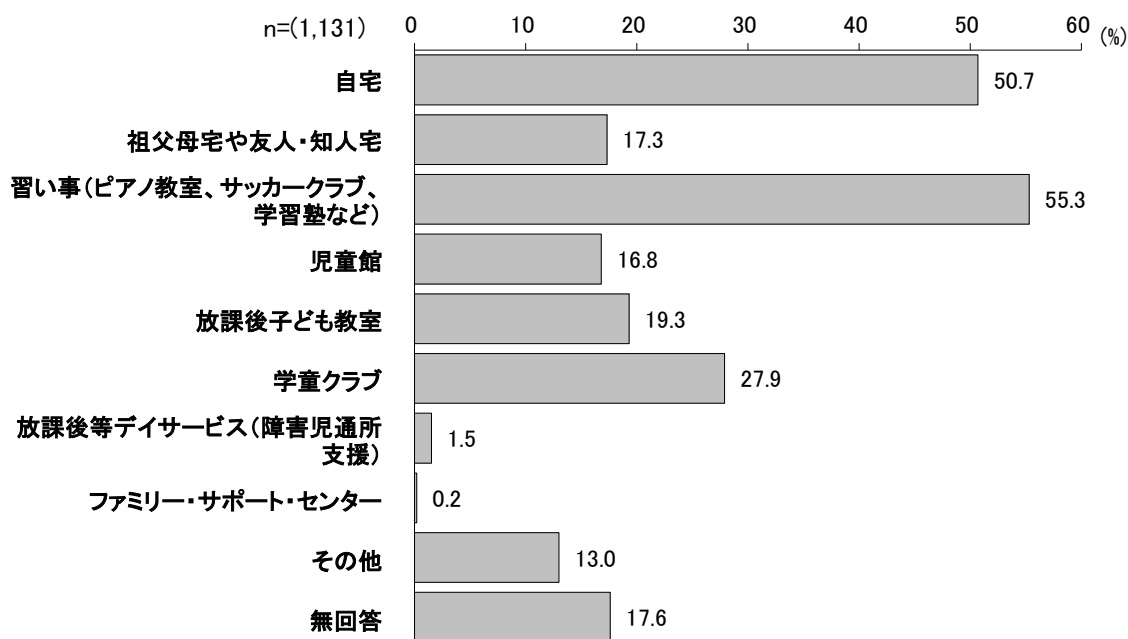
土曜日の学童クラブの利用は、「ない」が68.0%、「ある」20.7%となっている。

（2）放課後の過ごし方の希望

問35 あて名のお子さんは放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たりの日数を□内に数字でご記入ください。また、「6. 学童クラブ」の場合には、利用する時刻も□内に数字でご記入ください。【複数回答】

■小学校低学年（1～3年生）のとき

放課後を過ごさせたい場所

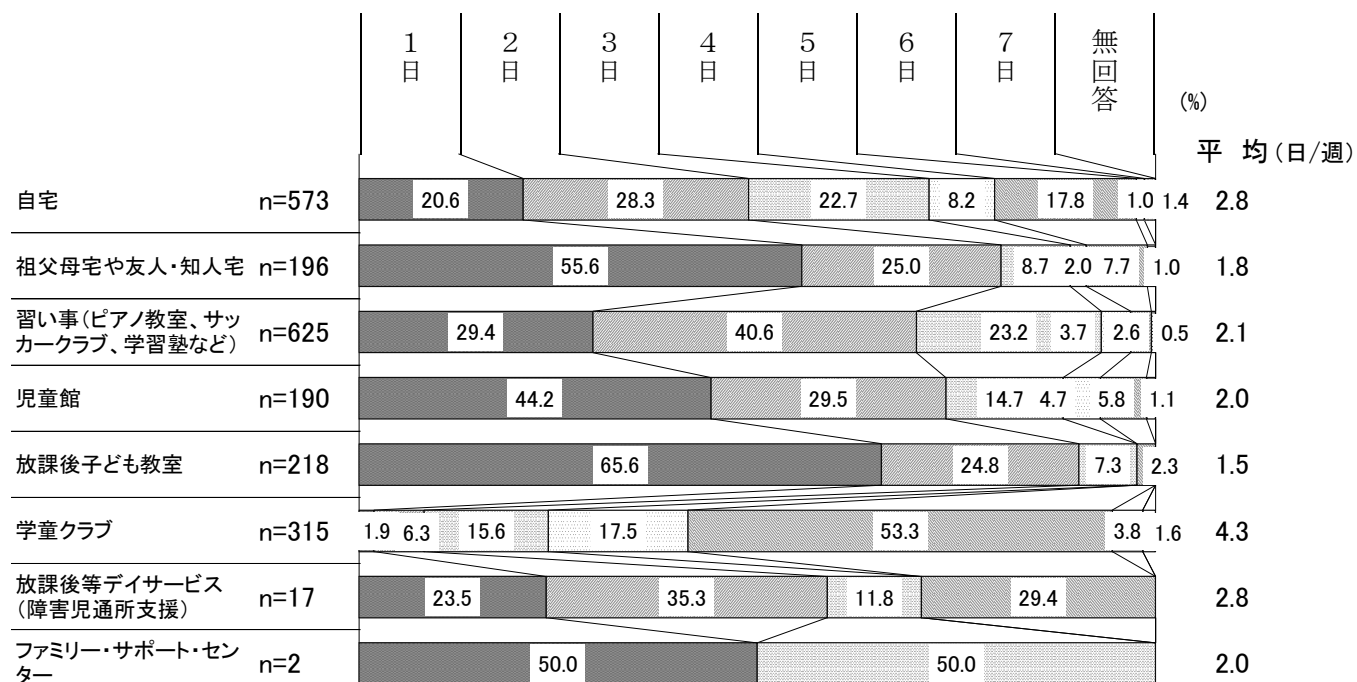


小学校低学年（1～3年生）のときに、放課後過ごさせたい場所は、「習い事」が55.3%、「自宅」が50.7%で高く、これに、「学童クラブ」が27.9%、「放課後子ども教室」が19.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」が17.3%、「児童館」が16.8%が続いている。

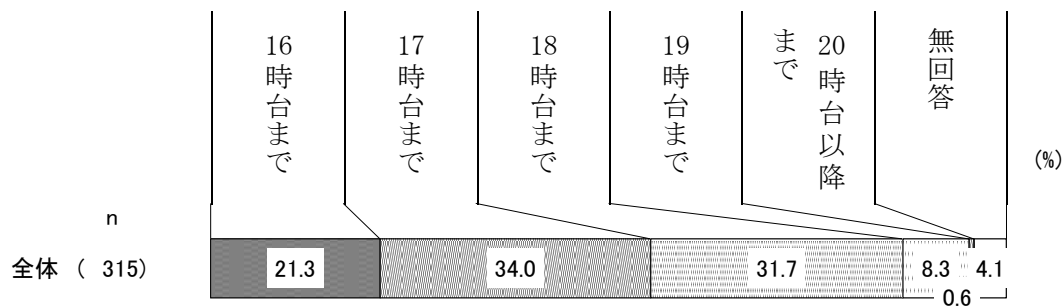
また、「その他」（13.0%）の具体的な内容は、「公園」、「学校・校庭」、「地域センター」などとなっている。

第2章 調査結果の詳細（就学児童1年生～6年生）

放課後過ごさせたい場所の日数／1週当たり

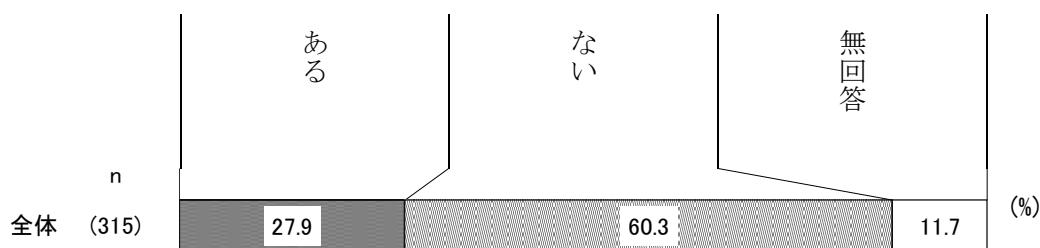


学童クラブの利用希望時刻（下校時から）



学童クラブの利用希望時刻は、「17時台まで」が34.0%、「18時台まで」が31.7%、「16時台まで」が21.3%となっている。

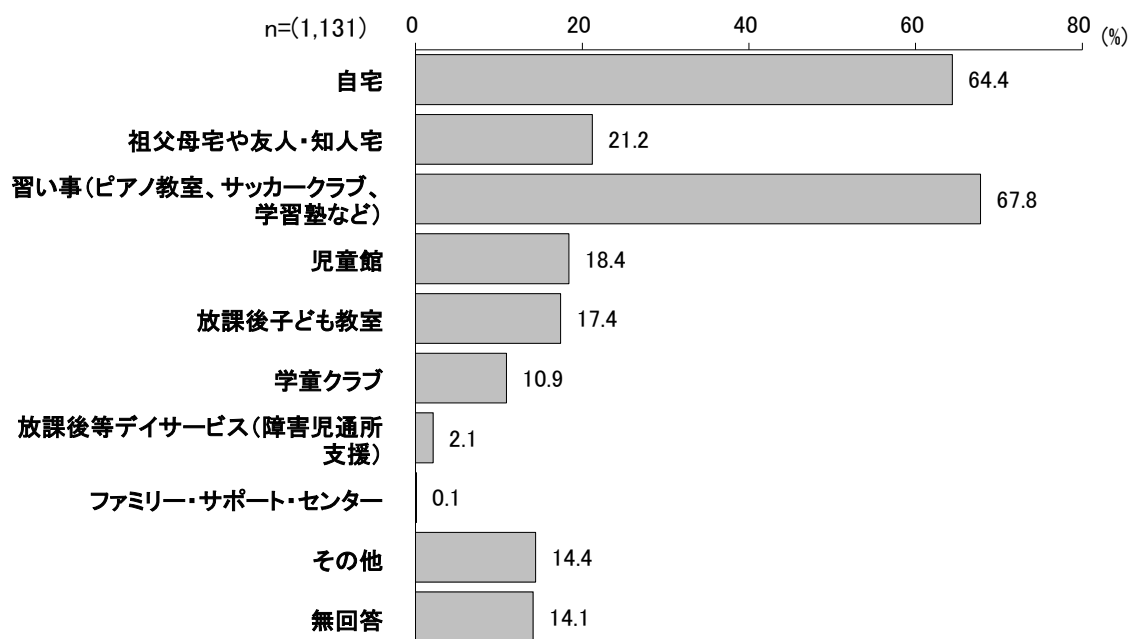
土曜日の学童クラブの利用意向



土曜日の学童クラブの利用意向は、「ない」が60.3%、「ある」が27.9%となっている。

■小学校高学年（4～6年生）のとき

放課後を過ごさせたい場所

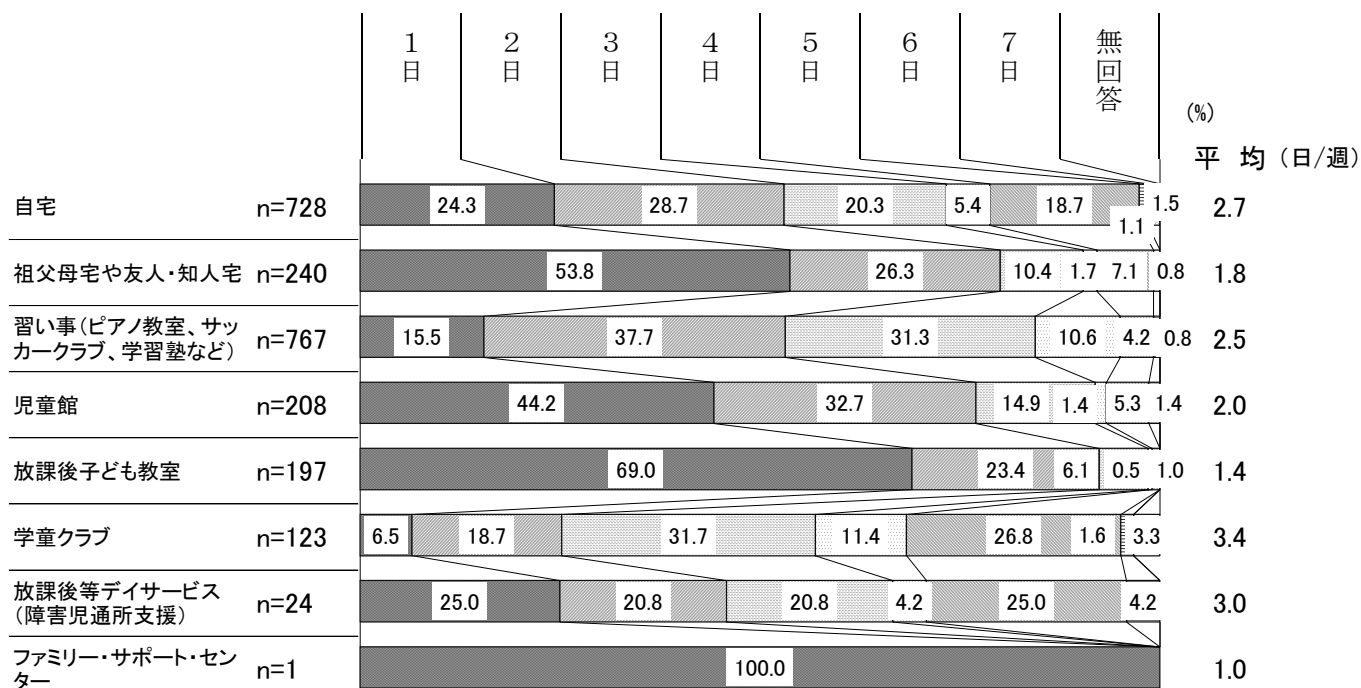


小学校高学年（4～6年生）のときに、放課後過ごさせたい場所は、「習い事」が67.8%、「自宅」が64.4%で高く、これに、「祖父母宅や友人・知人宅」が21.2%、「児童館」が18.4%、「放課後子ども教室」が17.4%、「学童クラブ」が10.9%が続いている。

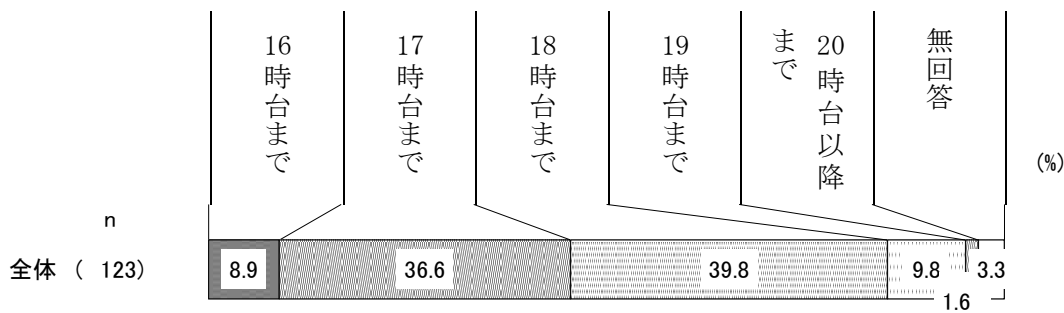
また、「その他」（14.4%）の具体的な内容は、「公園」、「学校・校庭」、「地域センター」、「図書館」などとなっている。

第2章 調査結果の詳細（就学児童1年生～6年生）

放課後過ごさせたい場所の日数／1週当たり

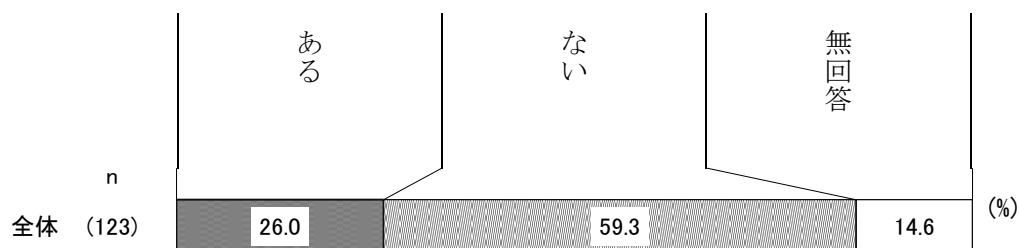


学童クラブの利用希望時刻（下校時から）



学童クラブの利用希望時刻は、「18時台まで」が39.8%、「17時台まで」が36.6%、「19時台まで」が9.8%となっている。

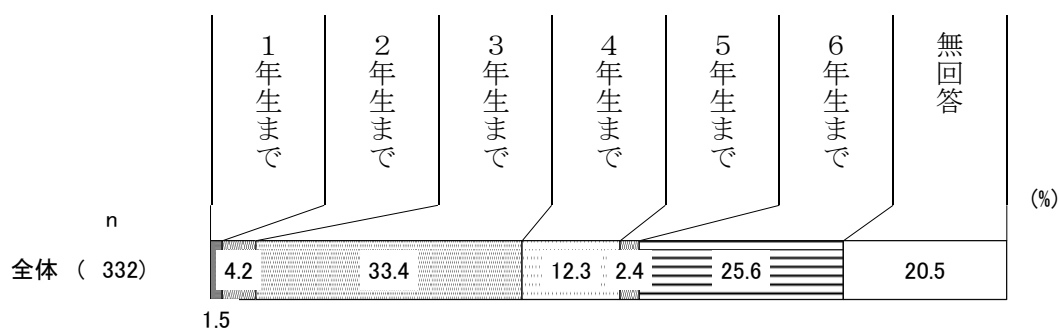
土曜日の学童クラブの利用意向



土曜日の学童クラブ利用意向は、「ない」が59.3%、「ある」が26.0%となっている。

■全学年

平日の学童クラブ利用希望学年



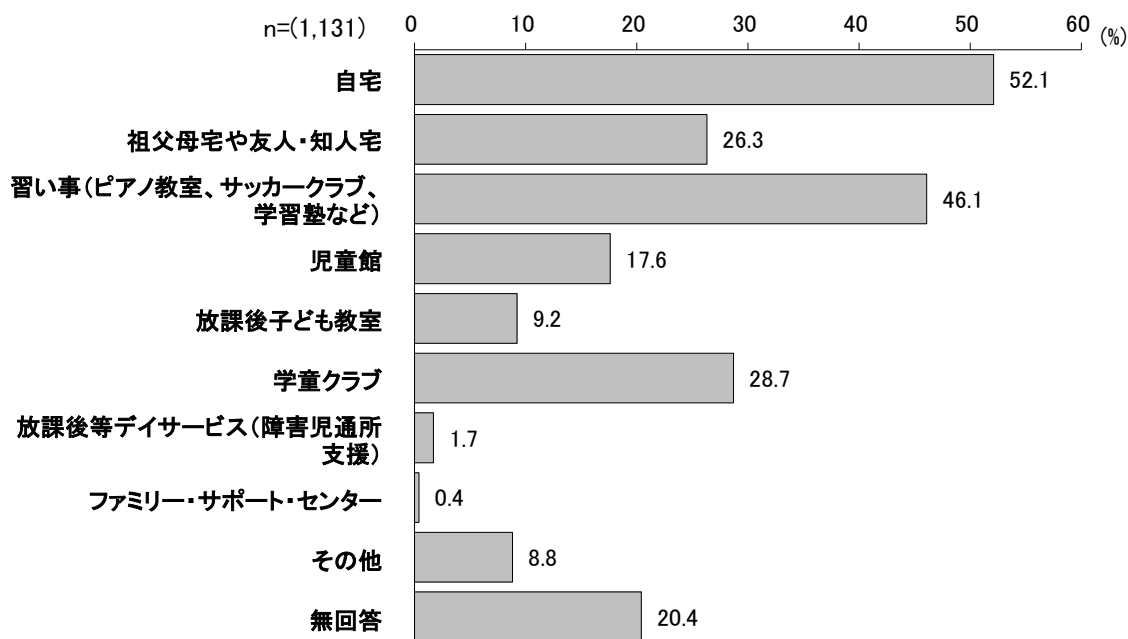
放課後の学童クラブ利用希望学年は、「3年生まで」が33.4%、「6年生まで」が25.6%となっている。

（3）小学校の長期休暇中の過ごし方の希望

問36 あて名のお子さんについて、小学校の夏休み・冬休み期間中はどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「6. 学童クラブ」の場合には、利用を希望する時刻も□内に数字でご記入ください。【複数回答】

■小学校低学年（1～3年生）のとき

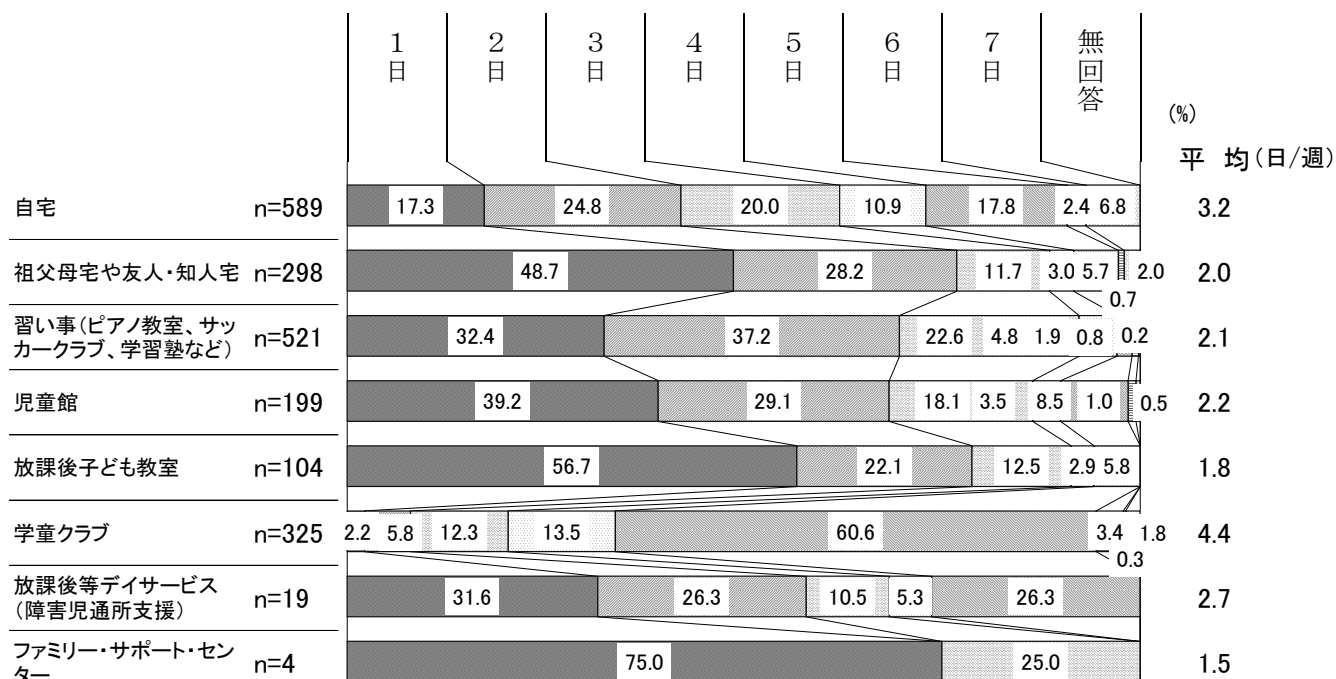
長期休暇中に過ごさせたい場所



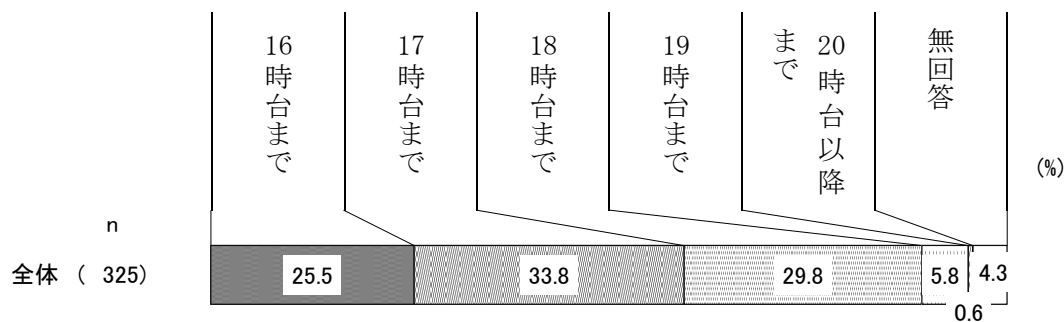
小学校低学年（1～3年生）のとき、長期休暇中に過ごさせたい場所は、「自宅」が52.1%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が46.1%、「学童クラブ」が28.7%、「祖父母宅や友人・知人宅」が26.3%、「児童館」が17.6%となっている。

また、「その他」（8.8%）の具体的な内容は、「公園」、「学校・校庭」、「地域センター」などとなっている。

長期休暇中に過ごさせたい場所の日数／1週当たり

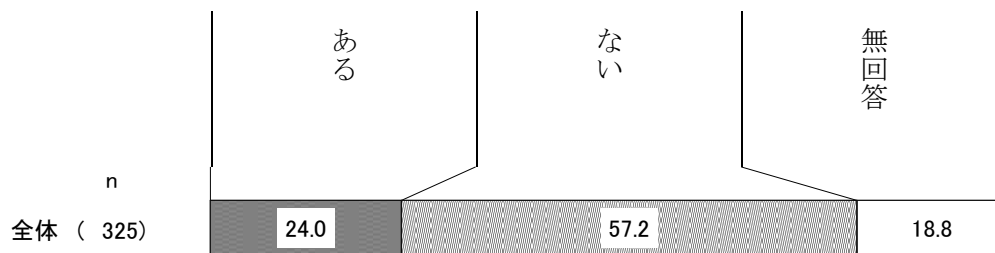


長期休暇中の学童クラブの利用希望時刻



学童クラブの利用希望時刻は、「17時台まで」が33.8%、「18時台まで」が29.8%、「16時台まで」が25.5%となっている。

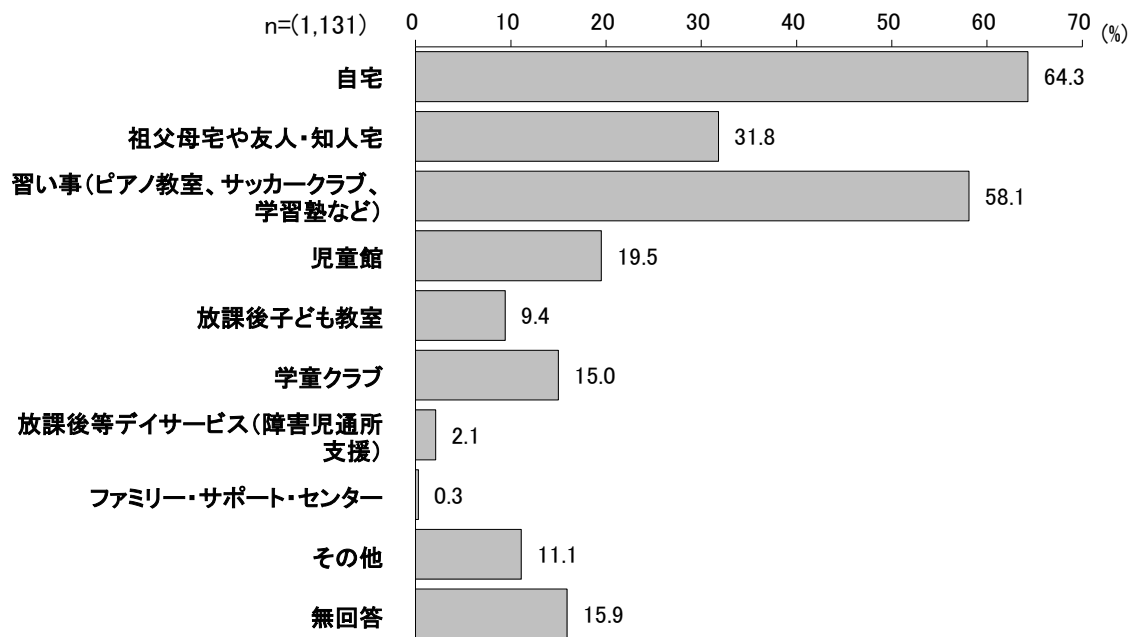
長期休暇中の土曜日の学童クラブの利用希望



長期休暇中の土曜日の学童クラブ利用意向は、「ない」が57.2%、「ある」が24.0%となっている。

■ 小学校高学年（4～6年生）のとき

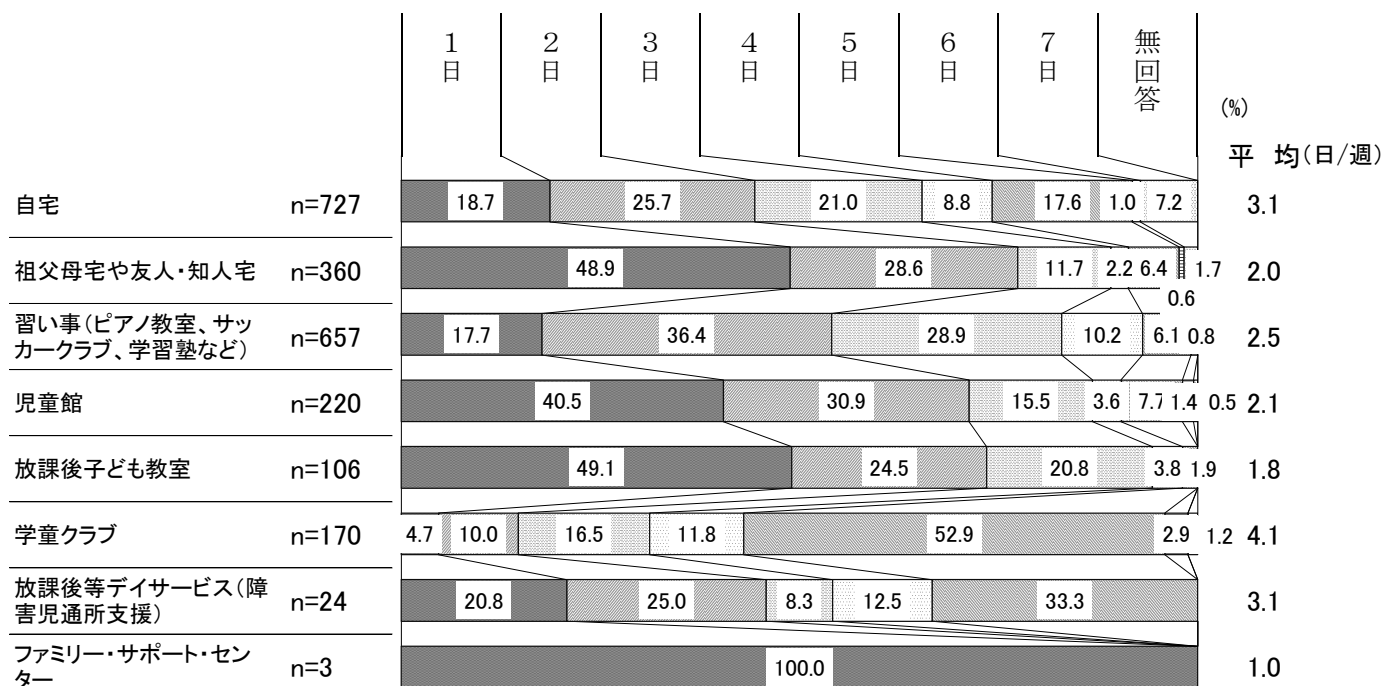
長期休暇中に過ごさせたい場所



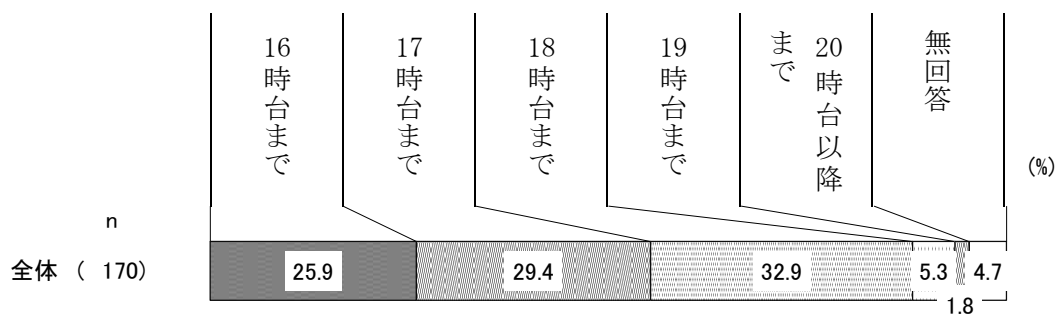
小学校高学年（4～6年生）のとき、長期休暇中に過ごさせたい場所も「自宅」（64.3%）、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（58.1%）が高く、これに、「祖父母宅や友人・知人宅」（31.8%）、「児童館」（19.5%）、「学童クラブ」（15.0%）が続いている。

また、「その他」（11.1%）の具体的な内容は、「公園」、「学校・校庭」、「地域センター」、「図書館」などとなっている。

長期休暇中に過ごさせたい場所の日数／1週当たり



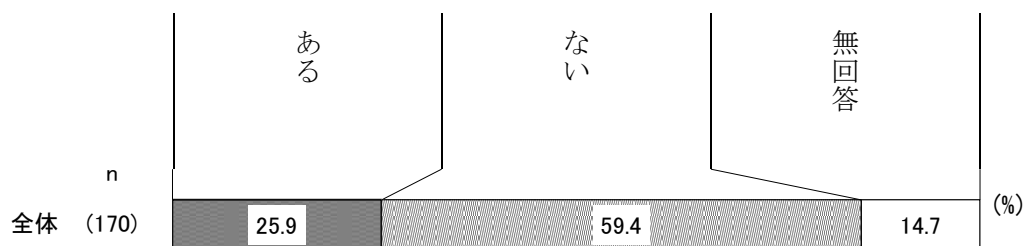
長期休暇中の学童クラブの利用希望時刻



長期休暇中の学童クラブの利用希望時刻は、「18時台まで」が32.9%、「17時台まで」が29.4%、「16時台まで」が25.9%となっている。

第2章 調査結果の詳細（就学児童1年生～6年生）

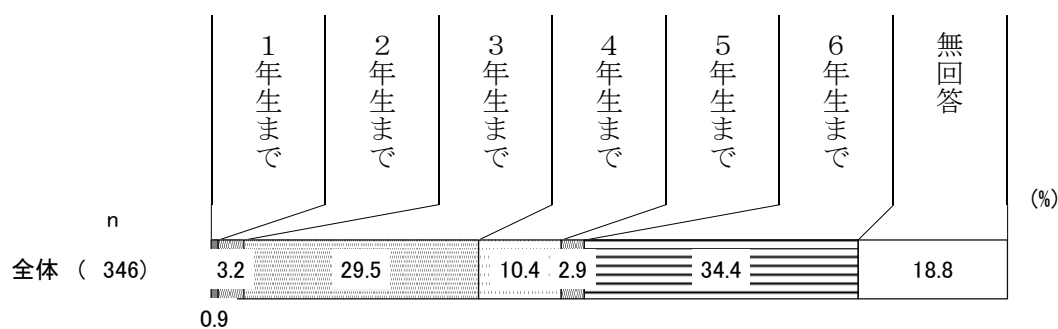
長期休暇中の土曜日の学童クラブ利用希望



長期休暇中の土曜日の学童クラブ利用意向は、「ない」が59.4%、「ある」が25.9%となっている。

■全学年

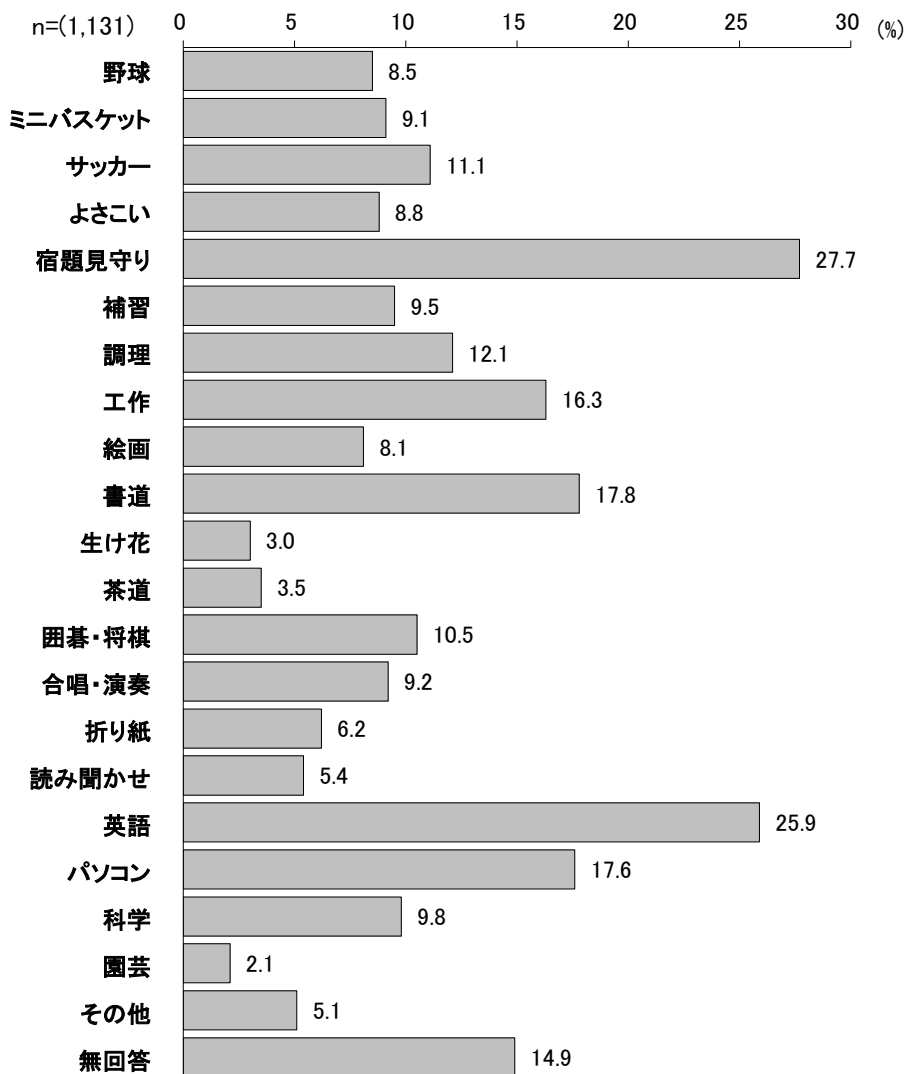
長期休暇中の学童クラブ利用希望学年



長期休暇中の学童クラブ利用希望学年は、「6年生まで」が34.4%、「3年生まで」が29.5%となっている。

（4）放課後子ども教室の利用希望

問37 放課後子ども教室の利用について、今後も継続してほしい、または取り上げてもらいたい活動内容がありますか。当てはまる番号3つに○をつけてください。【複数回答】



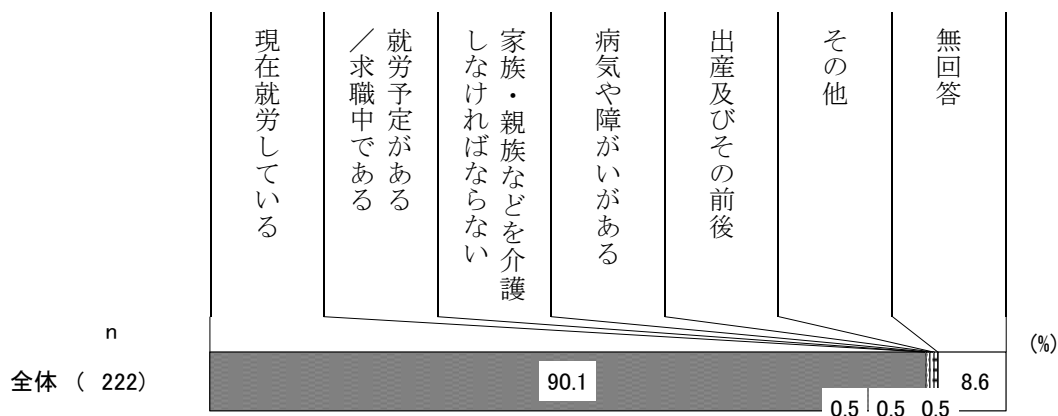
放課後子ども教室の利用について、今後も継続してほしい、または取り上げてもらいたい活動は、「宿題見守り」が27.7%、「英語」が25.9%で高く、これらに「書道」が17.8%、「パソコン」が17.6%、「工作」が16.3%が続いている。

9. 学童クラブの利用

（1）学童クラブを利用している理由

問38 問34（放課後）で「6. 学童クラブ」に○をつけた方におたずねします。
利用している理由について、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、



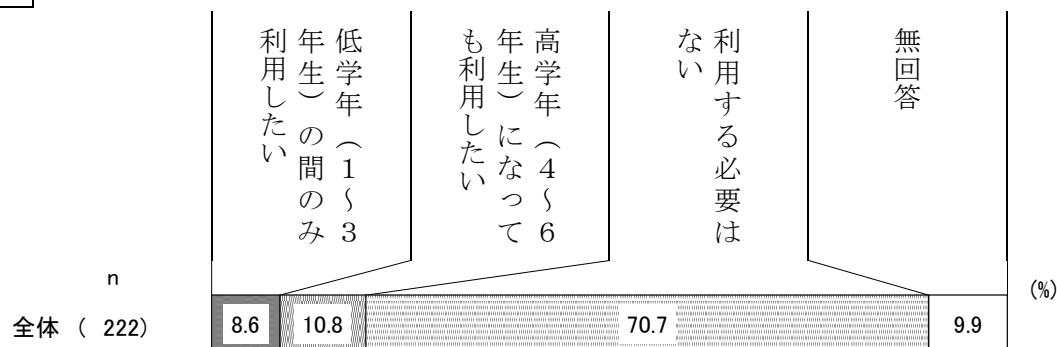
放課後に学童クラブを利用している理由は、お子さんの身の回りの世話を主にしている人が「現在就労している」が90.1%と高くなっている。

（2）学童クラブ利用者の日曜日・祝日の利用希望

問39 問34（放課後）で「6. 学童クラブ」に○をつけた方におたずねします。

日曜日・祝日の学童クラブの利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい場合は、その時間帯を口内に数字でご記入ください。

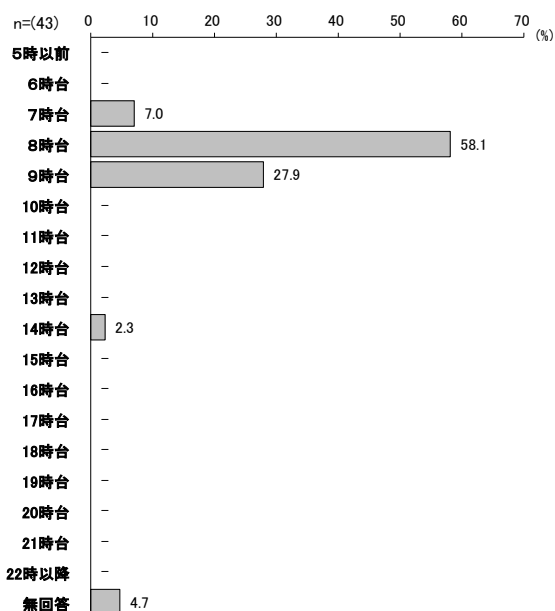
利用希望



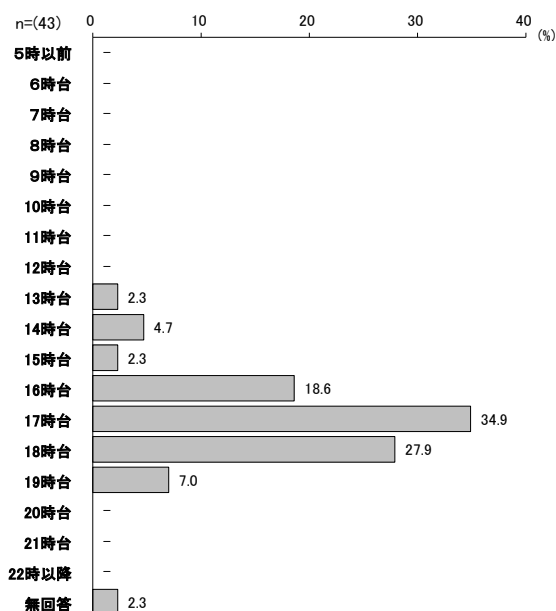
放課後に学童クラブを利用している世帯の日曜日・祝日の学童クラブ利用意向は、「利用する必要はない」が70.7%と高い。「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（10.8%）、「低学年（1～3年生）の間のみ利用したい」（8.6%）を合わせて19.4%となっている。

利用したい時間帯

開始時刻



終了時刻

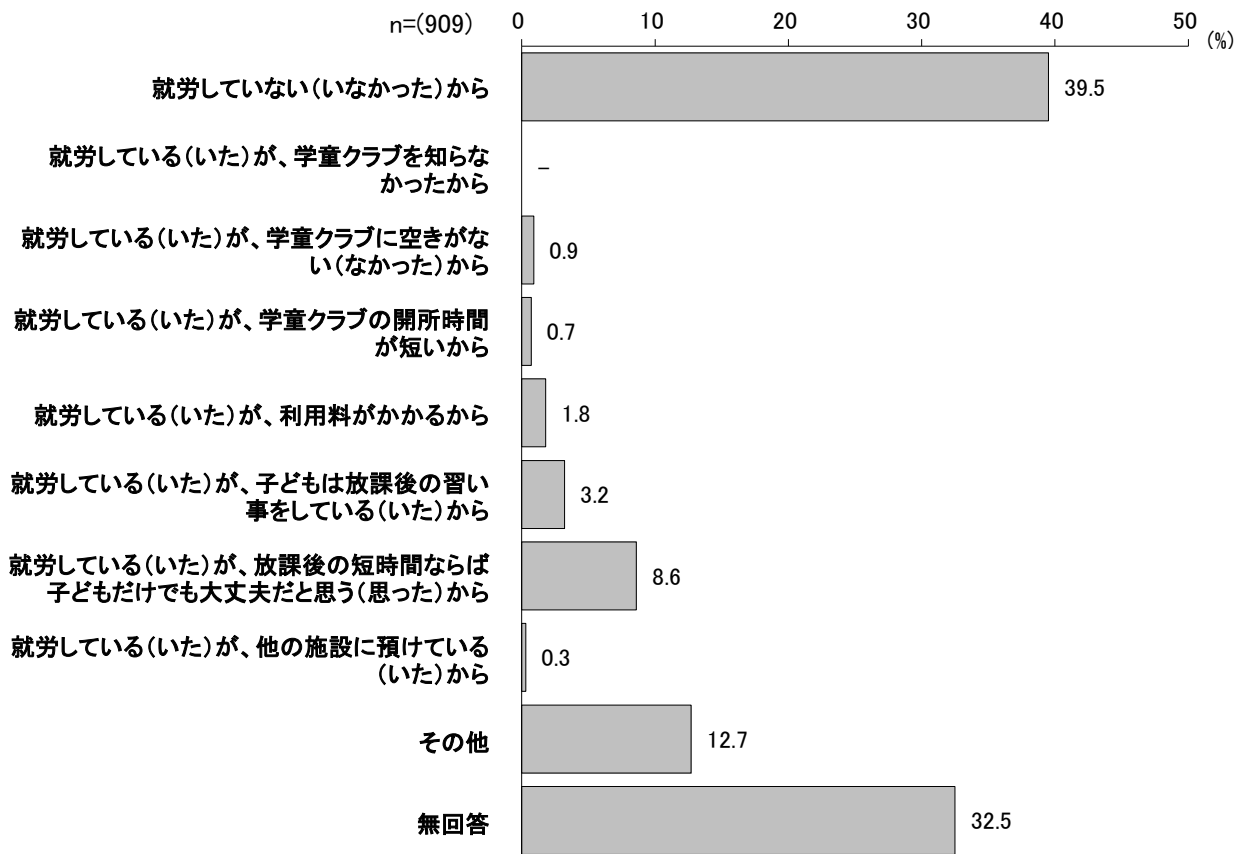


利用希望開始時刻は、「8時台」が58.1%、「9時台」が27.9%と高い。終了希望時刻は、「17時台」が34.9%、「18時台」が27.9%、「16時台」が18.6%となっている。

（3）利用していない（していなかった）理由

問40 学童クラブを利用していない（いなかった）方におたずねします。利用していない（していなかった）理由について、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、

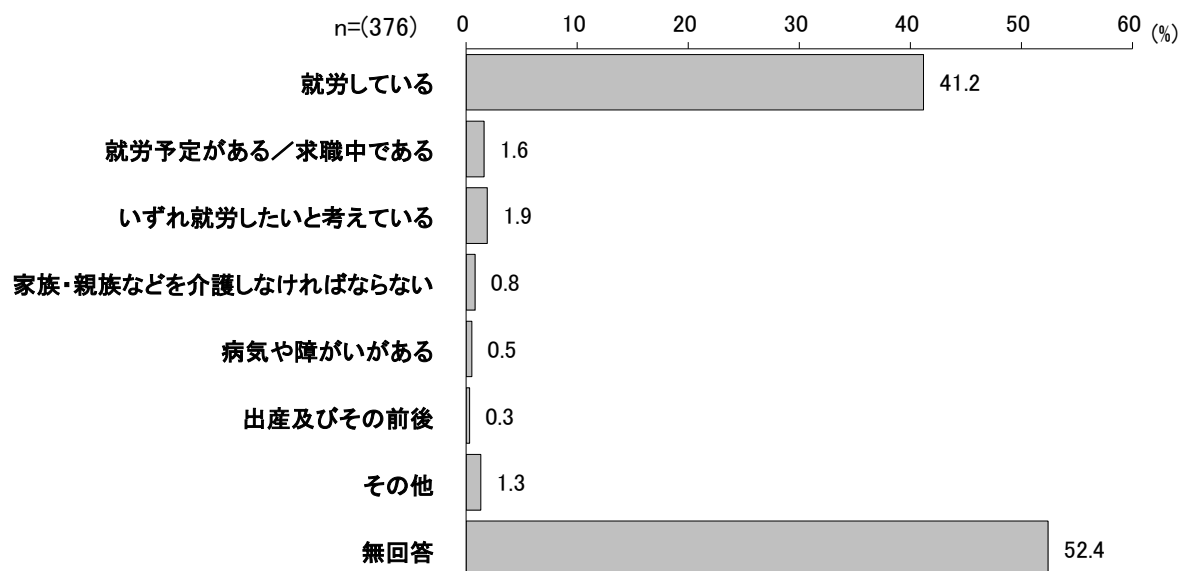


学童クラブを利用していない（していなかった）理由は、「就労していない(いなかった)から」が39.5%で高く、これに、「就労している(いた)が、放課後の短時間ならば子どもだけでも大丈夫だと思う(思った)から」が8.6%が続いている。

（4）今後利用したい理由

問41 問35（放課後）または問36（夏休み・冬休み期間中）で「6. 学童クラブ」に○をつけた方におたずねします。学童クラブを利用したい理由について、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、

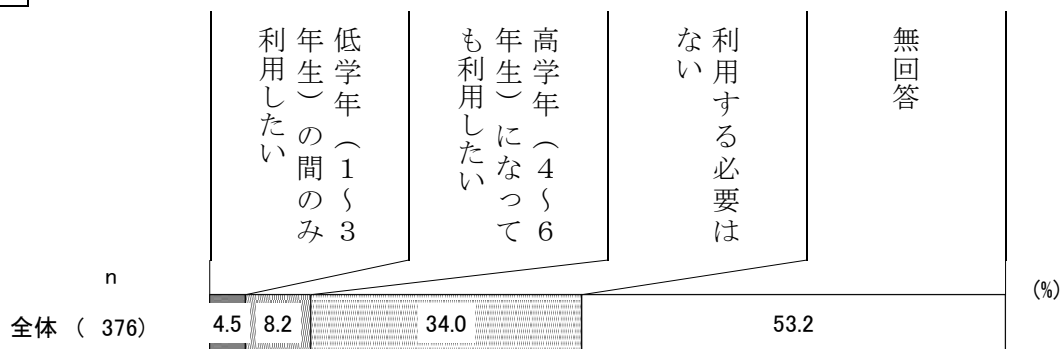


放課後、または長期休暇中に学童クラブを利用したい理由は、「就労している」が41.2%と高い。

（5）日曜日・祝日の利用希望と利用したい時間帯

問42 問35（放課後）または問36（夏休み・冬休み期間中）で「6. 学童クラブ」に○をつけた方におたずねします。あて名のお子さんについて、日曜日・祝日の学童クラブを利用したいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい場合は、その時間帯を口内に数字でご記入ください。

利用希望

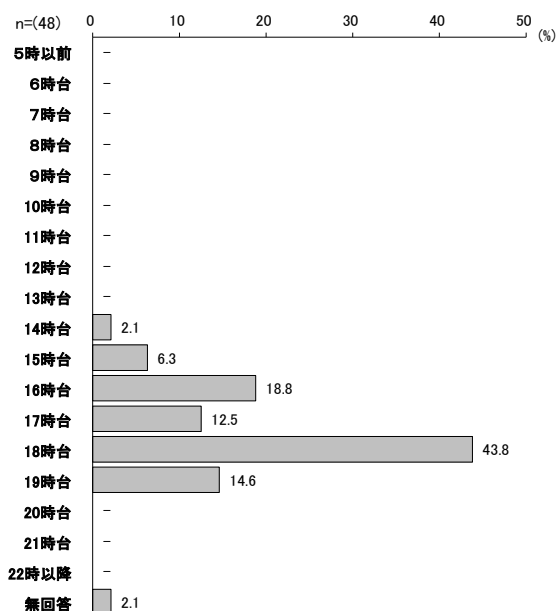
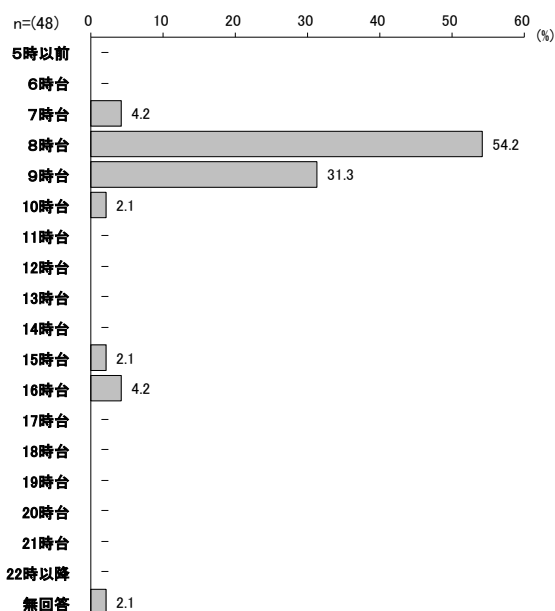


放課後・長期休暇中の学童クラブ利用意向者の日曜日・祝日の利用希望は、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（8.2%）、「低学年（1～3年生）の間のみ利用したい」（4.5%）の合計で12.7%となっている。

利用したい時間帯

開始時刻

終了時刻

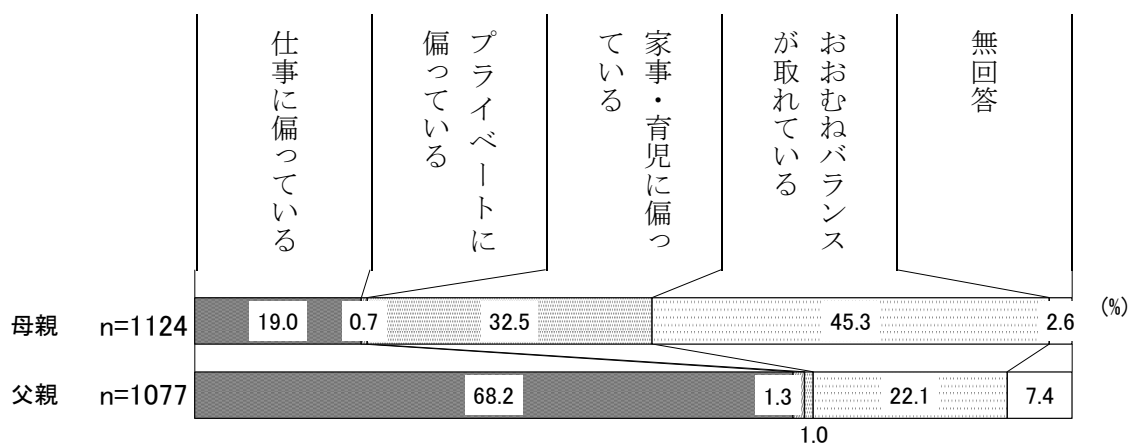


利用希望開始時刻は、「8時台」が54.2%、「9時台」が31.3%と高い。終了希望時刻は、「18時台」が43.8%、「16時台」が18.8%、「19時台」が14.6%、「17時台」が12.5%となっている。

10. 子育て全般

(1) 「仕事時間」と「家事（育児）の時間」、「プライベートの時間」のバランス

問43 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）の時間」、「プライベートの時間」はどのようなバランスだと感じていますか。母親と父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

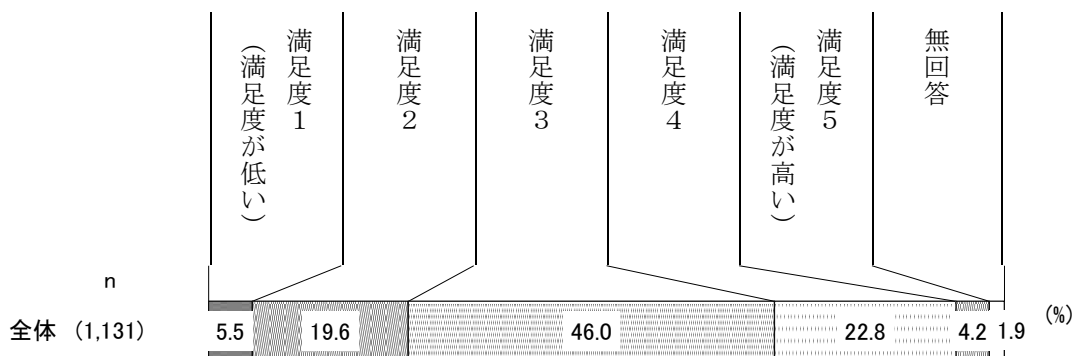


母親の「仕事時間」と「家事(育児)の時間」「プライベートの時間」のバランスは、「おおむねバランスが取れている」が45.3%で高く、「家事・育児に偏っている」が32.5%、「仕事に偏っている」が19.0%となっている。

父親は、「仕事に偏っている」が68.2%と高く、「おおむねバランスが取れている」は22.1%となっている。

（2）地域における子育ての環境や支援への満足度

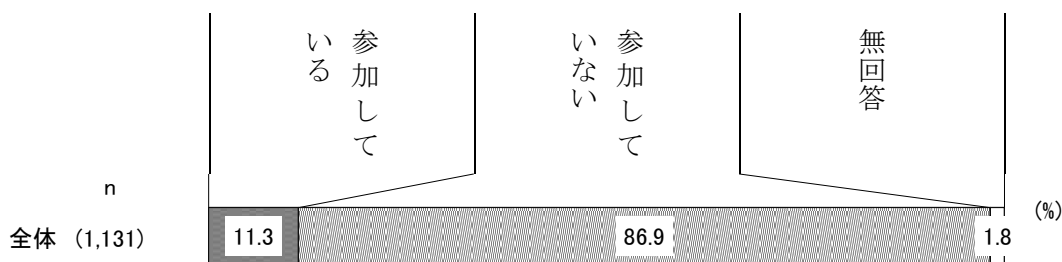
問44 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、1～5段階のうち、当てはまる番号1つに○をつけてください。



地域における子育ての環境や支援の満足度は、「満足度3」が46.0%で高く、「満足度4」が22.8%、「満足度2」が19.6%となっている。

（3）子育てサークル等の参加の有無

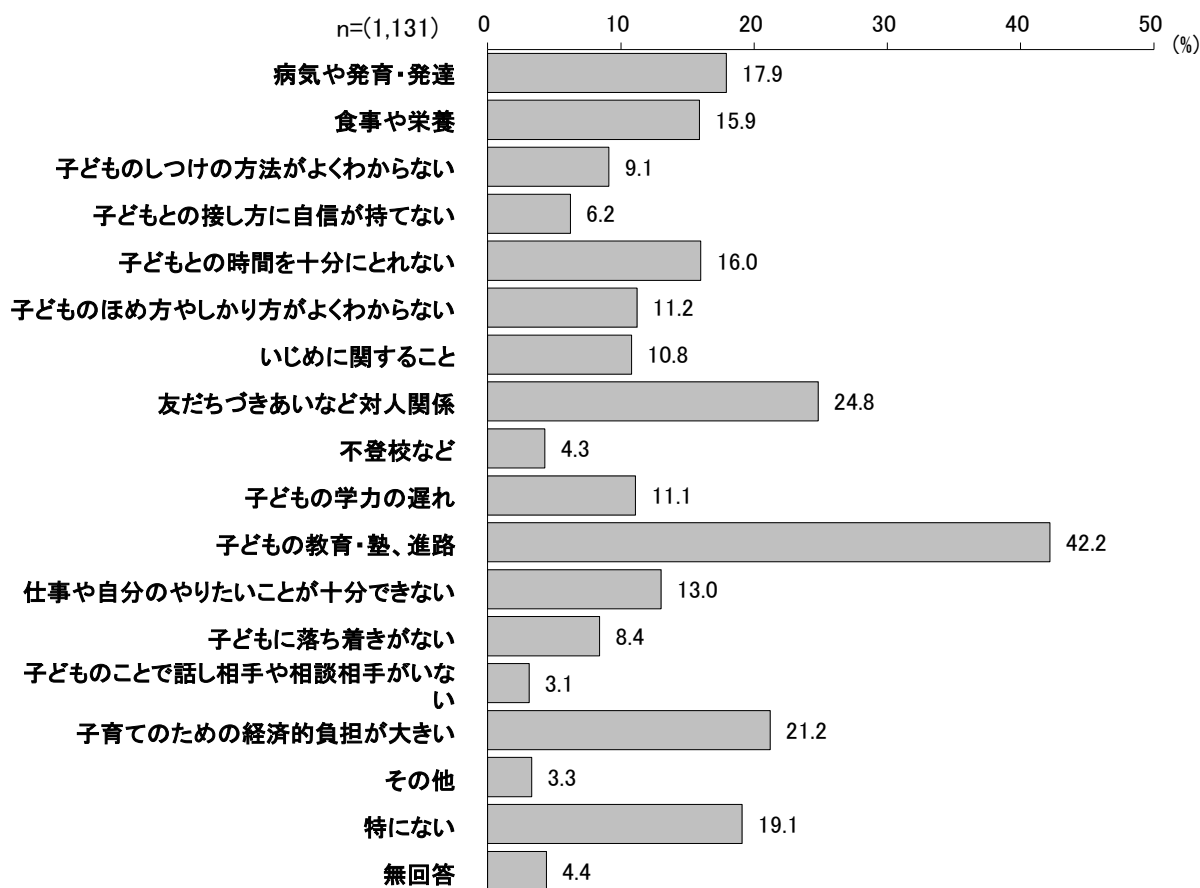
問45 あなたは地域活動(子育てサークルなど)に参加していますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。



子育てサークル等の地域活動参加状況は、「参加していない」が86.9%、「参加している」が11.3%となっている。

（4）子育てに関する悩み

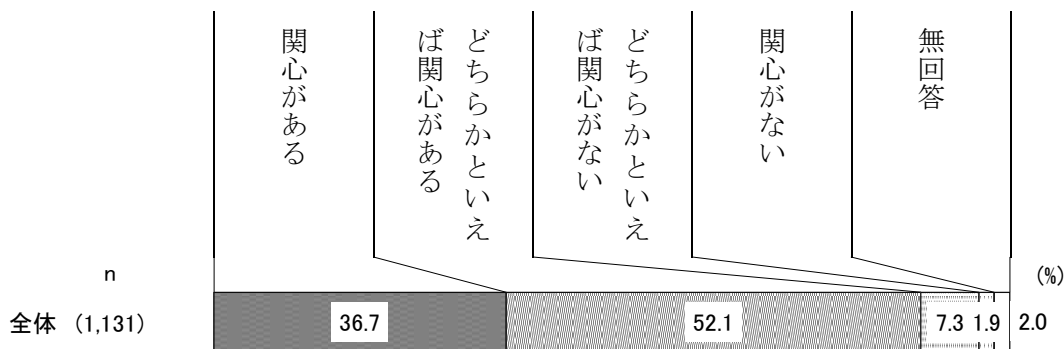
問46 子育てに関して悩んでいること、又は気になることがありますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】



子育てに関して悩んでいること、又は気になることは、「子どもの教育・塾、進路」が 42.2%で高く、これに「友だちづきあいなど対人関係」が 24.8%、「子育てのための経済的負担が大きい」が 21.2%、「病気や発育・発達」が 17.9%で続いている。

（5）児童虐待の関心度

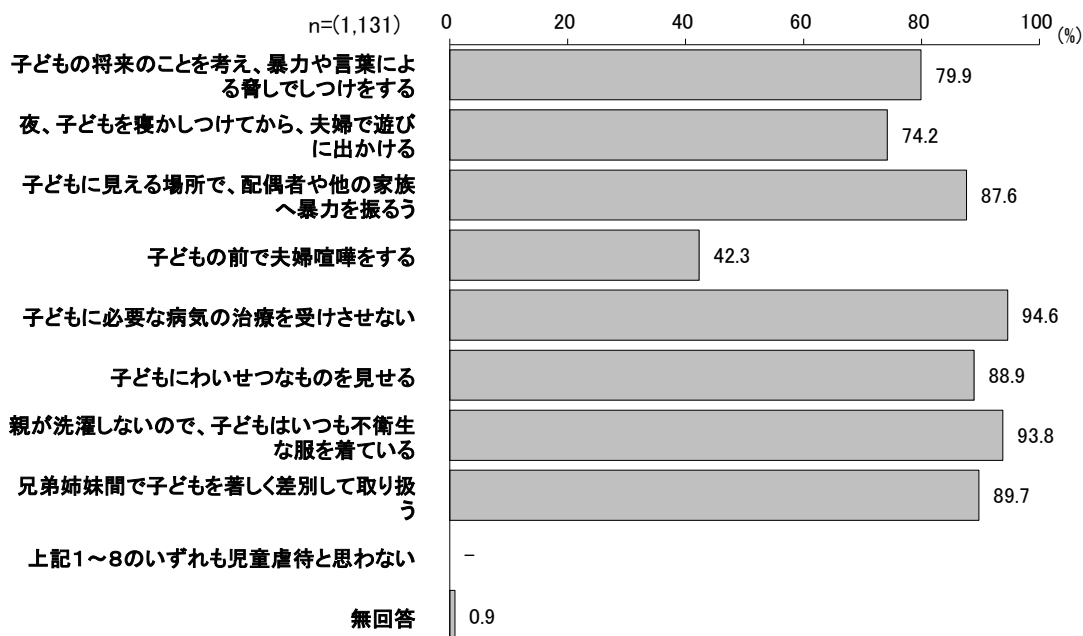
問47 あなたは、児童虐待について、どの程度関心がありますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。



児童虐待の関心度は、「どちらかといえば関心がある」(52.1%)と「関心がある」(36.7%)を合計すると88.8%となる。

（6）児童虐待と感ずる状況

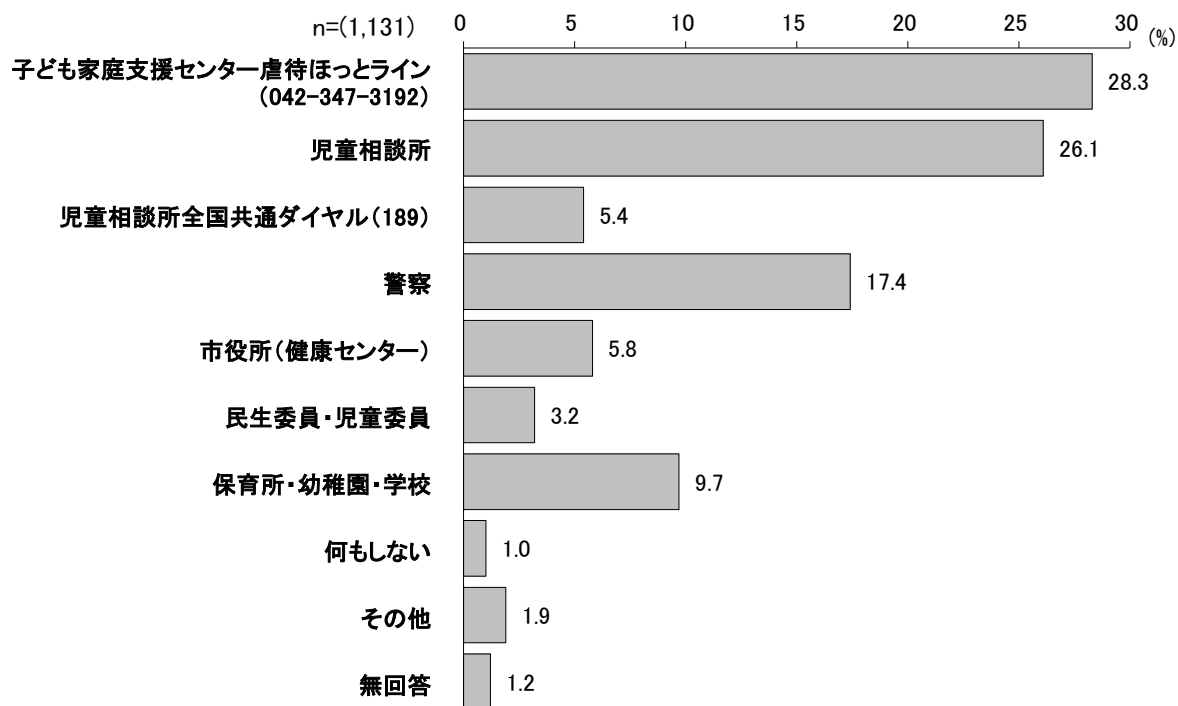
問48 あなたが児童虐待と感ずるものは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】



児童虐待と感ずることは、「子どもに必要な病気の治療を受けさせない」(94.6%)、「親が洗濯しないので、子どもはいつも不衛生な服を着ている」(93.8%)、「兄弟姉妹間で子どもを著しく差別して取り扱う」(89.7%)、「子どもにわいせつなものを見せる」(88.9%)、「子どもに見える場所で、配偶者や他の家族へ暴力を振るう」(87.6%)の5項目が90%程度となっている。

（7）児童虐待を相談・通報する場所

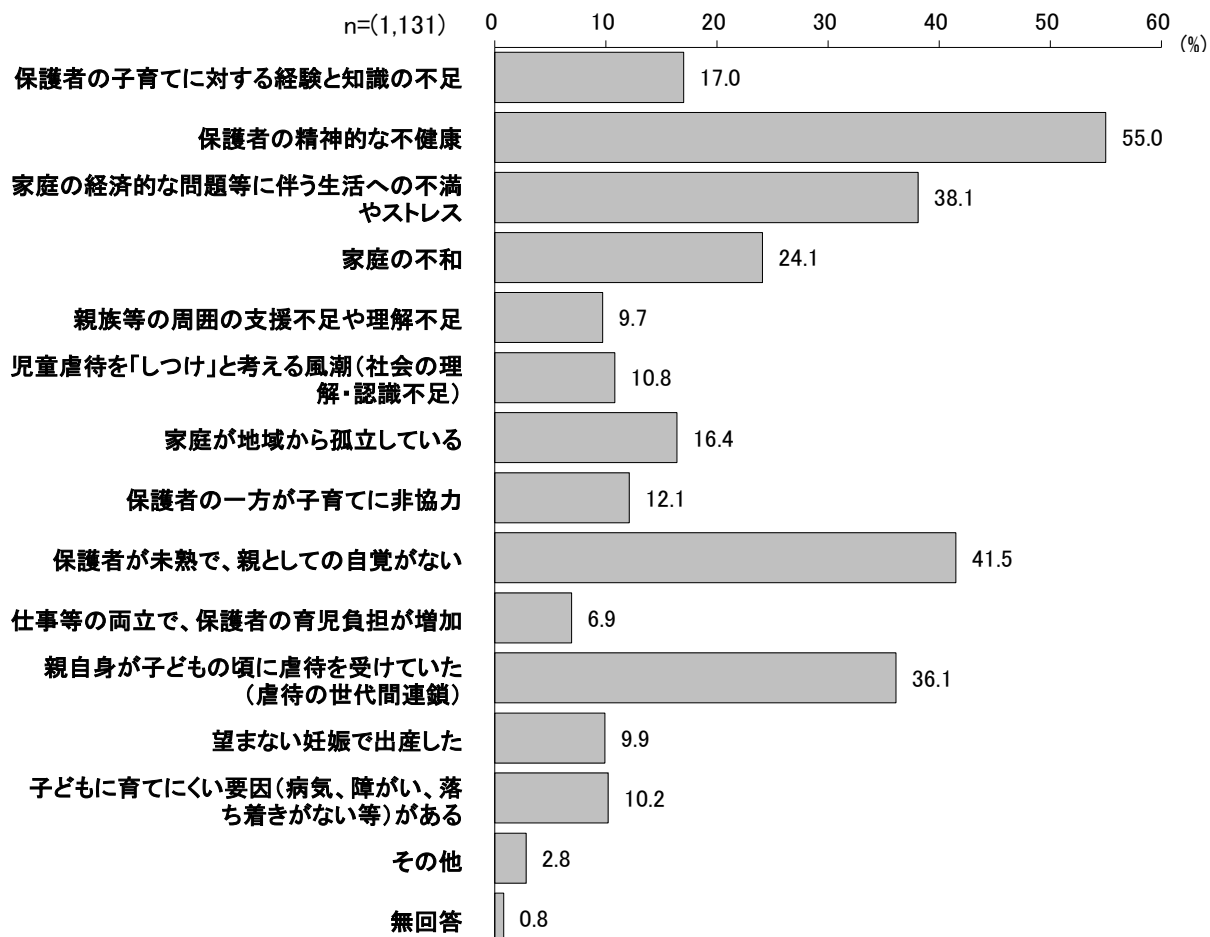
問49 児童虐待を発見した場合には、どこに相談・通報しようと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



児童虐待を発見した場合に相談・通報しようと思う場所は、「子ども家庭支援センター虐待ほっとライン」(28.3%)、「児童相談所」(26.1%)が高く、これらに「警察」(17.4%)が続いている。

（8）児童虐待が起こる理由

問50 あなたは、なぜ児童虐待が起こると思いますか。当てはまる番号3つに○をつけてください。【複数回答】



児童虐待が起こる理由は、「保護者の精神的な不健康」が55.0%で高く、これに「保護者が未熟で、親としての自覚がない」が41.5%、「家庭の経済的な問題等に伴う生活への不満やストレス」が38.1%、「親自身が子どもの頃に虐待を受けていた（虐待の世代間連鎖）」が36.1%で続いている。

（9）教育・保育の環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見

最後に、教育・保育の環境の充実など子育ての環境や支援に関するご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

子育ての環境や支援に関するご意見として、388人から延べ411件の回答が寄せられた。なお、1人で2つ以上の内容を記入している場合もあるため、件数は延べ件数となる。

学校・放課後	121
学童クラブの充実・高学年の受入れ拡大	50
放課後・長期休暇中の居場所の確保	28
学校の充実	20
放課後こども教室の充実	12
学校での保護者の役割・負担の軽減	11
交流・遊び場	48
公園・広場・施設等遊び場の充実	27
児童館の充実	18
ふれあい広場・地域センター・子ども広場の充実	3
教育・保育サービスについて	27
一時預かりの充実・利便性の向上	12
病児・病後児保育の充実・利便性の向上	6
保育所の充実・質の向上	3
待機児童の解消・保育所への入園のしやすさ	3
幼稚園・預かり保育の充実	3
相談	22
相談窓口の充実・質の向上	18
子育てのアドバイスが受けられる・話を聞いてくれる存在・訪問など	4
その他支援	193
障がい児・発達障がいへの支援・サポート	21
児童虐待防止対策の充実	19
経済的支援	19
地域や社会の支援・見守り	18
医療体制・医療費補助の充実	17
安心・安全な地域づくり	12
情報提供の充実	6
学習支援	4
不登校児童と保護者への支援	3
市域全体で利用しやすい施設配置・近隣市と連携したサービスの提供	3
学校・学童等での保護者の負担の軽減	2
子育て支援全般	36
その他	33

第3章 調査票・調査票記入のてびき

小平市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

就学前児童

調査ご協力のお願い

日頃より、市政の推進につきましてもご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。さて、小平市では平成24年8月に制定された子ども・子育て支援法に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画として、平成27年3月に「小平市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、現在各種の子育て支援施策を実施しております。

このたび、平成27年度から5年間を一期とする「小平市子ども・子育て支援事業計画」が平成31年度末に終了することに伴い、平成32年度から36年度までの5年間を二期とする「(仮称)第二期小平市子ども・子育て支援事業計画」を策定することになりました。本調査は、この計画で確実を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の増込み」を算出するための「現在の利用状況」「今後の利用希望」や子育て支援に対する市民の皆様のご意見・ご要望を把握するために行うものです。

ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

小平市長 小林 正則

【 記入にあたってのおお願い 】

- ・ 調査のご協力には、平成30年11月28日時点の住民基本台帳（住民票）をもとに、就学前のお子さん（無作為に約2,000人）を抽出し、お呼びするものです。
- ・ ご回答いただいた内容は、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に開けられたり、市の子ども・子育て支援事業計画の検討以外に利用されたりすることは一切ございません。
- ・ 調査票や返信用封筒にお名前・ご住所を記入いただく必要はございませんので、筆迹など懸念、ご希望等をあわせてお書きください。
- ・ 小平市内で行われている事業や言葉の説明は、包封の「調査票記入のてびき」をご覧ください。

12月25日（火）までにポストに投函してください。

ご回答いただくうえでご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお問い合わせください。

よりしくお願いします。

小平市 子ども家庭部 子育て支援課 担当：小栗・神本
電話 042 (346) 9821 (直通)



封筒のあて名をお子さんとご家族の状況についておたずねします。

問1 お住まいの地域の番号1つに○をつけ、__丁目に数字をご記入ください。

※「小川東町」「学園東町」にお住まいの方は、丁目がない場合は、「4. 小川東町」「7. 学園東町」に○をつけてください。

1. 大沼町 __丁目	2. 小川町 __丁目	3. 小川西町 __丁目
4. 小川東町	5. 小川東町 __丁目	6. 学園西町 __丁目
7. 学園東町	8. 学園東町 __丁目	9. 藤原町 __丁目
10. 栄町 __丁目	11. 上水新町 __丁目	12. 上水本町 __丁目
13. 上水南町 __丁目	14. 鈴木町 __丁目	15. たかの台
16. 津田町 __丁目	17. 天神町 __丁目	18. 中陽町
19. 平和町	20. 花小金井 __丁目	21. 花小金井南町 __丁目
22. 美園町 __丁目	23. 笹幸町	24. 回田町

問2 あて名のお子さんの生まれた年と月をご記入ください。

※ 内に数字をご記入ください。数字は一般に一筆。

平成 年 月生まれ

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんはいくらいらっしゃいますか。

お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生まれた年と月をご記入ください。

※ 内に数字をご記入ください。数字は一般に一筆。

子どもの数 人 一番下のお子さんの生年月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票をご回答いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問5 この調査票をご回答いただいている方の配偶関係について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にやっているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに
2. 主に母親
3. 主に父親
4. 主に祖父母
5. その他 ()

お子さんの言ちを取りまく環境についておたずねします。

問7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 |
| 3. 父親 | 4. 祖父母 |
| 5. 幼稚園 | 6. 保育所 |
| 7. 認定こども園 | 8. 障がい児通所施設等 |
| 9. その他() | |

問8 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に、大きく影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 家庭 | 2. 知恵 |
| 3. 幼稚園 | 4. 保育所 |
| 5. 認定こども園 | 6. 障がい児通所施設等 |
| 7. その他() | |

問9 日頃、あて名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|-------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族のみで見られる | ⇒ 【問10・11へ】 |
| 2. 緊急時もしくは用事の時には祖父母等の親族のみで見られる | |
| 3. 日常的に子どもを見てもらえる友人・知人がいる | |
| 4. 緊急時もしくは用事の時には子どもを見てもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない ⇒ 【問12へ】 | |

問10 問9で「1」「2」に○をつけた方におたずねします。祖父母等の親族にお子さんを見てもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1. 祖父母等の親族に、特に心配なく、安心して子どもを見てもらえる |) |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である | |
| 3. 祖父母等の親族の精神的負担や精神的な負担が大きく、心配である | |
| 4. 自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5. 子どもの教育や発達によってかわわしい環境であるが、少し不安がある | |
| 6. その他() | |

問11 問9で「3」「4」に○をつけた方におたずねします。友人・知人にお子さんを見てもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1. 友人・知人に、特に心配なく、安心して子どもを見てもらえる |) |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく、心配である | |
| 3. 友人・知人の精神的負担や精神的な負担が大きく、心配である | |
| 4. 自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5. 子どもの教育や発達によってかわわしい環境であるが、少し不安がある | |
| 6. その他() | |

問12 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|---------|------------|---------|
| 1. いる(ある) | ⇒【問13へ】 | 2. いない(ない) | ⇒【問14へ】 |
|-----------|---------|------------|---------|

問13 問12で「1」に○をつけた方におたずねします。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育てに詳しい広場、子ども広場、児童館など |
| 5. 子ども家庭支援センター | 6. 健康センター |
| 7. 保育士 | 8. 幼稚園教諭 |
| 9. 障がい児通所施設等 | 10. 民生委員・児童委員 |
| 11. かかりつけの医師 | 12. 子育て・女性相談室 |
| 13. 教育相談室 | 14. 市役所の子育て関連窓口 |
| 15. その他() | (例) ベビーシッター、NPO |

問14 子育て(教育を含む)をする上で、周囲からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。



あて名のお子さんの保護者の現在の就業状況についておたずねします。

問15 あて名のお子さんの保護者の現在の就業状況(白 営業、家族従事者含む)をおたずねします。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、産休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、産休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しているが、産休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない



問16 問15で、母親、父親ともに「5」「6」(就労していない、したことがない)に○をつけた方は問18へお進みください。

問17 問15の(1)(2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方におたずねします。
1週あたりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」をご記入ください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてご記入ください。 ※ 数字は一律に一字
※ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてご記入ください。

	就労日数		就労時間(就業時間含む)	
	1週当たり	1日当たり	1週当たり	1日当たり
母親	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 分
父親	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 分

問18 問15の(1)(2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方におたずねします。
家を出る時刻と帰宅時刻をご記入ください。時刻が一定でない場合は、最も多いパターンについてご記入ください。 ※ 時間は、(例) 0.9時台～1.8時台のように、2.4時間制でご記入ください。
※ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてご記入ください。

	家を出る時刻		帰宅時刻	
	時台	分	時台	分
母親	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
父親	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

問18 問15の(1)(2)で「3」「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方におたずねします。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労を続けることを希望する
4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労を続けることを希望する
4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問19 問15の(1)(2)で「5」「6」(就労していない、したことがない)に○をつけた方におたずねします。
就労しないという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する 内に数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	
2. 1年以内ではないが、一番下の子どもが <input type="text"/> 歳になったら就労したい	
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	
→希望する就労形態	
ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	<input type="text"/>
イ. パートタイム・アルバイト等(「ア」以外)	<input type="text"/>
→1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> 時間	

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	
2. 1年以内ではないが、一番下の子どもが <input type="text"/> 歳になったら就労したい	
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	
→希望する就労形態	
ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	<input type="text"/>
イ. パートタイム・アルバイト等(「ア」以外)	<input type="text"/>
→1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> 時間	

問19-1 問19の(1)(2)で「3」「4」(就労を希望する)に○をつけた方におたずねします。
今後、就業活動や希望する就労に向けた準備の期に必要な支援はどのようなことがありますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. チャイルドコーナーや託児サービスがあり、子ども連れでも就業活動や就業準備、スキルアップができること	<input type="checkbox"/>
2. 求職でも利用しやすい保護事業(保育所や預かり保育)があること	<input type="checkbox"/>
3. 就業情報を探しやすい、就業相談が利用しやすいこと	<input type="checkbox"/>
4. 就労だけでなく子育てや生活についても相談できる場所があること	<input type="checkbox"/>
5. 仕事を始めた後に利用できる教育・保護事業(保育所・幼稚園・預かり保育等)があること	<input type="checkbox"/>
6. 仕事を始めた後に利用できる育児・高齢児保育があること	<input type="checkbox"/>
7. その他(具体的に: <input type="text"/>)	<input type="checkbox"/>
8. 特にない	<input type="checkbox"/>

問24 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由についておたずねします。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 子どもの教育や発達のため
- 2. 子育て（教育を含む）をしている方が聘任就労している
- 3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
- 4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族や祖父母等の親族などを介護している
- 5. 子育て（教育を含む）をしている方が病氣や障がいがある
- 6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
- 7. その他（ ）

問25 問24で定期的な教育・保育の事業を利用していない理由についておたずねします。利用していない理由は何か。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、保護者のどちらかが就労していないなど）
- 2. 子どもの祖父母等の親族がみついている
- 3. 近所の人や父母の友人・知人がみついている
- 4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
- 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
- 6. 利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
- 7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
- 8. 子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている
- 9. その他（ ）

問26 すべての方におたずねします。現在利用している、利用していないにもかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、定期的に利用したいと考える事業について、現在の希望と、3歳から5歳までの教育・保育の無償化が実現した場合、それぞれに当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

希望の事業	現在の希望	3～5歳までの無償化が実現した場合の希望
1. 幼稚園（通常の就園時間の利用のもの）	1	1
2. 幼稚園（就園時間の短め保育・アットホーム事業も利用）	3	3
3. 認可保育所（公立・私立等併用）	1	1
4. 認定こども園	4	4
5. 小規模保育事業	5	5
6. 家庭的保育事業（保育ママ）	6	6
7. 事業所内保育事業	7	7
8. 居宅訪問型保育事業	8	8
9. 車庫認証保育所	9	9
10. 認定家庭福祉（保育ママ）	10	10
11. 定額利用保育事業	11	11
12. 企業主導型保育事業	12	12
13. その他の認可外の保育施設	13	13
14. ファミリー・サポート・センター	14	14
15. その他（具体的に： ）	15	15

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況と希望についておたずねします。

※ここでいう「定期的な教育・保育の事業」とは、且単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問21に示している事業が含まれます。

問20 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 利用している
- 2. 利用していない →【問25へ】

問21 「1. 利用している」に○をつけた方は、次の問21～24をお答えください。

問21 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 幼稚園（通常の就園時間の利用のもの）
- 2. 幼稚園（幼稚園の短め保育・アットホーム事業も利用）
- 3. 認可保育所（公立・私立併用）
- 4. 認定こども園
- 5. 小規模保育事業
- 6. 家庭的保育事業（保育ママ）
- 7. 事業所内保育事業
- 8. 居宅訪問型保育事業
- 9. 車庫認証保育所
- 10. 認定家庭福祉（保育ママ）
- 11. 定額利用保育事業
- 12. 企業主導型保育事業
- 13. その他の認可外の保育施設
- 14. ファミリー・サポート・センター
- 15. その他（具体的に： ）

問22 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください。 ※複数利用している方は、合計した時間をご記入ください。

(1) 現在 ※時間は、(例) 0.9時～1.8時のように、2.4時間制でご記入ください。

1週当たり	日	1日当たり	時間	分	分	分	分	分	分
(2) 希望	日	1日当たり	時間	分	分	分	分	分	分

問23 現在利用している教育・保育の事業の実施場所について、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 小平市内
- 2. 市外

問27 教育・保育の事業を利用したい場所について、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 小平市内 2. 市外

問28 問26で「1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)」または「2. 幼稚園の預かり保育・アットホーム事業(利用)」に○をつけ、かつ「3」～「15」にも○をつけた方にかかっています。
特に幼稚園(幼稚園の預かり保育を合わせて利用する場合は含む)の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

1. はい 2. いいえ

あて名のお子さんの地域子育て支援拠点事業の利用状況と希望についてお答えをお願いします。

問29 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(子ども広場、子ども家庭支援センター、子育てふれあい広場)を利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
また、おおよその利用回数(頻度)を□内に数字で記入ください。

※ 各事業の詳細い内容については、別紙「調査票記入のてびき」をご覧ください。

1. 子ども広場 1 週当たり <input type="checkbox"/> 回 もしくは1ヶ月当たり <input type="checkbox"/> 回程度
2. 子ども家庭支援センター 1 週当たり <input type="checkbox"/> 回 もしくは1ヶ月当たり <input type="checkbox"/> 回程度
3. 子育てふれあい広場 1 週当たり <input type="checkbox"/> 回 もしくは1ヶ月当たり <input type="checkbox"/> 回程度
4. 利用していない

問30 問29のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用回数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけ、おおよその利用回数(頻度)を□内に数字で記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい 1 週当たり <input type="checkbox"/> 回 もしくは1ヶ月当たり <input type="checkbox"/> 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい 1 週当たり 更に <input type="checkbox"/> 回 もしくは1ヶ月当たり 更に <input type="checkbox"/> 回程度増やしたい
3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない

問30-1 問30で「1」または「3」に○をつけた方にかかっています。

現在、地域子育て支援拠点事業を利用していない、または今後利用回数を増やしたいとは思わない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保育所や幼稚園などを、定期的に利用している
2. 自宅から遠い
3. 施設の内容や利用方法がわからない
4. 自分が施設の利用対象になるのがわからない
5. 子どもの年齢が大きく、案内では届くはず
6. 地域の子育てサークルに参加している
7. 特に利用する必要性を感じない
8. その他()

問31 下記知っているもの、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものについてお答えします。(1)～(16)のA～Cの欄について、「はい」「いいえ」どちらかに○をつけてください。

※ 各事業の詳細い内容については、別紙「調査票記入のてびき」をご覧ください。

	A	B	C
	知っている	これまで利用したことがある	今後利用したい
(1) 子ども家庭支援センター	はい	はい	はい
(2) 障がい児通所施設	はい	はい	はい
(3) 児童センターの相談や事業 妊産婦と乳児・幼児の保護者、妊娠希望者とした相談(パロヘン・グループ)などの事業	はい	はい	はい
(4) 児童相談所 保健師・訪問指導員等に相談する相談	はい	はい	はい
(5) 家庭訪問に関する学校・講座	はい	はい	はい
(6) 児童館	はい	はい	はい
(7) 子育て・女性相談室	はい	はい	はい
(8) 教養相談室	はい	はい	はい
(9) 保育所の園遊会や行事	はい	はい	はい
(10) 幼稚園の園遊会や行事	はい	はい	はい
(11) 地域の子育てサークル	はい	はい	はい
(12) 子どもショートステイ	はい	はい	はい
(13) ファミリー・サポート・センター	はい	はい	はい
(14) 子育てガイド(子育て情報誌)	はい	はい	はい
(15) 赤ちゃん・みらっく	はい	はい	はい
(16) 公民館・図書館の講座・講演会	はい	はい	はい

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育の事業の利用状況と希望についてお答えをお願いします。

※ ここでいう「定期的な教育・保育の事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。
※ 教育・保育の事業とは、幼稚園、保育所などの事業を指します。親類・知人による預かりは含まれません。

問32 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、年間を通じて定期的な教育・保育の事業を利用していますか(一時的な利用は除きます)。当てはまる番号1つに○をつけ、利用している場合は、その時間帯を□内に数字で記入ください。

(1) 土曜日 ※時間は、(例)09時～18時のように、24時間前でご記入ください。

1. 利用していない	利用している時間帯
2. ほぼ毎週利用している	-----▶ <input type="checkbox"/> 時から <input type="checkbox"/> 時まで
3. 月に1～2回利用している	-----▶ <input type="checkbox"/> 時から <input type="checkbox"/> 時まで

(2) 日曜日・祝日

1. 利用していない	利用している時間帯
2. ほぼ毎週利用している	-----▶ <input type="checkbox"/> 時から <input type="checkbox"/> 時まで
3. 月に1～2回利用している	-----▶ <input type="checkbox"/> 時から <input type="checkbox"/> 時まで

問33 問32の(1)(2)で「2」「3」(利用している)に○をつけた方におたずねします。
土曜日と日曜日・祝日にどのような教育・保育の事業を利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間で利用する日数を□内に数字でご記入ください。

利用する教育・保育事業	1年間の利用日数
1. 幼稚園(通常の就園時間の利用のみのもの)	□ □ □ □ 日
2. 幼稚園(幼稚園のほかり保育・アットホーム事業も利用)	□ □ □ □ 日
3. 認可保育所(公立・私立保育所)	□ □ □ □ 日
4. 認可こども園	□ □ □ □ 日
5. 申請型保育事業	□ □ □ □ 日
6. 委託型保育事業(保育ママ)	□ □ □ □ 日
7. 事業所内保育事業	□ □ □ □ 日
8. 居宅訪問型保育事業	□ □ □ □ 日
9. 東洋幼児託児所	□ □ □ □ 日
10. 認定事業協賛社員(保育ママ)	□ □ □ □ 日
11. 定期利用保育事業	□ □ □ □ 日
12. 企業主導型保育事業	□ □ □ □ 日
13. その他の認可外の保育施設	□ □ □ □ 日
14. ファミリー・サポート・センター	□ □ □ □ 日
15. その他(具体的に:)	□ □ □ □ 日

問34 問32の(1)(2)で「2」「3」(利用している)に○をつけた方におたずねします。
土曜日と日曜日・祝日の教育・保育の事業の実施場所について、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 小平市内
2. 市外

問35 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用を希望しますか(一時的な利用は除きます)。当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を□内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1) 土曜日

※時間は、(例)09時～18時のように、24時間制でご記入ください。

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯

□ □ □ □ 時台から □ □ □ □ 時台まで

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯

□ □ □ □ 時台から □ □ □ □ 時台まで

問36 問35の土曜日または日曜日・祝日に「3」に○をつけた方におたずねします。
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に割日は事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親等の親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他()

現在幼稚園を利用されている方は、次の問37～問40をお答えください。
幼稚園を利用していない方は、問41にお進みください。

問37 あて名のお子さんについて、現在、夏休み・冬休みなど長期の休園期間中に教育・保育の事業を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけ、利用している場合は、その時間帯を□内に数字でご記入ください。
※時間は、(例)09時～18時のように、24時間制でご記入ください。

1. 利用していない
2. 休みの期間中、週に数日利用している
3. 休みの期間中、週に数日から □ □ □ □ 時台まで
4. 休みの期間中、週に数日から □ □ □ □ 時台まで

問38 問37で「2」に○をつけた方におたずねします。
夏休み・冬休みなど長期の休園期間中どのような教育・保育の事業を利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間で利用する日数を□内に数字でご記入ください。

利用する教育・保育事業	1年間の利用日数
1. 幼稚園のほかり保育・アットホーム事業	□ □ □ □ 日
2. 認可保育所の一時保育事業	□ □ □ □ 日
3. その他の認可外の保育施設	□ □ □ □ 日
4. ファミリー・サポート・センター	□ □ □ □ 日
5. その他(具体的に:)	□ □ □ □ 日

問39 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休園期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますが、当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を□内に数字でご記入ください。
なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
※時間は、(例)09時～18時のように、24時間制でご記入ください。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい
4. 休みの期間中、週に数日から □ □ □ □ 時台まで
5. 休みの期間中、週に数日から □ □ □ □ 時台まで

問40 問39で「3」に○をつけた方におたずねします。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください

1. 週に割日は事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等の親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他()

あて名のお子さんの病気の療育の対応についておたずねします。(平日の療育・保育を利用している方のみ)



問41 問40は、問20で幼稚園や保育所などの「定期的な療育・保育の事業」を平日利用しているとお答えの方(イ)利用している」に○をつけられた方」におたずねします。
利用していない方(問20で「エ. 利用していない」に○をつけた方)は、問42にお読みください。

問41 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・療育の事業が利用できなかったことはありませんか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった 2. なかった ⇒【問48へ】

問42 問41で「1」に○をつけた方におたずねします。

あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・療育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください(平日療育の対応の場合も)日と計算してください。

1年間の対処方法	おおむねの日数
ア. 父親が休んだ	□□□□日
イ. 母親が休んだ	□□□□日
ウ. (回答者を含む) 親族・知人に子どもを託してもらった	□□□□日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方(子どもをみだ)	□□□□日
オ. 病院・児童館の療育を利用した	□□□□日
カ. ハビーシッターを利用した	□□□□日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	□□□□日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□□□日
ク. その他 ()	□□□□日



問42 「ア」「イ」のいずれかに○をつけた方におたずねします。

問43 その際、「できれば病院・病院等の療育施設等を利用したい」と思いますが、当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。
なお、病院・病院等の療育施設等を利用しない場合は、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医等の受診が必要となります。

1. できれば病院・児童館等療育施設等を利用したい ⇒ □□□□日 ⇒【問44へ】
2. 利用したいとは思わない ⇒【問45へ】

問44 問43で「1」に○をつけた方におたずねします。

上記の目的で子どもを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思えますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園や保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
4. ハビーシッター
5. その他 ()

問45 問43で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方におたずねします。

利用したいと思わない理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 病院・病院等を他人に依頼してもらうのは不安
- 2. 地域の事業の質に不安がある
- 3. 地域の事業の利用性(立地や利用可能時間、日数)
- 4. 利用料が高くなる・高い(など)が怖い
- 5. 利用料がわからない
- 6. 保護者が仕事を休んで看護する
- 7. その他 ()



問46は、問42で「ウ」～「ケ」のいずれかに○をつけた方におたずねします。

問46 その際、「できれば父親のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思いますが、当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」～「ケ」の日数のうち仕事を休んで看護した日数について数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看護したいと思った ⇒ □□□□日
2. 仕事を休んで看護することは難しい ⇒【問48へ】
希望する日数(この1年間)

問47 問46で「1」に○をつけた方におたずねします。

父親のいずれかが仕事を休んで看護できなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 子どもの看護を理由に体がとれない
- 2. 自営業なので体がない
- 3. 休職日数が短くないので体がない
- 4. その他 ()

あて名のお子さんの不定期の療育・保育の事業や前泊を1回一時預かり等の利用についておたずねします。

問48 あて名のお子さんについて、日中の定期的な療育や病気の療育のため以外に、私用・保護者の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も□内に数字でご記入ください。

利用している事業	年間の利用日数
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	□□□□日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合はのみ)	□□□□日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	□□□□日
4. ハビーシッター	□□□□日
5. その他 ()	□□□□日
6. 利用していない ⇒【問49へ】	□□□□日

問52 この1年間に、保護者の用事(習習塾、保護者、家族の病気など)により、あて名のお子さんを過り(1日)で家族以外にみてもらわなければならないことになりましたか(預け先が異なった場合も含みます)。この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。
※ 数字は一律に一筆

1. あった ↳【この1年間の対処方法】	【箇条書き】	
ア、(関係者を呼び)親族・知人にみてもらった		□ □ □ □ 日
イ、子どもショートステイを利用した		□ □ □ □ 日
ウ、イ以外の民間事業(認可外保育園施設、ベビーシッター等)を利用した		□ □ □ □ 日
エ、仕方なく子どもを同行させた		□ □ □ □ 日
オ、仕方なく子どもだけで留守番させた		□ □ □ □ 日
カ、その他()		□ □ □ □ 日
2. なかった		□ □ □ □ 日

あて名のお子さんが必要年齢以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についておたずねします。

問53 あて名のお子さん(1~3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後の時間)をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を□内に数字でご記入ください。また、「学習クラブ」の場合には、利用を希望する時刻も□内に数字でご記入ください。

1. 自宅	週	□ □ □ □ 日	□ □ □ □ 日
2. 祖父祖母や友人・知人宅	週	□ □ □ □ 日	□ □ □ □ 日
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	□ □ □ □ 日	□ □ □ □ 日
4. 児童館	週	□ □ □ □ 日	□ □ □ □ 日
5. 子ども広場	週	□ □ □ □ 日	□ □ □ □ 日
6. 放課後子ども教室	週	□ □ □ □ 日	□ □ □ □ 日
7. 学習クラブ <small>(※時刻は(例)18時のように24時間制でご記入ください)</small>	週	□ □ □ □ 日	□ □ □ □ 日
8. 放課後等デイサービス(障害児通所支援)	週	□ □ □ □ 日	□ □ □ □ 日
9. ファミリー・サポート・センター	週	□ □ □ □ 日	□ □ □ □ 日
10. その他(公民館、地域センター、公園など)	週	□ □ □ □ 日	□ □ □ □ 日
11. 現時点ではわからない			

問49 問48で「6. 利用していない」理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
現在利用していない理由はない

1. 特に利用する必要がない	
2. 利用したい事業が地域にない	
3. 地域の事業の質に不安がある	
4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)が悪い	
5. 利用料が高くなる・高い	
6. 利用料がわからない	
7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない	
8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない	
9. その他()	

問50 あて名のお子さんについて、私用、保護者の通送、不定期の就労等の目的で、問48であげたような一時預かりの事業を年間何日くらい利用する必要があると思いますか。利用する必要がある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。
なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要がある ↳【目的別日数】	年間利用希望日数
ア、私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の習い事等)、リフレジユ目的	□ □ □ □ 日
イ、習い事、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の通送等	□ □ □ □ 日
ウ、不定期の就労	□ □ □ □ 日
エ、その他()	□ □ □ □ 日
2. 利用する必要はない	⇒【問52へ】

問51 問50で「1」に○をつけた方におたずねします。
問50の目的でお子さんを利用する場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業(例：幼稚園・保育園など)	
2. 小規模施設で子どもを保育する事業(例：子ども広場・子ども家庭支援センターなど)	
3. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	
4. ベビーシッター	
5. その他()	

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職員の両立支援制度についておたずねします。

問57 あて名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後の)の時間などのような場所で過ごさせたいと思いますが、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの該当なり日数を□内に数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時刻も□内に数字でご記入ください。

※当日が土曜日の場合は、前にお持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>
2. 祖父祖母や友人・知人宅	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>
4. 児童館	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>
5. 子ども広場	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>
6. 放課後子ども教室	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>
7. 学童クラブ	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>
※利用は(例)18時から24時間制でご記入ください								
				→下校時から	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	帰宅時まで	
8. 放課後等デイサービス(障害児通所支援)	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>
9. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>
10. その他(公民館、地域センター、公園など)	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>
11. 即時点ではわかりません	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>

問58 小学校高学年 または問54 (小学校高学年) で「7. 学童クラブ」に○をつけた方におたずねします。

問59 あて名のお子さんについて、日曜日・祝日に学童クラブの利用を希望しますが、当てはまる番号すべてに○をつけ、当てはまる番号を□内に数字でご記入ください。また利用したい場合は、その時間帯を□内に数字でご記入ください。

※時間(例)09時～18時

日曜日・祝日

※期間は(例)09時～18時のように、24時間制でご記入ください。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい

2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい

3. 利用する必要はない

利用したい時間帯

時刻から

時刻まで

問60はすべての方におたずねします。

問56 あて名のお子さんについて、お子さんの小学校の夏休み・冬休み期間中ほどのような場所をご案内したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの該当なり日数を□内に数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時刻も□内に数字でご記入ください。

1. 自宅	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>
2. 祖父祖母や友人・知人宅	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>
4. 児童館	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>
5. 子ども広場	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>
6. 放課後子ども教室	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>
7. 学童クラブ	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>
※利用は(例)18時から24時間制でご記入ください								
				→下校時から	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	帰宅時まで	
8. 放課後等デイサービス(障害児通所支援)	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>
9. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>
10. その他(公民館、地域センター、公園など)	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>
11. 即時点ではわかりません	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>

問54 あて名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後の)の時間などのような場所で過ごさせたいと思いませんか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの該当なり日数を□内に数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時刻も□内に数字でご記入ください。

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 就労していません 2. 取得した(取得中である) 3. 取得していません 取得していません理由 下から番号を選んでご記入ください(いくつでも)	1. 就労していません 2. 取得した(取得中である) 3. 取得していません 取得していません理由 下から番号を選んでご記入ください(いくつでも)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が増えた 3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しかった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育園(園)などに預けることができた 8. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえらるなど、制度を利用する必要がなかった 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえらるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できなかった 14. 産前産後の休暇(産前8週間、産後8週間)を取得できなかった 15. その他

問59～64は、期日で育児休業を「2. 取得した(取得中である)」に○をつけた方におたずねします。それ以外に○をつけた方は問65へお進みください。

問58 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。復帰・父親の状況後、それぞれの太枠内の当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	母親			父親		
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1	2	3	1	2	3
2. 復帰も育児休業中である						
3. 育児休業中に復帰した						

問59 問58で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方におたずねします。
育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか、母親・父親の状況、それぞれの本特内の当てはまる番号1つに○をつけてください。

※年度初めの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合は、1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだったに当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合は「1. 年度初め」と記入してください。

	母親	父親
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1	1
2. それ以外だった	2	2

問60 問58で「1」に○をつけた方におたずねします。
育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか、また、勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りつきましたか。□内に数字をご記入ください。

	母親	父親
実際の取得期間	□歳 □ヶ月	□歳 □ヶ月
希望	□歳 □ヶ月	□歳 □ヶ月

問61 問58で「1」に○をつけた方におたずねします。
勤め先に、育児のために3歳まで休業を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りつきましたか。□内に数字をご記入ください。

	母親	父親
3歳まで取得できる休業制度があった場合の取得希望	□歳 □ヶ月	□歳 □ヶ月

問62 希望の時期に職場復帰しなかった理由についておたずねします。
(1)「希望」より早く復帰した方
※母親・父親の状況を、それぞれの本特内の当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	母親	父親
1. 希望する保育所に入るため	1	1
2. 配偶者や家族の希望があったため	2	2
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3	3
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4	4
5. その他()	5	5

(2)「希望」より遅く復帰した方
※母親・父親の状況を、それぞれの本特内の当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	母親	父親
1. 希望する保育所に入れなかったため	1	1
2. 自分や子どもなどの体調が悪化しなくなったため	2	2
3. 配偶者や家族の希望があったため	3	3
4. 職場の受け入れ調整が整っていなかったため	4	4
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5	5
6. その他()	6	6

問63 問58で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方におたずねします。
育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。
母親・父親の状況を、それぞれの本特内の当てはまる番号1つに○をつけてください。

	母親	父親
1. 利用する必要があった(フルタイムで働きたかった、ともに短時間勤務だった)	1	1
2. 利用した	2	2
3. 利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)	3	3

問64 問63で「3」に○をつけた方におたずねします。
短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。
母親・父親の状況を、それぞれの本特内の当てはまる理由すべてに○をつけてください。

	母親	父親
1. 職場に短時間勤務制度を利用しにくい雰囲気があった	1	1
2. 仕事が多かった	2	2
3. 短時間勤務にすると給与が減額される	3	3
4. 短時間勤務にするに雇用の入新申請の優先順位が下がった	4	4
5. 配偶者が育児、祖父祖母の援助にのみもたえらるなど、子どもをみてくれる人がいた	5	5
6. 子育てや家事に専念するため退職した	6	6
7. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めなかった)	7	7
8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	8	8
9. その他()	9	9
10. その他()	10	10

問65 問58で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方におたずねします。
あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる教育・保育の事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。
母親・父親の状況を、それぞれの本特内の当てはまる番号1つに○をつけてください。

	母親	父親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1	1
2. 1歳になる前に復帰したい	2	2

問66 職場に3歳までの育児休業の制度があれば、3歳になるまで育児休業を取得しますが、または、そのような制度があっても3歳になる前に復帰しますか。
母親・父親の状況を、それぞれの本特内の当てはまる番号1つに○をつけてください。

	母親	父親
1. 3歳になるまで育児休業を取得したい	1	1
2. 3歳になる前に復帰したい	2	2

問67 仕事を続けるために特に希望する職場の環境はありますか。当てはまる番号に2つまで○をつけてください。

1. 1年間の育児休暇	3. 仕事の育児休暇
2. 短時間勤務制度	4. 子どもが病気の時休める制度
3. 在宅勤務制度	5. 在宅勤務制度
4. 事業所内保育所	6. その他 ()

すべての方に、子育て全般についておたずねします。

問68 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

← 満足度が低い	1	2	3	4	5	満足度が高い →
----------	---	---	---	---	---	----------

問69 あなたの周りには子育ての仲間がいますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 子どもを預けることができるくらい仲間がいる	2. 居る仲間がいない
3. いない	

問70 あなたは、子育てサークルやNPO団体等が行う子育てイベントに参加したことがありますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 参加したことがある	2. 参加したことがない
--------------	--------------

問71 あなたは子育てサークルなどのグループ活動に定期的に参加していますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 参加している	2. 参加していない
-----------	------------

問71-1 問71で2に○をつけた方におたずねします。どのような場合であれば、参加してみたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 一緒に参加する友人・知人がいる
2. 初めて参加する人を受け入れる雰囲気がある
3. 定期的にイベントが開催される
4. 子どもの遊び仲間ができる
5. 自分自身の話し相手や仲間ができる
6. 子育てについて学べる
7. 悩みや気になっていることを相談できる
8. グループの構成員や活動の場所などが周知されている
9. 保護者同士の人間関係にわすらわれない
10. その他 ()
11. 特になし

問72 子育てに関して悩んでいること、または気になることがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病気や育児・介護
2. 家事や育児
3. 子どものしつけの方法がよくわからない
4. 子どもとの接し方に自信が持てない
5. 子どもとの時間を十分にとれない
6. 子どものほめ方やしかり方がよくわからない
7. 子どもとのことで話し相手や相談相手がいらない
8. 仕事や自分のやりがいなどが十分でない
9. 子どもの教育
10. 健康被害など
11. 兄弟姉妹あり (いじめなどを含む)
12. 子育てのための経済的負担が大きい
13. その他 ()
14. 特になし

問73 あなたは、児童虐待について、どの程度関心がありますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 関心がある	2. どちらかといえば関心がある
3. どちらかといえば関心がない	4. 関心がない

問74 あなたが児童虐待と感じるものは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの将来のことを考え、悪か言葉による脅しでしつけをする
2. 夜、子どもを寝かしつけてから、夫婦で遊びに出かける
3. 子どもに見える場所、配膳室や他の家族へ暴力を振るう
4. 子どもが家で夫婦喧嘩をする
5. 子どもに砂遊び用具の掃除をさせない
6. 子どもにわいせつなものを見せる
7. 親が洗濯しないので、子どもはいつも不衛生な服を着ている
8. 兄弟姉妹で子どもを著しく差別して取り扱う
9. 上記1～8のいずれも児童虐待と思わない

問75 児童虐待を発見した場合には、まず最初にどこに相談・通報しようと思えますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 子ども家庭支援センター・虐待ほっとライン (042-347-3192)
2. 児童相談所
3. 児童相談所全国共通ダイヤル (189)
4. 警察
5. 市役所 (児童センター)
6. 民生委員・児童委員
7. 保育所・幼稚園・学校
8. 知れない
9. その他 ()

問76 あなたは、なぜ児童条件が厳格かと思えますか。当てはまる番号3つに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none">1. 保護者の子育てに対する経験と知識の不足2. 保護者の精神的な不健康3. 家庭の経済的な問題等に伴う生活への不満やストレス4. 家庭の不和5. 親族等の問題の支援不足や理解不足6. 児童虐待を「しつけ」と考える風潮（社会の理解・認識不足）7. 家庭が地域から孤立している8. 保護者の一方が子育てに非協力9. 保護者が未婚で、親としての役割がない10. 仕事等の理由で、保護者の育児負担が増加11. 親自身が子どもとの関わりに適応できていない（虐待の世代間連鎖）12. 望まない妊娠で出生した13. 子どもに育てにくい要因（病気、障がい、育ち順きがない等）がある14. その他（ ）
--

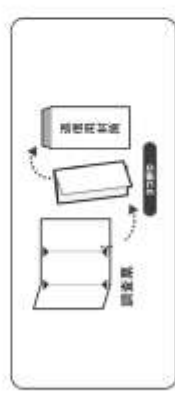


最後に、教育・保育の環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

調査票は三つ折にして、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、
12月25日（火）までにポストへ投函してください。

お名前・ご住所のご記入は不要です。



小平市子ども・子育て支援に関する ニーズ調査（就学前児童部）

調査票記入のてびき

小平市内で行われている事業や言葉の説明を記載していますので、ご回答いただく際の参考にしてください。このてびきはご返信いただく必要はございません。

教育・保育の施設・事業の内容と利用料

期番号	施設・事業種別	定員	基本料金（月額）
期7・8・20・21・28の1	幼稚園	通常の幼稚園の利用を指します。学校教育に定める3～5歳児に對して学校教育を行う施設です。(学校教育法第23条)	27,000円～31,000円 ※定員ごとにも園の利用型を詳しく
期21・28の2	幼稚園の集まり保育	通常の幼稚園を延長して保育の事業です。(定時的な利用のみ) 幼稚園ネットホーム事業を含みます。	
期7・8・20の2	保育園	保護者の就業等での保育を必要とする0～5歳児の保育をする施設です。	
期21・28の3	認可保育園（公立・私立保育所）	認可定員の園に定員以上の場合は、認定認可を受けて定員20人以上のものです。	0円～52,000円（利用に毎して）
期7・8・21・28の4	認定こども園	幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設です。 (就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第27条第1項)	保育料 0円～62,000円 給食費 0円～25,000円
期21・28の5	小規模保育事業	認可定員の園に定員を超えて、定員外に16～19人のもので、認可定員の園に定員以上の施設で市の認可を受けて、保育料の標準等でも認可の子どもも保育する事業です。	
期21・28の6	集約的保育事業（夜間ママ）	認可定員の園に定員を超えて、定員外に16～19人のもので、認可定員の園に定員以上の施設で市の認可を受けて、保育料の標準等でも認可の子どもも保育する事業です。	0円～51,100円（利用に毎して）
期21・28の7	事業所内保育事業	企業が主に従業員用に提供する施設です。	※各事業所により、市の認可を受ける施設については小平市では実施しておりません。
期21・28の8	専ら幼適型保育事業	ベビーシッターのような関係者が子どもを保育して提供する事業です。	※各事業所により、市の認可を受ける施設については小平市では実施しておりません。
期21・28の9	専ら幼適型保育所	東京都内の自治体に設定した認証基準により認証を受けた保育所です。13種類以上の園所種類を指定しています。	
期21・28の10	専ら幼適型保育所	小児健診施設 認可定員の園に定員を超えて、定員外に16～19人のもので、認可定員の園に定員以上の施設で市の認可を受けて、保育料の標準等でも認可の子どもも保育する事業です。	32,000円～51,000円

期番号	施設種別	定員	基本料金（月額）
期21・28の11	児童発達支援（夜間ママ）	小児健診施設 認可定員の園に定員を超えて、定員外に16～19人のもので、認可定員の園に定員以上の施設で市の認可を受けて、保育料の標準等でも認可の子どもも保育する事業です。	21,000円
期21・28の12	定額利用保育事業	小児健診施設 認可定員の園に定員を超えて、定員外に16～19人のもので、認可定員の園に定員以上の施設で市の認可を受けて、保育料の標準等でも認可の子どもも保育する事業です。	1日の利用時間 4時間以内 4時間を超え8時間以内 22,000円 44,000円
期21・28の13	企業主導型保育事業	企業が主に従業員用に提供する認可外保育施設です。	※各事業所により、
期21・28の14	その他の認可外の保育施設	東京都入認可外保育施設の出出をしている施設です。	※各事業所により、
期21・28の15	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援が子どもを保育する事業です。地域住民が行い得る子育て支援活動の提供を目的とした活動を行っています。保育料は標準等でも認可の子どもも保育する事業です。	1.平日7:00～20:00 2.土曜日の午前 3.平日曜日・休日・年末年始を除く

・料金は要となる場があります。

・利用している料金は市内の施設の基本料金です。入園料、延長保育料などの費用がかかります。

・利用、認定、認定認可、東京都認定保育所、東京都認可施設及び定額利用保育事業に在籍の場合は、総額に同じ金額が加算されます（一定の条件あり）。

その他事業などの説明（50音順）

期番号	事業名	説明
期31	赤ちゃん・のらっと	赤ちゃん連立及び安心が安心して外出を申し込めるように、おむつ替え・授乳のためのおむつや授乳機などの必要なものを提供しています。
期38・48・60	一時預かり	小児健診施設 認可定員の園に定員を超えて、定員外に16～19人のもので、認可定員の園に定員以上の施設で市の認可を受けて、保育料の標準等でも認可の子どもも保育する事業です。
期53・54・65・66	学習クラブ	小児健診施設 認可定員の園に定員を超えて、定員外に16～19人のもので、認可定員の園に定員以上の施設で市の認可を受けて、保育料の標準等でも認可の子どもも保育する事業です。

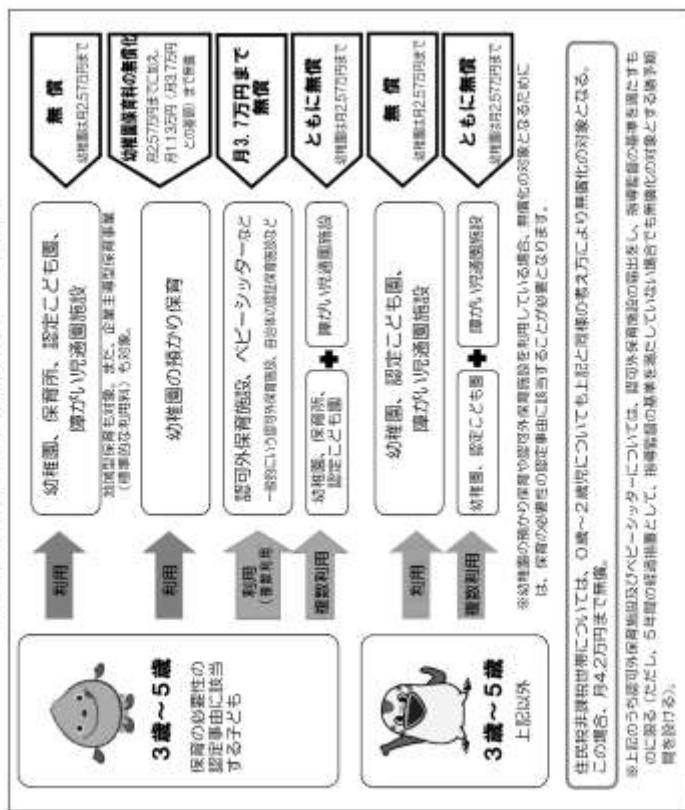
問番	事業名	内容
問13・29・31	教育相談室	臨床心理の業務を持つ相談員が、子どもの心や発達、性格や生活上で気になること、夢のこと、その他ご心配などにおける教育でも対応することについて、相談に致します。 小平元高尾村おひねる3階
問31	児童センターの相談や事業	児童センターでは、保護者・児童・児童・児童等による社会生活から出発した相談や児童相談所からの相談やロビーデスク、電話相談などの事業を実施しています。
問31	子育てガイド（子育て情報誌）	赤ちゃんが生まれたときの経験や、遊び場、相談箇所など子育て中の悩みや不安な気持ちを解消するための冊子で発行している情報誌です。
問13・31	子育て、女性相談室	専門の相談員が、子育ての不安や女性の悩みごと（生活、子育て、職場の悩み、発達障害・交際相手からの暴力など）に寄り添います。 小平元高尾村おひねる2階
問13・29	子育ておねがい心講座	子育て中の親子（乳幼児）を対象にした相談・交流ができる講座です。 小平元高尾村おひねる3階
問13・29・31・35	子ども支援センター	子ども支援センター（夢遊病、発達障害、小児科、小児科、小児科、小児科）
問31・52	子どもサポートステイ	子ども支援センター（夢遊病、発達障害、小児科、小児科、小児科、小児科）
問13・29・53・54・56	子ども広場	児童センター（中島・小川原田・上木本田・天谷・大宮）・さわやか館
問7・8・13・31	障がい児通所施設等	通所による療育が希望する児童に対して、「児童発達支援」・「障害児通所施設」・「児童発達支援」などの支援を行います。 児童発達支援センター（夢遊病、発達障害、小児科、小児科、小児科、小児科）
問13・31・53・54・56	児童館	遊びを通して子どもたちの遊びの機会を創り、情報交換ができることを目的とした施設です。 小平元高尾村おひねる3階
問29・30・30-1	出張子育て支援拠点事業	親子が集まって過ごしたり、相談できたり、情報交換を受けたりする場です。 小平元高尾村おひねる3階
問19-1・42-43	育児・発達児童館	児童センター（中島・小川原田・上木本田・天谷・大宮）・さわやか館 たんぽぽ児童発達支援、発達・発達児童館あひびー

問番	事業名	内容
問13・54・56	放課後子ども教室	放課後の時間を有効活用して、児童館や道来に小学校等で学習・スポーツ・文化活動の場などを提供する取り組みです。保護者の教育の負担を軽減するため、小学生が利用できます。 小平元高尾村おひねる3階
問13・54・56	放課後等デイサービス（障害児通所支援）	児童センターでは、保護者・児童・児童等による社会生活から出発した相談や児童相談所からの相談やロビーデスク、電話相談などの事業を実施しています。 児童センター（中島・小川原田・上木本田・天谷・大宮）・さわやか館

幼稚園・保育所・認定こども園などの利用料無償化の動きについて

現在、国では、3歳から5歳までの子どもたちの幼稚園・保育所・認定こども園などの利用料無償化が検討されています。

幼児教育の無償化の具体的なイメージ（例）



ご用意いただくうえでご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお問い合わせください。
小平市子ども家庭部子育て支援課 担当：小菊・神本 電話：042(346)9821（直通）

小平市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

就学児童(小学校1年生～6年生)

調査ご協力のお願い

日頃より、市役の推進につきましてご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。
さて、小平市では平成24年8月に制定された子ども・子育て支援法に基づき市町村子ども・子育て支援事業計画として、平成27年3月に「小平市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、現在各種の子育て支援施策を実施しております。

このたび、平成27年度から5年間を一期とする「小平市子ども・子育て支援事業計画」が平成31年度末に移すことに伴い、平成32年度から36年度までの5年間を二期とする「(仮称)第二期小平市子ども・子育て支援事業計画」を策定することになりました。

本調査は、この計画で確保を要するべき事業の「量の見込み」を算出するための「現在の利用状況」「今後の利用希望」や子育て支援に対する市民の皆様のご意見・ご要望を把握するために行うものです。

ご多忙のことと存じますが、調査の進捗をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

小平市長 小林 正則

【 記入にあたってのおお願い 】

- ・ 調査のご協力は、平成30年11月28日時点の住民基本台帳(住民票)をもとに、小学生のお子さんを無作為に約2,000人を選出し、お願ひするものです。
- ・ ご回答いただいた内容は、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に漏れたり、市の子ども・子育て支援事業計画の検討以外に利用されたりすることは一切ございません。
- ・ 調査票や返送用封筒にお名前・ご住所を記入いただく必要はございませんので、車面のご意見、ご希望等をお書きください。

1.2月25日(火)までにポストに投函してください。

ご回答いただくうえでご不明な点、調査に関するお問い合わせは、

下記までお問い合わせいたします。

小平市 子ども家庭部 子育て支援課 担当：小菊・神本 よろしくお願ひします。

電話 042 (346) 9821 (直通)



お住まいの地域についておたずねします。

問1 お住まいの地域として当てはまる番号1つに○をつけ、__丁目に数字でご記入ください。
※「小川東町」「学園東町」にお住まいの方で、丁目がない場合は、「4.小川東町」「7.学園東町」に○をつけてください。

1. 大宮町	__丁目	2. 小川町	__丁目	3. 小川西町	__丁目
4. 小川東町	__丁目	5. 小川東町	__丁目	6. 学園西町	__丁目
7. 学園東町	__丁目	8. 学園東町	__丁目	9. 豊平町	__丁目
10. 栄町	__丁目	11. 上水新町	__丁目	12. 上水本町	__丁目
13. 上水南町	__丁目	14. 幹木町	__丁目	15. だかの台	__丁目
16. 津田町	__丁目	17. 天神町	__丁目	18. 中崎町	__丁目
19. 仲町	__丁目	20. 花小倉井	__丁目	21. 花小倉井南町	__丁目
22. 美徳町	__丁目	23. 豊平町	__丁目	24. 回田町	__丁目

封筒のあて名のお子さんご家族の状況についておたずねします。

問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。

※ □内にご記入ください。数字は一律に一字。

平成 □ □ 年 □ □ 月生まれ

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。

お2人以上のお子さんいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

※ □内にご記入ください。数字は一律に一字。

子どもの数 □ 人 末子の生年月 平成 □ □ 年 □ □ 月生まれ

問4 この調査票をご回答いただいた方とはななですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 () 2. 父親 () 3. その他 ()

問5 この調査票をご回答いただいた方との配偶関係について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる () 2. 配偶者がいない ()

問10 問10で「3」「4」に○をつけた方におたずねします。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人に、特に心配なく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく、心配である
3. 友人・知人の精神的負担や精神的負担が大きく、心配である
4. 自分たち保護者の立場として、負担をけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってさらさらしい環境であるが、少し不安がある
6. その他 ()

問11 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる (ある) ⇒【問12へ】
2. いない (ない) ⇒【問13へ】

問12 問11で「1」に○をつけた方におたずねします。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1. 祖父母等の家族 | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子ども広場、児童館など |
| 5. 学校 | 6. 子ども家庭支援センター |
| 7. 相談センター | 8. 障がい児通所施設(放課後等デイサービス) |
| 9. 思い事の先生 | 10. 民間のサービス |
| 11. がかりつけの医師 | 12. 民生委員・児童委員 |
| 13. 子育て・女性相談室 | 14. 教育相談室 |
| 15. 学童クラブの指導員 | 16. 市役所の子育て関連窓口 |
| 17. その他 () | |

問13 子育て(教育を含む)をする上で、周囲からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。



問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にやっているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父もにも
2. 主に母親
3. 主に父親
4. 主に祖父母
5. その他 ()

お子さんの育ちを取りまく環境についておたずねします。

問7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に、大きく影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

1. 家庭
2. 地域(障がい児通所施設)
3. 学校
4. 障がい児通所施設(放課後等デイサービス)
5. 放課後子ども教室
6. 学童クラブ
7. 思い事(ピアノ教室、サッカークラス、習字教室)
8. その他 ()

問8 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない ⇒ 【問11へ】

問9 問10で「1」「2」に○をつけた方におたずねします。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族に、特に心配なく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である
3. 祖父母等の親族の精神的負担や精神的負担が大きく、心配である
4. 自分たち保護者の立場として、負担をけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってさらさらしい環境であるが、少し不安がある
6. その他 ()

言葉の説明
 青少年……「青少年対新○○川地区委員会」の組織で、青少年の成長や育成を願って活動する地域住民による行政協力団体です。市学校区ごとに、18の地区委員会が活動しています。
 障がい児通所施設……通所による療育等が必要な児童に対し、各種支援を行います。放課後等デイサービス…放課後等において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供しています。

あて名のお子さんの保護者の就業状況についておたずねします。

図14 あて名のお子さんの保護者の現在の就業状況(自営業、家族従事者を含む)をおたずねします。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、産休・育休・介護休業中ではない
3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労していない

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しているが、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労していない



図14で母親、父親ともに「6」または「5」(就労していない、したことがない)に○をつけた方は、図18へお進みください。

図15 図14の(1)(2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方におたずねします。

1週あたりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」を□内に数字でご記入ください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてご記入ください。

※ 数字は一律に一字

※ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてご記入ください。

		就労日数		就労時間(就業時間を含む)	
母親	1週あたり	□□	日	□□	時間□□分
	父親	1週あたり	□□	日	□□

図16 図14の(1)(2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方におたずねします。

家を出る時刻と帰宅時刻を□内に数字でご記入ください。時刻が一定でない場合は、最も多いパターンについてご記入ください。

※ 時間は、(例)0.8時台～1.8時台のように、2.4時間制でご記入ください。

※ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてご記入ください。

		家を出る時刻		帰宅時刻	
母親	□□	時台	□□	時台	□□
	父親	□□	時台	□□	時台

図17 図14の(1)(2)で「3」「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方におたずねします。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労を続けることを希望する
4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労を続けることを希望する
4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)をやめて子育てや家事に専念したい

図18 図14で「5」「6」(就労していない、したことがない)に○をつけた方におたずねします。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内に数字でご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年以内ではないが、一番下の子どもが□□歳になったときに就労したい
 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)の就労
- イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
- 日 □□日 □□時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年以内ではないが、一番下の子どもが□□歳になったときに就労したい
 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)の就労
- イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
- 日 □□日 □□時間

図19 図18の(1)(2)で「2」「3」(就労を希望する)に○をつけた方におたずねします。

今後、就業活動や希望する就労に向けた準備の際に必要な支援はどのようなことがありますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

1. チャイルドコープや幼児サービスがあり、子ども連れでも就業活動や就業準備、スキルアップができること
2. 求職中でも利用しやすい保育事業(保育所や預かり保育)があること
3. 就業情報を探しやすく、就業相談が利用しやすいこと
4. 就労だけでなく子育てや生活についても相談できる場所があること
5. 仕事を始めた後に利用できる教育・保育事業(保育所・幼稚園・預かり保育等)があること
6. 仕事を始めた後に利用できる納税・病後児保育があること
7. その他(具体的に)
8. 特にない

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況と希望についておたずねします。

問20 あて名のお子さんは、現在、子ども広場や児童館を利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用している場合は、おおよその利用回数(回数)を□内に数字でご記入ください。

1. 子ども広場 1週当たり 回もしくは1ヶ月当たり 回程度
 1週当たり 回もしくは1ヶ月当たり 回程度

2. 児童館 1週当たり 回もしくは1ヶ月当たり 回程度

3. 利用していない

問21 子ども広場や児童館について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用回数を増やしたいと思いませんか。

当てはまる番号1つに○をつけ、おおよその利用希望回数を□内に数字でご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい
 1週当たり 回 もしくは1ヶ月当たり 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい
 1週当たり、更に 回 もしくは1ヶ月当たり、更に 回程度増やしたい

3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない

問22 子ども広場や児童館など、地域の子育て支援事業や子どもの居場所についてどのような感じになっ
 ていますか、ご自由にお書きください。

問23 下記で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものについておたずねします。(1)～(7)のA～Cの項目について、「はい」「いいえ」どちらかに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用したことがある	C 今後利用したい
(1) 教育相談室	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
(2) 子育て・女性相談室	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
(3) 子ども家庭支援センター	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
(4) 障害児相談施設	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
(5) 子育てガイド(子育て情報誌)	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
(6) 子どもジョイントステイ	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
(7) ファミリー・サポート・センター	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>

あて名のお子さんの病気の歴の対応についておたずねします。

問24 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

1. あった ⇒【問25へ】 2. なかった ⇒【問29へ】

問25 問24で「1」に○をつけた方におたずねします。あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかった場合に、この1年間にに行った対応方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数を□内に数字でご記入ください(半日程度の場合も1日と計算してください)。

	1年間の対応方法	おおよぼの日数	
ア. 父親が休んだ		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
イ. 母親が休んだ		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に頼じた		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オ. ベビーシッターなど民間のサービスを利用した		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カ. ファミリー・サポート・センターを利用した		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ク. その他()		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問26 問25で「ア」「イ」のいずれかに○をつけた方におたずねします。その際、「できれば施設等を利用したい」と思いましたが、当てはまる番号1つに○をつけ、「ア」「イ」の日数のうち施設等を利用した日数を□内に数字でご記入ください。

なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. できれば施設等を利用したい ⇒ 日

2. 利用したいとは思わない



問27 問25で「ウ」～「ク」のいずれかに○をつけた方におたずねします。

問27 その際、「できれば父親のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思いましたが、当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」～「ク」の日数のうち仕事を休んで看護した日数について□内に数字でご記入ください。

希望する日数(この1年間)

1. できれば仕事を休んで看護したいと思った ⇒ 日

2. 仕事を休んで看護したいとは思わなかった ⇒【問29へ】

問28 問27で「1」に○をつけた方におたずねします。父親のいずれかが仕事を休んで看護できなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの病状を理由に休みがとれない 2. 自費事業なので休めない

3. 休日数が足りないので休めない 4. その他()

あて名のお子さんの一時預かり等の利用についておたずねします。

問29 あて名のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますが、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)を□内に数字でご記入ください。

利用している事業・日数(年間)	
1. ファミリー・サポーター・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	□ □ □ □ 日
2. ショートステイ(日帰り) (児童養護施設等で一時的に児童を保護する事業)	□ □ □ □ 日
3. ベビーシッターなど民間のサービス	□ □ □ □ 日
4. その他()	□ □ □ □ 日
5. 利用していない	⇒【問30へ】

問30 問29で「5」に○をつけた方におたずねします。現在利用していない理由は何ですか、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	
2. 利用したい事業が地域にない	
3. 地域の事業の質に不安がある	
4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)が悪い	
5. 利用料がかかる・高い	
6. 利用料がわからない	
7. 自分が事業の対象者になるかどうかわからない	
8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない	
9. その他()	

問31 あて名のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、問29にあげた事業を年間何日くらい利用する必要があると思いますか、当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、利用する必要がある場合は、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用したい	年間利用希望日数
【目的別記】	
ア. 私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の送迎等)、リフレッシュ目的	□ □ □ □ 日
イ. 児童養護、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の通院等	□ □ □ □ 日
ウ. 不定期の就労	□ □ □ □ 日
エ. その他()	□ □ □ □ 日
2. 利用する必要はない	⇒【問33へ】

問32 問31で「1」に○をつけた方におたずねします。問29の目的でお子さんをお預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で過ごす事業	
2. 小規模施設で過ごす事業	
3. ファミリー・サポーター・センターやベビーシッター等、子どもの自宅や近所の保護者宅で保護する事業	
4. その他()	

問33 この1年間に、保護者の用事(送迎業務、保護者・家族の病氣など)により、あて名のお子さんを「預け先」で家族以外にみてもらわなければならないことはありませんか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。この1年間の対応方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数を□内に数字でご記入ください。

1. あった	【この1年間の対応方法】	【割合数】
ア. (お預け先を指定) 親族・知人にお預けもらった		□ □ □ □ 日
イ. 子どもショートステイを利用した		□ □ □ □ 日
ウ. イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した		□ □ □ □ 日
エ. 仕方なく子どもを同行させた		□ □ □ □ 日
オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた		□ □ □ □ 日
カ. その他()		□ □ □ □ 日
2. なかった	⇒【問34へ】	

※ 数字は一律に「一」

あて名のお子さんの放課後の過ごし方についておたずねします。

問34 あて名のお子さんは放課後(平日の小学校終了後の)時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ選んだ日数を□内に数字でご記入ください。また、「6. 学童クラブ」の場合には、利用する時刻も□内に数字でご記入ください。

	週	日くらい
1. 自宅	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 祖父母や友人・知人宅	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 児童館	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 放課後子ども教室	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 学童クラブ <small>※時刻は(例)18時のように24時間制でご記入ください</small>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
→下校時から	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
→土曜日の利用	1. ある	2. ない
7. 放課後等サービス(障害児通所支援)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. ファミリー・サポート・センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. その他①()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他②()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他③()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



放課後子ども教室…地域の力を得て、放課後や週末に小学校等で児童・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

学童クラブ……保護者が就労等により居間滞在しない場合などに、保護者の下、子どもの遊びや生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用者負担がかかります。

問35 あて名のお子さんは放課後(平日の小学校終了後の)時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ選んだ日数を□内に数字でご記入ください。また、「6. 学童クラブ」の場合には、利用する時刻も□内に数字でご記入ください。

	週	日くらい
1. 自宅	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 祖父母や友人・知人宅	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 児童館	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 放課後子ども教室	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 学童クラブ <small>※時刻は(例)18時のように24時間制でご記入ください</small>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
→利用希望学年	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
→下校時から	1. ある	2. ない
→土曜日の利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 放課後等サービス(障害児通所支援)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. ファミリー・サポート・センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. その他①()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他②()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他③()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問36 あて名のお子さんについて、小学校の夏休み・冬休み期間中はどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ選んだ日数を□内に数字でご記入ください。また、「6. 学童クラブ」の場合には、利用を希望する時刻も□内に数字でご記入ください。

	週	日くらい
1. 自宅	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 祖父母や友人・知人宅	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 児童館	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 放課後子ども教室	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 学童クラブ <small>※時刻は(例)18時のように24時間制でご記入ください</small>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
→利用希望学年	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
→下校時から	1. ある	2. ない
→土曜日の利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 放課後等サービス(障害児通所支援)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. ファミリー・サポート・センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. その他①()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他②()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他③()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問37 放課後子ども教室の利用について、今後も継続してほしい、または取り上げてもらいたい活動内容はありますか。当てはまる番号3つに○をつけてください。

- | | | | | |
|-----------|------------|-----------|-----------|----------|
| 1. 野球 | 2. ミニバスケット | 3. サッカー | 4. よさこい | 5. 街頭見守り |
| 6. 雑遊 | 7. 調理 | 8. 工作 | 9. 絵画 | 10. 書道 |
| 11. 折り紙 | 12. 茶道 | 13. 囲碁・将棋 | 14. 合唱・演奏 | 15. 折り紙 |
| 16. 読み聞かせ | 17. 英語 | 18. パソコン | 19. 科学 | 20. 園芸 |
| 21. その他 |) | | | |

学習クラブの利用についておたずねします。

問38 問34(放課後)で「6. 学習クラブ」に○をつけた方におたずねします。利用している理由について、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主に行っている方が、

1. 現在就労している
2. 就労予定がある／求職中である
3. 家族・親族などを介護しなければならぬ
4. 病気や障がいがある
5. 出産及びその前後
6. その他

問39 問34(放課後)で「6. 学習クラブ」に○をつけた方におたずねします。

日曜日・祝日の学習クラブの利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい場合は、その時間帯を□内に数字でご記入ください。

なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

日曜日・祝日 ※時間は、(朝)09時～18時のように、24時間制でご記入ください。

1. 低学年（1～3年生）の間のみ利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない



学習クラブを利用している(いた)方は、問38にお答えください。

問40 学習クラブを利用していない(いなかった)方におたずねします。利用していない(いなかった)理由について、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

- お子さんの身の回りの世話を主に行っている方が、
1. 就労していない(いなかった)から
 2. 就労している(いた)が、学習クラブを知らなかったから
 3. 就労している(いた)が、学習クラブに空きがない(なかった)から
 4. 就労している(いた)が、学習クラブの開所時間が短いから
 5. 就労している(いた)が、利用料がかかるから
 6. 就労している(いた)が、子どもは放課後の習い事をしていない(いた)から
 7. 就労している(いた)が、放課後の時間は子どもだけでも大丈夫だと思う(思った)から
 8. 就労している(いた)が、他の施設に開いている(いた)から
 9. その他

問41 問35(放課後)または問38(夏休み・冬休み期間中)で「6. 学習クラブ」に○をつけた方におたずねします。学習クラブを利用したい理由について、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

- お子さんの身の回りの世話を主に行っている方が、
1. 就労している
 2. 就労予定がある／求職中である
 3. いずれ就労したいと考えている
 4. 家族・親族などを介護しなければならぬ
 5. 病気や障がいがある
 6. 出産及びその前後
 7. その他

問42 問35(放課後)または問38(夏休み・冬休み期間中)で「6. 学習クラブ」に○をつけた方におたずねします。あて名のお子さんについて、日曜日・祝日の学習クラブを利用したいと望みますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい場合は、その時間帯を□内に数字でご記入ください。

なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

日曜日・祝日 ※時間は、(朝)09時～18時のように、24時間制でご記入ください。

1. 低学年（1～3年生）の間のみ利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない

すべての方に、子育て全般についておたずねします。

問43 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事(育児)の時間」、「プライベートの時間」はどのようなバランスだと感じていますか。母親と父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】

1. 仕事に偏っている
2. プライベートに偏っている
3. 家事・育児に偏っている
4. おおむねバランスが取れている

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】

1. 仕事に偏っている
2. プライベートに偏っている
3. 家事・育児に偏っている
4. おおむねバランスが取れている

問44 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。



問45 あなたは地域活動(子育てサークルなど)に参加していますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 参加している	2. 参加していない
-----------	------------

問46 子育てに関して悩んでいること、又は気になることがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病気や育児・発達	2. 仕事や学業
3. 子どものしつけの方法がよくわからない	4. 子どもとの接し方に自信が持てない
5. 子どもとの時間を十分にたれない	6. 子どものほのめかけやほめすぎがよくわからない
7. いじめに関すること	8. 友だちづきあいや対人関係
9. 不登校など	10. 子どもの学力の遅れ
11. 子どもの教育・習、進路	12. 仕事や自分のやりたいことが十分できない
13. 子どもに接する機会がない	14. 子どものことで話し相手や相談相手がない
15. 子育てのための経済的負担が大きい	16. その他()
17. 特になし	

問47 あなたは、児童虐待について、どの程度関心がありますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 関心がある	2. どちらかといえば関心がある
3. どちらかといえば関心がない	4. 関心がない

問48 あなたが児童虐待と悩むものは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの将来のこと	2. 誰かや言葉による脅しやつけ回し
3. 誰か、子どもを傷つけたり、虐待で遊びに出かける	4. 子どもが見える場所で、配偶者や他の家族へ暴力を振るう
5. 子どもに必要ないものを買い与える	6. 子どもに必要ないものを与える
7. 親が洗濯しないので、子どもはいつも不衛生な服を着ている	8. 児童福祉課で子どもを預けたいと申し出て取り戻す
9. 上記1～8のいずれも児童虐待と関わらない	

問49 児童虐待を発見した場合は、どこに相談・通報しようと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 子ども家庭支援センター連絡ホットライン (042-347-3192)
2. 児童相談所
3. 児童相談所全国共通ダイヤル (189)
4. 警察
5. 市役所 (児童センター)
6. 民生委員・児童委員
7. 保健所・保健園・学校
8. 特になし
9. その他()

問50 あなたは、なぜ児童虐待が起こると思いますか。当てはまる番号3つに○をつけてください。

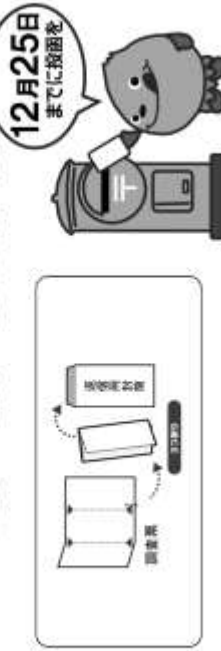
1. 保護者の子育てに対する経験と知識の不足
2. 保護者の精神的な不健康
3. 家庭の経済的な問題等に伴う生活への不満やストレス
4. 家庭の不和
5. 親戚等の周囲の支援不足や理解不足
6. 児童虐待を「しつこい」と考える風潮(社会の理解・認識不足)
7. 家庭が地域から孤立している
8. 保護者の一方が子育てに非協力的
9. 保護者が未成年で、親としての自覚がない
10. 仕事等の増えで、保護者の育児負担が増加
11. 親自身が子どもの頃に虐待を受けていた(虐待の世代間連鎖)
12. 望まない妊娠で出産した
13. 子どもに育てにくい要因(病気、障がい、発達障害など)がある
14. その他()

最後に、教育・子育ての環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。

調査票は三つ折にして、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、12月25日(火)までにポストへ投函してください。

お名前・ご住所のご記入は不要です。



小平市子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書

発行：小平市

編集：小平市 子ども家庭部 子育て支援課

住所：〒187-8701

東京都小平市小川町二丁目1333番地

電話番号：042-346-9821

F A X：042-346-9200

電子メール：kosodateshien@city.kodaira.lg.jp

発行年月：平成31年3月

価格 ￥1,600